



第154図 34号住居跡出土遺物実測図(15)

内面は斜・縦・横方向の条痕文を施す。75は、現存器高150mm・推定胴部最大径164mmを測る胴部に屈曲の少ない深鉢形土器である。76は、現存器高99mm・推定胴部最大径178mmを測る胴部に屈曲の少ない深鉢形土器である。77は、現存器高121mm・推定胴部最大径114mmを測る胴部に屈曲の少ない深鉢形土器である。126～131・195～205は、撚糸文系深鉢土器の口縁部および胴部破片である。132～138・207～215は、羽状縄文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

出土石器のうち主なものを、第152図217～231・第153図232～240・第154図241～257に示した。217は、最大長55.6mmを測る珪質頁岩製の尖頭器である。218～226は、チャート・緻密質安山岩・黒曜石・安山岩・無斑晶質安山岩製の石鏃である。227は、最大長41.4mmを測るチャート製の楔形石器である。228・229は、チャート製のRFである。230・231は、最大長83.7mm・71.5mmを測る堇青石ホルンフェルス製の打製石斧である。いずれも素材礫の自然面を多分に残している。232・233は、最大長146mm・重さ165.5g・最大長60mm・重さ17.6gを測る軽石製品である。いずれも穿孔および溝などの加工はないが、全体的に研磨整形している。

234は、残存最大長68mmを測るホルンフェルス製のへら状石器である。扁平な小礫の上下端部を加工したものである。235は、輝石安山岩製の砥石である。236～240は、チャート・多孔質輝石安山岩・無斑晶質安山岩製の石皿破片である。241は、輝石安山岩製の凹石である。242～253は、砂岩・チャート・溶結凝灰岩・多孔質安山岩・流紋岩質凝灰岩・珪化砂岩・輝石安山岩製の敲石である。表裏面の中央部や側面・上下端部に敲打痕が認められる。254～257は輝石安山岩製の磨石である。

35号住居跡

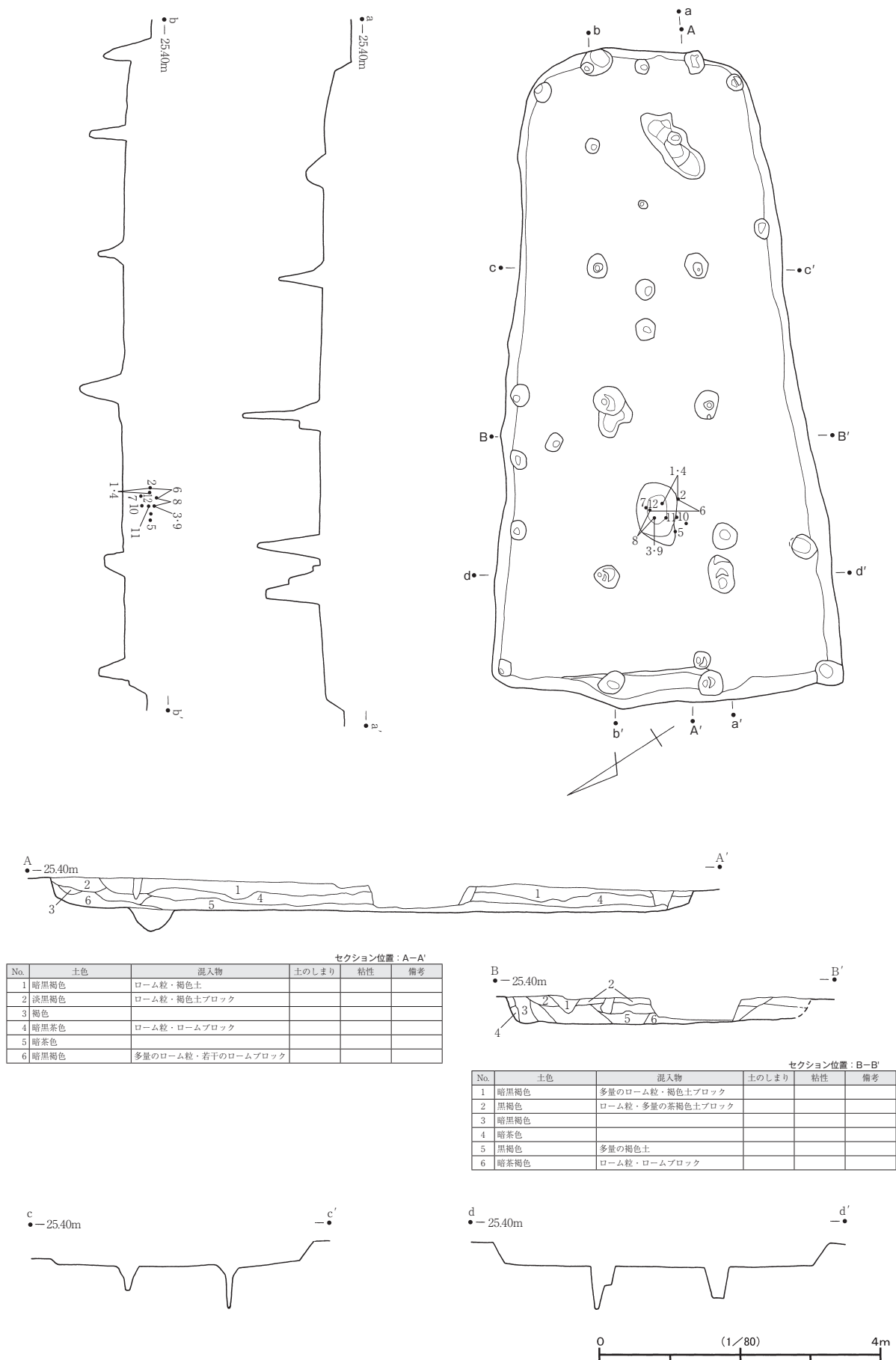
【検出位置】 セ28区K10-03・04・07・08

【規模ほか】 長軸9.24m・短軸4.94m・深さ44cm。形状は長台形。主軸方向 121°。炉は検出されていない。柱穴は、壁際およびその内側に長方形に規則的に配置される。内側に配列される柱穴には、規模のやや大きなものが8本あり、これらは等間隔に並び深さも他よりやや深い（第155図）。

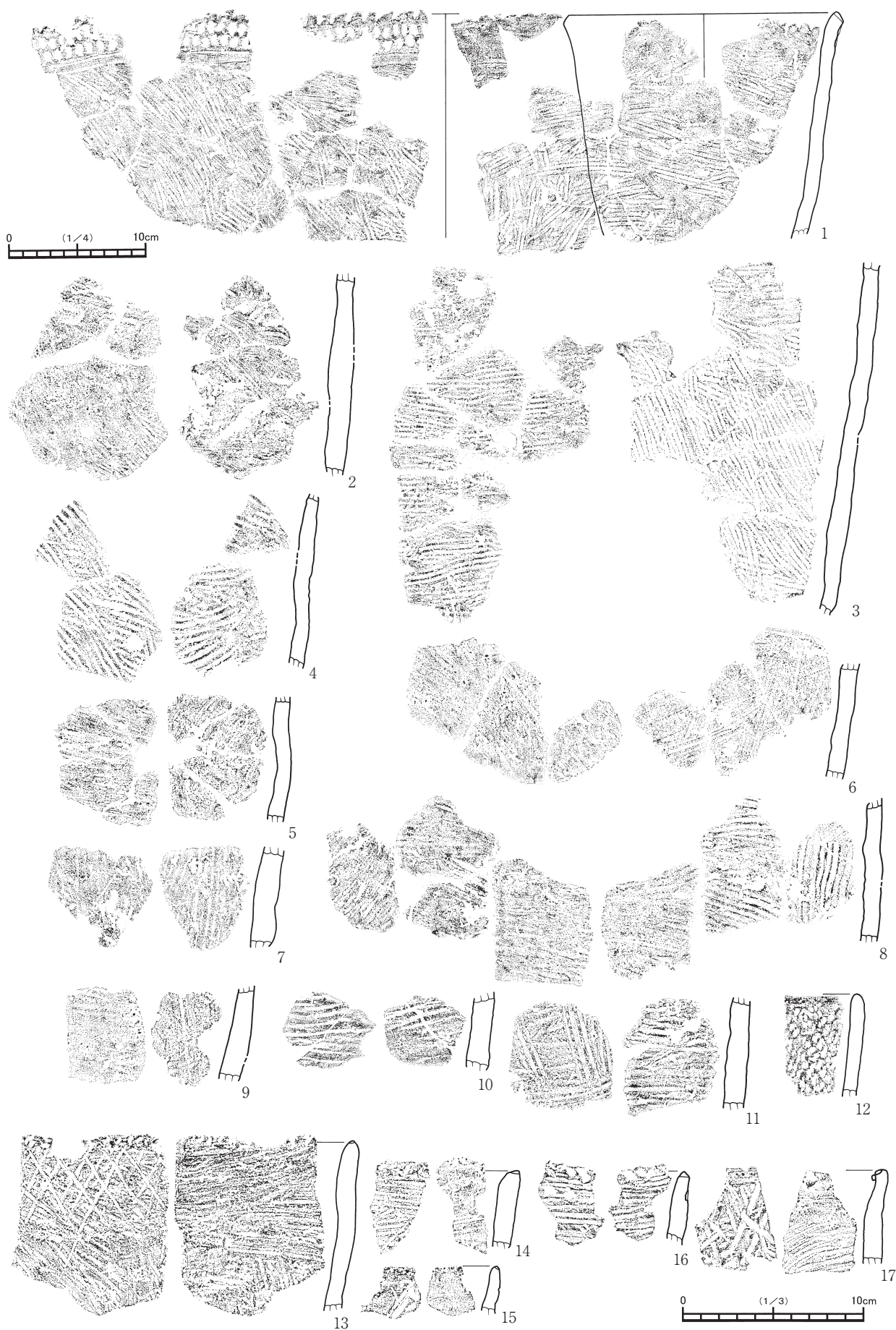
【覆土】 暗黒褐色土・暗茶色土などを主体とする。ローム粒を含む層が多い。

【出土遺物】 36点・3,100gの礫および礫石器が出土している。このうち66.9%に被熱のあとがみられる。石器は、9点出土している。うちわけは、尖頭器1点・石鏃3点・削器1点・RF1点・石皿1点・敲石1点・磨石1点、このほか黒曜石の剥片4点がある。土器は、664点・10,489g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、西側中央付近の床面から40cmほど浮いた箇所よりややまとまって検出されている。土器のうちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、一部に縄文の施文がみられる条痕・縄文、羽状縄文系、曾谷式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系の土器で全体の96.9%あり、当該時期を35号住居の帰属時期とみる。

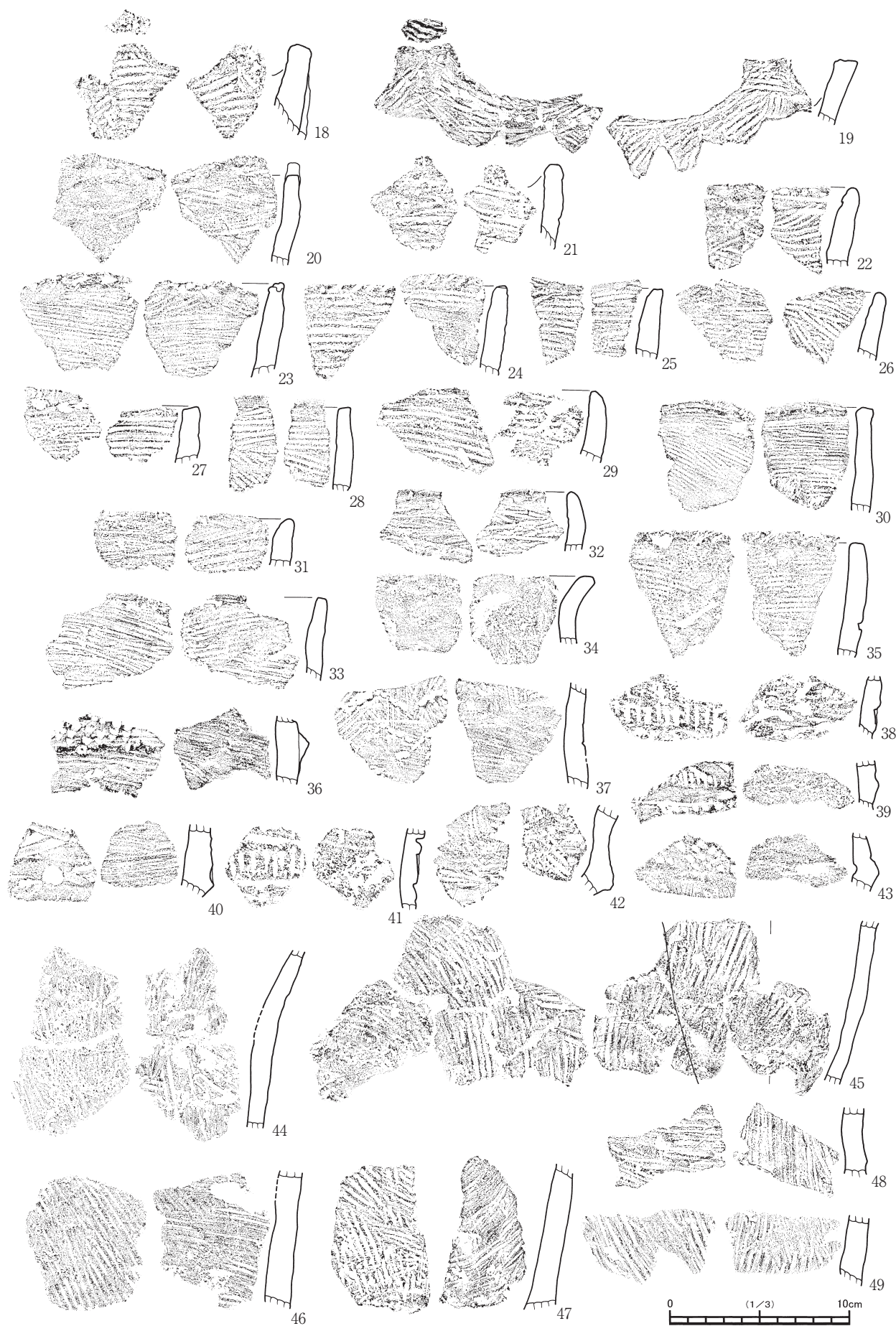
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第156図1～12に、覆土一括扱いのものを第156図13～17・第157図18～49・第158図50～73に示した。1・13～35は条痕文系深鉢形土器の口縁部、2～11・36～62は胴部、63・64は底部の破片である。1は、推定口径197mm・現存器高165mmを測る胴部に屈曲の少ない平縁の深鉢形土器である。口縁直下に二条の連続刺突文がめぐり、口唇部にも刺突文を有す。外面は斜方向に、内面は横・斜方向に条痕文を施す。45は、現存器高90mm・胴部最大径120mmを測る胴部に屈曲の少ない深鉢形土器である。外・内面ともに、斜・縦方向に条痕文を施す。65～71



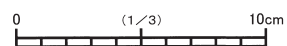
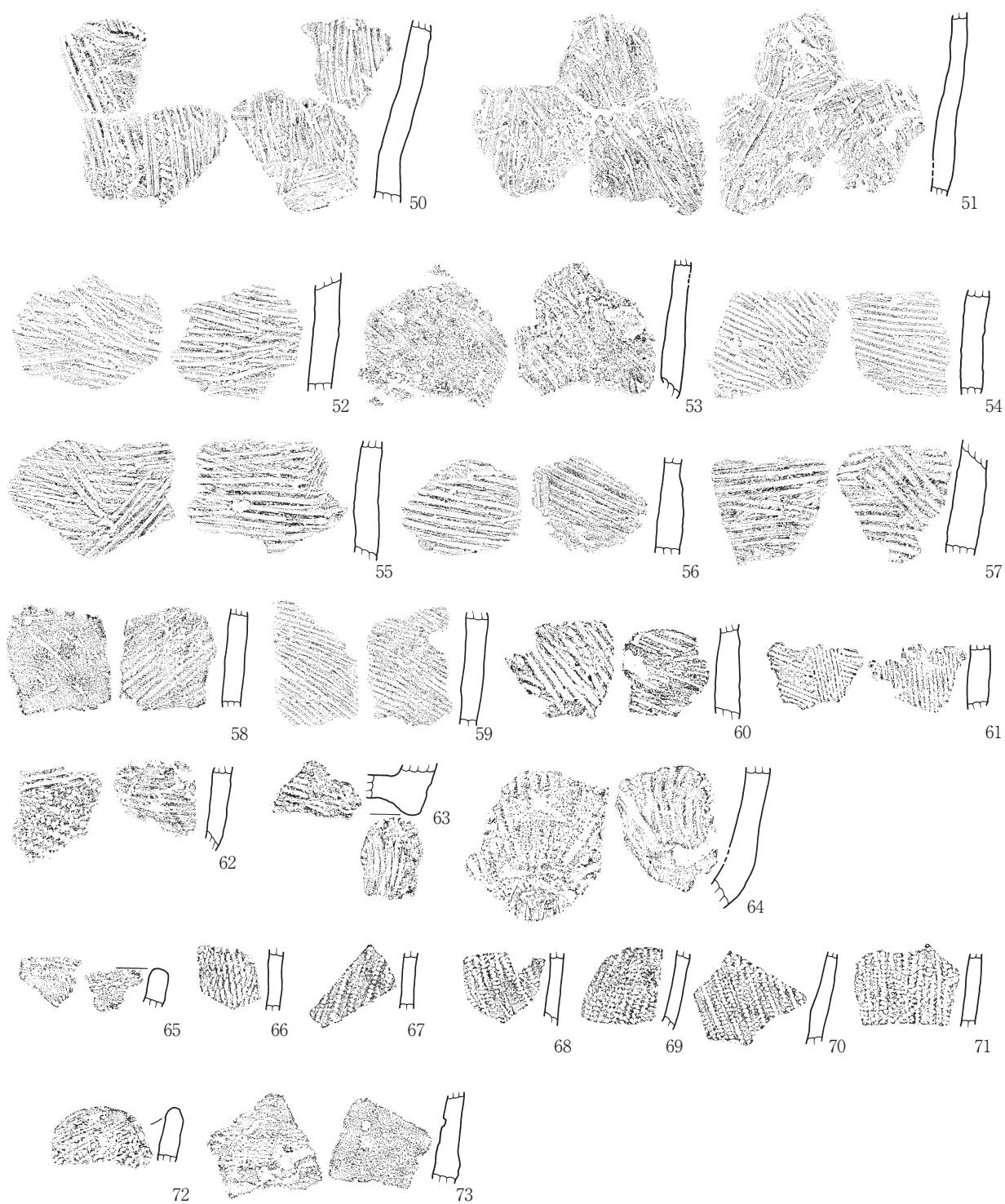
第155図 35号住居跡実測図および遺物出土状況図



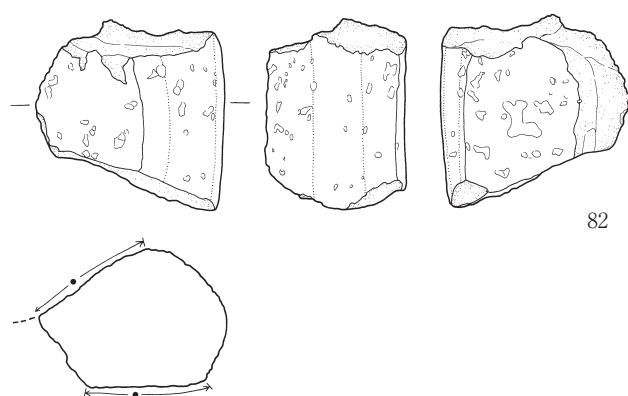
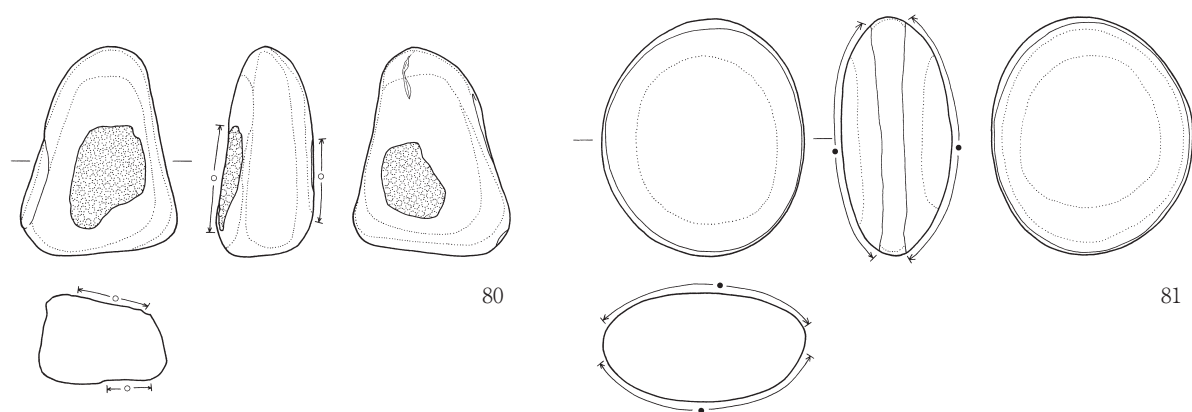
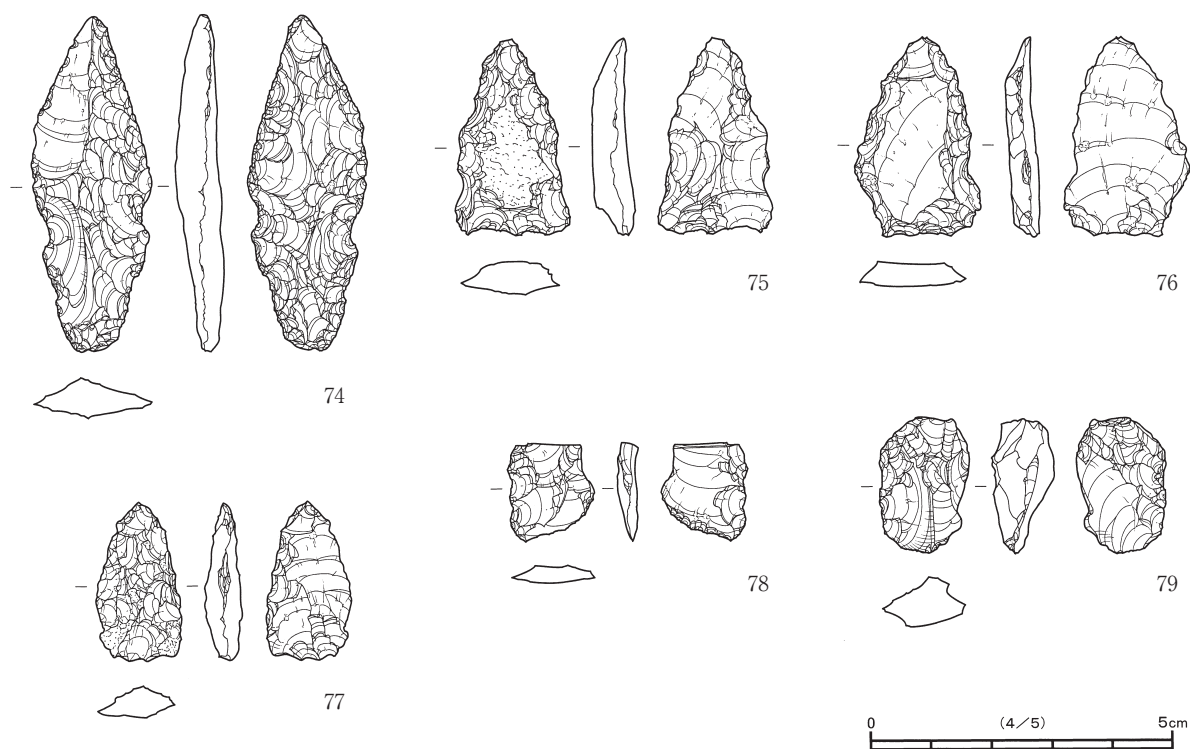
第156図 35号住居跡出土遺物実測図(1)



第157图 35号住居跡出土遺物実測図(2)



第158図 35号住居跡出土遺物実測図(3)



第159図 35号住居跡出土遺物実測図(4)

は、撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

出土石器を第159図74～82に示した。74は、最大長55.8mmを測る黒曜石製の尖頭器である。器体中央やや下部よりの両側に浅い挟りが入れられる。75～77は緻密質安山岩製の石鏃である。形態的に整っていないことから、未製品の可能性もある。78は、黒曜石製の削器である。79は、黒曜石製のR Fである。80は、砂岩製の敲石である。81は、砂岩製の磨石である。82は、多孔質安山岩製の石皿破片である。

36号住居跡

【検出位置】 セ28区K9-05・06・10・11

【規模ほか】 長軸（6.74）m・短軸（3.92）m・深さ46cm。形状は長台形か？。主軸方向 124°。炉は検出されていない。柱穴は、壁際および中央部に小規模で浅いものが複数検出されているが、配置は整然としてはいない。南側および東側部分が欠失する（第160図）。

【覆土】 一部に貝層がみられる。貝層は住居跡覆土の北東部に5箇所ブロック状に、長軸290・短軸120・厚さ12cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 25点・2,067gの礫および礫石器が出土している。このうち81.9%に被熱のあとがみられる。石器は、4点出土している。うちわけは、敲石2点・軽石製品1点・石刃1点、このほかチャートなどの剥片4点がある。土器は、694点・10,572g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、遺構の中央部から東側壁付近にかけて、床面上30cmほどの範囲内の位置から検出されている。土器のうちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、一部に縄文の施文がみられる条痕・縄文、羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系の土器で全体の97.1%あり、当該時期を36号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第161図1～14・第162図15～27に、覆土一括扱いのものを第162図28～30・第163図31～50に示した。1は、推定口径354mm・現存器高159mmを測る緩い波状口縁の深鉢形土器である。外面は横・斜方向に、内面は横・斜・横方向に条痕文が施される。2は、推定口径320mm・現存器高318mmを測る胴部に屈曲の少ない平縁の深鉢形土器である。外面は横・斜方向に、内面は横・斜・横方向に条痕文が施される。3～7・28～35は条痕文系深鉢形土器の口縁部、8～26・36～46は胴部の破片である。47～49は、撚糸文系土器の口縁部および胴部破片である。

出土石器を第163図51～54に示した。51は、最大長49.9mmを測るチャート製の石刃である。52は、最大長58mm・重さ13.5gを測る軽石製品である。穿孔や溝等の加工はないが、全面的に研磨整形されている。53・54は、輝石安山岩・堇青石ホルンフェルス製の敲石である。

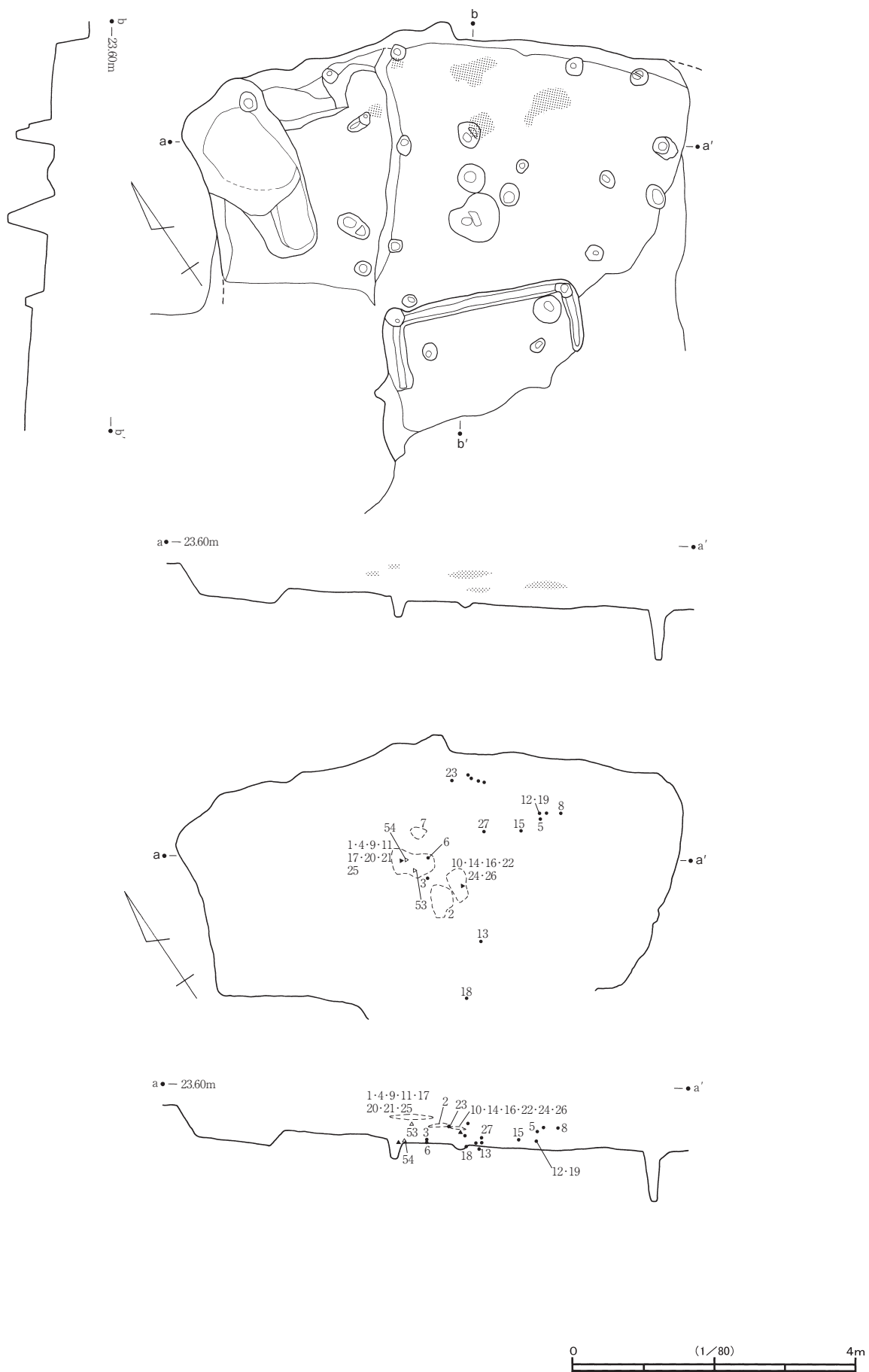
37号住居跡

【検出位置】 セ28区F13-14・15

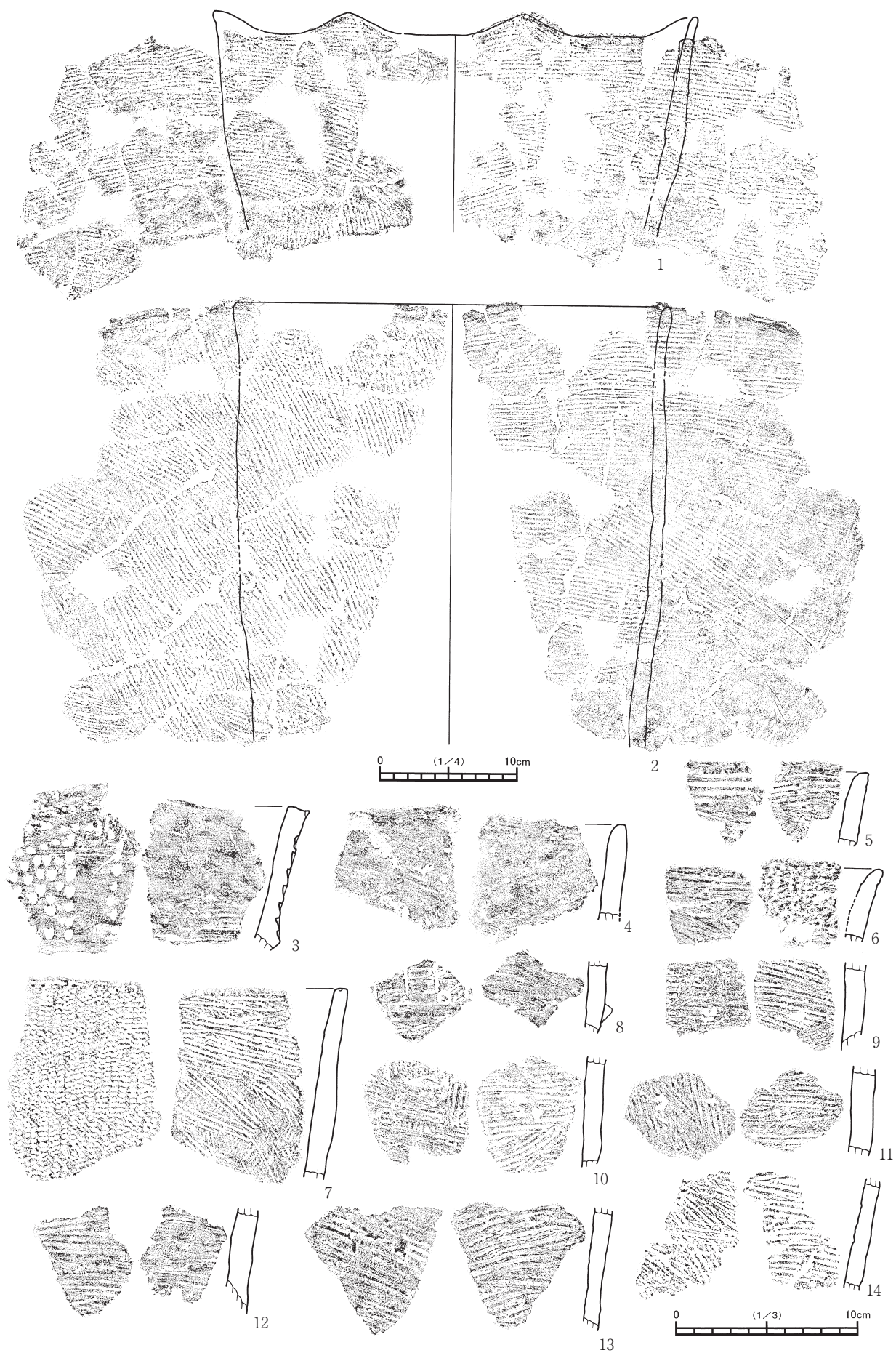
【規模ほか】 長軸（3.76）m・短軸（3.40）m・深さ30cm。形状は隅丸長方形。主軸方向 303°。炉は中央部に位置し、焼土下より2個体の土器が検出される。柱穴は、小規模なものが壁際と炉周辺から数箇所みつかっているが、配置は整然としてはいない。東側部分が欠失する（第164図）。

【覆土】 暗黒茶色土・暗黒褐色土などを主体とする。一部に貝層がみられる。貝層は住居跡覆土の中心部よりに二か所、長軸196・短軸92・厚さ8cmほどの規模で形成されていた。

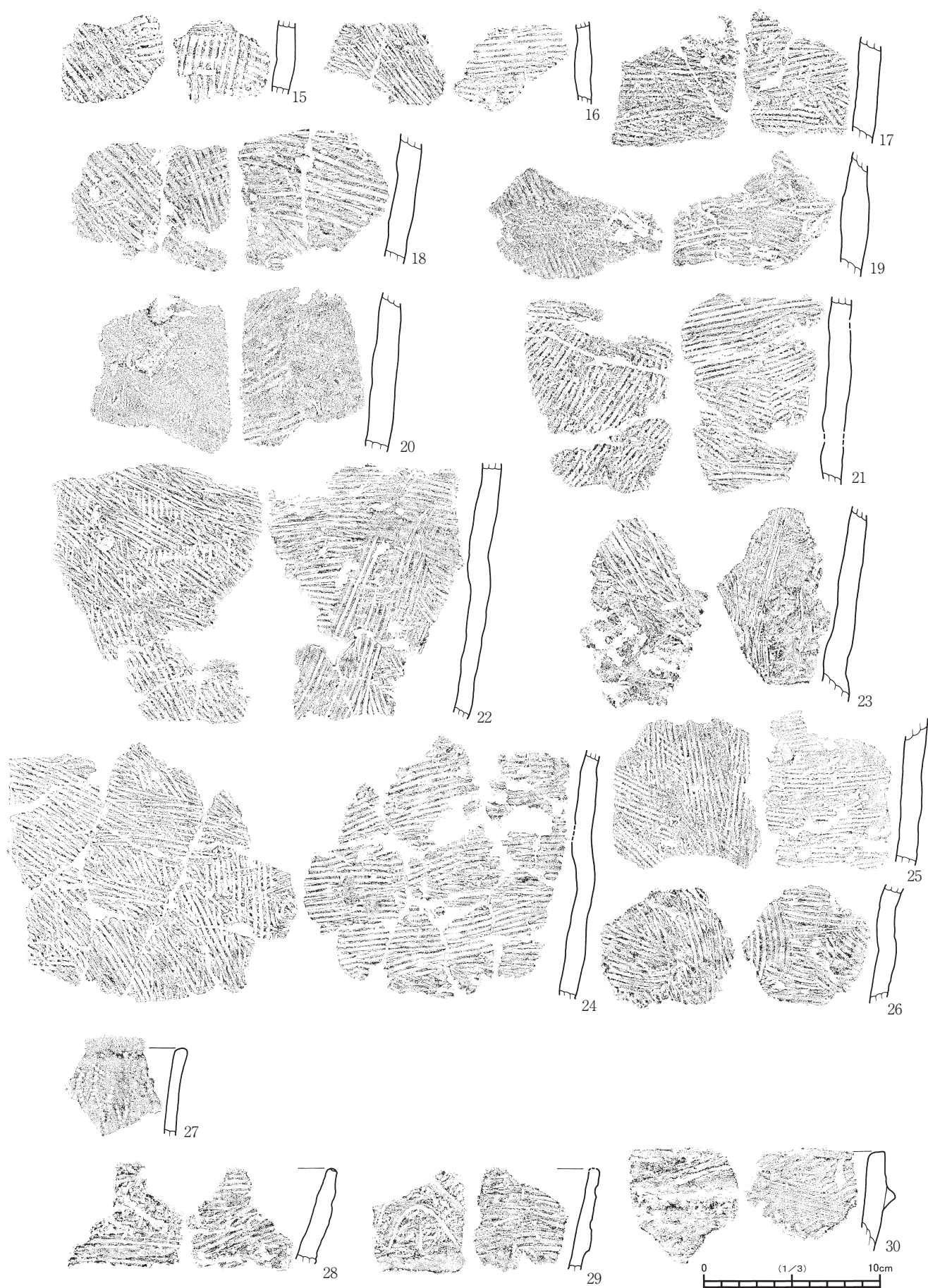
【出土遺物】 8点・146gの礫が出土している。このうち87.6%に被熱のあとがみられる。石器は出



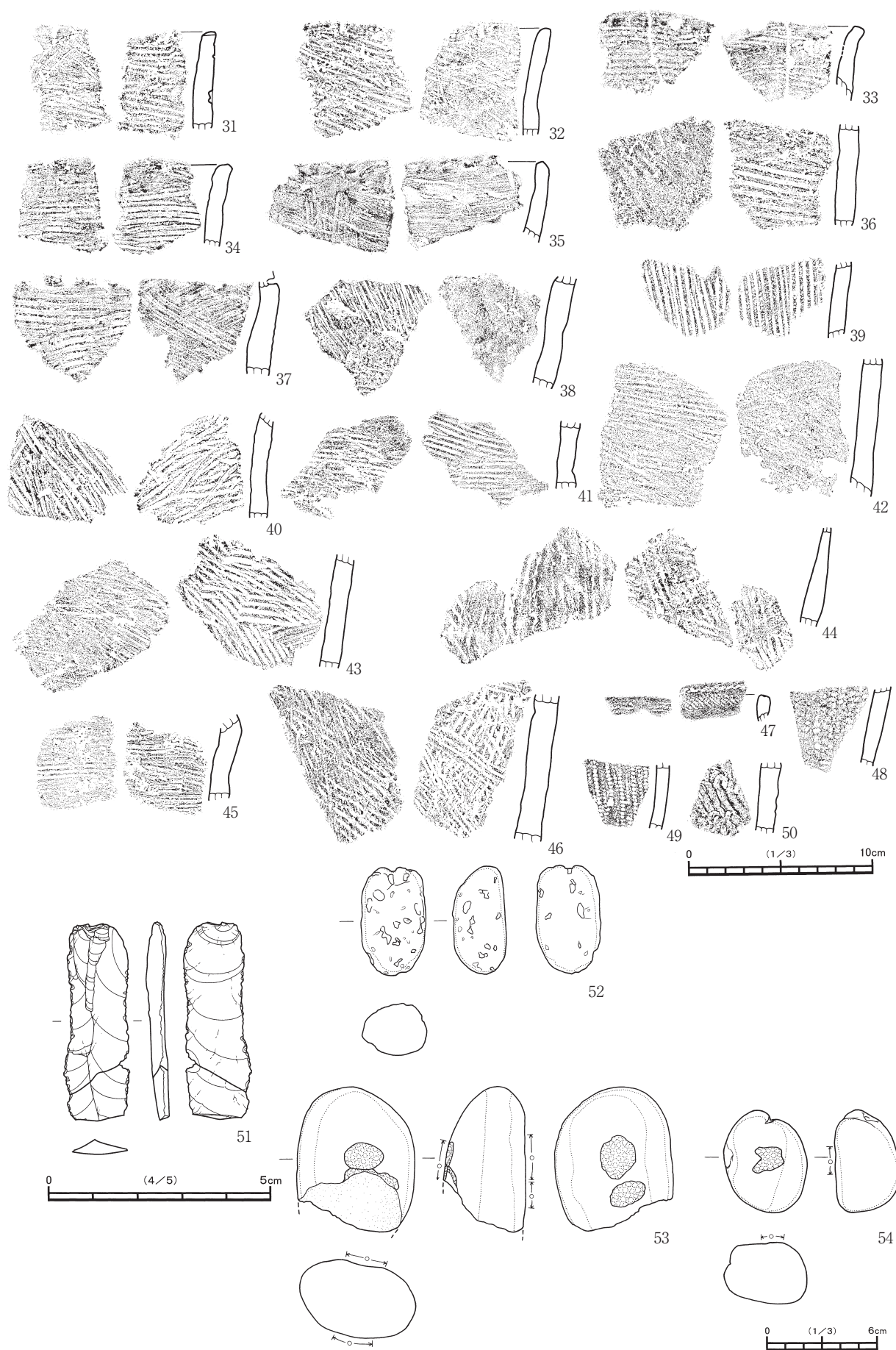
第160図 36号住居跡実測図および遺物出土状況図



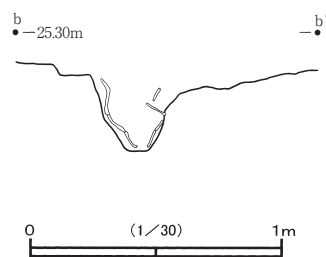
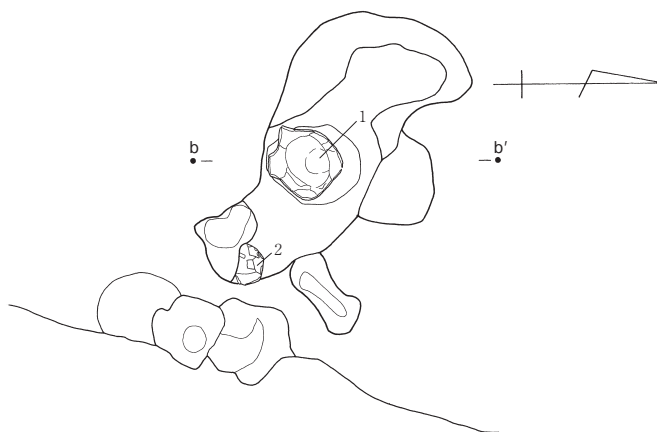
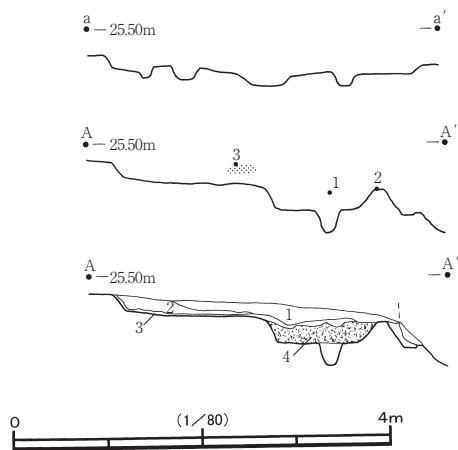
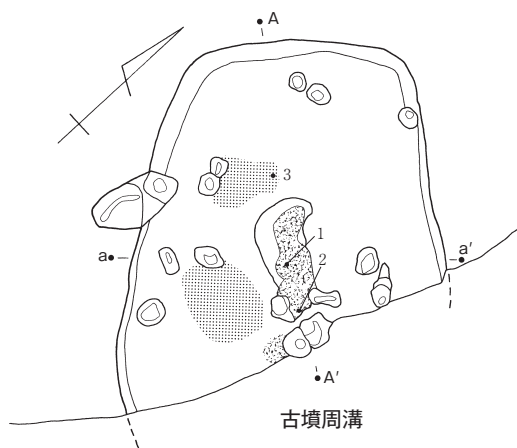
第161図 36号住居跡出土遺物実測図(1)



第162図 36号住居跡出土遺物実測図(2)

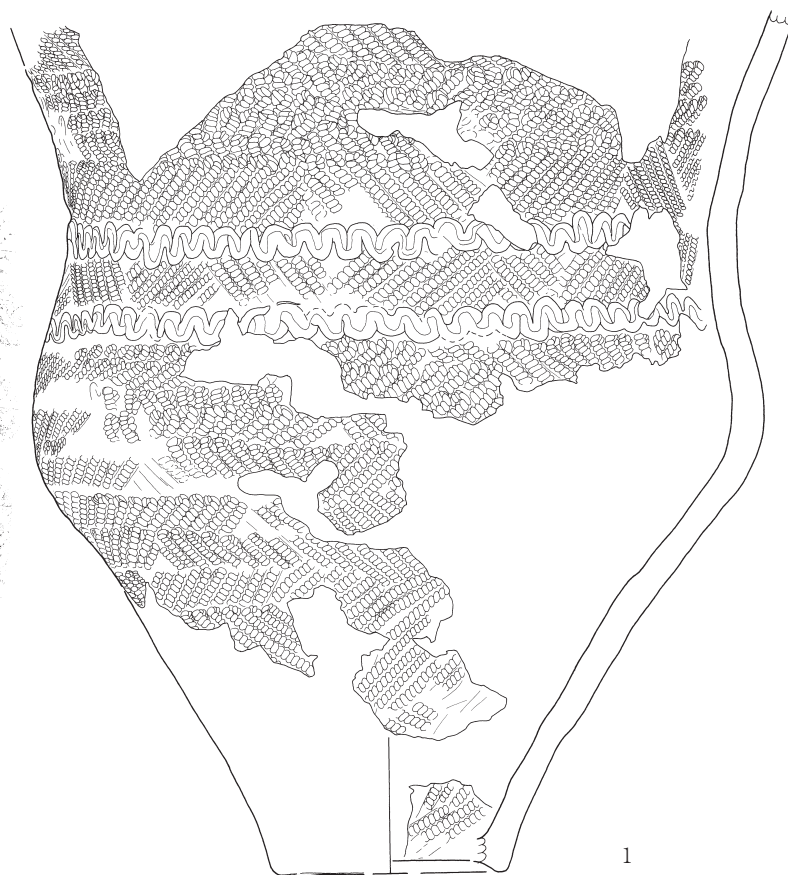


第163図 36号住居跡出土遺物実測図(3)

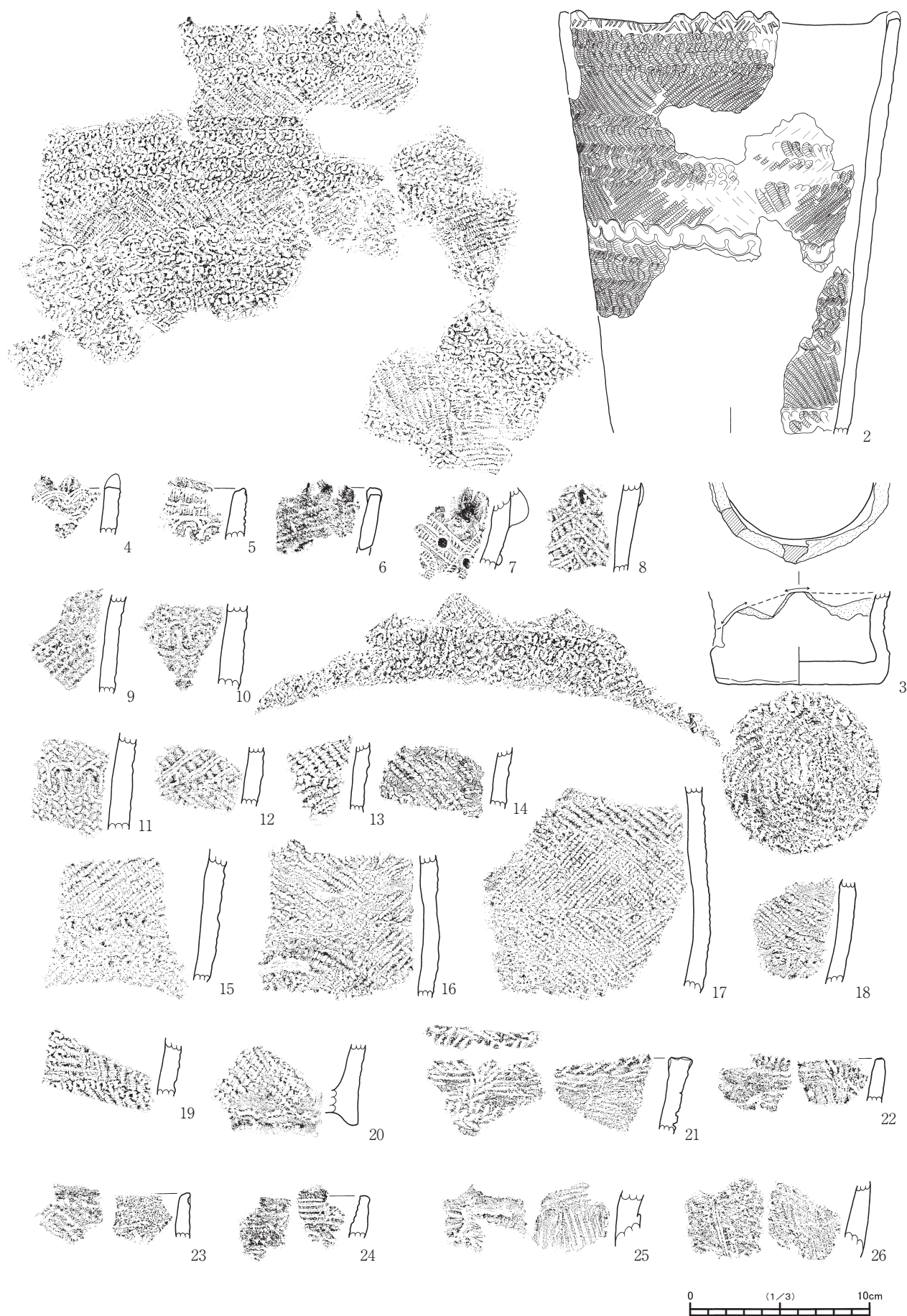


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗黒褐色	テフラ			
2	暗黒茶色	テフラ			
3	暗黄茶色				
4					焼土



第164図 37号住居跡実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第165図 37号住居跡出土遺物実測図(2)

土していない。土器は、81点・4,123 g 出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、炉内および炉周辺の床面よりやや浮いた位置から出土している。土器のうちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式の土器で全体の97.6%あり、当該時期を37号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第164図1、第165図2・3に、覆土一括扱いのものを第165図4～26に示した。1は、炉跡の中央部の窪みに底部を下にして据え付けられるようにして検出されたものである。現存器高338mm・底径90mmを測るキャリパー形の深鉢形土器で、ループ文・羽状縄文・コンパス文が交互に施される。2は、炉跡の東端部より検出されたもので、推定口径180mm・現存器高231mmを測る胴部から口縁部にかけての開きが少ない深鉢形土器である。口唇部には連続して山形の小突起が付され、以下にループ文・羽状縄文・コンパス文が交互に施される。3は、炉脇の覆土中から検出された底径90mmを測る底部の破片である。底部は平底で、底面にも縄文が施文される。現存器高は50mmほどあるが、破断面には研磨痕跡があることから、土器破損後に整形し、浅鉢の容器として用いられた可能性がある。4～6は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、7～19は胴部、20は底部の破片である。21～26は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

38号住居跡

【検出位置】 セ28区H14-05・06・09・10

【規模ほか】 長軸3.22m・短軸2.78m・深さ28cm。形状は隅丸長方形。主軸方向 55°。炉は検出されず、明確な柱穴もない（第166図）。

【覆土】 暗黒褐色土を主体とする。

【重複関係】 中央部で方形周溝墓と重複する。また、南側コーナー部は後世のカクランにより消失する。

出土遺物がないため、遺構の詳細時期は不明。

39号住居跡

【検出位置】 セ28区H15-05・09

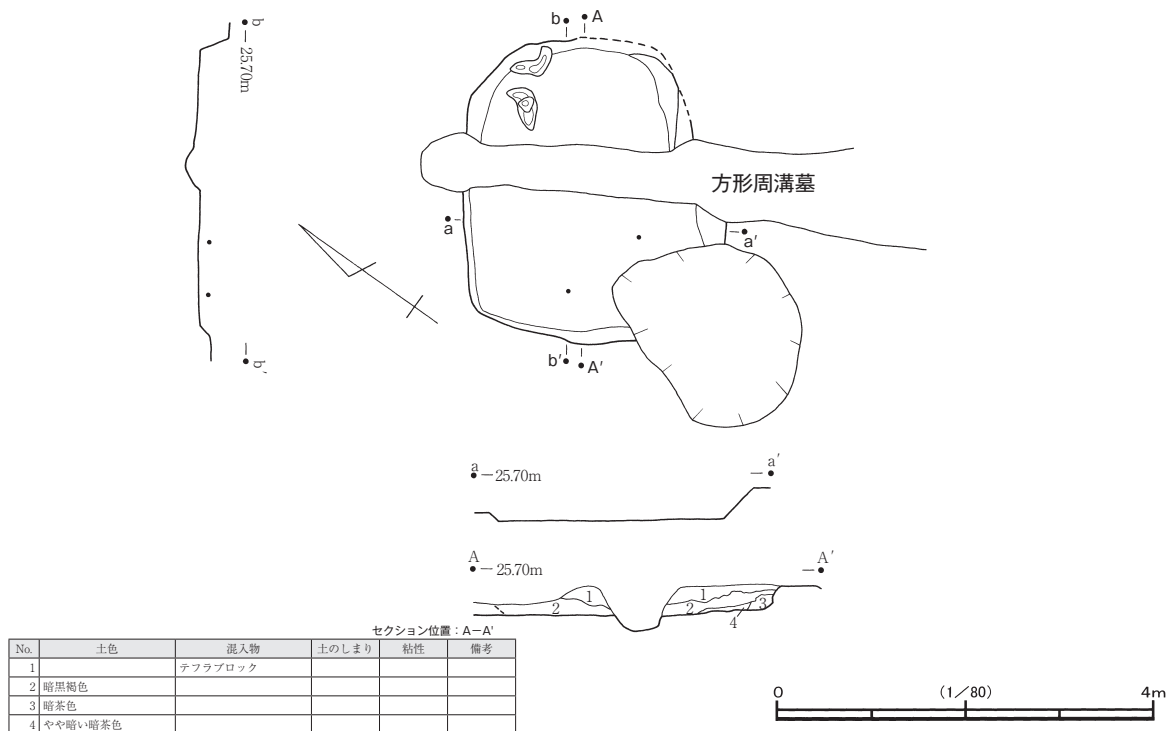
【規模ほか】 長軸4.24m・短軸2.98m・深さ32cm。形状は隅丸長方形。主軸方向289°。炉は、中央部やや東側よりにある。柱穴は検出されていない（第167図）。

【覆土】 明茶色土・暗茶色土などを主体とする。テフラブロックを含む層も多い。

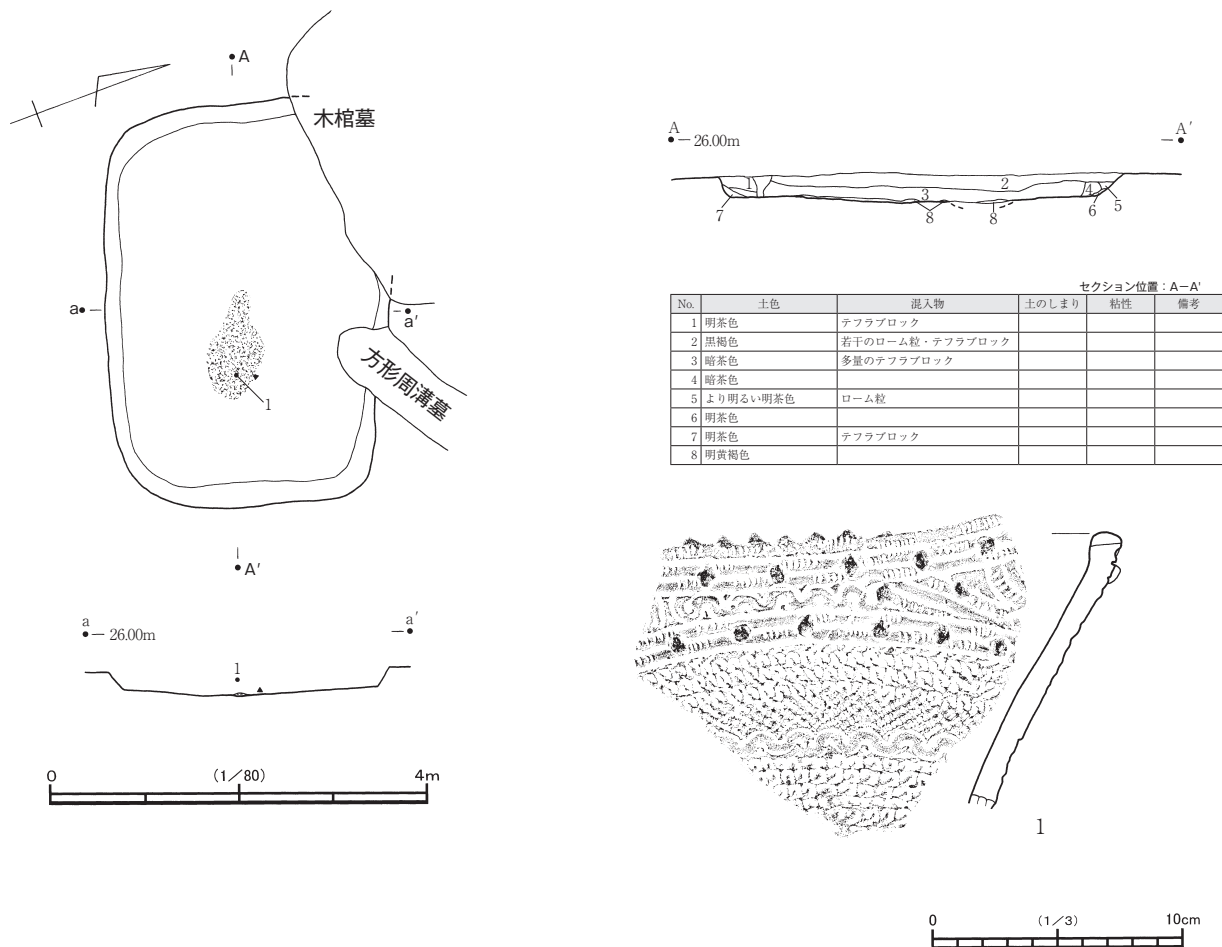
【重複関係】 方形周溝墓や木棺墓との重複により北西隅部分が消失する。

【出土遺物】 1点・432 g の礫石器が出土している。被熱のあととはみられない。石器は、磨石1点、このほか無斑晶質安山岩の剥片1点がある。土器は、181点・2,076 g 出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、炉跡の直上およびやや浮いた位置から出土している。土器のうちわけは、撚糸文系、条痕文系、一部に縄文の施文がみられる条痕・縄文、羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式の土器で全体の65.2%あり、当該時期を39号住居の帰属時期とみる。

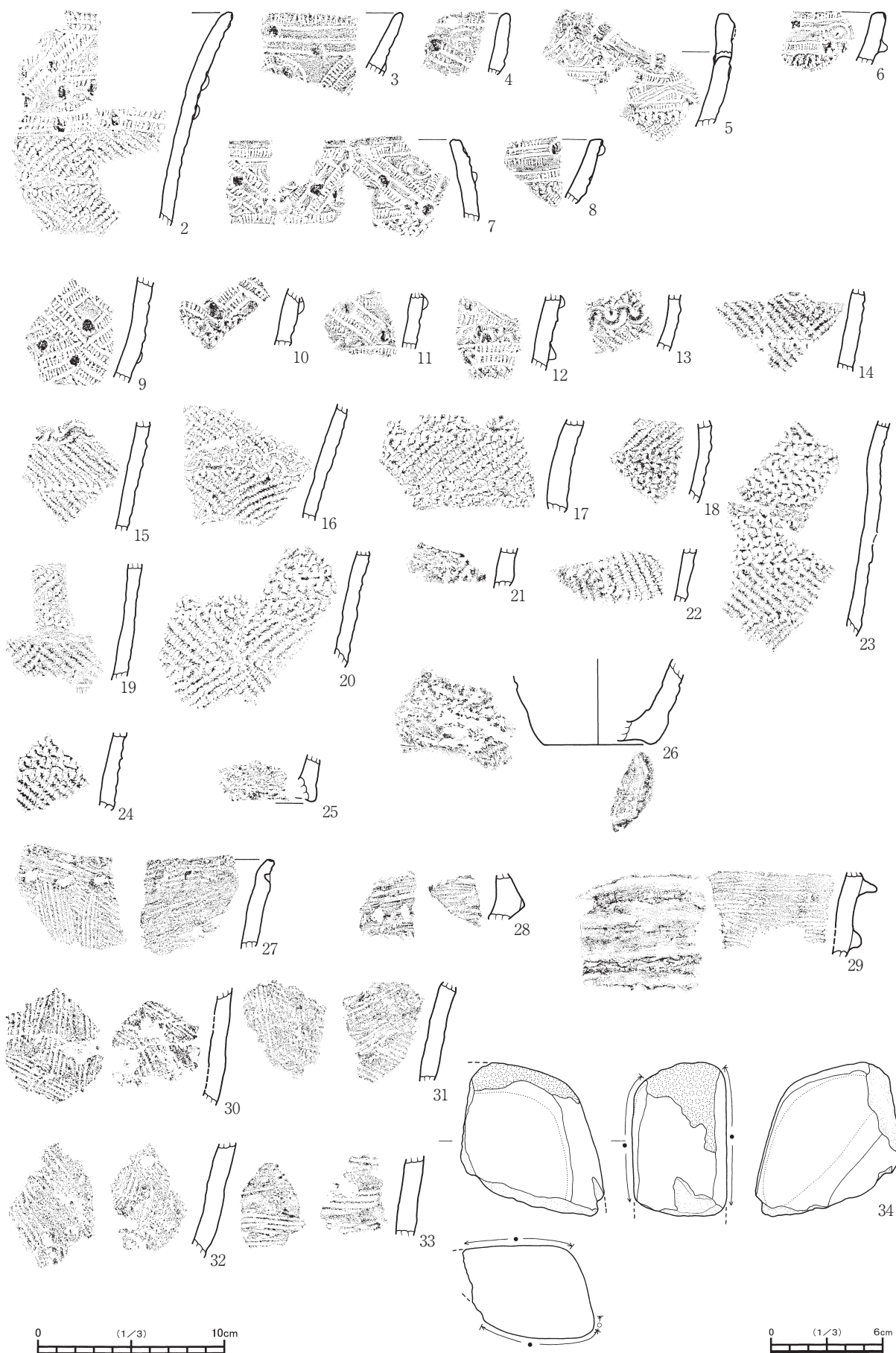
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第167図1に、覆土一括扱いのものを第168図2～33に示した。1は、緩やかな波状口縁となる深鉢形土器で、口唇部には山形の貼付文があり、以下には円形貼付文、横位・斜位の平行線文、ループ文、コンパス文などが施される。2～8は羽状縄文系・



第166図 38号住居跡実測図および遺物出土状況図



第167図 39号住居跡実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第168图 39号住居跡出土遺物実測図(2)

関山式深鉢形土器の口縁部、9～24は胴部、25・26は底部の破片である。27～33は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。第168図34は、凝灰質砂岩製の磨石・敲石である。表裏面に研磨痕が、側面に敲打痕が認められる。

40号住居跡

【検出位置】 セ28区H14-12・16

【規模ほか】 長軸4.16m・短軸3.18m・深さ42cm。形状は隅丸長方形。主軸方向 266°。炉は中央部に一箇所、その東に隣接して一箇所検出された。柱穴は、小規模なものが壁際と炉周辺から数箇所みつまっているが、配置は整然としてはいない（第169図）。

【覆土】 黒褐色土・明茶色土などを主体とする。テフラブロックを含む層が多い。

【出土遺物】 117点・4,224 g の礫および礫石器が出土している。このうち88.6%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石・敲石1点、このほか赤玉の剥片1点がある。土器は、243点・3,951 g 出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、炉跡とその周辺にみられ、その直上およびやや浮いた位置から出土している。土器のうちわけは、撚糸文系、条痕文系、羽状縄文系、浮島式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の83.3%あり、当該時期を40号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第169図1～3・第170図4～7に、覆土一括扱いのものを第170図8～40に示した。3・8～13は羽状縄文系深鉢形土器の口縁部、1・4・14～31は胴部、2・5・6・32は底部の破片である。2は、現存器高112mm・推定底径68mmを測る平底の深鉢形土器である。3は、推定口径210・174mm、現存器高146mmを測る片口の深鉢形土器である。口唇部に蒲鉾状の貼付文、口縁部以下にループ文・円形貼付文・羽状縄文・コンパス文が交互に施文される。4は、現存器高102mm・胴部最大径292mmを測る深鉢形土器の大型破片である。羽状縄文・ループ文が施文される。6は、推定底径98mmを測る深鉢形土器の底部である。やや上げ底で、底面にも縄文が施文される。7・34～39は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。33は、撚糸文系土器の底部付近の破片である。40は浮島式とみられる深鉢形土器の胴部破片である。横位の浅い連続爪形文、斜位の細い沈線文がみられる。第171図41は、最大長103mmを測る砂岩製の磨石・敲石である。

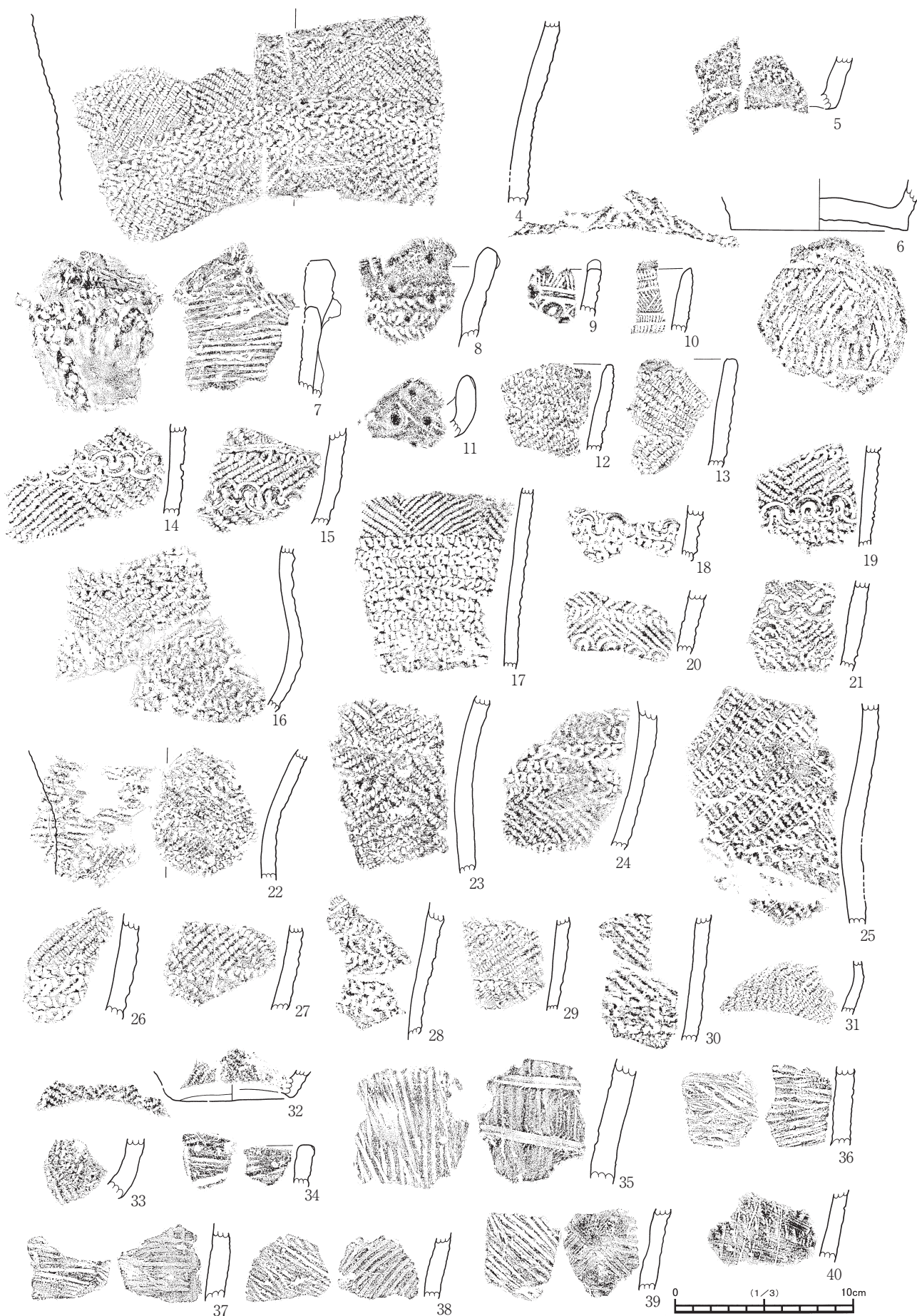
41号住居跡

【検出位置】 セ28区J15-05・09

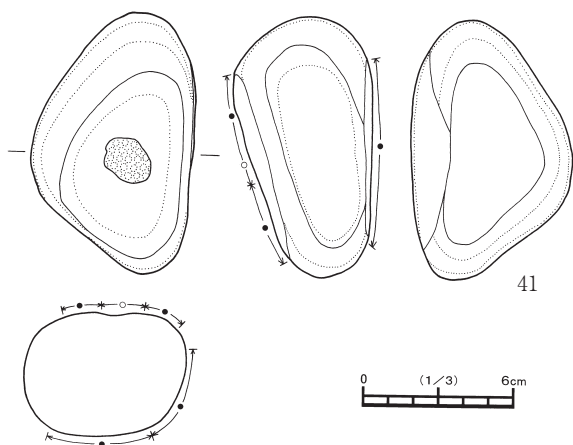
【規模ほか】 長軸4.80m・短軸3.40m・深さ46cm。形状は隅丸長方形。主軸方向 307°。炉は中央部に一箇所、その南東側に一箇所検出された。柱穴は、小規模なものが壁際と炉周辺から数箇所みつまっているが、配置は整然としてはいない（第172図）。

【覆土】 黒色土・黒褐色土などを主体とする。一部に貝層がみられる。貝層は住居跡覆土の中心部より、長軸65・短軸40・厚さ6cmほどの規模で形成されていた。

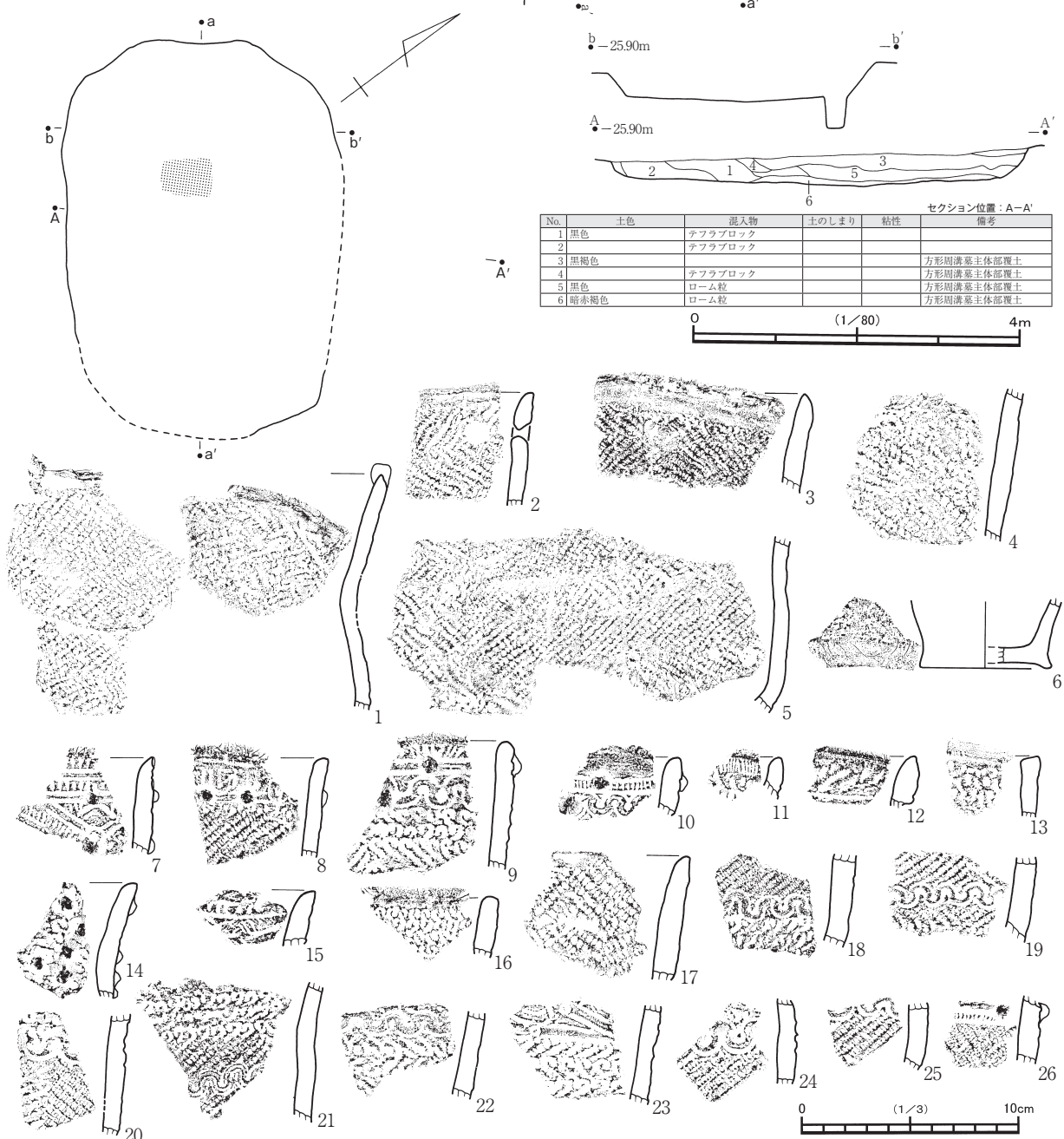
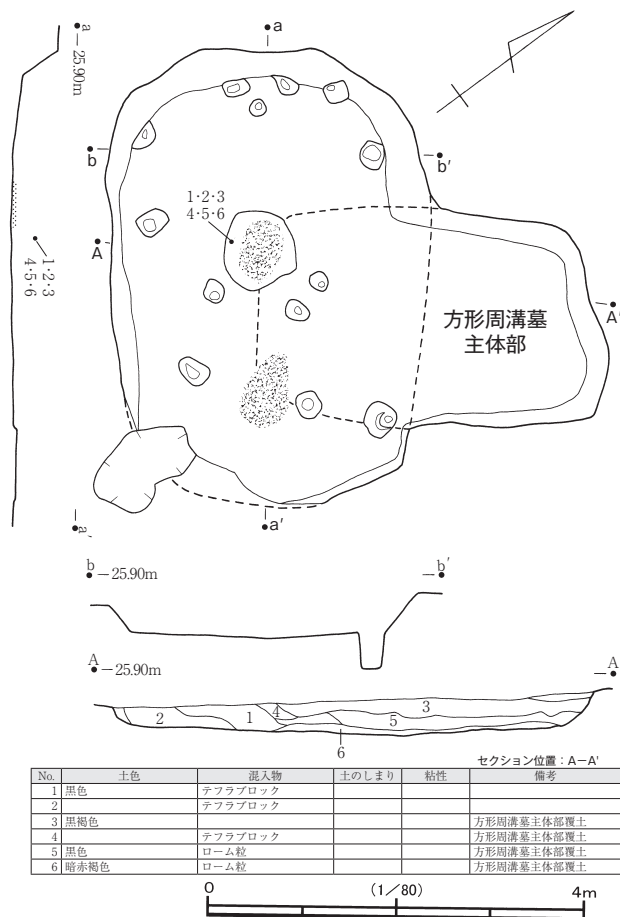
【出土遺物】 227点・9,383 g の礫および礫石器が出土している。このうち95.6%に被熱のあとがみられる。石器は、3点出土している。うちわけは、磨石2点・石核1点、このほか両雲母片岩の剥片1点がある。土器は、231点・2,960 g 出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、炉付近の床面よりやや浮いた位置より検出されている。土器のうちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系、浮島・興津式、諸磯式、加曾



第170图 40号住居跡出土遺物実測図(2)



第171図 40号住居跡出土遺物実測図(3)



第172図 41号住居跡実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第173图 41号住居跡出土遺物実測図(2)

利B式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の52.6%あり、当該時期を41号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第172図1～6に、覆土一括扱いのものを第172図7～26・第173図27～76に示した。1～5は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁および胴部破片で、文様は羽状縄文を主体とする。6は、現存器高30mm・推定底径60mmを測るやや上げ底の底部破片である。7～29は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁および胴部破片で、文様には横位・斜位の梯子状文、円形貼付文、コンパス文、ループ文、羽状縄文がみられる。30～39は、撚糸文系深鉢形土器の口縁および胴部破片である。40～45は、条痕文系深鉢形土器の口縁および胴部破片である。46～50は諸磯式、51～61は浮島・興津式、62～73は前期後葉、75・76は加曽利B式とみられる。第173図77・78は、多孔質安山岩・凝灰岩製の磨石である。

42号住居跡

【検出位置】 セ54区H16-G・K

【規模ほか】 長軸4.24m・短軸3.72m・深さ50cm。形状は円形。炉は中央やや西より一箇所検出されているが、柱穴はみつかっていない（第174図）。

【重複関係】 方形周溝墓との重複により東側が消失する。

【出土遺物】 1点・138gの礫石器が出土している。被熱のあととみられない。石器は、打製石斧1点である。土器は、92点・656g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。土器のうちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系・浮島式・加曽利B式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系の土器で全体の62.6%あり、当該時期を42号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第174図1～12に示した。1～3は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片で羽状縄文・円形貼付文が施される。4・5は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片、6・7は撚糸文系（無文）土器の口縁部破片、8は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片、9は浮島式、12は加曽利B式とみられる。第174図13は、残存最大長62mmを測る砂岩製の打製石斧の破片である。

43号住居跡

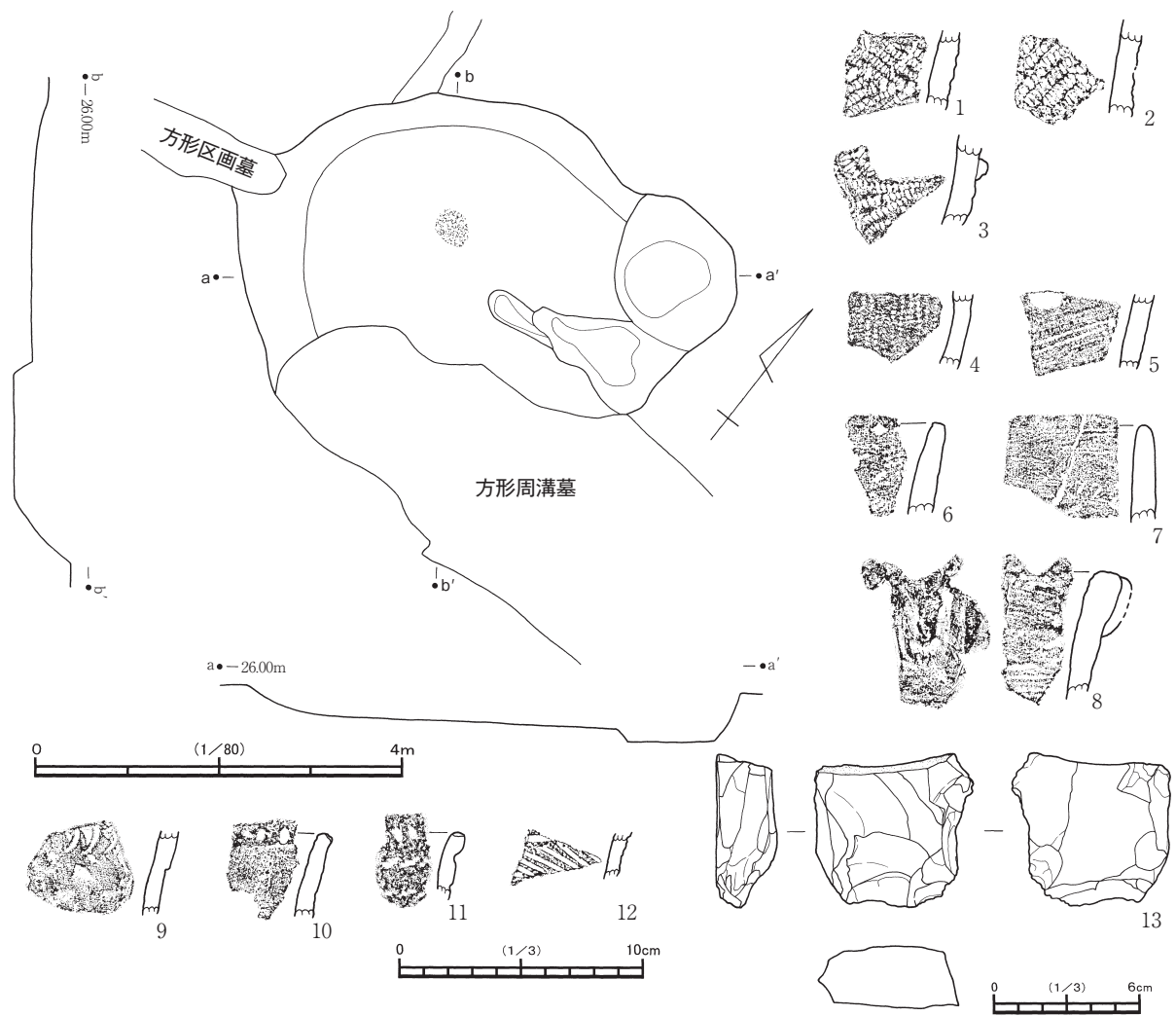
【検出位置】 セ54区I16-C・D

【規模ほか】 長軸4.20m・短軸3.71m・深さ49cm。形状は円形。炉は中央部に一箇所検出されている。柱穴は炉の周囲に小規模なものが数箇所あるが、配列は整然としていない（第175図）。

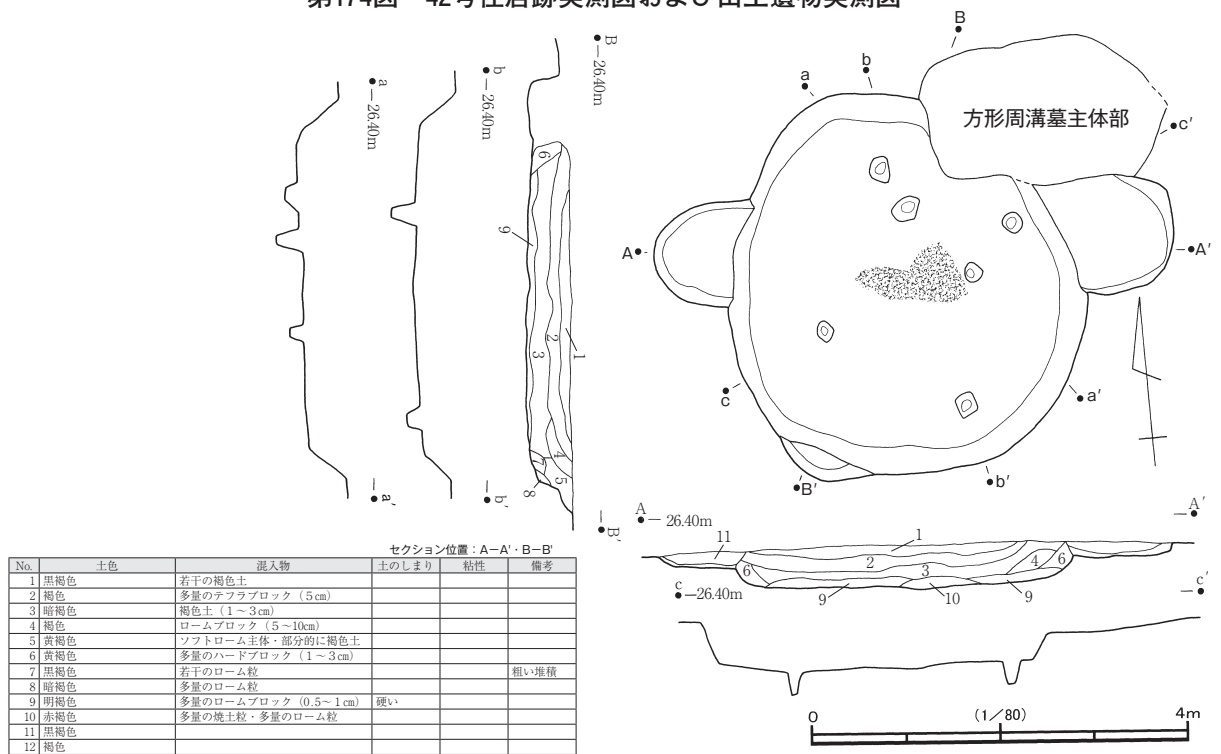
【覆土】 黒褐色土・褐色土などを主体とする。

【出土遺物】 53点・1,411gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器の出土はないが、黒曜石などの剥片2点がある。土器は、107点・1,700g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系・諸磯式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の50.4%あり、当該時期を43号住居の帰属時期とみる。

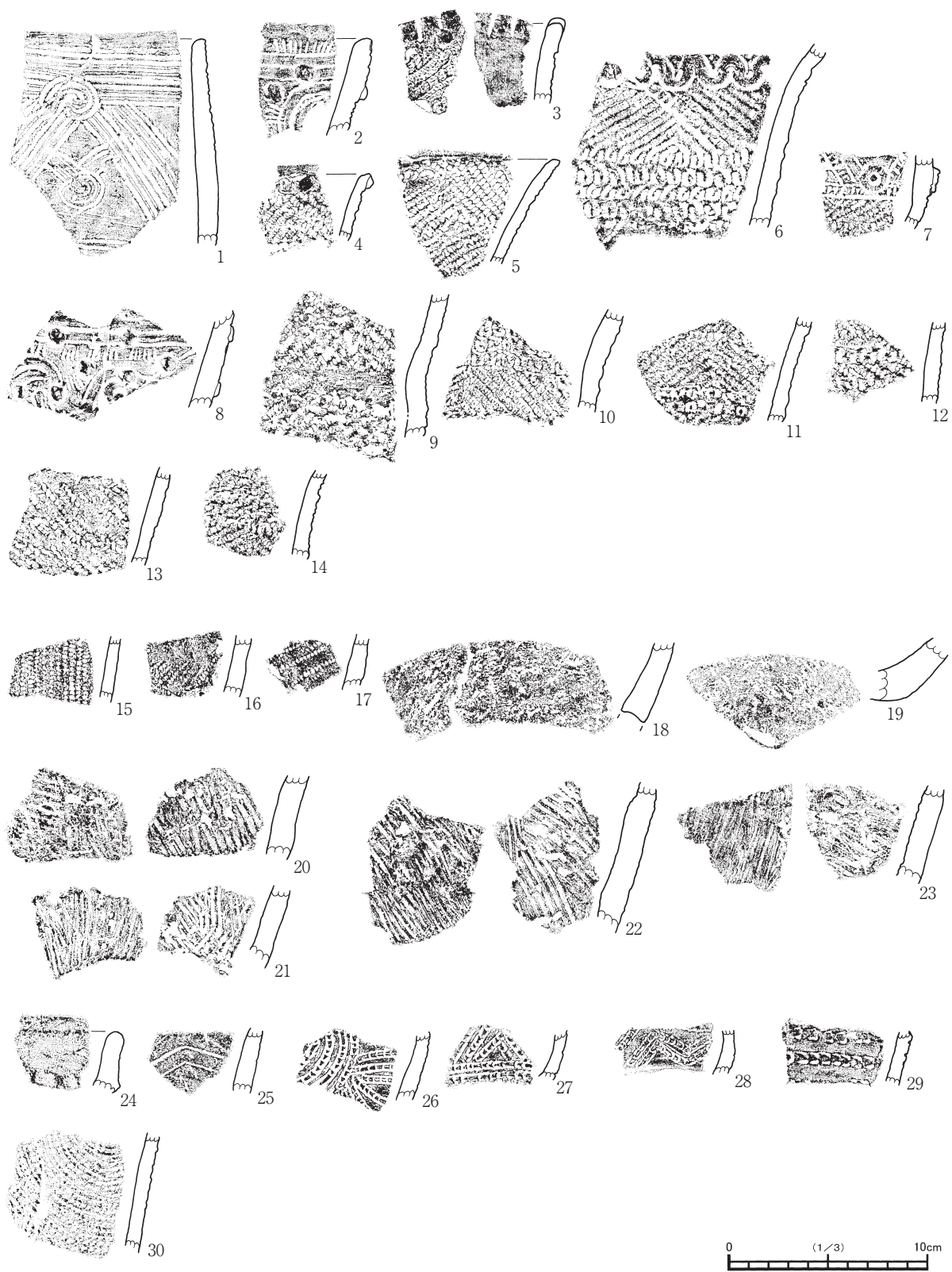
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第176図1～30に示した。1～14は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁および胴部破片である。文様は、平行線文・梯子状文・円形貼付文・コンパス文・ループ文・羽状縄文などがみられる。15～17は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片、18・19は撚糸文系（無文）



第174図 42号住居跡実測図および出土遺物実測図



第175図 43号住居跡実測図



第176図 43号住居跡出土遺物実測図

土器、20～23は条痕文系土器、24は浮島式、26～29は諸磯式、30は十三菩提式とみられる。

44号住居跡

【検出位置】 セ28区H17-03・07・08・11・12

【規模ほか】 長軸11.00m・短軸5.62m・深さ44cm。形状は長台形。主軸方向 2°。炉は中央部北側より一箇所ある。柱穴は、小規模なものが壁際と中央部よりから複数みつっているが、配置は整然としてはいない（第177図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。

【出土遺物】 111点・5,689gの礫および礫石器が出土している。このうち82.2%に被熱のあとがみられる。石器は、3点出土している。うちわけは、磨石2点・砥石1点、このほかチャートなどの剥片2点がある。土器は、76点・1,669g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげのみである。遺物は、壁際を除く遺構全体から多数検出されているが、垂直分布を示す発掘調査時の記録類が不明だったため、平面的位置以外の情報が欠如している（第178図）。土器のうちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式の土器で全体の62.4%あり、当該時期を44号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第178図1～22に示した。1～14は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁および胴部破片である。文様は、梯子状文・円形貼付文・コンパス文・ループ文・羽状縄文などがみられる。15は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片、16～22は条痕文系深鉢形土器である。22はやや丸底の底部である。出土石器を第179図23～25に示した。23・24は、砂岩・火山礫凝灰岩製の磨石である。25は、堇青石ホルンフェルス製の砥石である。

45号住居跡

【検出位置】 セ54区I17-G・H

【規模ほか】 長軸3.10m・短軸2.51m・深さ34cm。形状は円形。炉は中央部に一箇所検出されたが、柱穴はみつっていない。南側壁面を欠失する（第180図）。

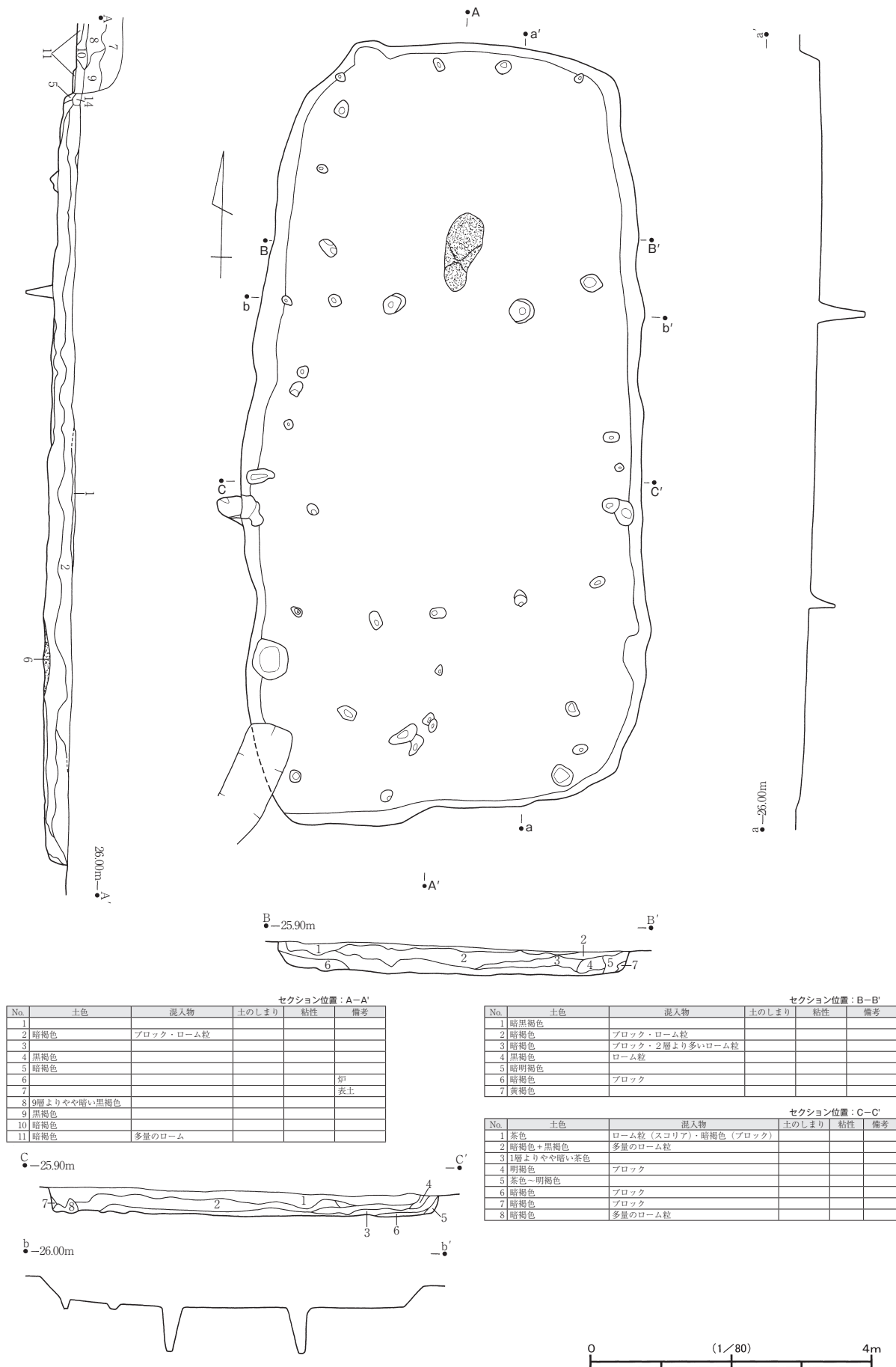
【覆土】 暗褐色土・黄褐色土などを主体とする。ハードロームブロックを含む層もある。

【出土遺物】 155点・2,994gの礫および礫石器が出土している。このうち93.1%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点、このほか黒曜石などの剥片2点がある。土器は、98点・1,238g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の56.3%あり、当該時期を45号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第180図1～10・第181図11～17に示した。1・2は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、3～8は胴部、9・10は底部の破片である。文様は、円形貼付文・コンパス文・ループ文・羽状縄文・付加条文などがみられる。9は底面にも縄文が施文される。10は、底径62mmを測り上げ底である。11～13は、条痕文系深鉢形土器の口縁および胴部破片である。14・15は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片、16・17は撚糸文系（無文）土器の口縁部破片である。第181図18は、最大長68mmを測る輝石安山岩製の磨石である。

46号住居跡

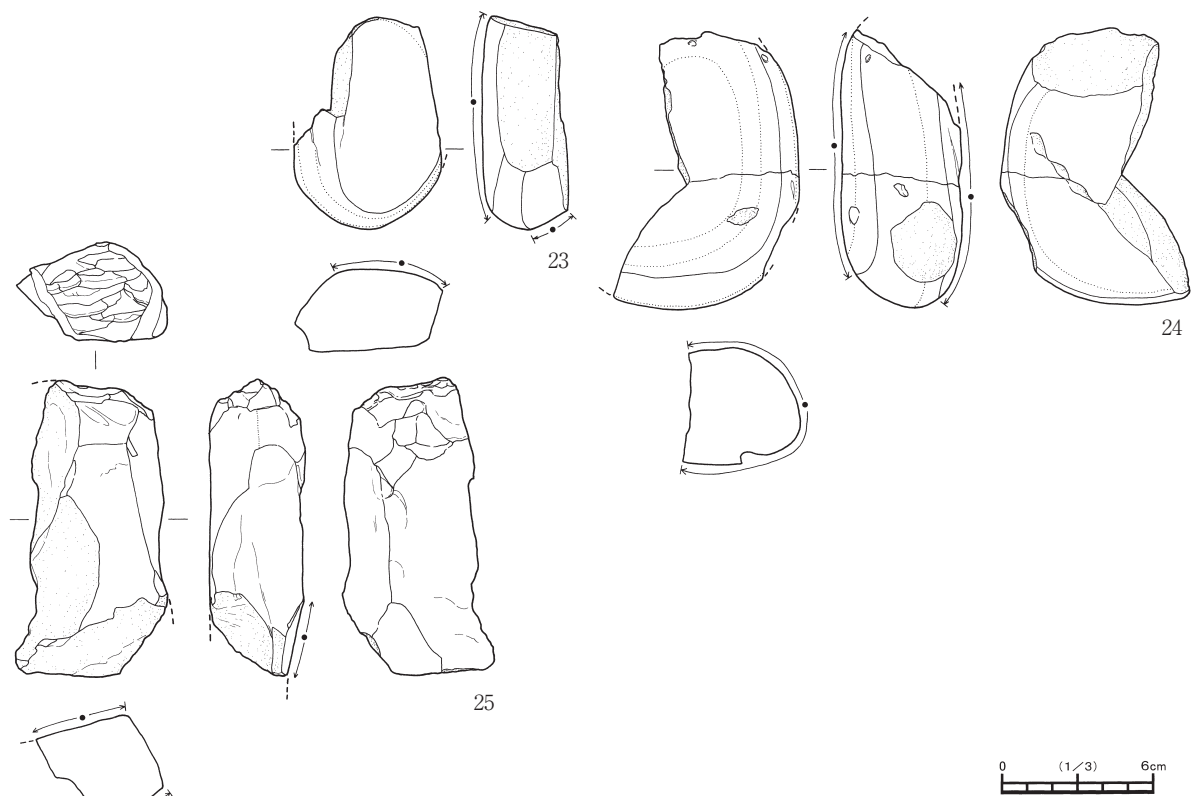
【検出位置】 セ54区I17-I・J・M・N



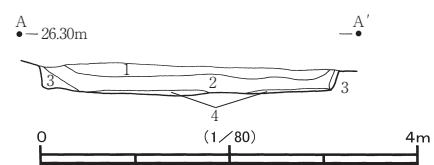
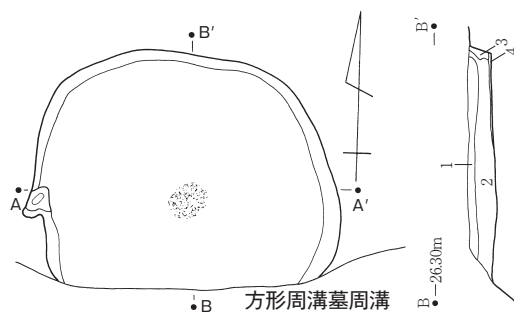
第177図 44号住居跡実測図



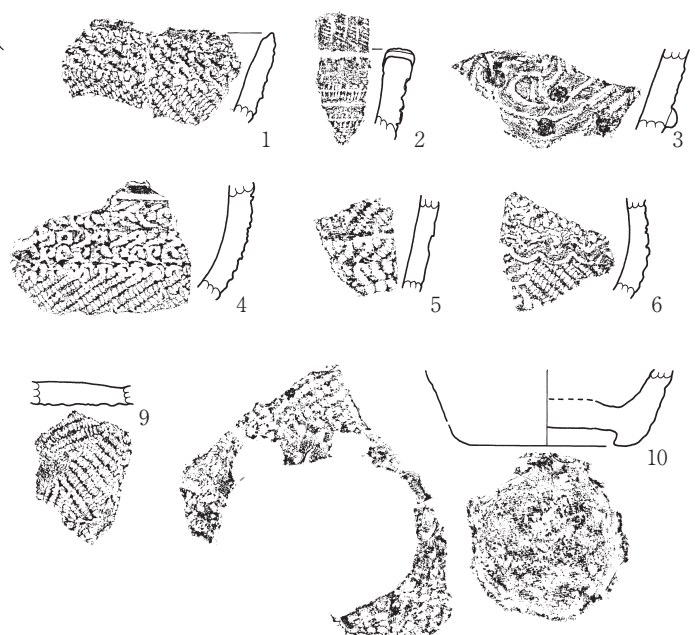
第178図 44号住居跡遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第179図 44号住居跡出土遺物実測図(2)



No.	土色	混入物	セクション位置: A-A'・B-B'		
			土のしまり	粘性	備考
1	褐色	多量のテフラ			
2	暗褐色	多量のローム粒・若干のハードロームブロック (1cm)			
3	黄褐色	ソフトローム主体			
4	黄褐色	多量のハードロームブロック (約1cm)	硬い		



第180図 45号住居跡実測図および出土遺物実測図(1)

【規模ほか】 長軸6.65m・短軸4.73m・深さ35cm。形状は長台形。主軸方向 16°。炉は中央部やや南よりに二箇所検出された。柱穴は中央部付近に数箇所あるが配列は整然としていない（第182図）。

【覆土】 褐色土・暗褐色土などを主体とする。

【重複関係】 古墳周溝によって東側・南側を欠失する。

【出土遺物】 110点・3,979gの礫および礫石器が出土している。このうち96.6%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点が出土している。土器は、92点・1,342g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の55.5%あり、当該時期を46号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第183図1～19に示した。1～5は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、6～13は胴部、14は底部の破片である。文様は、梯子状文・平行線による鋸歯状文・円形貼付文・コンパス文・ループ文・羽状縄文などがみられる。14は底径33mmを測る小型の深鉢形土器で、やや上げ底である。15～18は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。19は、前期末から中期初頭の深鉢形土器の破片とみられる。第183図20は、砂岩製磨石の破片である。

47号住居跡

【検出位置】 セ54区I17-J・K・N・O

【規模ほか】 長軸4.22m・短軸3.97m・深さ40cm。形状は円形。炉は中央部やや南側に一箇所ある。柱穴は炉の周囲に数箇所みられるが、その配列は整然としていない（第184図）。

【覆土】 暗褐色土・褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロックを含む層が多い。

【重複関係】 西側の一部が古墳周溝との重複により欠失する。

【出土遺物】 20点・1,499gの礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、砂質頁岩の剥片1点がある。土器は、83点・1,315g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、覆土一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系、撚糸文系（無文）、条痕文系、羽状縄文系、浮島・興津式、諸磯式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の24.9%あり、当該時期を47号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち主なものを第184図1～23に示した。1～6は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部および底部の破片である。文様は、コンパス文・ループ文・羽状縄文などがみられる。7～15は浮島・興津式とみられ、このうち7は炉の北側床面付近から出土している。22・23は、条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

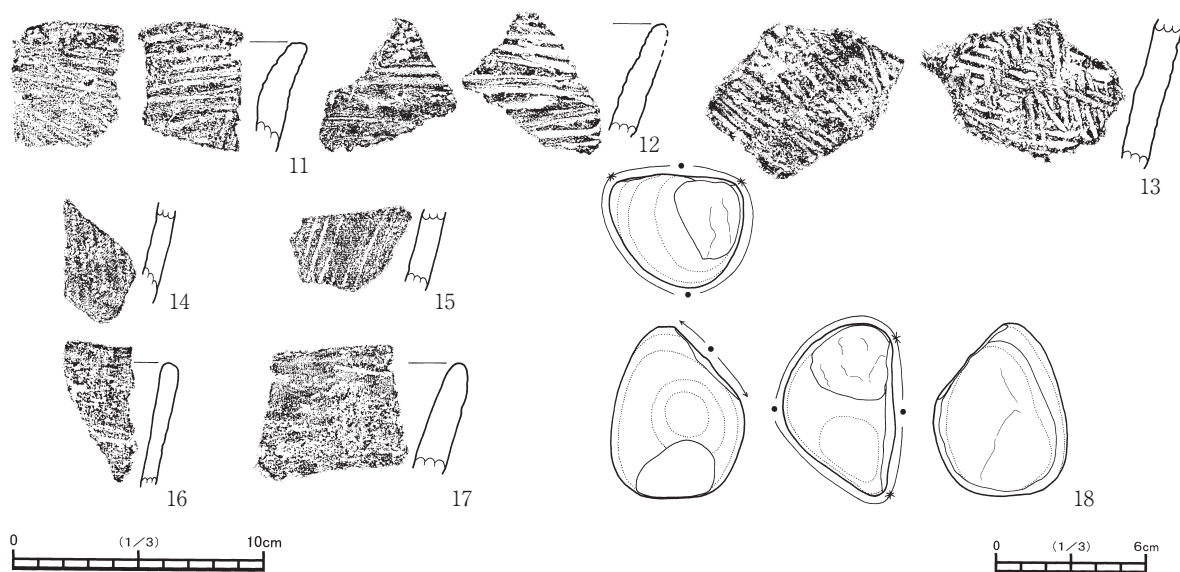
48号住居跡

【検出位置】 セ54区I17-L・P

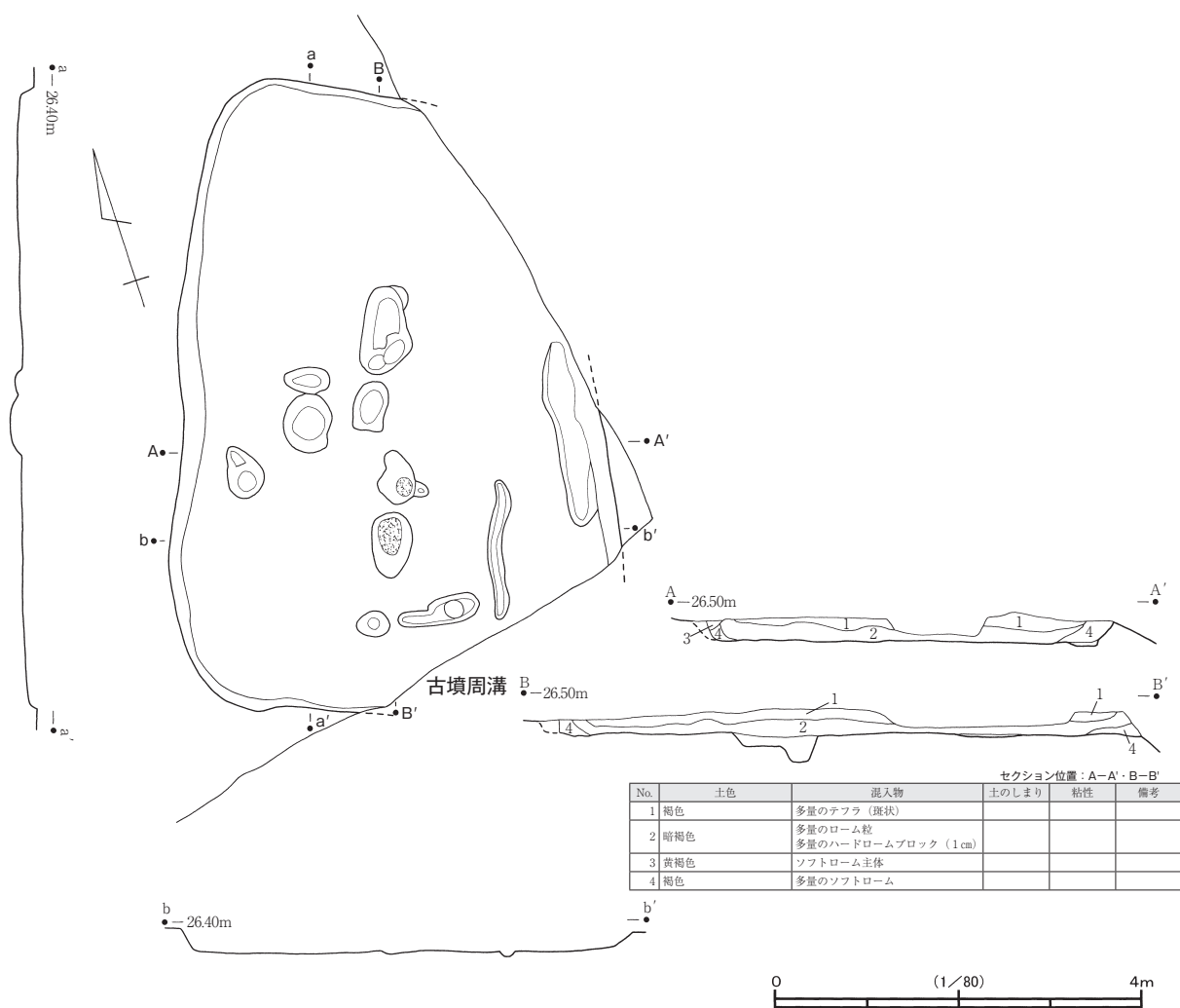
【規模ほか】 長軸3.73m・短軸3.29m・深さ34cm。形状は円形。炉は中央付近に一箇所検出されているが、柱穴はみつからない（第185図）。

【覆土】 暗褐色土・褐色土などを主体とする。

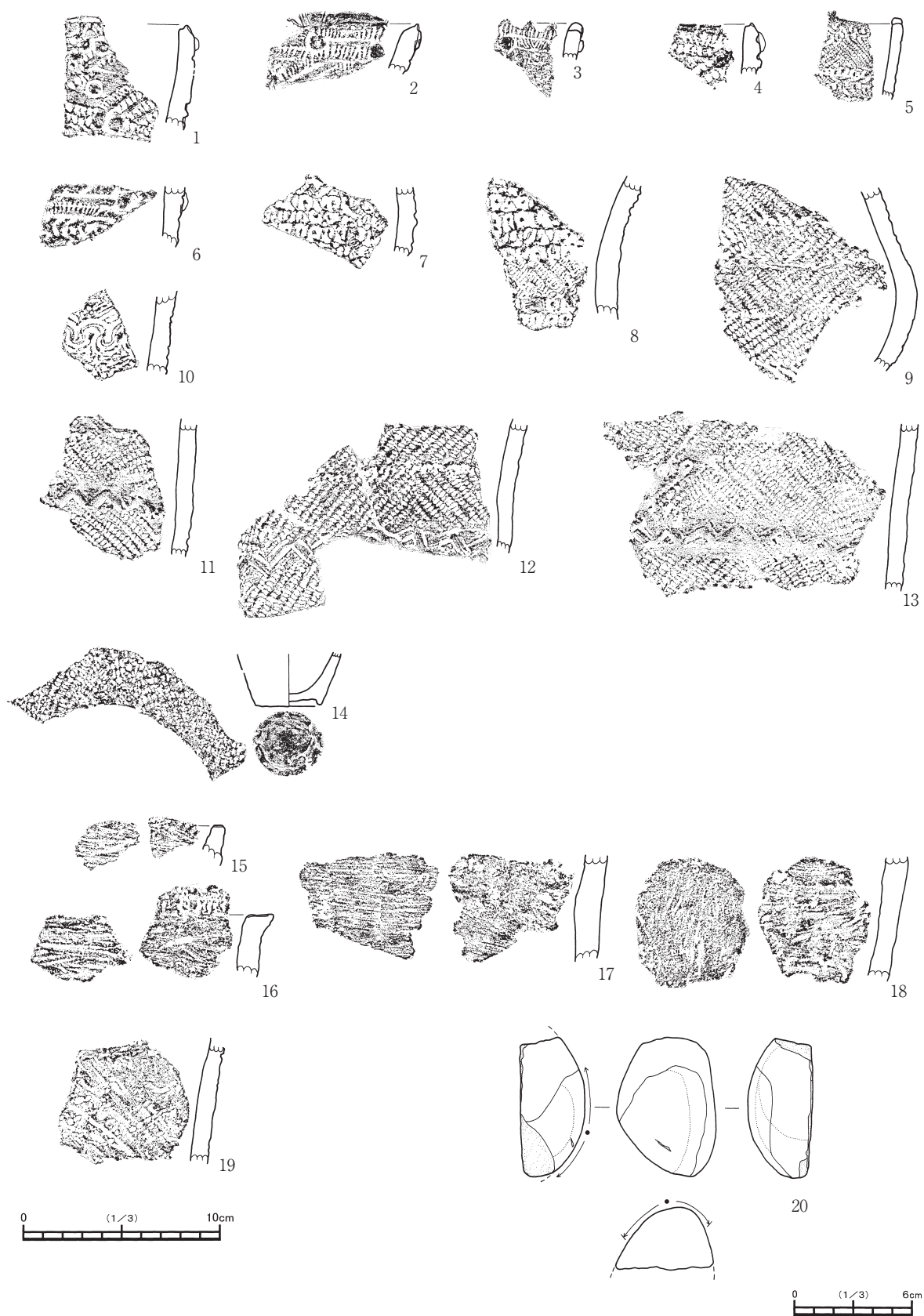
【出土遺物】 60点・2,114gの礫および礫石器が出土している。このうち89.5%に被熱のあとがみられる。石器は、砥石1点、このほか黒曜石などの剥片2点である。土器は、644点・13,437g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は、炉周



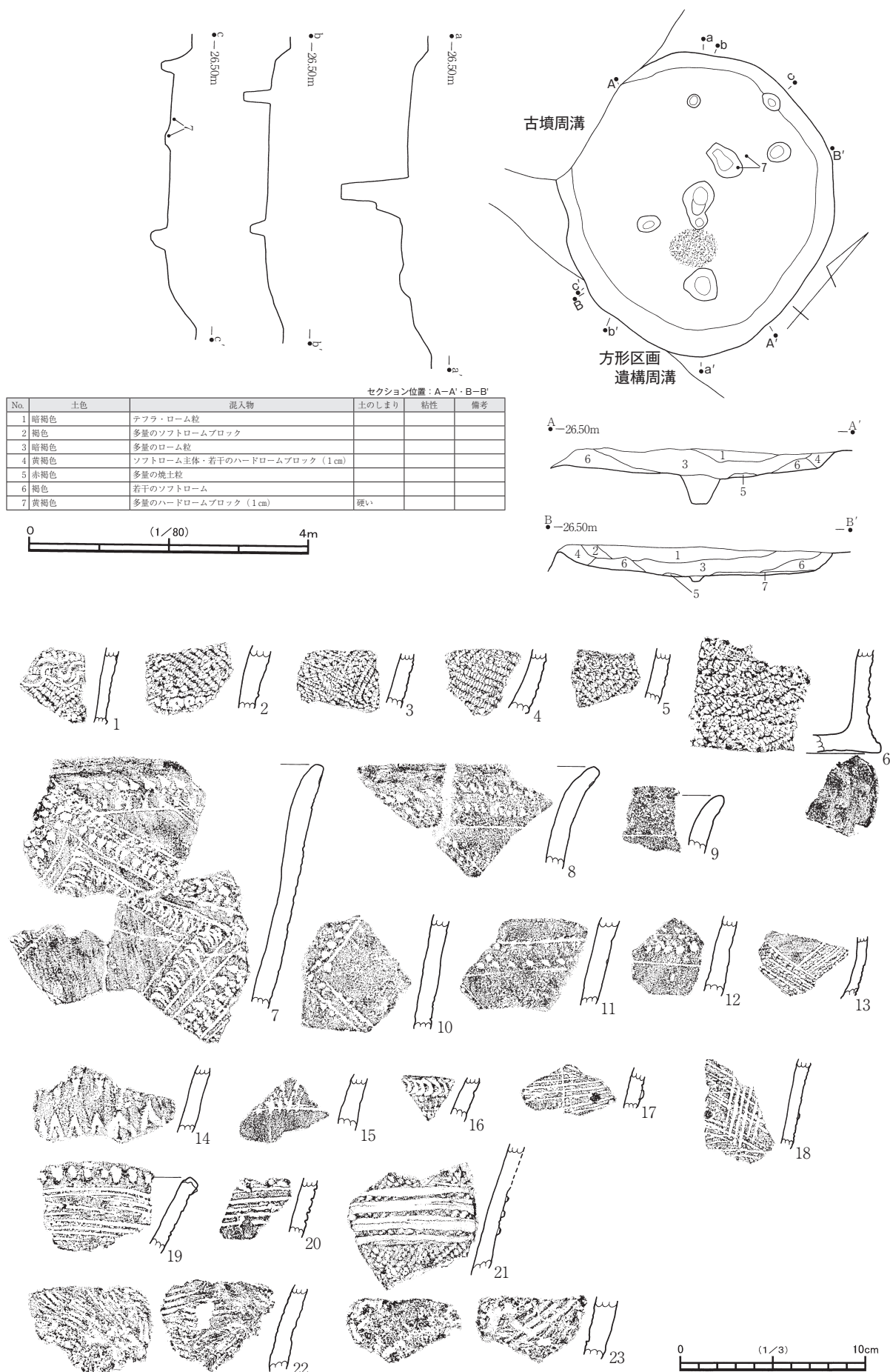
第181図 45号住居跡出土遺物実測図(2)



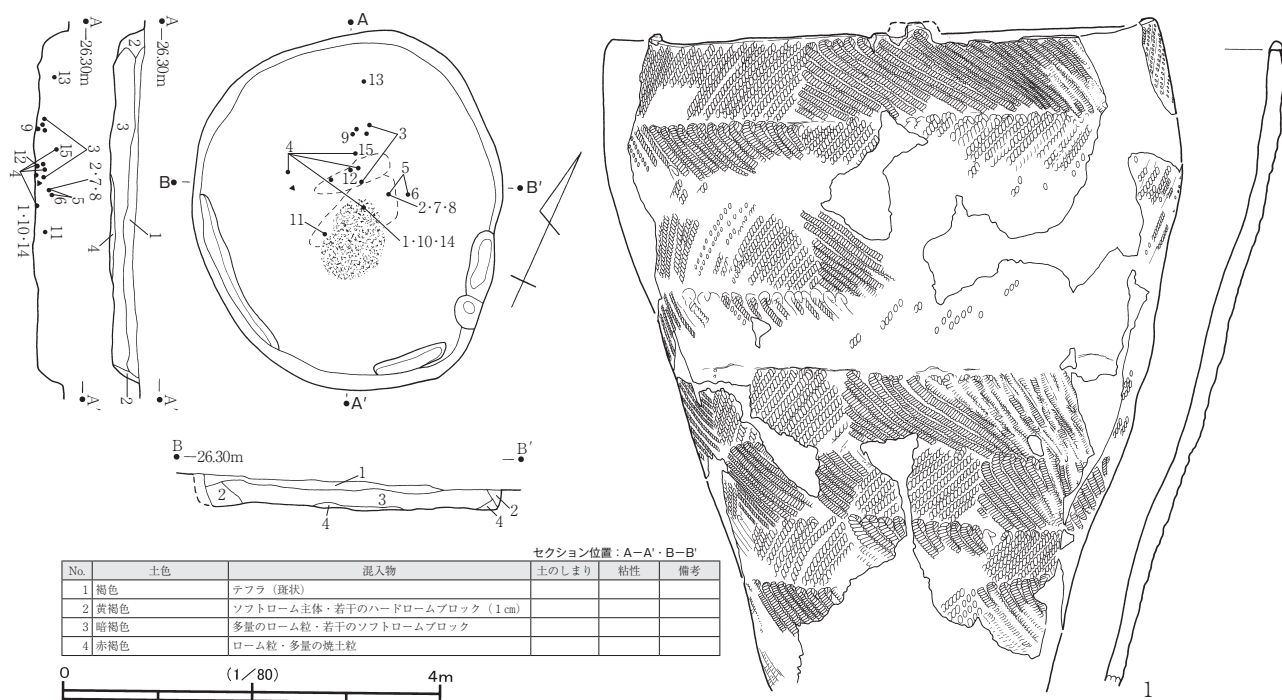
第182図 46号住居跡実測図



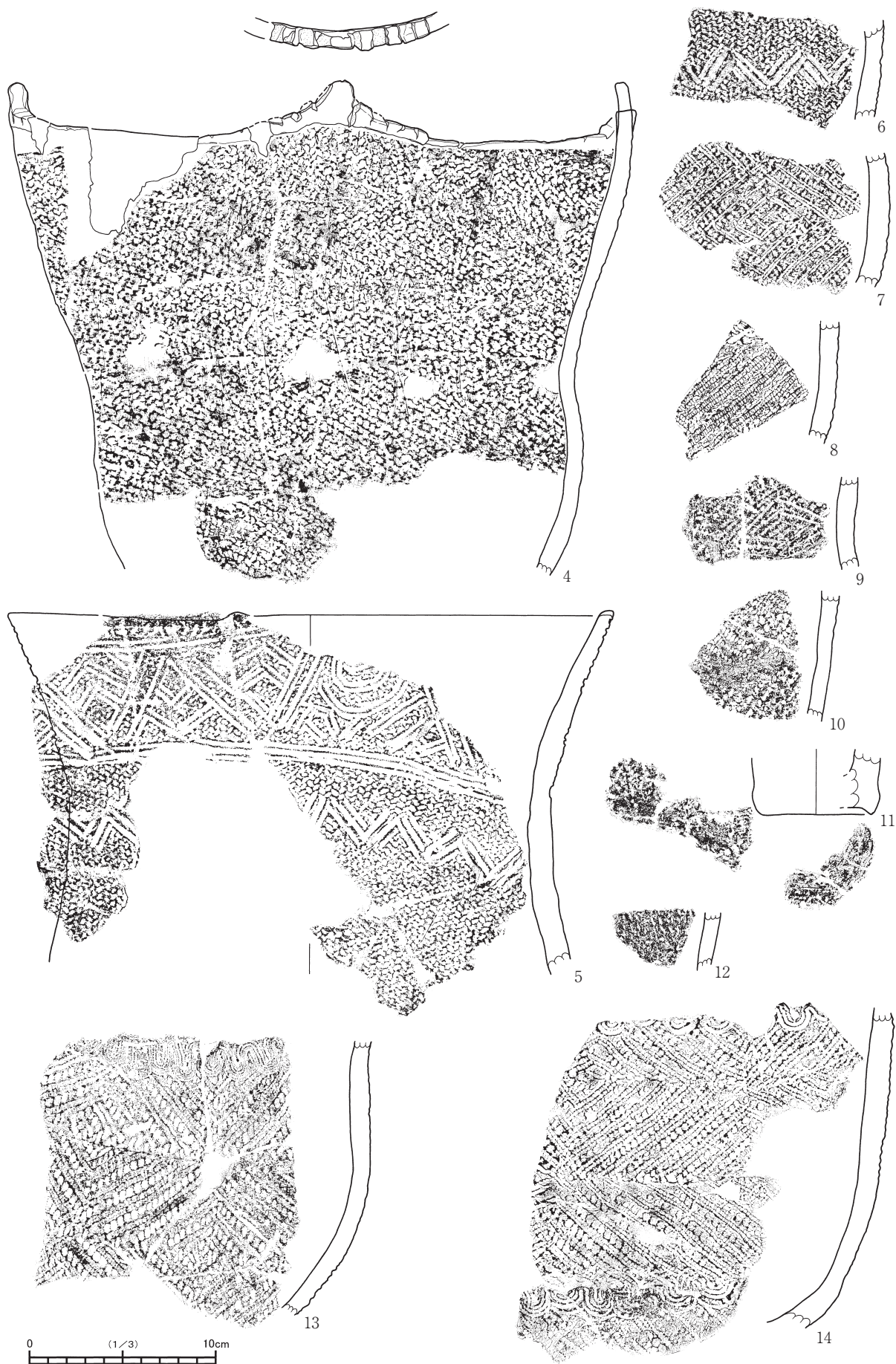
第183図 46号住居跡出土遺物実測図



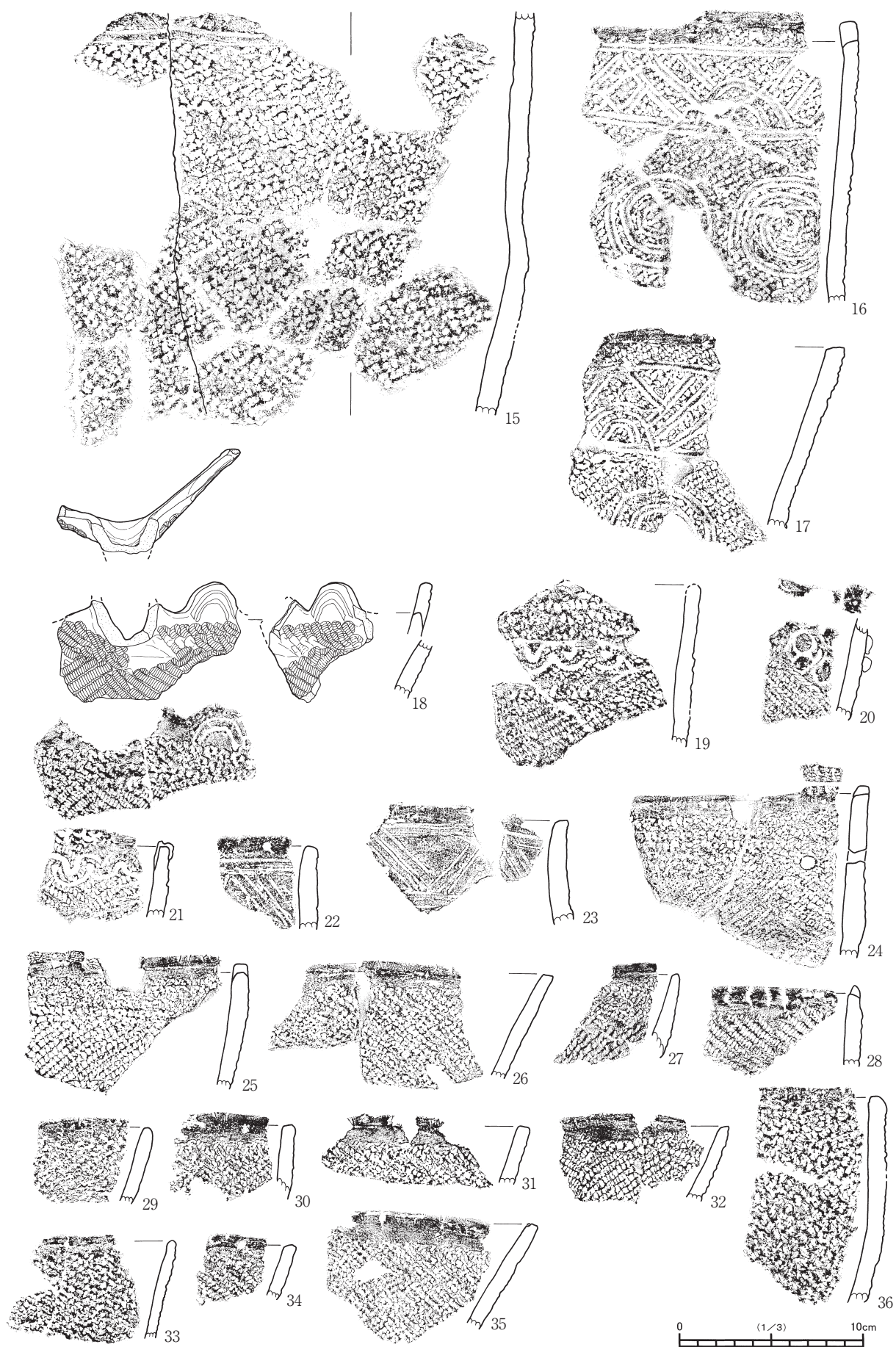
第184図 47号住居跡実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



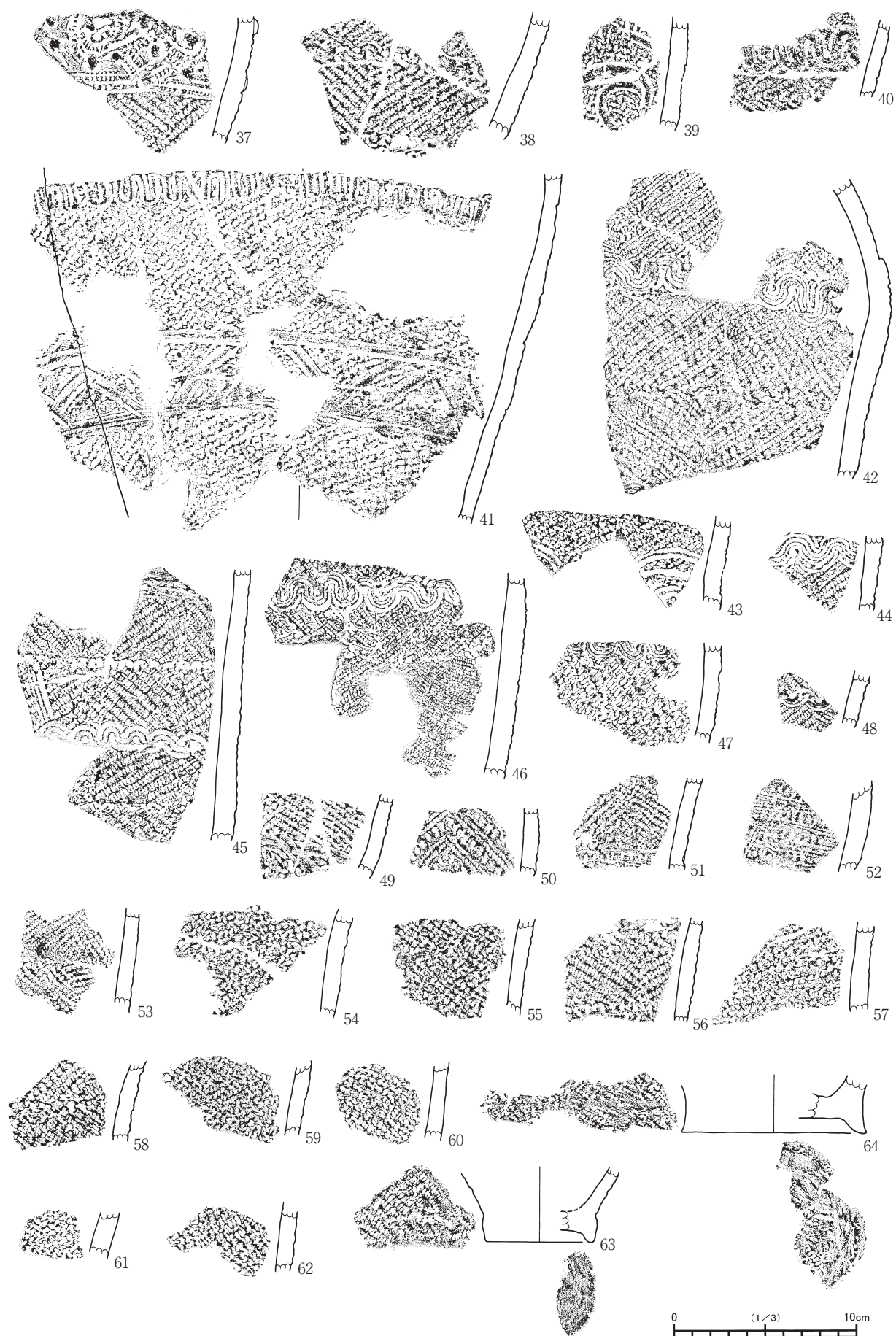
第185図 48号住居跡実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第186图 48号住居跡出土遺物実測図(2)



第187図 48号住居跡出土遺物実測図(3)



第188図 48号住居跡出土遺物実測図(4)

辺床面付近およびこれよりやや浮いた位置から出土している。土器のうちわけは、撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の96.0%あり、当該時期を48号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第185図1～3・第186図4～14・第187図15に、覆土一括扱いのものを第187図16～36・第188図37～64・第189図65～67に示した。1は、推定口径283mm・現存器高357mmを測る胴部のやや屈曲する深鉢形土器である。口唇部に山形の貼付文がみられ、以下にループ文・羽状縄文がめぐる。3は、口径129mm・器高88mm・推定底径92mmを測る鉢形土器で、口縁部は一部山形となる。底面に網代痕状のものがみられる。4は、口径322mm・現存器高262mmを測る波状口縁のキャリパー形深鉢土器である。波頂部は連続する蒲鉾状の貼付があり、以下の器面には丸組紐がみられる。5は推定口径320mm・現存器高191mmを測る胴部のやや屈曲する平縁の深鉢形土器である。丸組紐を地文とし、この上に平行線による鋸歯状文などを施す。15は、現存器高216mm・胴部最大径190mmを測る胴部があまり屈曲しない深鉢形土器である。丸組紐を地文とし、上部に浅い平行線文がめぐる。18は、片口の深鉢形土器である。41は、現存器高189mm・胴部最大径280mmを測る深鉢形土器である。上部にコンパス文、下部に平行線による鋸歯状文がみられる。丸組紐を地文とする。65・66は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。67は、撚糸文系（無文）土器の口縁部破片である。ミガキ整形時に胎土中砂粒が移動したことによる横位の擦痕文が顕著に認められる。第189図68は、両雲母片岩製の砥石である。

49号住居跡

【検出位置】 セ54区I17-P、I18-M、J17-D、J18-A

【規模ほか】 長軸4.72m・短軸3.18m・深さ34cm。形状は隅丸長方形。主軸方向34°。炉は中央南側に一箇所みられる。柱穴は不明確である（第190図）。

【覆土】 暗褐色土・黄褐色土などを主体とする。多量のローム粒・ロームブロックを含む層がある。

【出土遺物】 125点・4,490gの礫および礫石器が出土している。このうち91.7%に被熱のあとがみられる。石器は、石皿2点が出土している。このほか珪質頁岩・頁岩の剥片2点がある。土器は、263点・3,892g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系・諸磯式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の63.6%あり、当該時期を49号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第191図1～34に示した。1～22は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁および胴部破片である。文様は、コンパス文・円形貼付文・梯子状文・ループ文・羽状縄文・付加条文・丸組紐などがみられる。23～25は撚糸文系深鉢形土器である。30～33は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。34は諸磯式とみられる。第191図35・36は、輝石安山岩製石皿の破片である。

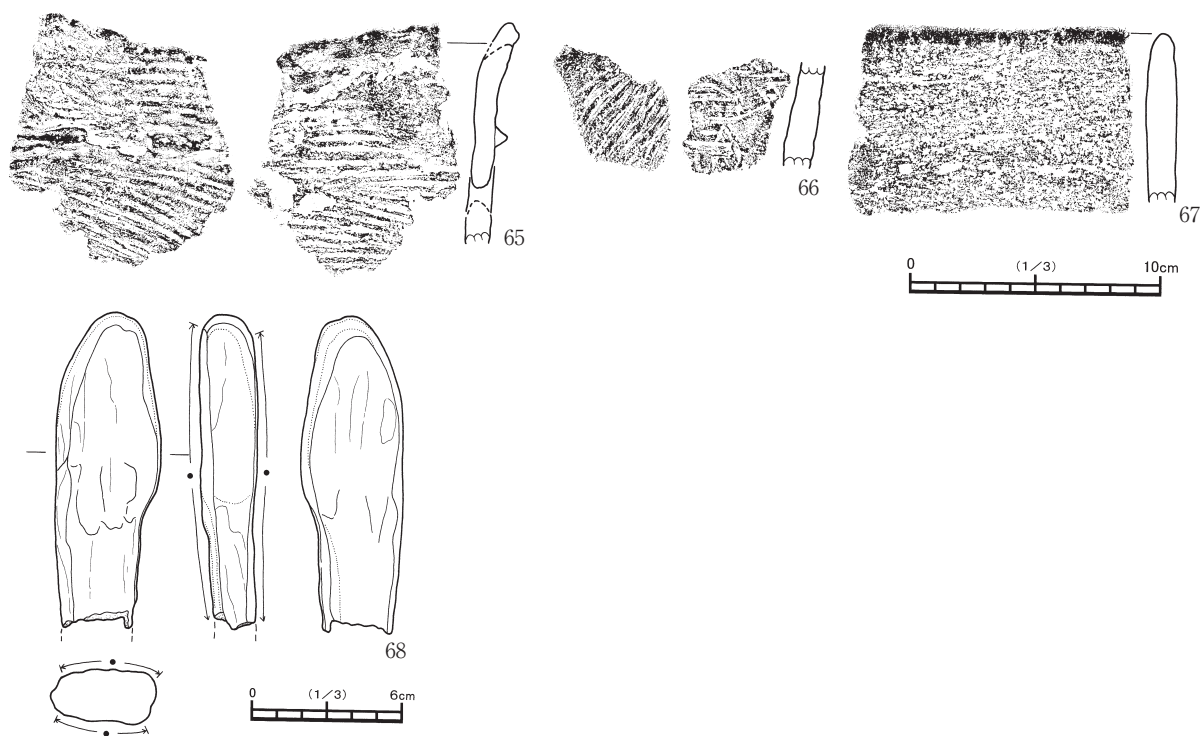
50号住居跡

【検出位置】 セ54区J18-F・G

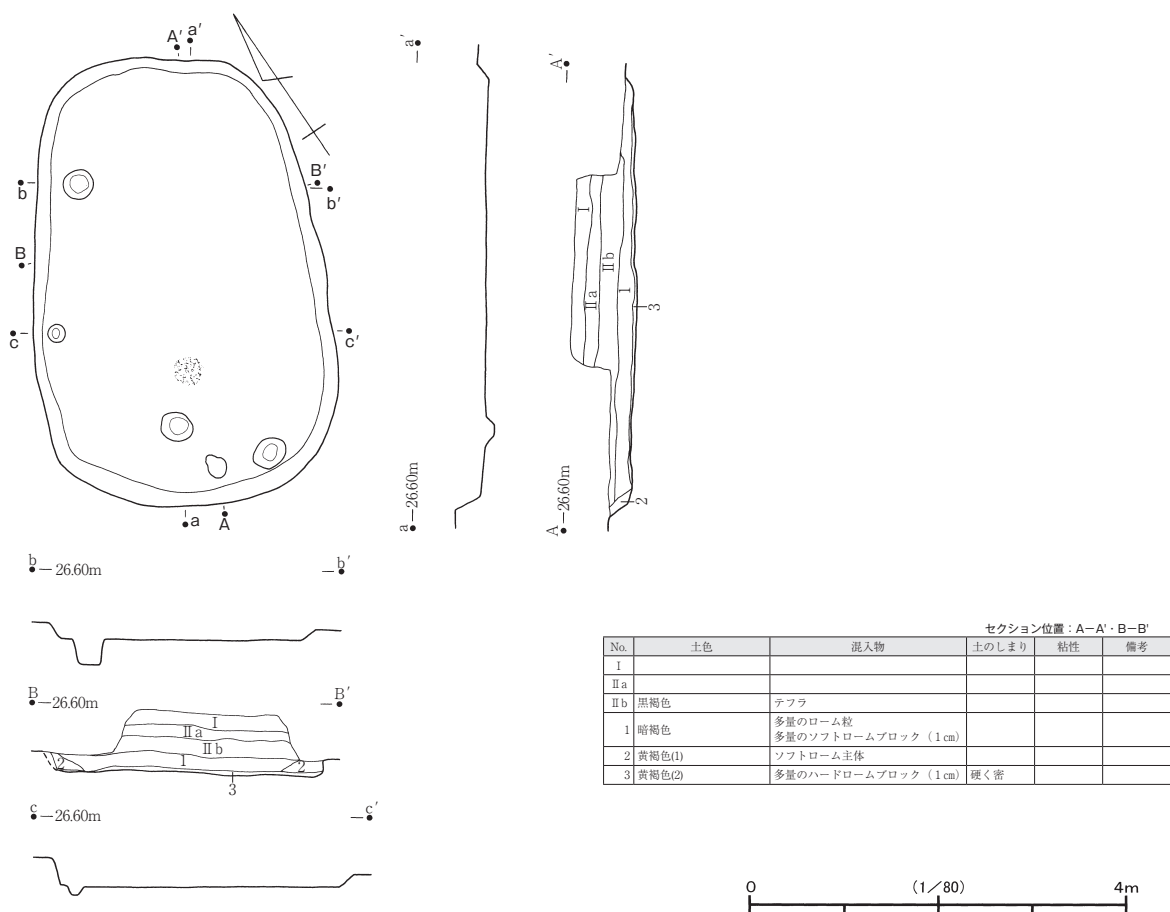
【規模ほか】 長軸4.22m・短軸1.96m・深さ21cm。形状は不明。炉や明確な柱穴の検出はない。

【重複関係】 古墳周溝と重複するため、南側部分が大きく欠失する（第192図）。

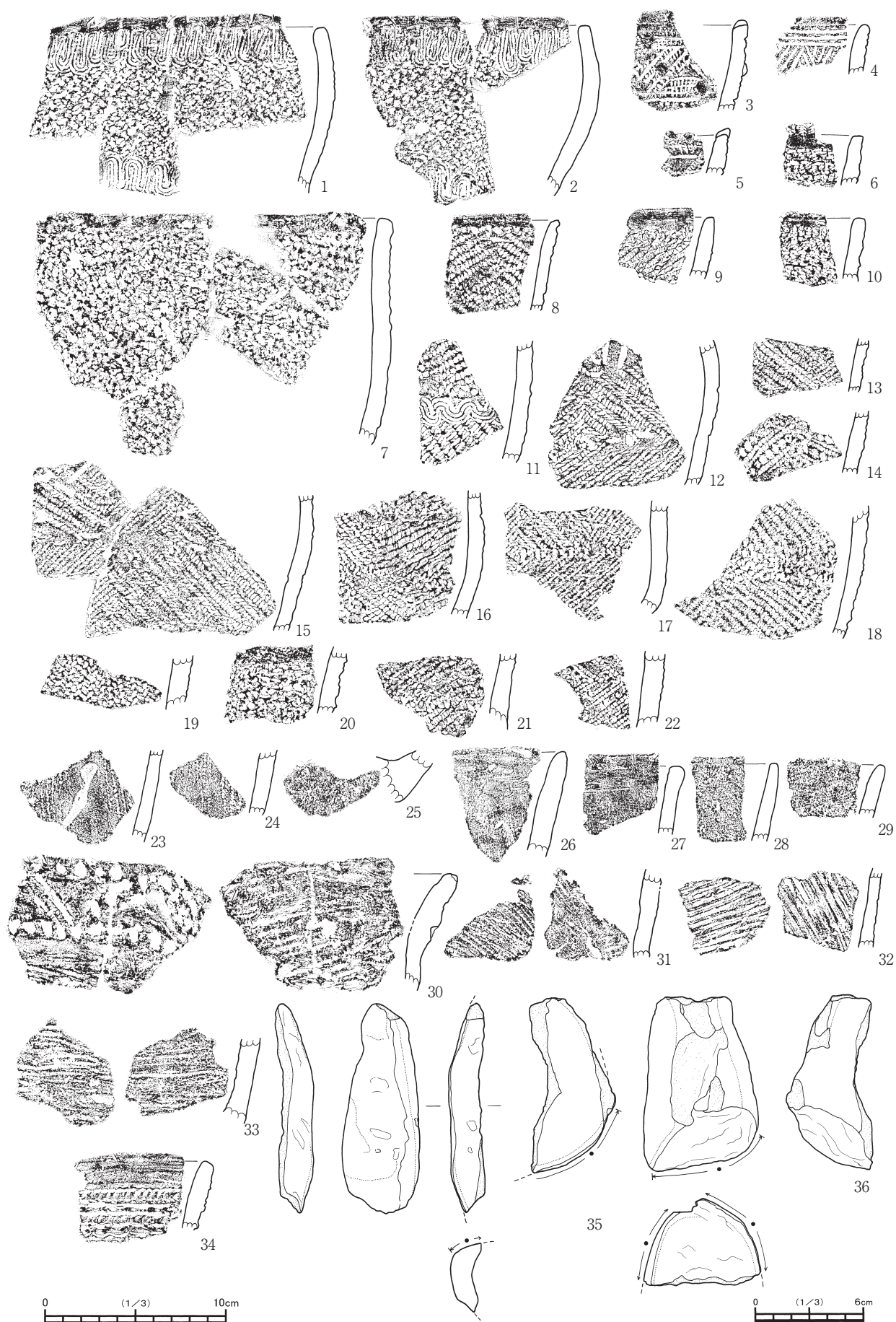
【出土遺物】 礫および礫石器、石器および剥片類の出土はない。土器は、25点・505g出土してい



第189図 48号住居跡出土遺物実測図(5)



第190図 49号住居跡実測図



第191図 49号住居跡出土遺物実測図

る。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器であるので、当該時期を50号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第192図1～8に示した。1～3は関山式深鉢形土器の胴部破片である。4・5は撚糸文系土器である。6～8は撚糸文系（無文）土器の口縁部破片である。

51号住居跡

【検出位置】 セ54区I18-G・H・K・L

【規模ほか】 長軸5.35m・短軸3.24m・深さ41cm。形状は長方形。主軸方向 309°。炉は中央部からややずれた位置に二箇所検出されている。柱穴は壁際および炉付近に複数にみられるが、その配列は整然としていない（第193図）。

【覆土】 黒褐色土・褐色土などを主体とする。ローム粒を含む層も多い。

【出土遺物】 162点・5,125 gの礫および礫石器が出土している。このうち94.8%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、石鏃1点・敲石1点、このほか黒曜石・チャートなどの剥片10点がある。土器は、265点・3,241 g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式の土器で全体のおよそ62.1%あり、当該時期を51号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第194図1～48に示した。1～11は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、12～29は胴部、30～32は底部の破片である。文様は、梯子状文・平行線文・コンパス文・ループ文・羽状縄文などがみられる。33～38は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。39は撚糸文系（無文）土器の口縁部破片である。横位の擦痕文がみられる。40～48は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。第194図49は、最大長15.1mmを測る黒曜石製の石鏃である。50は、最大長89mmを測る輝石安山岩製の凹石である。

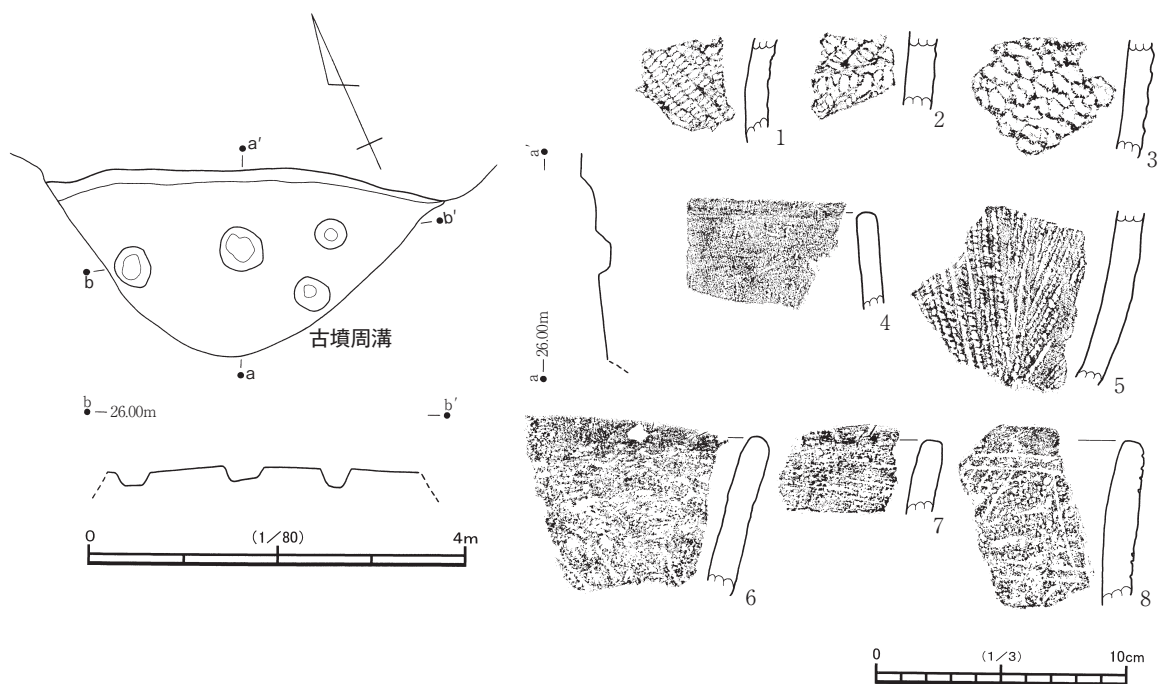
52号住居跡

【検出位置】 セ28区G19-14、H19-01・02・05・06

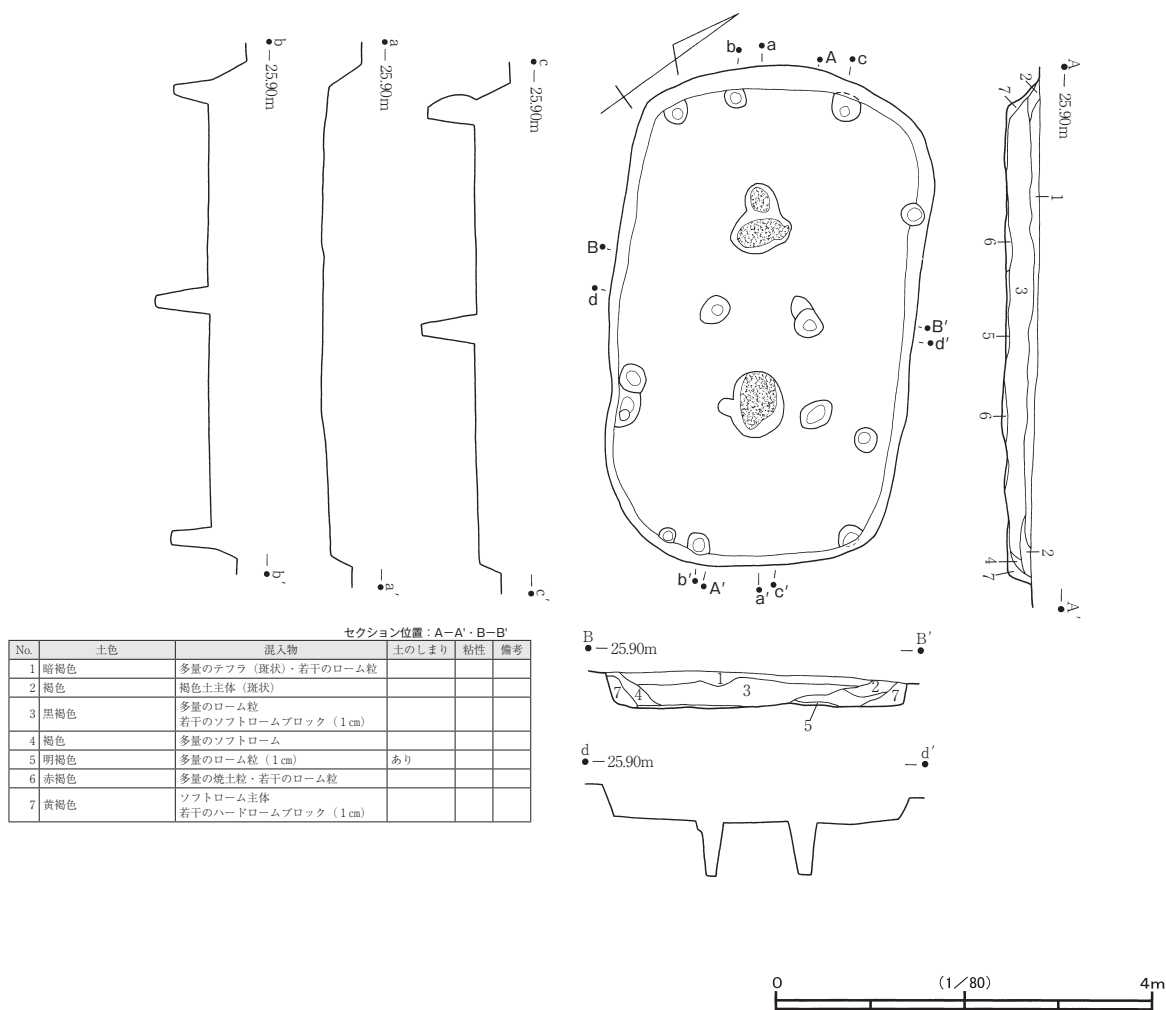
【規模ほか】 長軸8.90m・短軸5.32m・深さ58cm。形状は長台形。主軸方向 44°。炉は中央部よりやや南側に一箇所、そしてその東西にも二箇所の焼土面をみる。柱穴は、壁際および炉周囲に小型のものが多数並ぶ（第195図）。

【覆土】 暗褐色土・暗黒褐色土などを主体とする。ローム粒を含む層が多い。

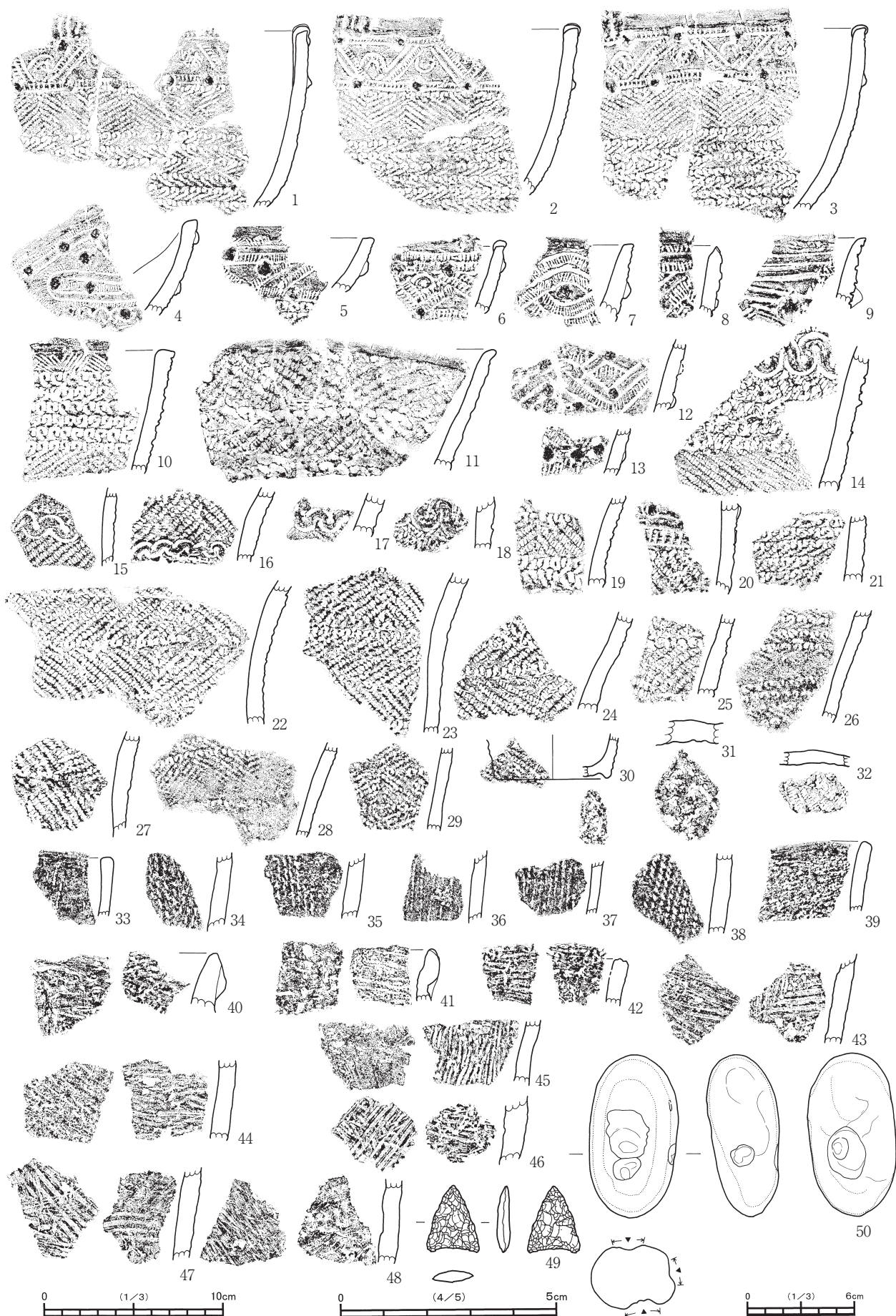
【出土遺物】 64点・4,400 gの礫および礫石器が出土している。このうち45.6%に被熱のあとがみられる。石器は、7点出土している。うちわけは、石核2点、砥石2点、磨石・敲石3点、このほかチャートの剥片1点がある。土器は、2,036点・30,050 g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、覆土一括扱いの両方がある。遺物は、壁際を除く遺構全面に分布し、床面上から覆土上面に至るまで幅広く出土している（第196図）。土器のうちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系・加曽利E式・称名寺式・堀之内式・加曽利B式・曾谷式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の92.8%あり、当該時期を52号住居の帰属時期とみる。



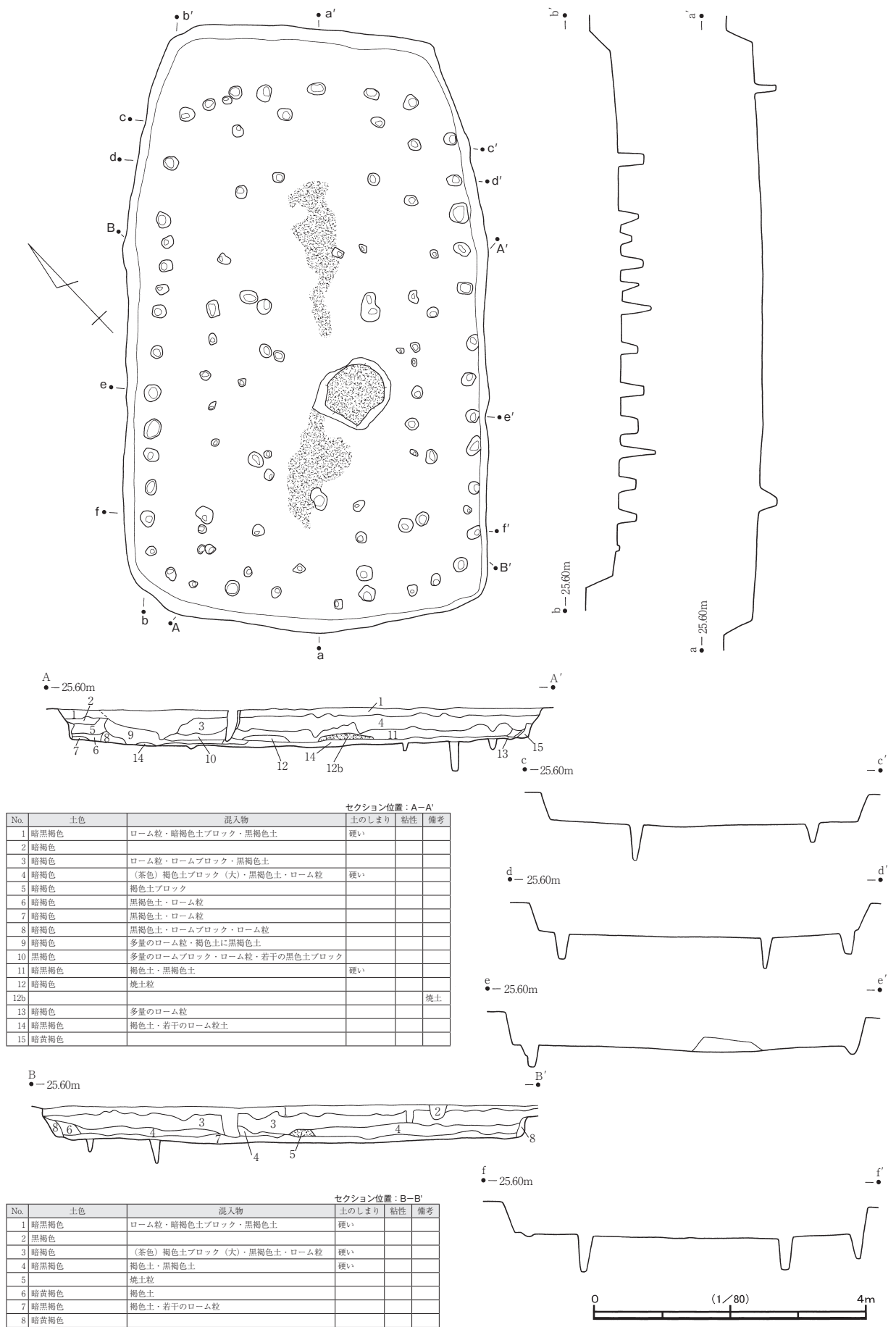
第192図 50号住居跡実測図および出土遺物実測図



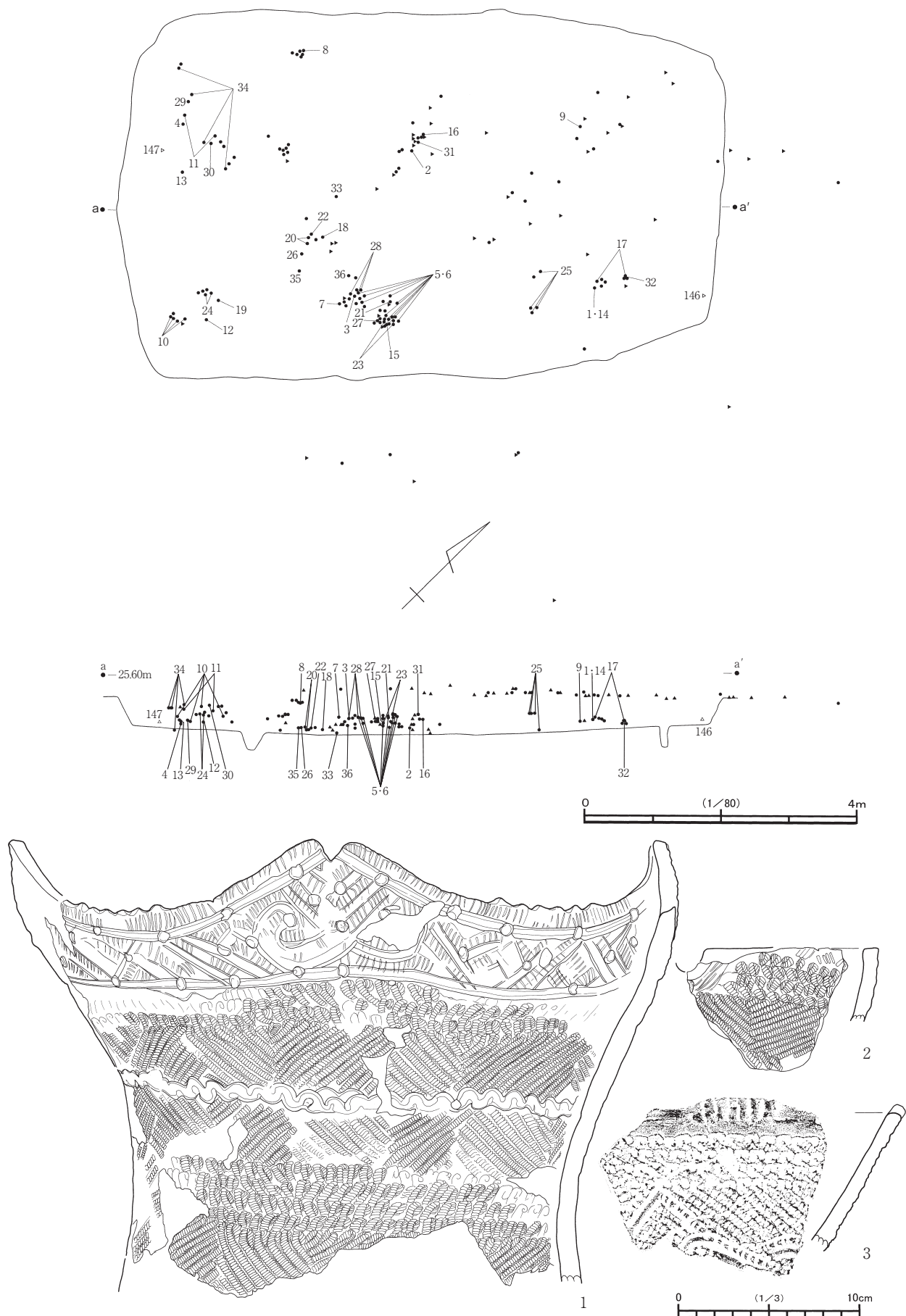
第193図 51号住居跡実測図



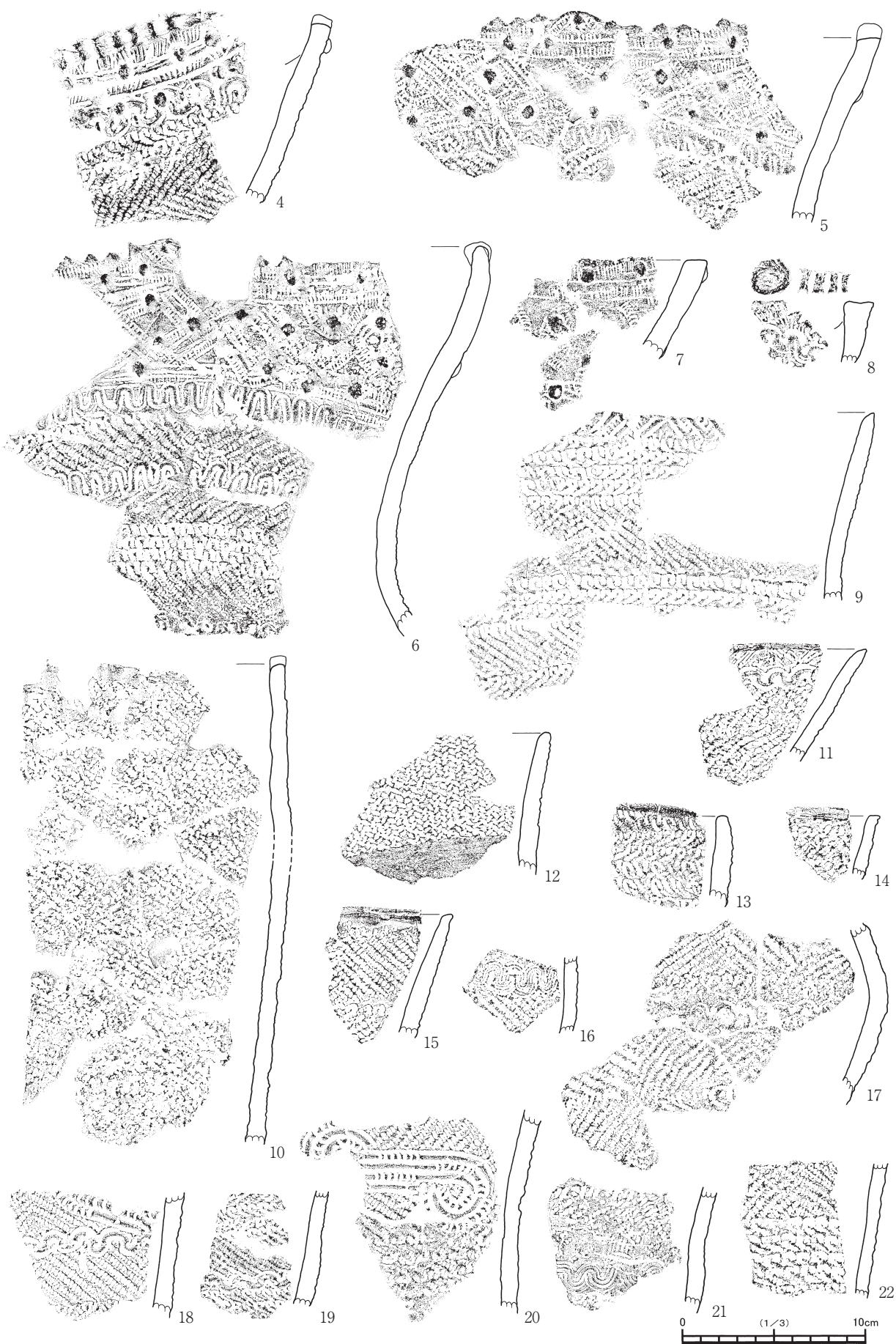
第194図 51号住居跡出土遺物実測図



第195図 52号住居跡実測図



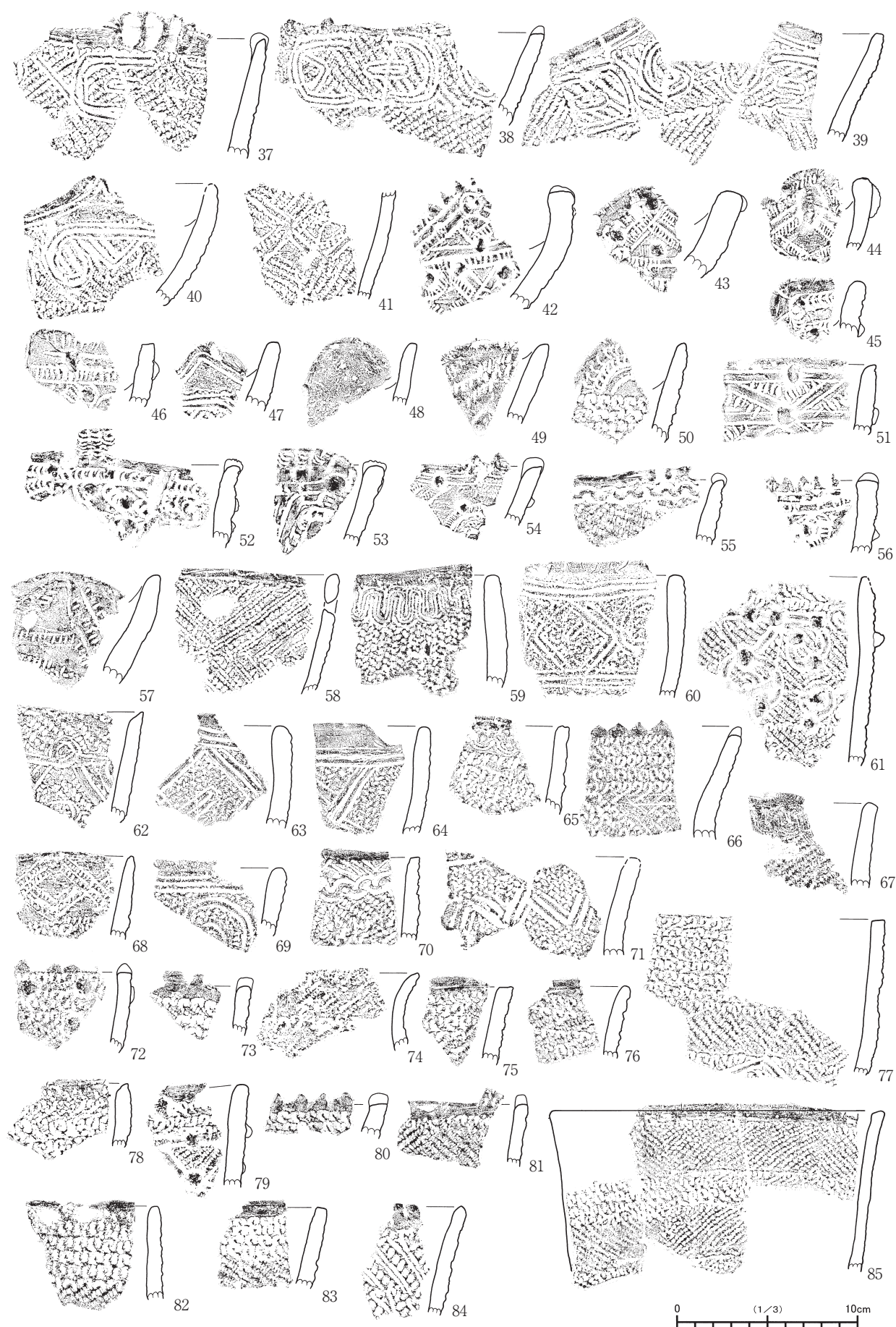
第196図 52号住居跡遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



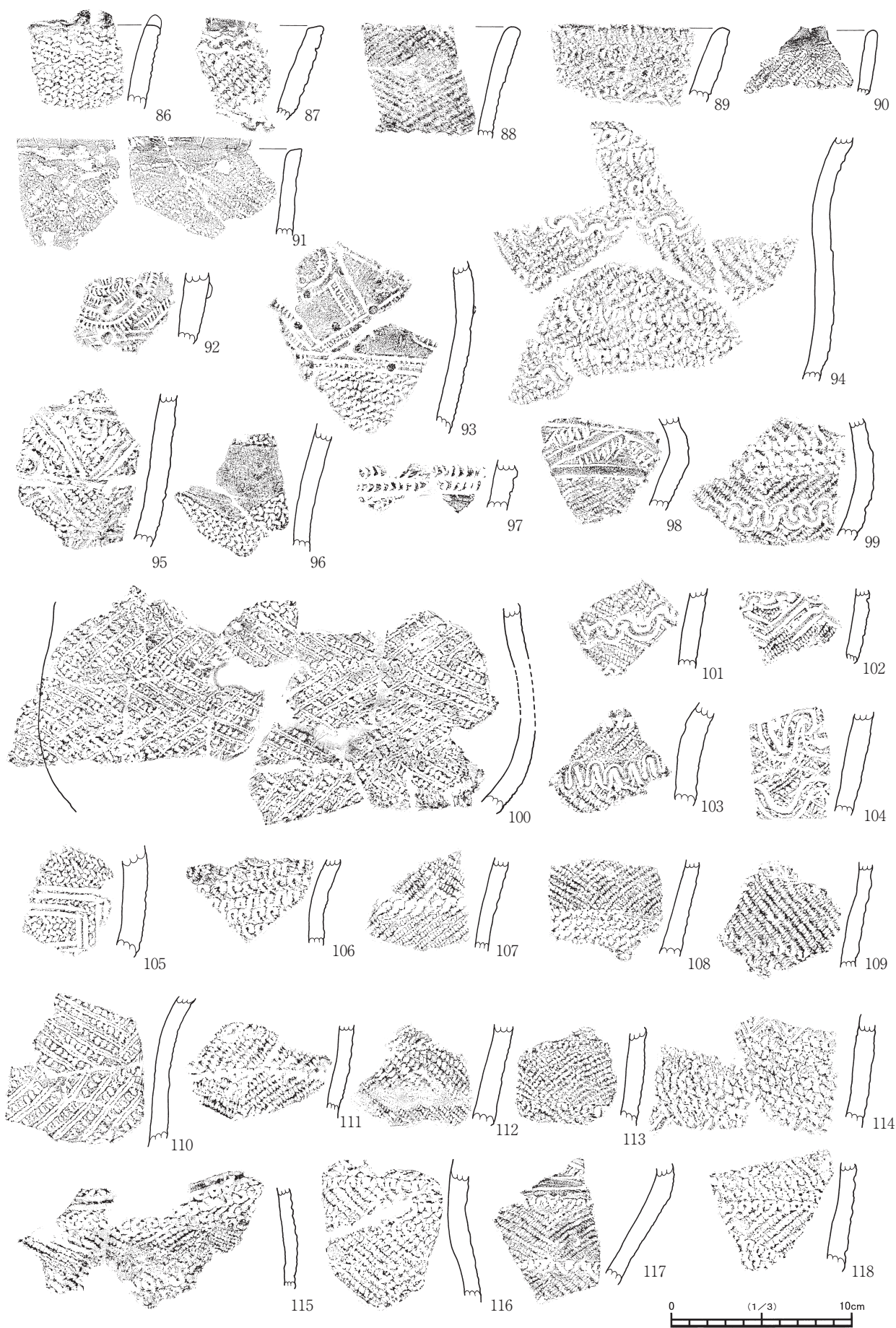
第197图 52号住居跡出土遺物実測図(2)



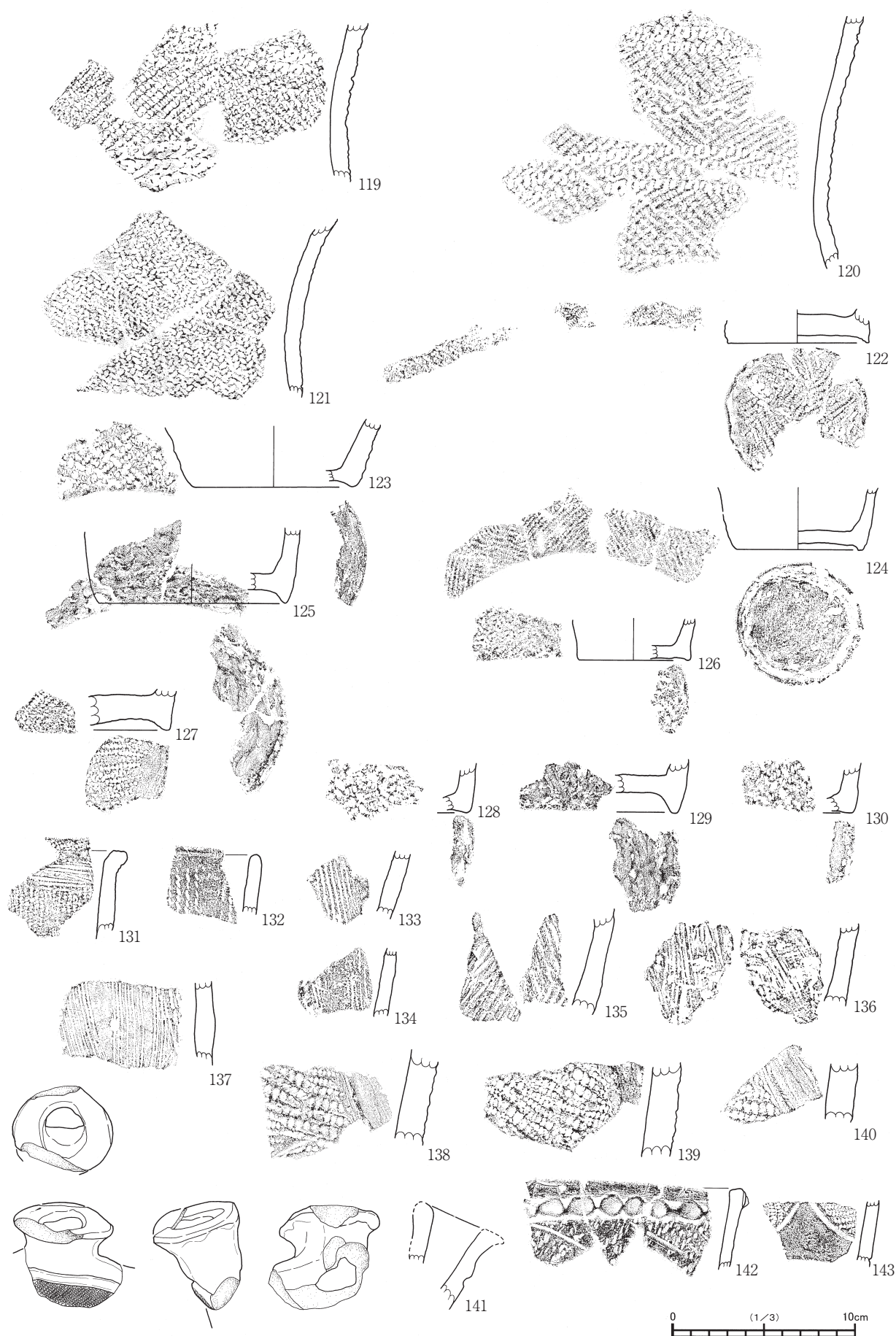
第198图 52号住居跡出土遺物実測図(3)



第199图 52号住居跡出土遺物実測図(4)



第200图 52号住居跡出土遺物実測図(5)



第201図 52号住居跡出土遺物実測図(6)



第202図 52号住居跡出土遺物実測図(7)

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第196図1～3・第197図4～22・第198図23～36に、覆土一括扱いのものを第199図37～85・第200図86～118・第201図119～143に示した。1～15・37～91は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、16～34・92～121は胴部、35・36・122～130は底部の破片である。1は、口径350mm・現存器高251mmを測る波状口縁のキャリパー形深鉢土器である。口唇部に縦位のキザミを付し、口縁部文様帯には梯子状文と円形貼付文、以下にはループ文・羽状縄文・コンパス文が交互に施される。2は、片口の深鉢形土器である。23は、現存器高92mm・胴部最大径260mmを測る深鉢形土器。35は推定底径78mmを測る土器の底部、36は推定底径76mmを測る上げ底の底部である。85は、推定口径180mm・現存器高87mmを測る平縁の深鉢形土器である。100は、現存器高

115mm・胴部最大径272mmを測る胴部の張った深鉢形土器である。文様は付加条。122は推定底径74mmを測る底部で、底面にも縄文の施文がある。124は推定底径69mmを測る底部でやや上げ底である。131～134は撚糸文系土器、135・136は条痕文系土器、138～140は加曽利E式、141は称名寺式、142は加曽利B式の紐線文をもつ粗製深鉢形土器、143は曾谷式土器の破片である。

出土石器のうち主なものを、第202図144～149に示した。144は最大長88mmを測る頁岩製の石核である。146は凝灰岩製の砥石である。147・148・149は砂粒花崗岩・デイサイト製の磨石・敲石である。

53号住居跡

【検出位置】 セ54区G19-G・H・K・L、G20-E・I

【規模ほか】 長軸7.97m・短軸4.90m・深さ35cm。形状は長方形。主軸方向296°。炉は中央部よりやや西側・東側の位置に二箇所みられる。柱穴は壁際および炉周辺に複数みられるが、その配列はあまり整然としていない（第203図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。多量のローム粒・ロームブロックを含む層がある。

【出土遺物】 44点・2,371gの礫および礫石器が出土している。このうち88.3%に被熱のあとがみられる。石器としては、チャート・緑泥片岩などの剥片2点がある。土器は、554点・6,363g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、覆土一括扱いの両方がある。ややまとまって遺物がみつかったのは、西側壁際の床面近くである。

土器のうちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の98.0%あり、当該時期を53号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第203図1・第204図2～14に、一括扱いのものを第204図15～42に示した。1・15～20は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、2～13・21～42は胴部の破片である。1は、推定口径287mm・現存器高295mmを測る平縁の瓢状の深鉢形土器である。口唇部に山形の貼付文があり、以下に円形貼付文・ループ文・羽状縄文・コンパス文がみられる。2は、現存器高67mm・胴部最大径278mmを測る深鉢形土器の胴部破片である。

54号住居跡

【検出位置】 セ54区G21-J

【規模ほか】 長軸3.46m・短軸3.07m・深さ30cm。形状は円形。中心部に炉が一箇所あるが、柱穴の検出はない（第205図）。

【覆土】 黒褐色土・黄褐色土などを主体とする。若干のローム粒を含む層が多い。

【出土遺物】 7点・378gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器・剥片類・土器の出土はない。

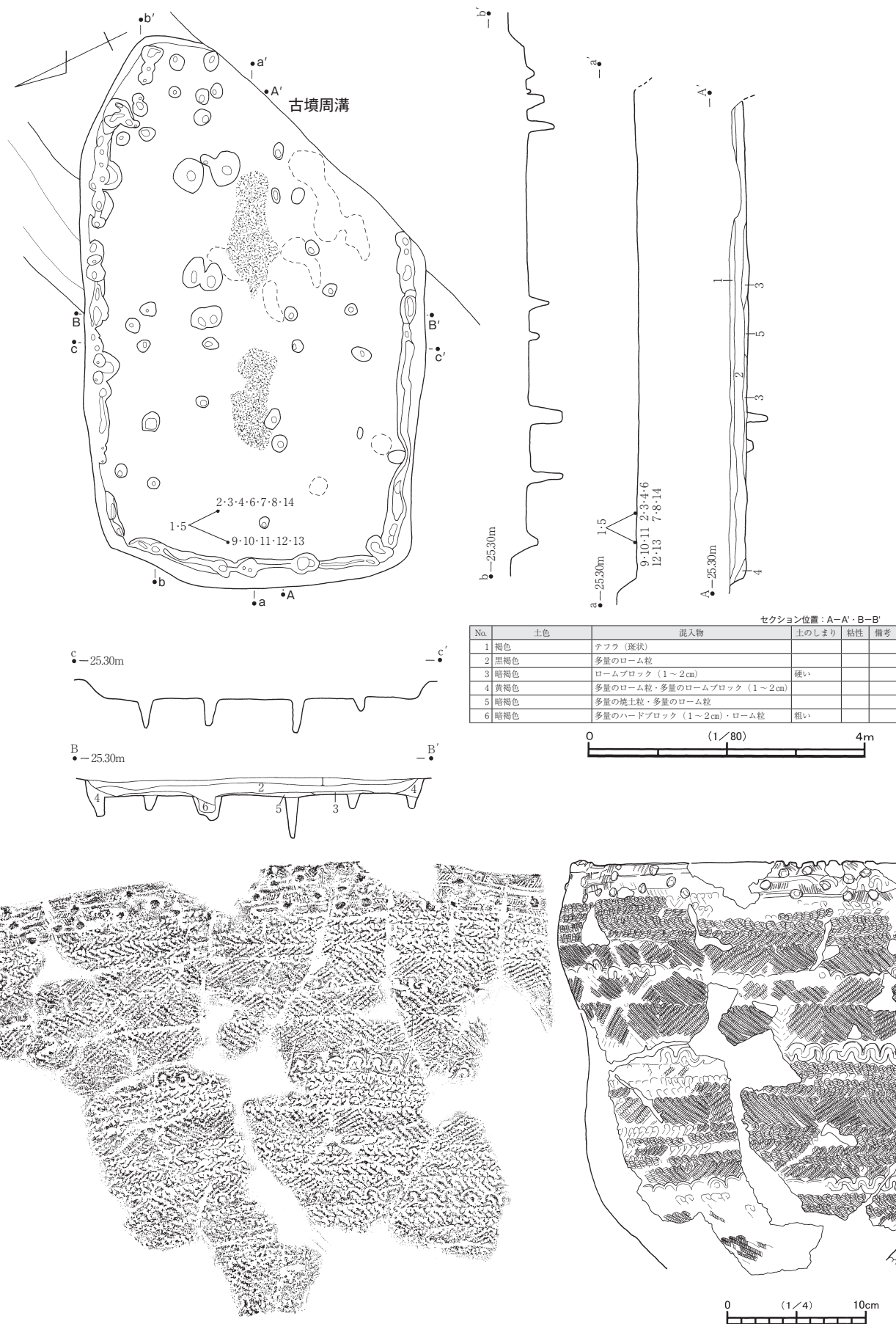
55号住居跡

【検出位置】 セ54区H20-I・J・M・N

【規模ほか】 長軸5.48m・短軸4.23m・深さ32cm。形状は楕円形。炉および柱穴は検出されていない（第206図）。

【覆土】 黒褐色土を主体とする。多量のローム粒・ロームブロックを含む層がある。

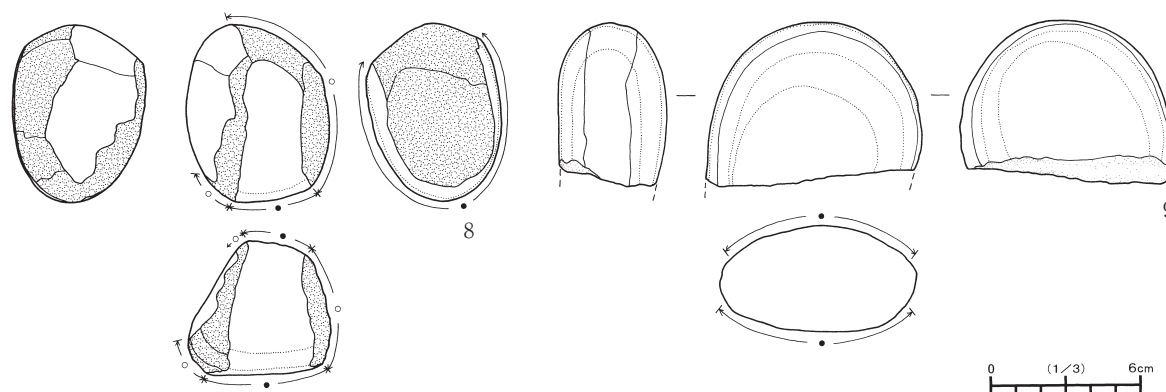
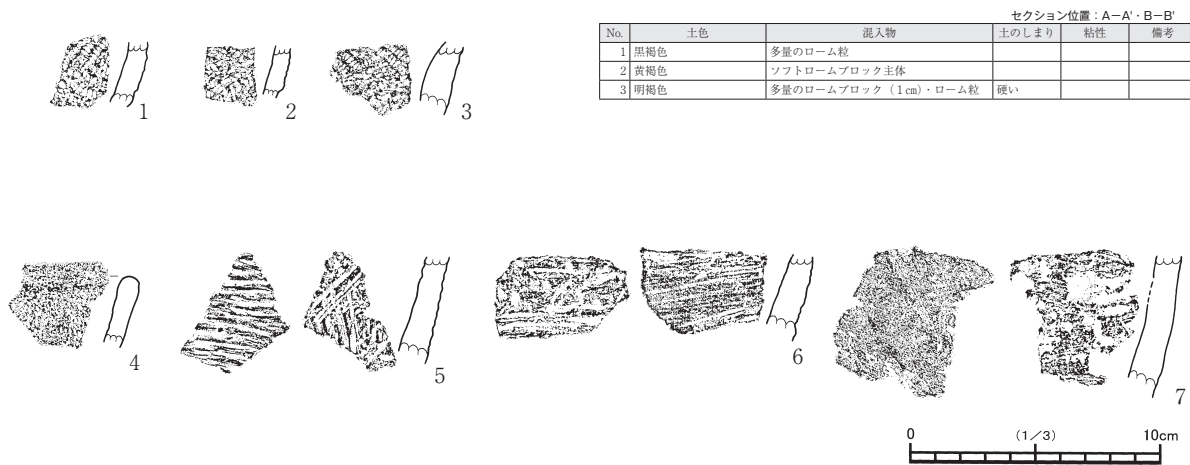
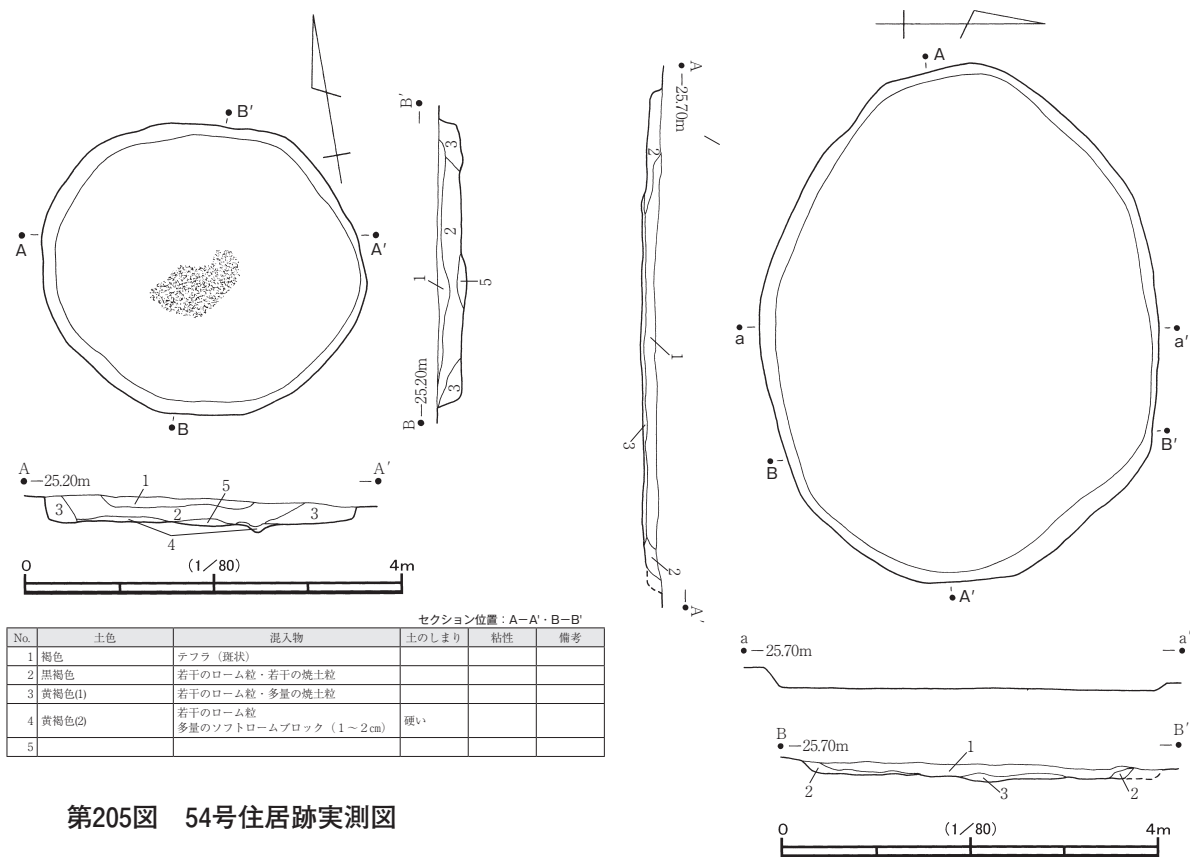
【出土遺物】 15点・1,231gの礫および礫石器が出土している。このうち50.2%に被熱のあとがみら



第203図 53号住居跡実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第204图 53号住居跡出土遺物実測図(2)



れる。石器は、2点出土している。うちわけは、磨石・敲石1点、磨石1点である。土器は、17点・258g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。出土遺物量が少なく、時期も混在しているため判然としないが、周辺遺構の時期等を鑑みて羽状縄文系・関山式を55号住居の帰属時期とみたい。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第206図1～7に示した。1～3は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の破片である。4は撚糸文系深鉢形土器の口縁部、5～7は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。第206図8は砂岩製の磨石・敲石、9は流紋岩質凝灰岩製の磨石である。

56号住居跡

【検出位置】 セ54区I20-N・O、J20-B・C

【規模ほか】 長軸7.88m・短軸5.16m・深さ24cm。形状は長台形。主軸方向 341°。炉は中央西側より二箇所認められたが、しっかりとした柱穴は検出されていない（第207図）。

【出土遺物】 5点・266gの礫および礫石器が出土している。このうち51.5%に被熱のあとがみられる。石器は、敲石1点が出土している。土器は、2点・53g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）である。出土遺物量がごくわずかなため、帰属時期は特定できない。

【遺物説明】 第207図1は撚糸文系深鉢形土器の口縁部破片である。2は最大長52mmを測る花崗閃緑岩製の敲石である。

57号住居跡

【検出位置】 セ54区J17-L、J18-E・I

【規模ほか】 長軸4.97m・短軸3.96m・深さ35cm。形状は隅丸長方形。主軸方向 252°。炉は中央部西側と東側より二箇所認められたが、明確な柱穴は検出されていない（第208図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。多量のローム粒・ハードロームブロックを含む層が多い。

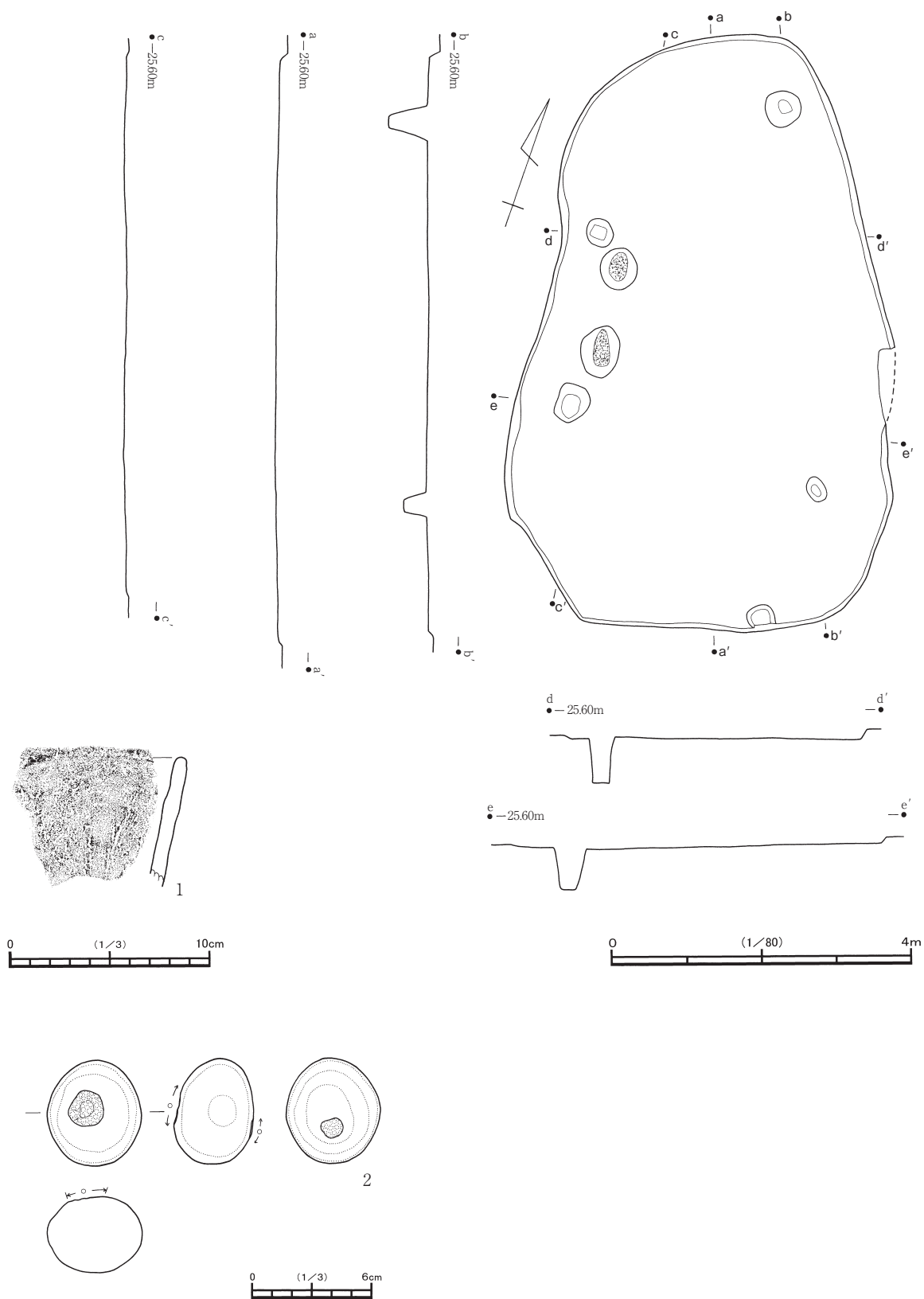
【出土遺物】 6点・205gの礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器の出土はない。土器は、165点・2,663g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、覆土一括扱いの両方がある。うちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の72.0%あり、当該時期を57号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 第209図1は東側の炉脇の床面付近から検出されたもので、口径196mm・器高200mm・底径78mmを測る平縁の深鉢形土器である。これ以外は、覆土一括扱いで取り上げられたものである。2～11は、羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部および胴部の破片である。文様は、円形貼付文・平行線文・コンパス文・ループ文・羽状縄文などがみられる。12～17は撚糸文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片、18～20は撚糸文系（無文）土器の口縁部破片、21～28は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

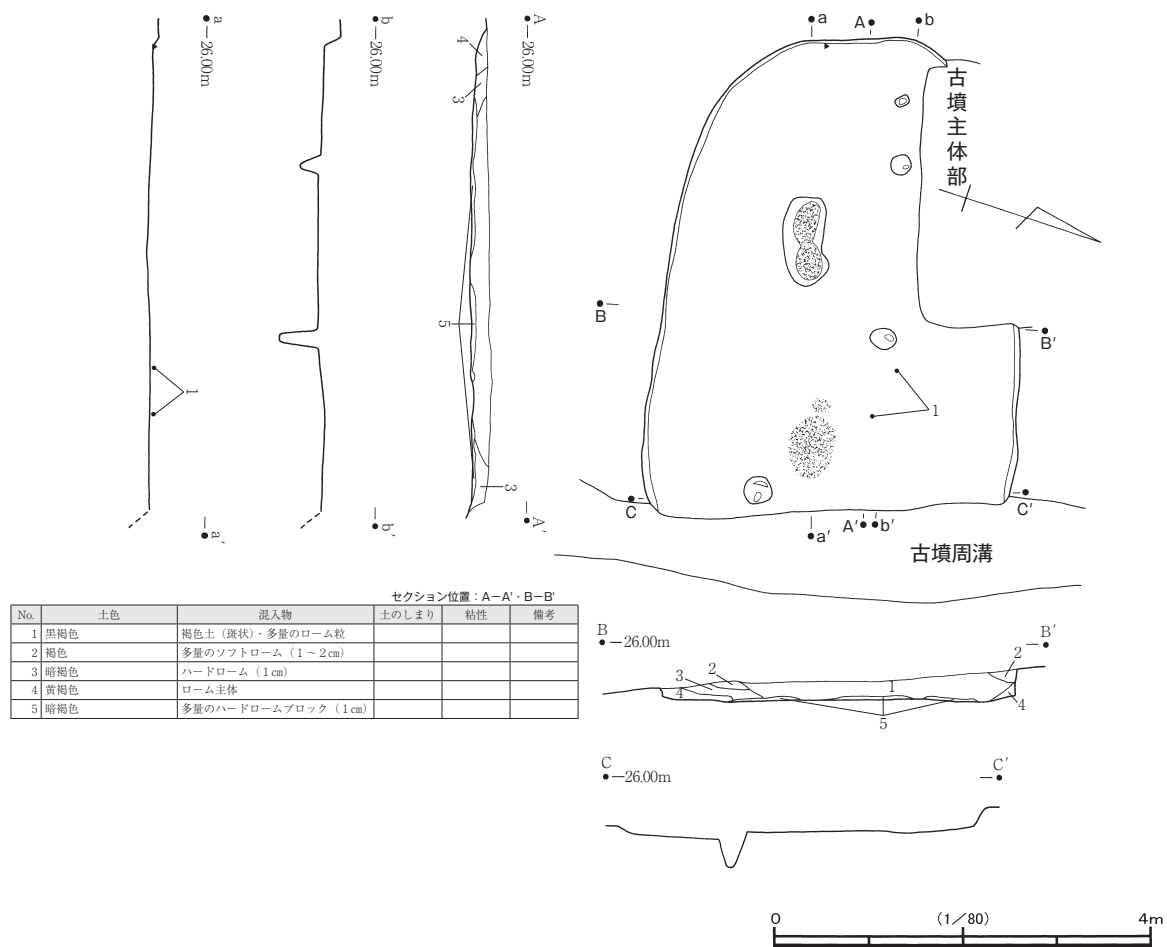
58号住居跡

【検出位置】 セ54区L18-B

【規模ほか】 長軸3.00m・短軸2.65m・深さ25cm。形状は円形。炉および柱穴は検出されていない



第207図 56号住居跡実測図および出土遺物実測図



第208図 57号住居跡実測図

（第210図）。

【覆土】 暗褐色土・黒色土などを主体とする。

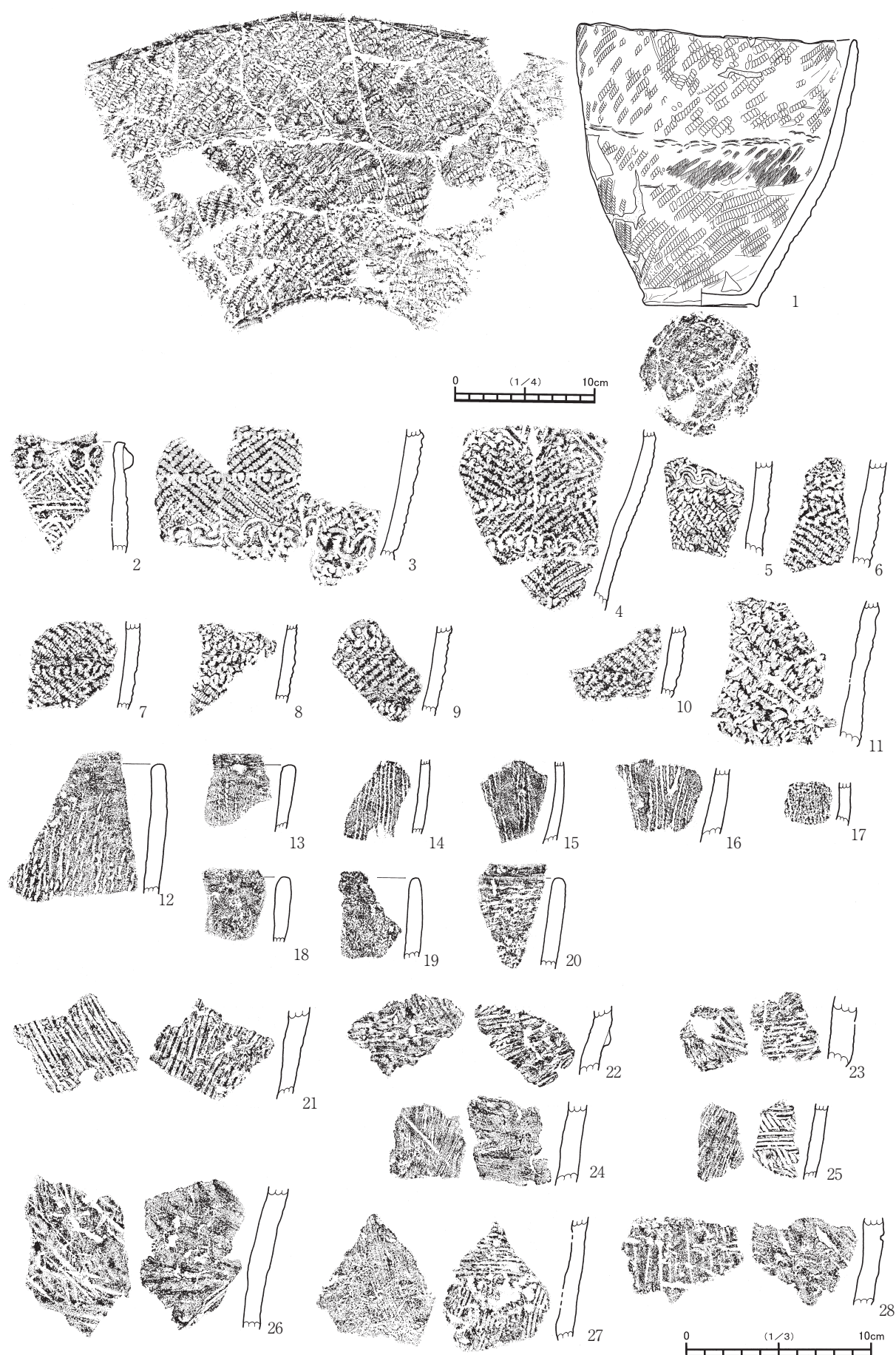
【出土遺物】 15点・928gの礫および礫石器が出土している。このうち67.3%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石・敲石1点が出土している。土器は、103点・1,653g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげのみである。遺構中央部床面付近から出土している。土器のうちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系・関山式土器で全体の97.4%あり、当該時期を58号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第210図1～16に示した。1～4は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部、5～14は胴部、15は底部の破片である。文様は、平行線文・コンパス文・ループ文・羽状縄文などがみられる。15は推定底径61mmを測る底部破片で、やや上げ底である。16は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。第210図17は石英閃緑岩の磨石・敲石である。

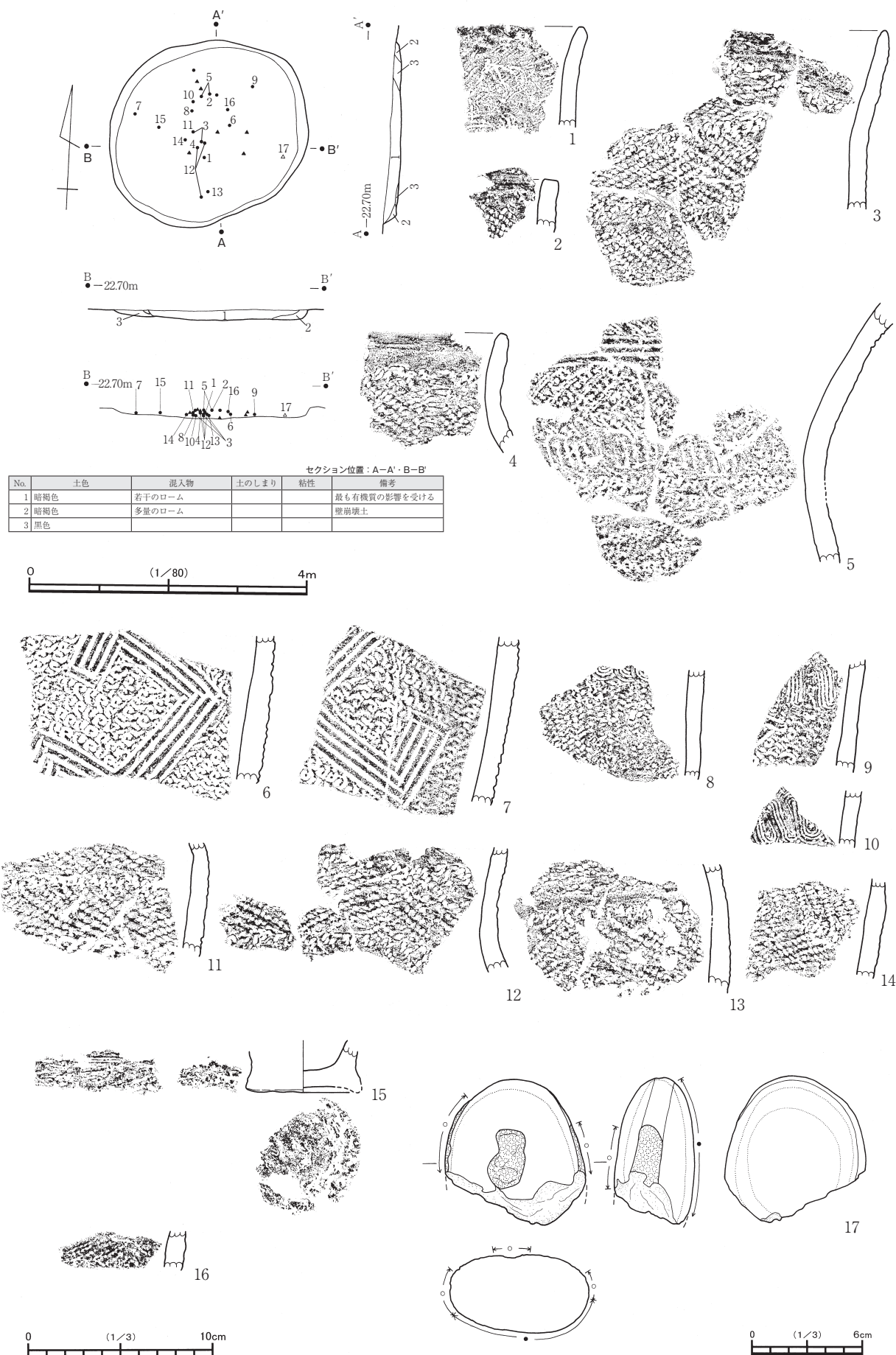
59号住居跡

【検出位置】 セ54区K21-E・F・I・J

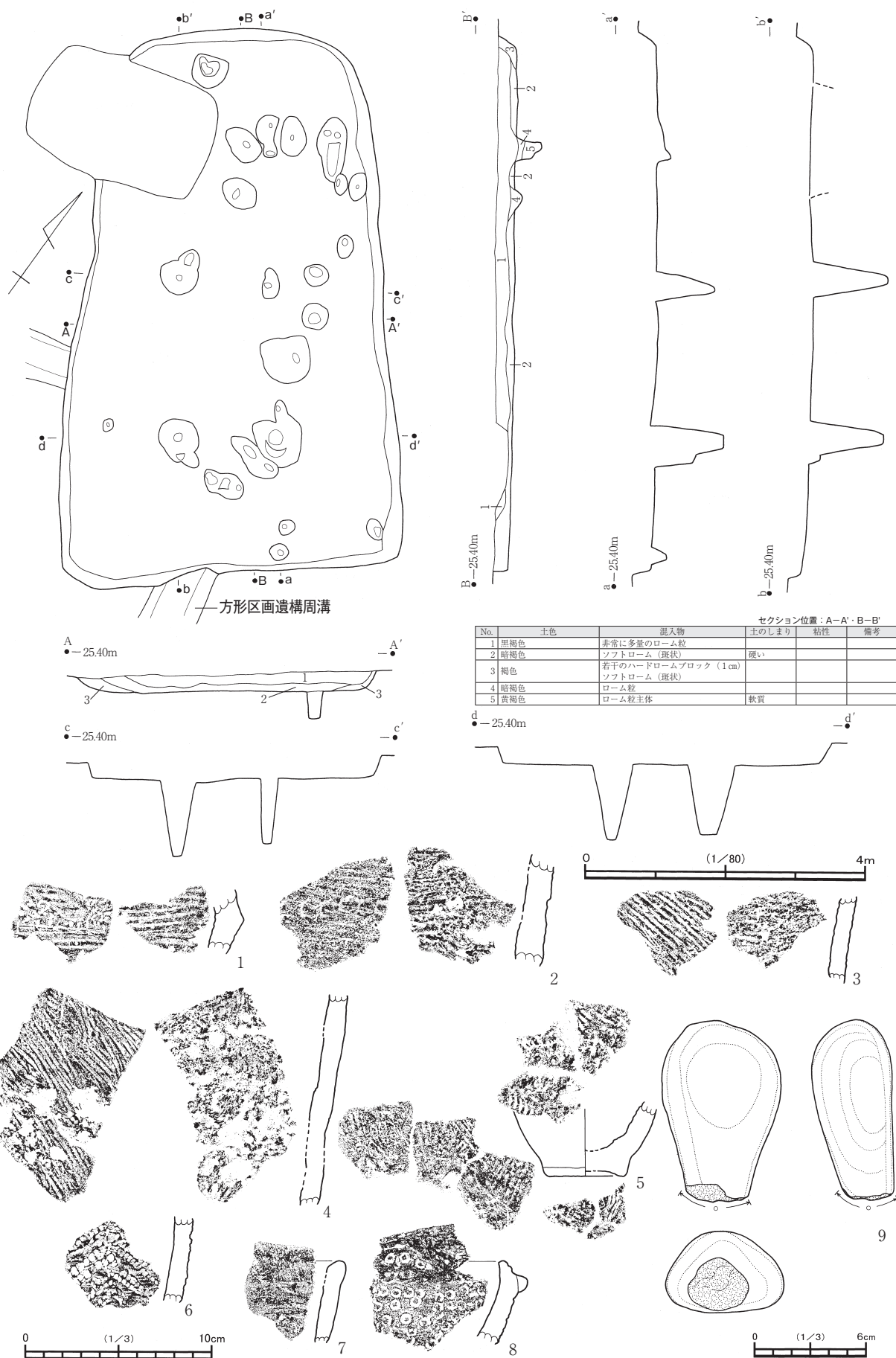
【規模ほか】 長軸7.73m・短軸4.85m・深さ37cm。形状は長台形。主軸方向 322°。炉は検出され



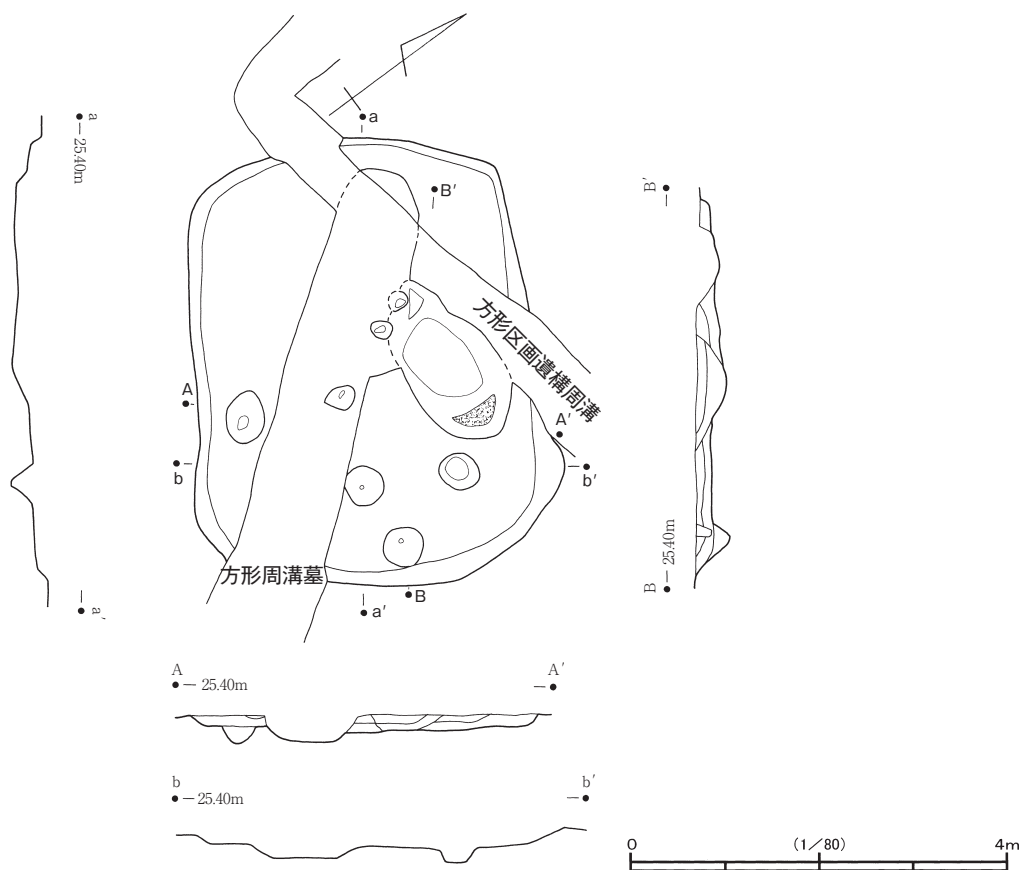
第209图 57号住居跡出土遺物実測図



第210図 58号住居跡実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



第211図 59号住居跡実測図および出土遺物実測図



第212図 60号住居跡実測図

ていない。柱穴は複数あるが、その配列は整然としていない（第211図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒を含む層が多い。

【出土遺物】 15点・1,471gの礫および礫石器が出土している。このうち77.6%に被熱のあとがみられる。石器は敲石1点がある。土器は、21点・364g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。土器のうちわけは、撚糸文系・撚糸文系（無文）・条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系土器で全体の84.6%あり、当該時期を59号住居の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第211図1～8に示した。1～4は条痕文系深鉢形土器の胴部、5は底部の破片である。5は推定底径43mmを測る平底の土器で、やや上げ底となっている。底面にも条痕文がある。第211図9は、最大長96mmを測る流紋岩質凝灰岩製の敲石である。

60号住居跡

【検出位置】 セ54区K21-M・N、L21-A・B

【規模ほか】 長軸4.73m・短軸3.58m・深さ24cm。形状は方形。炉は東側より一箇所あるが、明確な柱穴はみつかっていない（第212図）。

【重複関係】 方形周溝墓や方形区画遺構との重複により住居床面および壁面の一部が欠失する。出土遺物がないため、遺構の詳細時期は不明。

新No	調査区	旧No	時期	取り 上げ 方法	条痕文						条痕・縞文						羽状縞文系					
					口縁部		胴部		底部		口縁部		胴部		底部		口縁部		胴部		底部	
					点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)		
1	064	097	早期	点あげ一括	8	147	52	812	2	65					0	0	1	13	5	88	6	101
			79	1313					73	1212					0	0						7.7%
										92.3%												
2	064	076	早期?	一括																		
3	064	099	早期	点あげ一括	6	130	64	842			1	23			1	23			4	80	4	80
			75	1075					70	972					1	23						7.4%
										90.4%												
4	064	096	早期?	一括																		
5	064	103	?	一括																		
6	099	1160	前期	点あげ一括	1	19													41	1237	21	931
			439	10316					4	304							53	1673	320	6171		
										2.9%					0	0					435	10012
																						97.1%
7	099	1161	前期	点あげ一括													10	309	41	717		
			169	2813													16	482	99	1241	3	64
									0	0											169	2813
										0%												100%
8	099	1166	前期?	一括																		
9	099	1158	前期	点あげ一括	1	23													24	230		
			25	253					1	23					0	0					24	230
										9%												
10	099	1157	前期	点あげ一括	5	209	10	161									26	1143	135	1568	3	57
			180	3179					15	370											164	2768
										11.6%												87.1%
11	099	1151	前期	点あげ一括			10	154									13	381	124	2069	3	30
			160	2787					10	154											140	2480
										5.5%												89.0%
12	099	1164	前期	点あげ一括			1	16									11	374	118	1788	1	11
			131	2189					1	16											130	2173
										0.7%												99.3%
13	099	1152	前期	点あげ一括			1	24									23	428	200	3235	7	129
			231	3816					1	24												

表4 つづき

新No	調査区	旧No	時期	取り 上げ 方法	条本文						条痕・縋文						羽状縋文系									
					口縁部		胴部		底部		口縁部		胴部		底部		口縁部		胴部		底部					
					点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)				
720 21427					644 20469 95.5%						1 16 0.1%						11 177 0.8%									
35	セ28	249	早期	点あげ	6	119	84	1569							1 21						8		99			
				一括	43	860	495	7357	10	265																
664 10489					638 10170 97.0%						1 23 0.2%						9 120 1.1%									
36	セ28	225	早期	点あげ	2	97	12	435							1 114											
695 10572					678 10273 97.2%						1 114 1.1%						1 16 0.2%									
37	セ28	169	前期	点あげ											1 64						2	2649	2	246		
			一括	2	17	6	78							5						70	59	954	3	43		
81 4123					8 95 2.3%						0 0 0%						72 4026 97.6%									
38	セ28	197	前期?	—											1 191											
39	セ28	170	前期	点あげ											40 345						40 345					
			一括	1	27	40	345							40 345						11 168 84 943 3 52						
181 2076					41 372 17.9%						40 345 16.6%						99 1354 65.2%									
40	セ28	186	前期	点あげ	1	67											5 228 43 821 6 113									
			一括	1	7	18	372							6 135 143 1902 5 94												
243 3951					20 446 11.3%						0 0 0.0%						208 3293 83.3%									
41	セ28	053	前期	点あげ	2 41										4 112 10 282 1 15											
				一括	3 41 18 278							12 186 81 955 1 7														
231 2960					23 360 12.2%						0 0 0%						109 1557 52.6%									
42	セ54	122	前期	一括	66 411																7 68					
92 656					66 411 62.7%						0 0 0%						7 68 10.4%									
43	セ54	189	前期	一括	17 327										7 197 41 660											
107 1700					17 327 19.2%						0 0 0%						48 857 50.4%									
44	セ28	023	前期	点あげ	2	58	36	428	1	36							6 619 23 423									
76 1669					39 522 31.3%						0 0 0%						29 1042 62.4%									
45	セ54	114	前期	一括	2 56 13 187										3 32 60 555 5 110											
98 1238					15 243 19.6%						0 0 0%						68 697 56.3%									
46	セ54	116	前期	一括	2 31 27 372										6 50 43 673 1 23											
92 1342					29 403 30.0%						0 0 0%						50 746 56%									
47	セ54	115	前期	点あげ											1 4 29 272 1 52											
				一括	8 106																					
83 1315					8 106 8.1%						0 0 0%						31 328 24.9%									
48	セ54	113	前期	点あげ											15 563 156 4983 1 37											
				一括	1 90 2 32							40 1169 411 6032 4 123														
644 13437					3 122 0.9%						0 0 0%						627 12909 96.1%									
49	セ54	112	前期	一括	1 92 26 448										10 230 166 2216 1 30											
263 3892					27 540 13.9%						0 0 0%						177 2476 63.6%									
50	セ54	182	前期	一括	1 39										4 74											
25 505					1 39 7.7%						0 0 0%						4 74 14.7%									
51	セ54	100	前期	一括	4 49 62 613										14 343 121 1635 3 37											
265 3241					66 662 20.4%						0 0 0%						138 2015 62.2%									
52	セ28	021	前期	点あげ											21 2774 145 4132 5 166											
				一括	35 568										141 2201 1413 16428 51 716											
				別ナシ・記録	2 29 3 53										2 59 5 99 7 69 89 1237 1 25											
				別ナシ・並																						
2033 30018					40 650 2.2%						0 0 0%						1880 27906 93.0%									
53	セ54	105	前期	点あげ											14 419 219 2513 1 36											
				一括	6 52										11 132 288 3104 5 34											
554 6363					6 52 0.8%						0 0 0%						538 6238 98.0%									
54	セ54	83	前期?	—																						
55	セ54	111	前期	一括	10 190										4 29											
17 258					10 190 73.6%						0 0 0%						4 29 11.2%									
56	セ54	124	前期	一括																						
2 53					0 0 0%						0 0 0%						0 0 0%									
57	セ54	123	前期	点あげ	1 19										1 20 41 654 9 142											
				一括	23 439										9 233 59 870											
165 2663					24 458 17.2%						0 0 0%						119 1919 72.1%									
58	セ54	79A	前期	点あげ	1 16										4 99 95 1475 1 37											
103 1653					1 16 1.0%						0 0 0%						100 1611 97.5%									
59	セ54	125	前期	一括	13 253 3 55										1 21											
21 364					16 308 85%						0 0 0%						1 21 5.8%									
60	セ54	139	前期?	—																						

表4 つづき

新No	種別	その他						不明						種別	上層土器						備考
		口縁部		胴部		底部		口縁部		胴部		底部			口縁部		胴部		底部		
		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	
1						0	0					0	0				1	9			
						0	0%					0	0%								
2																					遺物なし
3						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
4																					遺物なし
5																					遺物なし
6																					
						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
7																					
						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
8																					遺物なし
9																					
						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
10	加曾利B			1	41							0	0				1				
						1	41					0	0								
						1.3%				2	64	8	89								
11						0	0					10	153								
						0	0%					5.5%									
12						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
13						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
14						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
15						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
16						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
17						0	0					0	0	土師			1	7			
						0	0%					0	0%								
18																					遺物なし
19																					遺物なし
20						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
21						0	0					0	0	弥生			1	4			
						0	0%					0	0%								
22						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
23	沈線文系			1	47							0	0								
						1	47					0	0								
						1%						0.0%									
24						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
25						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
26						0	0					0	0								
						0	0%					0	0%								
27	安行(粗製)	1	45							1	43			弥生			6	83			
	懸系文	2	20	8	104																
	懸系文系(無文)	2	21	18	169									土師			4	23			
	加曾利B	1	39																		
						32	398					1	43								
						0.5%						0.06%									
28	懸系文			1	3							0	0								
						1	3					0	0								
						0.4%						0	0%								
29	懸系文	1	27	2	27							0	0								
						3	54					0	0								
						1.2%						0	0%								
30	懸系文	1	11	2	20							0	0								
						0	0%					0	0%								
31	懸系文			1	21					1	15	7	233		土師			4	50		
	懸系文	1	7	12	150																
	懸系文系(無文)	1	12	5	127							8	248								
						20	317					1.5%									
	懸系文			5	90					1	10										
	懸系文	9	122	44	538					1	11	5	58		弥生			1	9		
	懸系文系(無文)	1	12	28	388																
	浮島	1	10											土師	2	10	6	34			
	加曾利B	1	90																		
	曾谷	1	23	2	10																
	懸系文			3	28						2	98		土師			2	31			貝層
						86	1189					8	166								
						2.2%						0.3%									
	懸系文	1	12	8	144					1	14	5	77		弥生	1	13				
	懸系文	10	109	64	657					9	72	4	49		弥生			10	106		
	懸系文系(無文)	19	329																		
	諸磯	2	65	2	30																
	称名寺			1	19																
	加曾利B	1	18																		
	安行			1	4																
						109	1387					19	212								
						1.9%						0.3%									
33	懸系文			1	9							0	0								
						1	9					0	0%								
						0.9%						0	0%								
	懸系文	2		5	73									弥生			1	64			
	加曾利B			1	31																
	懸系文	3	30	28	317					2	47	2	19	1	16	弥生		4	42	1	23
	懸系文系(無文)			18	220																
	堀之内	1	6											土師			3	11			
	安行			1	6																

表4 つづき

新No	種別	その他						不明						種別	上層土器						備考
		口縁部		胴部		底部		口縁部		胴部		底部			口縁部		胴部		底部		
		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	
						59	683 3.2%					5	82 0.4%								
35	撫系文		1	6	10	102					3	49		弥生			3	47			
	撫系文系（無文）				1	14								土師			6	33			
	曾谷				1	5															
						13	127 1.2%					3	49 0.5%								
36	撫系文		1	20										弥生			8	102			
	撫系文		1	3	4	42				3	55										
	撫系文系（無文）				6	47															
						12	114 1.1%					3	55 0.5%								
37	撫系文				1	2															
						1	2 0.05%					0	0 0%								
38																					遺物なし
39	撫系文				1	5								弥生			1	2			
						1	5 0.2%					0	0 0%								
40	撫系文				3	20					5	37									
	浮島				3	37						4	118								
							6	57 1.4%					9	155 34.8%							
41	撫系文		2	29	8	109			9	90	59	485	1	29	弥生	2	18	5	45		
	撫系文系（無文）				1	21								土師	2	10	1	2			
	諸磯		3	53	3	59															
	興津		1	17	1	12															
	浮島		2	27	7	93															
	加曾利B		1	11	1	8															
						30	439 14.8%					69	604 20.4%								
42	撫系文				3	30			4	49	1	3	1	13							
	撫系文系（無文）				8	64															
	浮島				1	14															
	加曾利B				1	4															
						13	112 17.1%					6	65 15.82%								
43	撫系文			7	75	2	65	1	17	6	47	1	29	弥生			1	15			
	撫系文系（無文）				18	185															
	諸磯				7	98															
						34	423 24.9%					8	93 28.4%								
44	撫系文		1	21	1	6					1	3									
	撫系文系（無文）				5	75															
						7	102 6.1%					1	3 0.2%								
45	撫系文				2	29			2	59											
	撫系文系（無文）				11	210															
						13	239 19.3%					2	59 4.8%								
46	撫系文				4	31															
	撫系文系（無文）				7	104					2	58									
						11	135 10.1%					2	58 4.3%								
47	興津		1	97	3	122															
	撫系文				2	43			2	36	2	59									
	撫系文系（無文）		2	14	16	195															
	浮島・興津		3	81	10	221															
	諸磯				3	13															
						40	786 59.8%					4	95 7.2%								
48	撫系文				1	14															
	撫系文系（無文）					1	78														
	撫系文系（無文）		3	39	8	137			1	138			1	138 1.0%							
						13	268 2.0%														
49	撫系文				8	94	1	26	4	71											
	諸磯		1	34																	
	撫系文系（無文）				45	651															
						55	805 20.7%					4	71 13.1%								
50	撫系文		1	27	1	55			2	89				弥生	1	7					
	撫系文系（無文）				16	221															
						18	303 60.0%					2	89 17.6%								
51	撫系文		1	10	19	168			2	25	2	12									
	撫系文系（無文）		4	45	33	304															
						57	527 16.3%					4	37 1.1%								
52	撫系文系（無文）				1	17					1	17									
	撫系文		2	23	6	82															
	撫系文系（無文）		3	32	28	223															
	加曾利E				1	88			3	32	29	240		弥生			16	153			
	堀之内				1	20								土師	2	24	46	665	3	121	
	加曾利B		4	51	3	45															
	曾谷				1	18															
	撫系文		1	22							3	35		弥生			7	108			
					2	56				21	259										
	加曾利E				3	156															
	弥名寺		1	62																	
	加曾利B		1	12			1	4													
						56	879 2.9%					57	583 1.9%								
53	撫系文系（無文）				3	16															
	撫系文				1	4															
	撫系文系（無文）		4	28	2	25															
						10	73 1.1%					0	0 0.0%								遺物なし
54	撫系文		1	12																	
55	撫系文系（無文）				2	27															
						3	39 15.1%					0	0 0%								
56	撫系文		1	43																	
	撫系文系（無文）				1	10															
						2	53 100%					0	0 0%								
57	撫系文		2	58	10	89			3	46				弥生			2	14			
	撫系文系（無文）				7	93															
						19	240 9.0%					3	46 10.0%								
58	撫系文				1	13															
	撫系文系（無文）				1	13															
						2	26 1.6%					0	0 0%								
59	撫系文				1	4															
	撫系文系（無文）		1	18	2	13															
						4	35 9.6%					0	0 0%								遺物なし
60																					

表6 出土石器屬性表(堅穴住居跡)

種別	遺構種類	時期	遺構新記	遺構旧記	層位	取り上げ枚	器種	石材	残存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	所見	資料番号	備考	
遺構	竈穴住居	早期	1	097				硨石(斜長石・輝石)	完形	104	63	61	80.0	左右に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。	H22_51		
遺構	竈穴住居	早期	3	099		099	機形石器	無珪質貫安山岩	完形	38.8	44.0	9.0	17.2	平らな剥片を用い、表裏両面からの剥離によって全体を方形に整形。下部には付内する鋭い刃部を有し、上部にも打撃痕と見られる小剥離が多数観察できる。	H22_30		
遺構	竈穴住居	前期	6	1160			機形石器	チャート	完形	35.8	41.2	12.0	20.0	左右に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。	H22_30		
遺構	竈穴住居	前期	6	1160	不明		硨石製品	硨石(斜長石・輝石)	破片	(119)	(116)	(71)	190.0	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	6	1160	不明		硨石	重晶石・ホムンフェルス	完形	132	48	48	486.2	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	6	1160	不明	サンゾフル	硨石	珪質頁岩	完形	72	54	32	158.9	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	6	1160	不明	サンゾフル	破石	砂岩(上総層群)	半欠	(102)	(69)	(46)	351.3	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	6	1160	不明		洞石	砂岩(上総層群)	完形	90	69	26	180.0	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	7	1161	不明		打製石器	白雲母片岩	完形	74	46	21	88.5	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	9	1158	覆土サンゾフル		打製石器	シルト岩	完形	29	29	7	9.2	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	37	53	不明		石鏝	チャート	完形	19.1	14.6	3.7	0.6	ほぼ無基岩。やや右側が短く、先端部は鋭く失っている。	H22_32		
遺構	竈穴住居	前期	10	1157	不明		石鏝	チャート	完形	15.7	19.6	3.6	0.6	ほぼ無基岩。先端部が鋭く突出し、基部付近になっているが、欠損後に再度調整されたものと思われる。	H22_31		
遺構	竈穴住居	前期	10	1157	不明		石鏝	一部欠	完形	17.3	(13.1)	3.2	0.6	ほぼ無基岩。先端部が鋭く突出し、基部付近になっているが、欠損後に再度調整されたものと思われる。	H22_34		
遺構	竈穴住居	前期	10	1157	不明		石鏝	黒曜石	完形	17.3	(13.1)	3.2	0.6	ほぼ無基岩。先端部が鋭く突出し、基部付近になっているが、欠損後に再度調整されたものと思われる。	H22_34		
遺構	竈穴住居	前期	10	1157	不明		石鏝(未製品)	黒曜石	完形	19.7	12.1	5.7	1.1	ほぼ無基岩。先端部が鋭く突出し、基部付近になっているが、欠損後に再度調整されたものと思われる。	H24_1	黒曜石産地分析№9	
遺構	竈穴住居	前期	10	1157	不明		硨石	砂岩	完形	84	24	22	69.4	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	10	1157	不明	覆土サンゾフル	硨石	砂岩	完形	(51)	(52)	(24)	74.2	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	10	1157	不明	覆土サンゾフル	硨石	砂岩	完形	(42)	(44)	(33)	67.6	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	11	1151	不明	覆土サンゾフル	硨石	一部欠	完形	102	(53)	38	227.0	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	12	1164			機形石器	頁岩	完形	27.5	25.6	9.0	6.5	上下および左右に二次加工が見られる。素材剥片を表面の剥離によって薄くしてから縁辺の調整がされている。下部に鋭い刃部が見られる。	H22_33		
遺構	竈穴住居	前期	12	1164			打製石器	砂岩	完形	77	46	19	92.3	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	12	1164			石鏝	黒曜石	完形	35.6	—	14.6	6.5	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。		黒曜石産地分析№20	
遺構	竈穴住居	前期	13	1152	不明	覆土サンゾフル	硨石	アイサイト(四配)	完形	95	52	51	318.9	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	14	1156	不明		洞石	阿曇岩片岩	完形	(96)	(110)	(70)	229.8	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	14	1156	不明		硨石	硨石安山岩(三配)	完形	92	72	42	413.6	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	14	1156	不明	覆土	硨石	硨石安山岩(三配)	完形	85	85	38	394.3	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	14	1156	不明	覆土	硨石	硨石安山岩(三配)	完形	116	116	40	443.7	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	15	1155	不明	覆土サンゾフル	打製石器	アイサイト(三配)	完形	111	66	41	443.7	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	15	1155	不明	覆土サンゾフル	硨石	砂岩(三配)	一部欠	(102)	(64)	(45)	387.8	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	16	1154	不明	覆土サンゾフル	硨石	頁岩	完形	(59)	(61)	(50)	203.5	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	17	1153	不明	覆土サンゾフル	硨石	砂岩	完形	57	(24)	24	68.5	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	17	1153	不明	覆土サンゾフル	硨石	砂岩(三配)	完形	(24)	(46)	(6)	19.9	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	17	1153	不明	覆土サンゾフル	硨石	一部欠	完形	(71)	(96)	(49)	392.4	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	前期	21	1150	不明		硨石	珪質頁岩	完形	48	—	—	27.0	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	黒曜石	完形	20.7	15.4	4.0	0.9	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。	H18_138	黒曜石産地分析№173	
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	黒曜石	一部欠	22.2	(12.9)	3.6	0.8	片脚欠損	H18_135	黒曜石産地分析№170	
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	黒曜石	完形	15.0	12.2	3.2	0.6		H18_137	黒曜石産地分析№172	
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	黒曜石	完形	15.3	11.3	2.9	0.4		H18_136	黒曜石産地分析№171	
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	黒曜石	完形	17.1	12.4	5.3	0.9	0.6	尖基岩？	H18_212	黒曜石産地分析№174
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	黒曜石	完形	17.1	12.4	5.3	0.9	0.6	尖基岩？	H18_212	黒曜石産地分析№174
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	硨石安山岩(四配)	完形	91	68	43	357.4	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。	H18_34	黒曜石産地分析№169	
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	砂岩	完形	61	53	28	124.5	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	早期	23	035	一括		硨石	玉髄	完形	50	32	13	33.0	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	早期	25	036			硨石・歳石	硨石安山岩(三配)	破片	(83)	(62)	(65)	399.0	左下に自然面を残す剥片を用い、上下からの剥離によって器厚を減じ、縦断面を楔状に整形している。			
遺構	竈穴住居	早期	26	033	2		矢頭鏝	チャート	破片	(18.5)	(15.9)	(5.7)	1.5	旧石器？。先端のみ。	H18_16	黒曜石産地分析№175	
遺構	竈穴住居	早期	26	033	2		矢頭鏝	黒曜石	完形	11.0	5.1	2.0	0.3		H18_261	黒曜石産地分析№175	
遺構	竈穴住居	早期	27	079	493		硨石	チャート	完形	26.0	15.5	4.1	1.4		H20_18		
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	2		硨石	チャート	完形	21.0	12.9	4.1	0.9	ほぼ無基岩。表面に素材の剥離面を残す。	H20_19		
遺構	竈穴住居	早期	27	079	606		硨石	チャート	完形	18.2	12.9	2.8	0.6	先端欠損	H19_36	黒曜石	
遺構	竈穴住居	早期	27	079	710		硨石	チャート	一部欠	(17.9)	17.3	5.9	1.6	先端欠損	H19_37	黒曜石	
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	2		硨石	チャート	完形	20.2	15.3	5.1	1.1	ほぼ無基岩。表面に素材の剥離面を残す。	H20_19		
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	2		硨石	チャート	一部欠	(13)	14.3	3.7	0.9	ほぼ無基岩。表面に素材の剥離面を残す。先頭部を欠損している。	H20_20		
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	2		硨石	チャート	一部欠	(13)	14.3	3.7	0.9	ほぼ無基岩。表面に素材の剥離面を残す。先頭部を欠損している。	H20_20		
遺構	竈穴住居	早期	S-7		貝サンゾフル239		石鏝(未製品)	頁岩	完形	33.4	24.8	9.2	7.4	緑に着色されている。	H20_28		
遺構	竈穴住居	早期	S-13		貝サンゾフル24		石鏝	頁岩	完形	16.5	17.5	5.0	1.1	ほぼ無基岩。やや非対称の三角形で、表面に素材の剥離面を残す。	H20_27		
遺構	竈穴住居	早期	S-13		貝サンゾフル184		機形石器	無珪質貫安山岩	完形	22.2	17.6	8.0	3.0	剥片の上下に小剥離が見られ、縦断面が楔状を呈する。貝層サンゾフル中級出。	H21_139		
遺構	竈穴住居	早期	27	079	一括		機形石器	珪質頁岩	完形	17.1	13.8	6.7	1.9	全体を方形に整形し、下端部を刃部とする楔状に加工している。車輪的な楔形が特徴である。	H21_78		
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	一括		機形石器	チャート	完形	29.4	27.3	9.8	7.3	自然面を有する剥片を用い、背面上下からの剥離によって器厚を調整し、鋭い縁刃を作っている。	H21_57		
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	1		硨石	チャート	完形	22.1	22.4	6.8	4.0		H19_160		
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	1		硨石	チャート	完形	11.8	13.2	4.5	0.7		H19_159		
遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)	1		硨石	砂質頁岩	完形	59.0	50.9	8.1	25.5		H19_158	黒曜石	
遺構	竈穴住居	早期	27	079	506		硨石	安山岩	完形	37.2	18.3	5.3	1.6		H19_35		
遺構	竈穴住居	早期	27	079	01		硨石	チャート	完形	57.2	16.2	6.0	2.3	石鏝欠損？	H19_33		
遺構	竈穴住居	早期	27	079	731		硨石	多孔質貫安山岩	破片	(54)	(38)	(79)	366		H19_38	黒曜石	
遺構	竈穴住居	早期	27	079	一括		硨石	砂岩	完形	(45)	(50)	(22)	89.8				
遺構	竈穴住居	早期	27	079	IIサンゾフル		硨石	砂岩	完形	63	58	14	94.4				
遺構	竈穴住居	早期	27	079	149		硨石	チャート	完形	61	59	43	203.1				
遺構	竈穴住居	早期	27	079	050		硨石	硨石安山岩	完形	184	85	61	1,116.1				

表6 つづき

採図No	報告No	調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	経グリシ地	層位	取り上げNo	器種	石材	残存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	所見	資料番号	備考
87	287	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079		サンブル	693	磁石	チャート	完形	72	39	35	153.4			
87	288	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079				破片	砂岩	破片	(60)	(48)	(55)	170.3			
87	289	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079			325	磨石	石灰質燧灰岩	一部欠	(120)	76	39	531.0			
87	290	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079			289	磨石	多量質礫石安山岩	半欠	(40)	43	151.3				
87	291	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079			774	磨石	砂岩	破片	(42)	37	115.0				
88	292	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079		一括	704	磨石	多量質礫石安山岩	一部欠	(86)	55	(35)	207.5			
88	293	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079				磨石	礫石安山岩	一部欠	(76)	(43)	228.9				
88	294	セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079		サンブル		磨石	礫石安山岩	破片	(62)	(43)	(35)	96.9			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079			610	磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	104	—	—	84.1			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079			279	磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	26	—	—	2.4			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079(230)				磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	26	—	—	2.4			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079			01	石核	無基品ガラス質安山岩	—	38	—	—	12.0			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079			01	石核	無基品ガラス質安山岩	—	26	23	16	12.8			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079				模形石器?	黒曜石	—	23.4	17.4	6.0	2.1			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079				模形石器?	黒曜石	—	15.5	13.2	6.0	0.8			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079(230)				模形石器?	黒曜石	—	21.7	20.1	14.8	6.1			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	27	079(230)				模形石器?	黒曜石	—	28.5	13.8	10.4	3.8			
95	26	セ28	遺構	竪穴住居	早期	30	425-02				模形石器	チャート	完形	21.9	24.7	12.2	6.3	やや厚手の薄片に上下からの剥離が観察でき、縦断面が観察する。竪穴住居跡出土	H21 H27	
95	27	セ28	遺構	竪穴住居	早期	30	425			01	磨石	砂岩	完形	127	54	34	317.6			
95	28	セ28	遺構	竪穴住居	早期	30	425			06	磨石	多量質安山岩	一部欠	(67)	(46)	(30)	57.7			
103	111	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227				矢頭器	無基品質安山岩	破片	(20.5)	(15.5)	5.3	1.5	先端のみ	H19 H86	
103	112	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227		001-2001		石核	無基品質安山岩	一部欠	(18.8)	22.8	4.0	1.4	先端部欠損	H19 H253	
103	113	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227				磨石	多量質礫石安山岩	一部欠	(16.9)	16.3	5.4	23.3	先端部欠損	H19 H87	
103	114	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227				磨石	多量質礫石安山岩	完形	71	58	26	133.2			
103	115	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227		サンブル		磨石	多量質礫石安山岩	完形	88	41	24	127.3			
103	116	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227		サンブル		磨石	砂岩	完形	62	54	30	154.9			
103	117	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227				磨石	砂岩	完形	(62)	(69)	(39)	220.8			
103	118	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227				磨石	砂岩	完形	78	65	55	386.4			
103	119	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227		サンブル	01	磨石	砂岩	完形	(74)	(58)	(46)	225.4			
103	120	セ28	遺構	竪穴住居	早期	31	227		サンブル		磨石	砂岩	完形	106	101	58	821.8			
118	252	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				矢頭器	砂岩	完形	45.3	7.5	7.4	5.3			
118	253	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202		覆土		矢頭器	チャート	一部欠	(34.4)	(19.5)	7.0	4.6	先端部加工?基部欠損	H19 H65	
118	254	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202	B	B		石核	黒曜石	完形	16.5	13.8	3.9	0.6			
118	255	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202	B	B		石核	黒曜石	完形	(11.7)	(17.6)	6.8	1.0	先端部欠損	H19 H59	
118	256	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	チャート	完形	15.3	12.3	3.9	0.8			
118	257	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202	F	F	目サンプル140	石核	チャート	完形	21.6	13.3	3.9	1.0	四基座基石織、先端部を欠損。裏面に素材薄片の剥離面を残す。	H19 H62	
118	258	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202	G	G		石核	炭岩?	完形	14.3	11.2	3.8	0.5			
118	259	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	炭岩?	完形	29.8	16.3	4.1	1.8			
118	260	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	チャート	完形	(22.7)	14.4	5.3	1.6	先端欠	H19 H60	
118	261	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202		覆土		石核	黒曜石	完形	22.5	13.5	4.8	1.1			
118	262	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	黒曜石	完形	(20.3)	(14.3)	5.7	1.3	片脚先端欠損	H19 H64	
118	263	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	安山岩	一部欠	27.5	(12.6)	3.6	1.1	片脚欠損	H18 H54	
118	264	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	安山岩	一部欠	(15.5)	(16.5)	4.5	1.3	先端部欠損	H19 H63	
118	265	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	黒曜石	完形	21.2	15.0	7.1	1.4	自然面を残す薄片を裏裏面からの調整によって全体形を整形しているが、非対称のままであり、製作途中と推定される。	H18 H94	
118	266	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	黒曜石	完形	30	14.5	7.7	2.7			
118	267	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	チャート	一部欠	(30)	14.5	7.7	2.7			
118	268	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			01	矢頭器	チャート	完形	41.2	11.7	6.7	2.8			
118	269	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202		覆土		磨石	黒曜石	完形	17.2	6.8	4.2	1.5			
118	270	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				磨石	黒曜石	完形	20.3	12.3	6.2	1.7			
118	271	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202A	E	E一括		磨石	無基品ガラス質安山岩	一部欠	(30.9)	27.9	6.2	5.0	側面に二枚自然面を残す薄手の薄片で、上部を一部欠損しており、下部の鋭い側面は側面剥離によって削がれ、縦断面が観察できる。竪穴住居跡出土	H21 H23	
118	272	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202		サンブル	01	模形石器	無基品ガラス質安山岩	完形	24.7	26.1	11.3	6.8	側面には連続的な調整による剥離面が見られる。縦断面が観察できる。下部には連続的な調整による剥離面が見られる。竪穴住居跡出土	H21 H25	
118	273	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202		サンブル	01	模形石器	無基品ガラス質安山岩	完形	33.8	26.6	13.6	11.9	上部を有する薄片の2層線を、背面からの調整によって加工し、全体を三角形に整形している。	H21 H26	
119	274	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202		覆土		磨石	黒曜石	完形	23.0	17.2	8.2	2.4			
119	275	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				磨石	質岩	完形	35.0	34.6	10.8	10.6	自然面を有する薄片の2層線を、背面からの調整によって加工し、全体を三角形に整形している。	H19 H57	
119	276	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202A	G		035	石核	炭岩	—	93	56	47	332.9			
119	277	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			079	磨石	炭岩	一部欠	73	(56)	23	105.5			
119	278	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			570	石皿	多量質礫石安山岩	破片	(89)	(62)	39	269.0			
119	279	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			505	磨石	砂岩	完形	84	68	43	350.6			
119	280	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			076	磨石	砂岩	完形	(70)	50	26	106.3			
119	281	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			161	磨石	チャート	一部欠	(73)	(41)	27	116.0			
119	282	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			533	磨石	チャート	完形	(48)	(37)	20	94.0			
119	283	セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			239	磨石	砂岩	破片	103	(60)	(50)	488.8			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202			01	石核	無基品質安山岩	一部欠	59	—	—	35.7			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				石核	黒曜石	—	30.2	—	16.5	11.4			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202A			027	磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	54	—	—	10.3			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202A			028	磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	59	—	—	7.3			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202A			29	磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	29	—	—	2.3			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202SH				磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	33	—	—	2.9			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202A			029	磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	42	—	—	3.6			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	48	—	—	5.3			
		セ28	遺構	竪穴住居	早期	32	202				磨石	磨石(斜長石・輝石)	—	32	—	—	0.8			

表6 つづき

掘削No	報告No	調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	経グリッド	層位	取り上げNo	器種	石材	残存状態	最大風(m)	最大幅(m)	最大厚(mm)	重量(g)	所見	資料番号	備考
セ28	205	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	32	—	—	2.7	—		
セ28	206	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	51	—	—	7.8	—		
セ28	207	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	37	—	—	3.0	—		
セ28	208	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	43	—	—	5.7	—		
セ28	209	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	29	—	—	2.6	—		
セ28	210	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	25	—	—	1.9	—		
セ28	211	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	26	—	—	1.4	—		
セ28	212	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	37	—	—	4.0	—		
セ28	213	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	60	—	—	21.5	—		
セ28	214	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	38	—	—	5.3	目録サンプル		
セ28	215	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		H		硃石	硃石(斜長石・多量)	—	29	—	—	2.2	目録サンプル		
セ28	216	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		H		硃石	硃石(斜長石多量)	—	105	48	(40)	34.1	—		
セ28	217	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	62	45	34	143.7	—		
セ28	218	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	37	(23)	33.5	(37)	—		
セ28	219	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		一括		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(51)	(50)	59.0	(51)	—		
セ28	220	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		一括		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	85	70	31	163.6	—		
セ28	221	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(62)	(41)	(33)	57.5	—		
セ28	222	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	15.3	11.6	3.3	0.6	—		
セ28	223	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	15.7	15.7	4.0	0.9	—		
セ28	224	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	21.5	17.7	5.5	1.3	—		
セ28	225	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	31.3	22.6	8.3	5.8	—		
セ28	226	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		覆土		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	42.0	26.7	10.4	11.7	草創期		
セ28	227	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		1層		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	26.6	15.6	10.1	5.1	厚さ若干		
セ28	228	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	26.3	20.3	5.9	3.8	風化显著		
セ28	229	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	37.3	39.9	13.6	23.5	—		
セ28	230	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	29.8	12.5	5.4	2.5	—		
セ28	231	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	28.7	19.9	7.8	5.2	自然面を残す測片の上部および右側縁に、背面側からの調整が見られるが、測片の下部は左側縁に数箇所に微細剥離も見られる。竪穴住居跡出土。		
セ28	232	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	29.8	23.4	6.4	4.3	自然面を残す測片の上部および下部に細かな剥離が観察でき、縦断面が概状を呈す		
セ28	233	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	26.9	23.4	8.4	5.1	—		
セ28	234	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	39	30	18	31.5	—		
セ28	235	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	61	45	29	80.7	—		
セ28	236	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	48	(26)	(14)	20.2	—		
セ28	237	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		1層		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	51	41	21	8.0	—		
セ28	238	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		覆土		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	14	30	21	21.5	—		
セ28	239	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	84	39	23	42.3	—		
セ28	240	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(83)	(58)	(37)	378.9	—		
セ28	241	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(87)	(75)	(37)	253.0	—		
セ28	242	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(94)	(67)	(47)	414.2	—		
セ28	243	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	70	65	49	261.2	—		
セ28	244	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	92	36	29	134.1	—		
セ28	245	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	129	92	55	970.4	—		
セ28	246	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	87	45	509.8	—			
セ28	247	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	30	27.6	30	27.6	—		
セ28	248	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	95	76	45	529.8	—		
セ28	249	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(40)	(42)	(20)	50.0	—		
セ28	250	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(124)	(73)	(46)	573.5	—		
セ28	251	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	113	70	49	351.8	—		
セ28	252	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(40)	(37)	(41)	191.6	—		
セ28	253	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(70)	(41)	11.5	11.5	—		
セ28	254	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	22.1	12.0	4.9	4.9	—		
セ28	255	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		1層		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	56	37	17	42.7	—		
セ28	256	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	45	—	—	13.4	—		
セ28	257	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	32	—	—	2.7	他1個体		
セ28	258	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	74	—	—	34.1	—		
セ28	259	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	55.6	17.9	3.9	3.9	—		
セ28	260	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(22)	19.6	5.6	2.1	先端欠損		
セ28	261	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	22.0	14.5	4.1	1.1	—		
セ28	262	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	19.5	11.6	3.0	0.8	—		
セ28	263	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	21.8	17.4	7.2	2.5	—		
セ28	264	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	25.9	15.0	5.9	2.3	—		
セ28	265	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(25.3)	16.9	5.6	2.0	—		
セ28	266	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	15.4	13.9	3.9	0.8	—		
セ28	267	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		S-6目録		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	18	3.6	0.6	0.6	—		
セ28	268	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(20.3)	14.3	5.6	1.7	—		
セ28	269	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202		01-一括		硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	41.4	41.2	12.7	20.0	—		
セ28	270	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	(20.6)	(22.4)	5.9	2.8	—		
セ28	271	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	18.6	25.6	5.4	2.9	自然面を有するやや薄長の測片の下部および左右縁辺に主剥離面側からの調整が見られるが、部分的である。		
セ28	272	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	83.7	53.9	17.4	101.0	片面が自然面の厚手の測片を用い、自然面側からの調整によって整形および刃部を作出している。素材の主要剥離面の一部を残す。		
セ28	273	遺構 竪穴住居	早期	32	202	32	202				硃石	硃石(斜長石・輝石)	—	71.5	45.9	15.3	68.0	下縁部および右側縁に連続調整が見られる。全体形から打製石斧としたが、側面を刃部として使ったと見られる。下部には一部磨滅痕が観察できる。		

表6 つづき

採掘区No	報告No	調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	経ゲリNo	層位	取り上げNo	器種	石材	残存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	所見	資料番号	備考
153	232	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		S-19内	404	埴石製品	埴石(斜長石・輝石)	完形	146	102	108	165.5			
153	233	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203				埴石製品	埴石(斜長石・輝石)	完形	60	50	29	17.6			
153	234	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			01	砥石	へら状石器	一部欠	(68)	36	12	42.5			
153	235	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			818	砥石	輝石安山岩(三紀)	一部欠	(125)	81	60	857.8			
153	236	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			761	石皿	チャート	破片	(69)	(46)	(48)	38.2			
153	237	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			239	石皿	多量質輝石安山岩	破片	(60)	(68)	(44)	198.5			
153	238	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203A			01	石皿	多量質輝石安山岩	破片	(77)	(73)	(60)	351.0			
153	239	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			419	石皿	無結晶質安山岩	破片	(134)	(92)	(56)	732.1			
153	240	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203A			01	石皿	多量質安山岩	一部欠	(120)	(85)	(45)	383.6			
154	243	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			695	砥石	砂岩	半欠	(65)	(53)	(29)	129.6			
154	243	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			223	砥石	チャート	完形	54	35	21	65.1			
154	244	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	01	砥石	流紋岩	完形	(62)	(50)	(28)	86.0			
154	245	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	01	砥石	砂岩	半欠	(60)	(44)	(39)	116.7			
154	246	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			409	砥石	砂岩	完形	84	45	31	160.1			
154	247	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	01	砥石	多量質安山岩	一部欠	(79)	(65)	(35)	296.6			
154	248	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			779	砥石	流紋岩質流紋岩	破片	(60)	(48)	(51)	145.3			
154	249	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	01	砥石	珪化砂岩	半欠	(67)	(51)	(32)	155.4			
154	251	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	01	砥石	輝石安山岩	半欠	(67)	(60)	(39)	203.6			
154	252	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			240	砥石	砂岩	完形	68	34	26	126.8			
154	253	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	01	砥石	輝石安山岩	完形	(77)	(41)	(44)	140.5			
154	254	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	129	砥石	輝石安山岩	破片	(43)	(37)	(43)	153.9			
154	255	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	01	砥石	輝石安山岩	半欠	(68)	(37)	(43)	153.9			
154	256	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203		一括	101	砥石	輝石安山岩	破片	(69)	(57)	(23)	89.0			
154	257	セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203				砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	33	—	—	2.1			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203				砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	30	—	—	2.2			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203				砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	31	—	—	1.8			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			607	砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	30	—	—	1.6			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			359	砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	48	—	—	3.2			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			692	砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	40	—	—	7.5			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			403	砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	41	—	—	8.5			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			428	砥石	埴石(斜長石・輝石)	完形	50	—	—	8.4			
		セ28	遺構	竈穴住居	早期	34	203			01	尖頭器	埴石(斜長石・輝石)	完形	35	—	—	2.3			
159	74	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249				砥石	輝石	完形	55.8	19.8	7.2	6.7	中央部両端にくびれあり。矢頭器を再加工。	H19 94	黒曜石産地分析No.167
159	75	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249			01	石鏃	輝石	完形	32.3	18.9	6.3	3.8		H19 92	黒曜石産地分析No.167
159	76	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249			01	石鏃	輝石	完形	29.1	16.4	6.6	2.6	未使用？	H19 93	黒曜石産地分析No.168
159	76	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249			01	石鏃	輝石	完形	16.2	14.2	2.3	0.9	矢頭部調整あり	H19 93	黒曜石産地分析No.168
159	76	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249			01	削器	黒曜石	完形	22.0	14.8	10.7	2.9		H19 91	黒曜石産地分析No.165
159	79	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249		サンブル	01	砥石	砂岩	完形	82	62	38	248.3			
159	80	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249		サンブル	01	砥石	砂岩	完形	94	80	43	433.2			
159	81	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249		サンブル	01	砥石	多量質安山岩	破片	(75)	(71)	(56)	224.7			
159	82	セ28	遺構	竈穴住居	早期	35	249		サンブル	01	石刃	チャート	完形	49.9	14.3	3.7	2.9	使用痕	H19 85	
163	51	セ28	遺構	竈穴住居	早期	36	225			01	埴石製品	埴石(斜長石・輝石)	完形	58	35	29	13.5			
163	52	セ28	遺構	竈穴住居	早期	36	225			016	砥石	輝石安山岩	半欠	(78)	(64)	(44)	246.7			
163	53	セ28	遺構	竈穴住居	早期	36	225			022	砥石	輝石ホルンフェルス	完形	55	45	35	115.0			
163	54	セ28	遺構	竈穴住居	早期	37	169				石核	珪化砂岩	完形	40	—	—	15.8			
168	34	セ28	遺構	竈穴住居	前期	39	170		覆土	01	埴石・砥石	輝石・砥石	半欠	(81)	(76)	(50)	432.2			
171	41	セ28	遺構	竈穴住居	前期	40	186			1	石核	砂岩	完形	103	63	39	482.4			
173	77	セ28	遺構	竈穴住居	前期	41	053			1	石核	多量質輝石安山岩	半欠	(56)	(56)	50	203.3			
173	78	セ28	遺構	竈穴住居	前期	41	053			1	砥石	輝石	半欠	(62)	(49)	46	105.4			
174	13	セ28	遺構	竈穴住居	前期	42	122			01	打製石斧	輝石	半欠	(62)	(65)	(25)	138.7			
179	23	セ28	遺構	竈穴住居	前期	44	023			2	砥石	砂岩	半欠	(84)	(58)	(34)	215.1			
179	24	セ28	遺構	竈穴住居	前期	44	023			100	砥石	火山礫流紋岩	半欠	(110)	(73)	(47)	489.1			
179	25	セ28	遺構	竈穴住居	前期	44	023			122	砥石	輝石ホルンフェルス	一部欠	(117)	(60)	(38)	397.0			
181	18	セ54	遺構	竈穴住居	前期	45	114			0002	砥石	輝石安山岩(三紀)	完形	68	53	45	208.6			
183	20	セ54	遺構	竈穴住居	前期	46	116			0002	砥石	輝石安山岩(三紀)	破片	(70)	(50)	(33)	137.7			
189	68	セ54	遺構	竈穴住居	前期	48	113			0002	砥石	輝石安山岩(三紀)	一部欠	(124)	42	23	183.7			
191	35	セ54	遺構	竈穴住居	前期	49	112			0002	石皿	輝石安山岩(三紀)	破片	(115)	(42)	(20)	99.0			
191	36	セ54	遺構	竈穴住居	前期	49	112			0002	石皿	輝石安山岩(三紀)	破片	(95)	(63)	(47)	272.3			
194	49	セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			0003	石鏃	輝石	完形	15.1	11.8	2.9	0.4			
194	30	セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			0003	石鏃	輝石	完形	88	54	40	166.2			
202	14	セ28	遺構	竈穴住居	前期	52	021		覆土	01	石核	輝石安山岩(三紀)	完形	94	69	43	217.2			
202	146	セ28	遺構	竈穴住居	前期	52	021		周溝内一括	03	石核	輝石	完形	94	69	43	217.2			
202	147	セ28	遺構	竈穴住居	前期	52	021			1129	砥石	輝石・砥石	完形	125	82	77	1670.1			
202	148	セ28	遺構	竈穴住居	前期	52	021		壁土一括	1116	砥石・砥石	輝石・砥石	完形	128	82	77	1670.1			
202	149	セ28	遺構	竈穴住居	前期	52	021		壁土一括		砥石・砥石	輝石・砥石	完形	(75)	(54)	(39)	171.8			
206	8	セ54	遺構	竈穴住居	前期	52	021			01	砥石	流紋岩(三紀)	完形	79	61	38	263.7			
206	9	セ54	遺構	竈穴住居	前期	55	111			0002	砥石	輝石	一部欠	33	—	—	9.1			
207	2	セ54	遺構	竈穴住居	前期	55	111			0002	砥石	流紋岩質流紋岩(新期)	半欠	(57)	(70)	(53)	251.1			
210	17	セ54	遺構	竈穴住居	前期	56	124			0002	砥石	花崗閃緑岩	完形	(65)	(85)	43	343.4			
211	9	セ54	遺構	竈穴住居	前期	58	79			0002	砥石	石炭質凝灰岩	完形	52	47	40	129.8			
		セ54	遺構	竈穴住居	前期	59	125			0002	砥石	流紋岩質流紋岩(古期)	完形	(79)	(76)	42	303.9			
		セ54	遺構	竈穴住居	前期	59	125				砥石	流紋岩質流紋岩(古期)	完形	96	63	43	330.3			

表6-2 遺構出土石器属性表（竪穴住居跡） 剥片類

調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	地区・クリットNo	層位	取り上げNo	器種	石材	残存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備考
064	遺構	竪穴住居	早期	1	097				剥片	黒曜石	—	19	—	—	2.8他11個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	1	097				チャート	—	—	13	—	—	0.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	1	097			NS002	剥片	黒曜石	—	20	—	—	1.7他2個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	1	097			NS002	剥片	黒曜石	—	26	—	—	4.2他3個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	3	099			NS001	剥片	無縁直質安山岩	—	17	—	—	0.8	
064	遺構	竪穴住居	早期	3	099			NS2001	剥片	黒曜石	—	34	—	—	4.0	
064	遺構	竪穴住居	早期	3	099			NS2001	剥片	黒曜石ホルンフェルス	—	27	—	—	3.7他1個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	3	099			NS2001	剥片	チャート	—	34	—	—	7.7他1個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	3	099			NS2001	剥片	チャート	—	27	—	—	3.7他1個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	6	1160				剥片	黒曜石	—	38	—	—	7.9	
064	遺構	竪穴住居	早期	6	1160				剥片	黒曜石	—	34	—	—	7.9	
064	遺構	竪穴住居	早期	6	1160				剥片	チャート	—	53	—	—	30.3他2個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	6	1160		覆土	3	剥片	チャート	—	32	—	—	5.1	
064	遺構	竪穴住居	早期	6	1160		覆土		剥片	黒曜石	—	28	—	—	6.3	黒曜石産地分析No17
064	遺構	竪穴住居	早期	6	1160		覆土		剥片	黒曜石	—	15	—	—	0.6	黒曜石産地分析No18
064	遺構	竪穴住居	早期	9	1158		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	18	—	—	4	黒曜石産地分析No19
064	遺構	竪穴住居	早期	9	1158		覆土		剥片	チャート	—	21	—	—	4.9他3個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	9	1158		覆土		剥片	黒曜石	—	31	—	—	1.7	
064	遺構	竪穴住居	早期	9	1158		覆土		剥片	黒曜石	—	23	—	—	3.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土		剥片	黒曜石	—	19	—	—	1.1	
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土サンプル		剥片	チャート	—	43	—	—	10.4	他3個体
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土サンプル		剥片	チャート	—	27	—	—	5	
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土		剥片	黒曜石	—	19	—	—	1.2	
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土		剥片	黒曜石	—	28	—	—	0.6	
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土		剥片	黒曜石	—	18	—	—	2	
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土		剥片	黒曜石	—	14	—	—	3	0.4
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土		剥片	黒曜石	—	27	—	—	1.6	
064	遺構	竪穴住居	早期	10	1157		覆土		剥片	黒曜石	—	15	—	—	0.2	
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土サンプル		剥片	チャート	—	21	—	—	1.7	
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土サンプル		剥片	チャート	—	45	—	—	35.8他5個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土サンプル		剥片	チャート	—	40	—	—	11.8調整剥片	
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土		剥片	黒曜石	—	18	—	—	1.5	
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土		剥片	黒曜石	—	28	—	—	9	1.9
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土		剥片	黒曜石	—	14	—	—	0.5	
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土		剥片	黒曜石	—	18	—	—	3	0.9
064	遺構	竪穴住居	早期	11	1151		覆土		剥片	黒曜石	—	21	—	—	10	1.7
064	遺構	竪穴住居	早期	12	1164				剥片	赤玉	—	32	—	—	2.4	
064	遺構	竪穴住居	早期	12	1164				剥片	黒曜石	—	26	—	—	2.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	13	1152		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	29	—	—	8	2.3
064	遺構	竪穴住居	早期	13	1152		覆土		剥片	黒曜石	—	38	—	—	6.6	
064	遺構	竪穴住居	早期	14	1156		覆土		剥片	チャート	—	17	—	—	2.7	
064	遺構	竪穴住居	早期	16	1154		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	25	—	—	1.2	
064	遺構	竪穴住居	早期	17	1153		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	43	—	—	12.5	
064	遺構	竪穴住居	早期	21	1150		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	16	—	—	1.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	21	1150		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	24	—	—	6.6他1個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	22	1159		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	42	—	—	3.8	
064	遺構	竪穴住居	早期	22	1159		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	22	—	—	1.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	22	1159		覆土サンプル		剥片	黒曜石	—	30	—	—	4.7	
064	遺構	竪穴住居	早期	22	1159		覆土サンプル		剥片	チャート	—	33	—	—	3.4	
064	遺構	竪穴住居	早期	23	035			83	剥片	黒曜石	—	35	—	—	3.5	
064	遺構	竪穴住居	早期	23	035			83	剥片	無縁直質安山岩	—	26	—	—	7.1	他2個体
064	遺構	竪穴住居	早期	23	035			82	剥片	黒曜石	—	28	—	—	1.1	
064	遺構	竪穴住居	早期	23	035			82	剥片	黒曜石	—	37	—	—	5.7	
064	遺構	竪穴住居	早期	25	036				剥片	無縁直質安山岩	—	23	—	—	3.4	
064	遺構	竪穴住居	早期	25	036		覆土		剥片	黒曜石	—	23	—	—	3.0他1個体	
064	遺構	竪穴住居	早期	26	033			2	剥片	黒曜石	—	23	—	—	0.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	079				剥片	無縁直質安山岩	—	17	—	—	1.9	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	079				剥片	黒曜石ホルンフェルス	—	25	—	—	8.6	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			1	剥片	黒曜石ホルンフェルス	—	49	—	—	4.6	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	花崗閃緑岩	—	23	—	—	3.5	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	黒曜石ホルンフェルス	—	29	—	—	4.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	無縁直質安山岩	—	28	—	—	4.6	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	チャート (三配)	—	34	—	—	2.4	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	無縁直質安山岩	—	30	—	—	2.4	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	無縁直質安山岩	—	22	—	—	2.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	無縁直質安山岩	—	26	—	—	4.8	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	無縁直質安山岩	—	24	—	—	1.0	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	無縁直質安山岩	—	21	—	—	3.9	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250		覆土		剥片	黒石安山岩 (四配)	—	29	—	—	4.2	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250		覆土		剥片	無縁直質安山岩	—	23	—	—	0.9	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	079			01	剥片	黒曜石ホルンフェルス	—	60	—	—	13.7	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	079 (250)		覆土		剥片	チャート (三配)	—	24	—	—	1.3	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	079 (250)				剥片	無縁直質安山岩	—	20	—	—	1.4	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			1	剥片	無縁直質安山岩	—	20	—	—	1.7	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250		覆土		剥片	無縁直質安山岩	—	30	—	—	3.8	
064	遺構	竪穴住居	早期	27	250			01	剥片	無縁直質安山岩	—	26	—	—	15.0他9個体	

表6-2 つづき

調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	地区・クリットNo	層位	取り上げNo	器種	石材	残存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備考
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	250		覆土		銅片	チャート	—	35	—	—	8.0	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)				銅片	チャート	—	—	—	—	5.6	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)		覆土	1	銅片	チャート	—	27	—	—	2.8	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)				銅片	チャート	—	29	—	—	2.5	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			17	銅片	黒曜石	—	17	—	—	0.3	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			01	銅片	チャート	—	13	—	—	0.4	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)		覆土	2	銅片	チャート	—	21	—	—	1.1	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)		覆土	1	銅片	チャート	—	44	—	—	3.7	他7副体
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)		覆土		銅片	チャート	—	31	—	—	22.4	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)				銅片	黒曜石	—	30	—	11	6.0	黒曜石産地分析No24
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			133	銅片	黒曜石	—	37	—	—	2.4	黒曜石産地分析No25
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			01	銅片	黒曜石	—	20	—	7	1.3	黒曜石産地分析No26
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			01	銅片	黒曜石	—	29	—	3	0.7	黒曜石産地分析No27
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			123	銅片	黒曜石	—	19	—	10	3.4	黒曜石産地分析No28
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			51.3	銅片	黒曜石	—	23	—	10	2.8	黒曜石産地分析No29
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			600	銅片	黒曜石	—	26	—	7	3.1	黒曜石産地分析No30
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			639	銅片	黒曜石	—	17	—	3	0.5	黒曜石産地分析No31
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079			639	銅片	黒曜石	—	16	—	6	1.4	黒曜石産地分析No32
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	28	—	2	1.2	黒曜石産地分析No33
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	26	—	7	3.2	黒曜石産地分析No35
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	20	—	9	3.3	黒曜石産地分析No36
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	28	—	6	3.3	黒曜石産地分析No37
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	18	—	3	0.9	黒曜石産地分析No39
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	14	—	2	0.8	黒曜石産地分析No41
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	17	—	2	0.4	黒曜石産地分析No42
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	14	—	8	1.2	黒曜石産地分析No43
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	18	—	3	0.6	黒曜石産地分析No44
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	16	—	2	0.6	黒曜石産地分析No45
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	19	—	3	0.6	黒曜石産地分析No46
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)			02	銅片	黒曜石	—	21	—	3	0.8	黒曜石産地分析No47
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)		覆土		銅片	黒曜石	—	29	—	11	4.3	黒曜石産地分析No48
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	079(250)		覆土	46	銅片	無縁皿質安山岩	—	64	—	—	19.4	黒曜石産地分析No49
セ28	遺構	竈穴住居	早期	29	300				銅片	チャート	—	32	—	9	4.4	黒曜石産地分析No97
セ28	遺構	竈穴住居	早期	31	425			02	銅片	チャート	—	40	—	—	10.4	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	27	277				銅片	黒曜石	—	32	—	—	4.9	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	31	277				銅片	黒曜石	—	32	—	—	4.9	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		一括	02	銅片	無縁皿質安山岩	—	44	—	8	5.9	黒曜石産地分析No92
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		一括		銅片	黒曜石	—	26	—	—	4.2	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			422	銅片	無縁皿質安山岩	—	16	—	—	1.5	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	無縁皿質安山岩	—	38	—	—	6.4	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	チャート	—	30	—	—	3.6	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			01	銅片	チャート	—	37	—	—	4.6	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			01	銅片	無縁皿質安山岩	—	37	—	—	7.3	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	無縁皿質安山岩	—	38	—	—	4.3	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			01	銅片	無縁皿ガラス質安山岩	—	29	—	—	2.6	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	19	—	4	0.9	黒曜石産地分析No67
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	31	—	7	3.4	黒曜石産地分析No68
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	19	—	9	1.6	黒曜石産地分析No69
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	20	—	3	0.8	黒曜石産地分析No70
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	20	—	2	0.6	黒曜石産地分析No72
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	17	—	3	0.7	黒曜石産地分析No73
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	18	—	3	0.7	黒曜石産地分析No74
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	20	—	4	0.9	黒曜石産地分析No75
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	18	—	4	1.1	黒曜石産地分析No76
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		覆土		銅片	黒曜石	—	25	—	7	2.4	黒曜石産地分析No77
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		覆土		銅片	黒曜石	—	14	—	1	0.2	黒曜石産地分析No78
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		覆土		銅片	黒曜石	—	20	—	2	0.8	黒曜石産地分析No79
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		覆土		銅片	黒曜石	—	17	—	2	0.3	黒曜石産地分析No80
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		覆土		銅片	黒曜石	—	13	—	7	0.8	黒曜石産地分析No81
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			01	銅片	黒曜石	—	22	—	6	1.5	黒曜石産地分析No82
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202				銅片	黒曜石	—	22	—	7	1.1	黒曜石産地分析No83
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			01	銅片	黒曜石	—	13	—	4	0.4	黒曜石産地分析No84
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			01	銅片	黒曜石	—	13	—	4	0.4	黒曜石産地分析No84
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			02	銅片	黒曜石	—	15	—	3	0.7	黒曜石産地分析No87
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		覆土		銅片	黒曜石	—	19	—	3	0.6	黒曜石産地分析No88
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202		覆土		銅片	黒曜石	—	16	—	2	0.5	黒曜石産地分析No89
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			08	銅片	黒曜石	—	15	—	3	0.9	黒曜石産地分析No90
セ28	遺構	竈穴住居	早期	32	202			01	銅片	無縁皿質安山岩	—	20	—	1.9	0.6	黒曜石産地分析No91
セ28	遺構	竈穴住居	早期	33	201			07	銅片	無縁皿質安山岩	—	29	—	—	1.9	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	33	201			07	銅片	無縁皿質安山岩	—	28	—	—	2.3	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	33	201			03	銅片	無縁皿質安山岩	—	24	—	—	3.3	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	33	201			07	銅片	黒石安山岩(三配)	—	23	—	—	2.4	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	33	201			07	銅片	無縁皿質安山岩	—	20	—	—	1.5	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	33	201			07	銅片	チャート	—	20	—	—	3.7	
セ28	遺構	竈穴住居	早期	33	201			09	銅片	無縁皿質安山岩	—	27	—	—	—	

表6-2 つづき

調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新No	遺構旧No	地区・クリットNo	層位	取り上げNo	器種	石材	残存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備考
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			249	銅片	無鉄品質安山岩	—	18	—	—	0.8	
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			01	銅片	注貫頁岩	—	—	—	—	4.9	
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	42	—	—	6.0	
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			01	銅片	無鉄品質安山岩	—	38	—	—	5.0	
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			01	銅片	無鉄品質安山岩	—	37	—	—	5.9	
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			01	銅片	無鉄品質安山岩	—	29	—	—	2.6	
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			01	銅片	チャート	—	27	—	—	1.8	
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201		覆土		銅片	黒曜石	—	32	—	—	3.7	黒曜石産地分析No49
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201		覆土		銅片	黒曜石	—	23	—	—	2.4	黒曜石産地分析No52
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			03	銅片	黒曜石	—	23	—	—	1.7	黒曜石産地分析No53
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			03	銅片	黒曜石	—	23	—	—	1.7	黒曜石産地分析No54
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			03	銅片	黒曜石	—	21	—	—	3	黒曜石産地分析No55
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			03	銅片	黒曜石	—	29	—	—	2.0	黒曜石産地分析No56
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			03	銅片	黒曜石	—	14	—	—	6	黒曜石産地分析No57
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			03	銅片	黒曜石	—	17	—	—	0.7	黒曜石産地分析No58
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			315	銅片	黒曜石	—	23	—	—	2.7	黒曜石産地分析No59
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			703	銅片	黒曜石	—	26	—	—	0.9	黒曜石産地分析No60
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			703	銅片	黒曜石	—	18	—	—	7	黒曜石産地分析No61
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			459	銅片	黒曜石	—	24	—	—	2.4	黒曜石産地分析No62
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			07	銅片	黒曜石	—	26	—	—	2.7	黒曜石産地分析No63
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			01	銅片	黒曜石	—	27	—	—	9	黒曜石産地分析No64
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			703	銅片	黒曜石	—	39	—	—	2.2	黒曜石産地分析No65
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	33	201			319	銅片	黒曜石	—	38	—	—	1.6	黒曜石産地分析No66
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	チャート	—	32	—	—	1.6	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	チャート	—	26	—	—	3.9	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	チャート	—	31	—	—	9.6	一括 他2個体
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	チャート	—	25	—	—	4.4	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	チャート	—	28	—	—	8.3	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	チャート	—	31	—	—	4.8	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	チャート	—	47	—	—	6.5	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	注貫頁岩	—	33	—	—	9.3	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	42	—	—	5.5	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	29	—	—	3.3	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	29	—	—	5.4	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	30	—	—	9.7	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	30	—	—	2.8	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	35	—	—	7.6	一括 他1個体
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	38	—	—	8.5	一括 他1個体
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	頁岩	—	48	—	—	6.1	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	黒曜石	—	16	—	—	1.6	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	黒曜石	—	28	—	—	2.9	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	黒曜石	—	27	—	—	0.9	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	黒曜石	—	22	—	—	1.9	他4個体
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			01	銅片	黒曜石	—	21	—	—	1.4	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			211	銅片	黒曜石	—	13	—	—	0.1	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			381	銅片	黒曜石	—	27	—	—	1.7	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			394	銅片	黒曜石	—	22	—	—	0.7	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			608	銅片	黒曜石	—	58	—	—	11.3	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			609	銅片	黒曜石	—	25	—	—	7.1	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			659	銅片	黒曜石	—	29	—	—	0.6	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			659	銅片	黒曜石	—	29	—	—	0.6	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	34	203			799	銅片	黒曜石	—	34	—	—	2.2	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	35	249				銅片	黒曜石	—	20	—	—	2.0	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	35	249				銅片	黒曜石	—	24	—	—	8	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	35	249				銅片	黒曜石	—	22	—	—	5	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	35	249				銅片	黒曜石	—	22	—	—	1.4	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	35	249				銅片	無鉄品質安山岩	—	22	—	—	4.8	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	36	225			01	銅片	チャート	—	24	—	—	2.4	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	36	225			01	銅片	チャート	—	22	—	—	3.5	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	36	225			01	銅片	チャート	—	18	—	—	0.9	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	早期	36	225			01	銅片	チャート	—	25	—	—	2.1	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	39	170				銅片	無鉄品質安山岩	—	30	—	—	3.9	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	40	186			2	銅片	赤土	—	25	—	—	3.4	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	41	653			2	銅片	西条片岩	—	40	—	—	14.8	一括 他2個体
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	43	653		一括	001	銅片	西条片岩	—	34	—	—	1.8	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	43	189			70	銅片	赤土	—	35	—	—	5	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	44	023			70	銅片	チャート	—	28	—	—	1.6	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	44	023				銅片	赤土	—	35	—	—	0.8	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	45	114			1	銅片	無鉄品ガラス質安山岩	—	29	—	—	4.5	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	45	114			4	銅片	黒曜石	—	20	—	—	1.4	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	47	115			7	銅片	砂質頁岩	—	47	—	—	12.6	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	48	113			7	銅片	注貫頁岩	—	47	—	—	10.8	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	48	113			22	銅片	黒曜石	—	22	—	—	3	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	49	112			0002	銅片	注貫頁岩	—	31	—	—	4.6	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	49	112			0002	銅片	頁岩	—	32	—	—	11.3	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	51	100			0002	銅片	チャート	—	27	—	—	4.2	一括
セ28	遺構	竈穴・住居	前期	51	100			3	銅片	黒曜石	—	32	—	—	2.0	一括

表 6-2 つづき

調査区	種別	遺構種類	時期	遺構新№	遺構旧№	地区・クリット№	層位	取り上げ№	器種	石材	残存状態	最大長(mm)	最大幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	備考
セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			3	剥片	黒曜石	—	20	—	7	2.6	黒曜石産地分析No142
セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			3	剥片	黒曜石	—	21	—	8	2.3	黒曜石産地分析No143
セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			3	剥片	黒曜石	—	20	—	4	1.0	黒曜石産地分析No144
セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			3	剥片	黒曜石	—	23	—	6	1.4	黒曜石産地分析No145
セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			3	剥片	黒曜石	—	18	—	6	1.0	黒曜石産地分析No146
セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			3	剥片	黒曜石	—	16	—	4	0.8	黒曜石産地分析No147
セ54	遺構	竈穴住居	前期	51	100			3	剥片	黒曜石	—	14	—	3	0.4	黒曜石産地分析No148
セ54	遺構	竈穴住居	前期	52	101			4	剥片	黒曜石	—	19	—	2	0.4	黒曜石産地分析No149
セ54	遺構	竈穴住居	前期	53	103			006	剥片	緑色片岩	—	34	—	—	12.6	—
セ54	遺構	竈穴住居	前期	53	103			1	剥片	フヤート	—	34	—	—	3.1	—
セ54	遺構	竈穴住居	前期	53	103						—			—	2.2	—

表7 遺構出土礫集計表 (竪穴住居跡)

新No	調査区	旧No	時期	位置	合計			被熱				無被熱自然礫				礫石器				備考
					点数	重量 (g)	赤色化 点数 重量 (g)	比率 (%)	黒・灰色化 点数 重量 (g)	比率 (%)	点数	重量 (g)	比率 (%)	点数	重量 (g)	比率 (%)	点数	重量 (g)	比率 (%)	
1	064	097	早期	J18-80・90・J1C-71・81	36	1,755	10	852	49	24	748	43	75	4	1	80	5			
2	064	076	早期?	2B-18	0	0	0	0	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	
3	064	099	早期	2C-33・34	22	777	5	178	23	16	555	71	44	6	0	0	0	0	0	
4	064	096	早期?	2C-41・42	0	0	0	0	—	0	0	—	0	—	0	0	0	0	0	
5	064	103	?	2C-51・52・61・62	0	0	0	0	—	0	0	—	0	—	0	0	0	0	0	
6	099	1100	前期	JF-18・19・28・29・38・39	21	2,653	8	810	31	7	403	15	66	2	5	1,374	52			
7	099	1161	前期	JF-29・30	7	689	3	430	62	3	171	25	0	0	0	1	88	13		
8	099	1166	前期	JF-42	0	0	0	0	—	0	0	—	0	—	0	0	0	0	0	
9	099	1158	前期	JF-17・18・28	0	672	1	369	55	3	217	32	1	86	13	0	0	0	0	
10	099	1157	前期	JF-33・42・43	16	1,455	5	590	41	6	440	30	2	215	15	3	210	14		
11	099	1151	前期	JF-54・64	12	1,273	6	732	58	3	171	13	2	143	11	1	227	18		
12	099	1164	前期	JF-67・68・77・78	3	383	1	206	54	1	85	22	0	0	0	1	92	24		
13	099	1152	前期	JF-76・77	7	741	3	210	28	3	213	29	0	0	0	1	318	43		
14	099	1156	前期	JF-87・88・97・98	18	2,585	5	378	15	9	900	35	0	0	4	1,307	51			
15	099	1155	前期	JF-97・98・J1C-07・08	4	915	1	65	7	1	20	2	0	0	0	2	830	91		
16	099	1154	前期	JF-06・07・16・17	5	1,105	3	575	52	1	327	30	0	0	0	1	203	18		
17	099	1153	前期	J1C-05・06・15・16	9	555	0	0	0	1	77	14	5	190	36	3	270	50		
18	099	1162	前期	J1C-35・36	0	0	0	0	—	0	0	—	0	—	0	0	0	0	0	
19	099	1167	前期	J1C-62・63	0	0	0	0	—	0	0	—	0	—	0	0	0	0	0	
20	099	1163	前期	J1C-79・88・89・90	11	908	6	649	71	5	259	29	0	0	0	0	0	0	0	
21	099	1150	前期	J1C-94・95・J1H-04・05	32	953	23	579	61	8	347	36	0	0	0	1	27	3		
22	099	1159	前期	J1C-81・82	4	289	3	280	97	1	9	3	0	0	0	0	0	0	0	
23	072	035	早期	2B-D1	218	5,584	62	2,412	43	153	2,658	48	0	0	3	514	9			
24	072	030	早期	4A-43	28	829	7	252	30	21	577	70	0	0	0	0	0	0	0	
25	073	036	早期	B09-G・K	4	1,021	2	429	42	1	193	19	0	0	0	1	399	39		
26	073	033	早期	B00-G・A・B	2	23	2	23	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27	078	079	早期	J16-03・06・07・10・11・14・15	918	25,442	289	9,238	36	584	11,768	46	27	798	3	18	3,638	14		
28	078	317	早期	19-08	1	1,405	9	598	43	12	807	57	0	0	0	0	0	0	0	
29	078	300	早期	H10-05・09	1	33	0	0	0	1	33	100	0	0	0	0	0	0	0	
30	078	425	早期	G11-14・15・H1-02・03・06・07	39	2,319	19	1,132	49	18	783	34	0	0	0	2	404	17		
31	078	227	早期	J9-03・04・07・08・J10-01・05	71	9,268	51	4,014	43	9	3,090	33	3	65	1	8	2,099	23		
32	078	202A	早期	J10-06・07・08・10・11	271	14,546	80	3,866	27	191	10,680	73	0	0	0	0	0	0	0	住居内集積 (石材分)
33	078	201	早期	J10-12・16・J11-05・06・09・10・13	853	39,714	199	11,447	29	625	24,846	63	5	533	1	26	2,871	7	魔土一括	
34	078	203	早期	J10-10・11・13・14・15・K10-02	75	2,886	24	687	24	40	1,471	51	2	332	12	9	396	14	以屑中	
35	078	249	早期	K10-03・04・07・08	1,818	95,837	611	33,765	44	146	4,640	54	4	150	2	0	0	0	0	住居内集積 (石材分)
36	078	225	早期?	K9-05・06・10・11	1,935	80,487	502	29,000	36	1,390	45,778	57	6	187	0	37	5,522	7	魔土一括	
37	078	169	前期	F13-14・15	36	3,100	21	1,082	35	11	992	32	1	121	4	3	965	29		
38	078	197	前期	H14-05・06・09・10	8	146	5	112	77	1	16	11	3	2	1	15	10			
39	078	170	前期	H15-05・09	1	432	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40	078	186	前期	H14-12・16	117	4,224	48	1,840	44	68	1,902	45	0	0	0	1	482	11		
41	078	053	前期	J15-05・09	227	9,383	68	2,775	30	156	6,192	66	0	0	0	3	416	4		
42	078	122	前期	H16-G・K	1	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	138	100		
43	054	189	前期	H16-C・D	53	1,411	11	325	23	42	1,088	77	0	0	0	0	0	0	0	
44	078	023	前期	J17-03・07・08・11・12	111	5,689	36	2,036	36	72	2,642	46	0	0	0	3	1,011	18		
45	054	114	前期	J17-6・H	155	2,994	21	573	19	133	2,213	74	0	0	0	1	208	7		
46	054	116	前期	J17-1・J・M・N	110	3,979	25	1,000	25	84	2,832	71	0	0	0	1	137	3		
47	054	115	前期	J17-1・K・N・0	20	1,499	8	311	21	12	1,188	79	0	0	0	0	0	0	0	
48	054	113	前期	J17-1・P	60	2,114	21	605	29	37	1,289	61	1	37	2	1	183	9		
49	054	112	前期	J17-P・J18-M・J17-D・J18-A	125	4,490	35	1,285	29	88	2,834	63	0	0	0	2	371	8		
50	054	182	前期	J18-F・G	0	0	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	
51	054	100	前期	J18-G・H・K・L	162	5,125	57	1,495	29	101	3,364	66	3	100	2	1	166	3		
52	078	021	前期	G19-14・H19-01・02・05・06	64	4,200	43	1,330	30	13	678	15	1	44	1	7	2,348	53		
53	054	105	前期	J19-6・H・K・L・G20-E・I	44	2,731	13	266	10	30	2,145	59	1	320	12	0	0	0	0	
54	054	83	前期	G20-I・J・M・N	7	378	1	164	43	6	214	77	0	0	0	0	0	0	0	
55	054	121	前期	J20-N・0・J20-B・C	15	1,213	5	236	19	8	373	31	0	0	0	2	604	50		
56	054	124	前期	J17-L・J18-E・I	5	266	3	111	42	1	26	10	0	0	0	1	120	48		
57	054	123	前期		6	205	3	163	80	3	42	20	0	0	0	0	0	0	0	
58	054	79A	前期	J18-B	15	928	7	522	56	7	103	11	0	0	0	1	303	33		
59	054	125	前期	K21-E・F・I・J	15	1,471	2	377	26	12	764	52	0	0	0	1	330	22		
60	054	139	前期	K21-M・N・L21-A・B	0	0	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	
計					8,101	364,040	2,435	124,873	34	5,388	199,692	55	78	4,284	1	180	35,191	10		

第2節 その他の遺構

はじめに

堅穴住居跡以外の遺構としては、表1に示すように堅穴状遺構13、炉穴248、集石4、陥し穴38、土坑117、落ち込み3の計427基がある。このうち、SW74・SW79・SW80・SW81・SW83地区検出の47基については、図面等の情報が欠如し詳細不明であったため除外し、ここでは380基について記載をおこなう。これらの属性については表8にまとめた。その他の遺構は各地区に分布するが、このうち主体を占める炉穴群はとくに遺跡の南側、セ28地区に集中してみられる。この箇所はまた、先述した早期の大型堅穴住居跡が集中する所でもある。

各遺構出土の土器については、その内訳の集計を表9に示し、主要な土器を図示しその属性を表10（DVD内に収録）に示した。石器については、その属性を表11に示した。礫については、遺構ごとに集計したものを表12に示した。

61号遺構

【検出位置】 064区2B-27

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.00m・短軸1.03m・深さ32cm。燃焼面1箇所（第213図）。

【重複関係】 弥生住居跡（発掘調査次NoSB058）と重複のため、南側部分を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

62号遺構

【検出位置】 064区2B-43・53

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.89m・短軸0.97m・深さ37cm（第213図）。

【覆土】 暗茶褐色土・暗褐色土などを主体とする。

【重複関係】 弥生住居跡（発掘調査次NoSB078）と重複のため、北東側の一部を欠失する。新旧関係は62号が旧。

【出土遺物】 6点・276gの礫および礫石器が出土している。このうち94.2%に被熱のあとがみられる。石器は、磨製石斧1点が出土している。土器は、2点・45g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。いずれも条痕文系土器であり、当該時期を62号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第213図1に示した。条痕文系土器の口縁部破片である。外面横方向、内面斜方向の条痕が施される。出土石器は、第213図2に示した。現存最大長41mmを測る頁岩製の磨製石斧である。表裏面ともに扁平な原石の自然面を極力利用し、部分的研磨によって器体を整形し刃部を作り出している。基部と刃部が破損する。

63号遺構

【検出位置】 064区2B-84・85

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.29m・短軸1.03m・深さ37cm。主軸方向 60°。燃焼面1箇所（第213図）。

表8 その他の遺構属性表

新址	調査区	旧No.	グループ	位置	種別	形状	時期	主軸方向	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	覆土	遺物	遺構の略図ほか	備考
61	064	SP207	2B-27		竪穴		—		100	103	32		なし	燃焼面1ヶ所	上層住居跡と南側で重複
62	064	SK039	2B-43・53		土坑		早期		189	97	37		なし	燃焼面1ヶ所	上層住居跡と一部重複、62号遺構が旧
63	064	SP209	2B-84・85		竪穴		—	60°	229	103	37		なし	燃焼面不明	
64	064	SP208	2B-85・86		竪穴？		—		132	108	23		なし		
65	064	SK208	2B-67・77		土坑		—		165	140	36		なし		
66	064	SP206	2B-79		竪穴	ア・メーバス状	—		179	82	37		なし	燃焼面2ヶ所	上層住居跡と南側で重複
67	064	SK204	2C-31		掘し穴		—		320	163	120		なし		上層住居跡と東側で重複
68	064	SK202	2C-51・61		土坑		—		320	163	71		なし		5号住居跡と重複、69号遺構が新
69	064	SK203	2C-82		掘し穴		—		283	166	109		なし		上層住居跡の下
70	064	SK205	2C-63・72・73		掘し穴		—	338°	294	136	88		なし	燃焼面1ヶ所	上層住居跡と北側で重複
71	064	SK205	2C-12		掘し穴		—		291	56	72		なし		上層住居跡と北側で重複
72	064	SP205	2C-38		竪穴	ア・メーバス状	—		346	189	42		なし	燃焼面3ヶ所？位置不明確	上層住居跡と南側で重複
73	064	SP201	2C-56		竪穴		早期						なし	燃焼面4ヶ所	*図面不明
74	064	SP202	2C-66・76		竪穴		—		194	94	78		なし	燃焼面1ヶ所	*図面不明
75	064	SP203	2C-75		竪穴		—		237	141	104		なし	燃焼面1ヶ所	上層住居跡の下部
76	064	SK203	2C-71		掘し穴		—		178	75	40		なし		上層住居跡の下
77	064	SK201	3B-50		竪穴		—		176	135	30		なし		上層住居跡と東側で重複
78	71	5号	西側		竪穴？		—		194	86	24		なし	燃焼面不明	
79	71	4号	西側		竪穴？		早期		177	129	16		なし	燃焼面不明	
80	71	3号	西側		竪穴？		早期		386	372	37		なし	燃焼面不明	
81	71	7号	西側		竪穴		早期	281°	384	169	78		なし	燃焼面不明	
82	71	2号	西側		竪穴		早期	349°	210	106	27		なし	燃焼面2ヶ所	
83	71	6号	西側		竪穴？		早期		318	301	28		なし	燃焼面不明	
84	71	9号	西側		竪穴？		早期		275	156	34		なし	燃焼面2ヶ所	
85	71	4号	西側		竪穴？	竪穴状	—		308	150	48		なし		上層住居跡と南側で重複
86	71	西側6号	西側		竪穴	長楕円形	—		180	124	56		なし		
87	71	西側5号	西側		土坑	長楕円形	—		180	124	56		なし		
88	71	西側4号	西側		土坑	竪円形	—		433	361	34		横のみ		
89	71	11・12号	西側		竪穴		早期？		293	216	38		なし	燃焼面1ヶ所	
90	71	10号	西側		竪穴	ア・メーバス状	早期		455	192	29		なし	燃焼面4ヶ所	
91	71	10号(西)	東側		土坑	長楕円形	早期		167	92	18		なし		
92	71	29号	東側		土坑	竪円形	—		122	72	11		なし		
93	71	30号	東側		土坑	竪円形	—		160	108	15		なし		
94	71	28号	東側		土坑	竪円形	—		130	80	15		なし		
95	71	27号	東側		土坑	竪円形	—		330	306	23		なし		
96	71	31号	東側		土坑	不整形	—		120	84	19		なし		
97	71	26号	東側		土坑	竪円形	前期		267	165	26		なし		掘集り
98	71	1号	東側		土坑	竪円形	前期		169	148	15		なし		燃焼時5号土坑
99	71	1号	東側		土坑	竪円形	前期		147	123	15		なし		燃焼時1号土坑
100	71	5号	東側		土坑	竪円形	早期		241	172	—		なし		
101	71	2号	東側		土坑	竪円形	—		100	66	21		なし		
102	71	3号	東側		土坑	ビッド状	前期		86	67	15		なし		
103	71	11号	東側		土坑	ビッド状	—		257	130	42		なし		
104	71	10号(東)	東側		土坑	長楕円形	前期		398	283	23		なし		
105	71	6号	東側		土坑	不整形	—		146	116	148		なし		
106	71	13号	東側		土坑	円形	早期		421	252	13		なし		107号遺構より新
107	71	8号	東側		土坑	不整形	—		423	219	16		なし		
108	71	12号	東側		土坑	不整形	—		133	124	20		なし		
109	71	7号	東側		土坑	不整形	—		88	66	23		なし		
110	71	9号	東側		土坑	竪円形	—		108	61	13		なし		
111	71	16号(西)	東側		土坑	ビッド状	—		312	96	34		なし	燃焼面2	
112	71	16号(東)	東側		土坑	ビッド状	—		236	128	34		なし	燃焼面1	
113	71	14号	東側		土坑	ビッド状	—		284	180	94		なし	燃焼面2	
114	71	15号	東側		土坑	ビッド状	—		242	124	55		なし	燃焼面1	
115	099	3075	FE-87・97		竪穴		早期	164°	278	164	24		なし	燃焼面1	
116	099	3066	FE-78・79・88・89		竪穴		早期	128°	220	110	51		なし	燃焼面不明	
117	099	3128	FE-43・44・54		竪穴	ア・メーバス状	早期		168	94	不明		なし	燃焼面不明	
118	099	3073	FE-82・83		竪穴		早期	206°	172	94	27		なし	燃焼面1	
119	099	3074	FE-92・93		竪穴		早期	320°	244	114	49		なし	燃焼面3	
120	099	3007	FE-94	FF-03・04	竪穴		早期		315	200	85		なし	燃焼面2	
121	099	3078	FE-03		竪穴？	竪円形	早期		282	126	41		なし	燃焼面3	
122	099	3080	FE-04		竪穴？	竪円形	—		266	200	83		なし	燃焼面不明	
123	099	3137	FE-20・30		竪穴	ア・メーバス状	早期	171°	298	184	61		なし	燃焼面2	
124	099	3060	FE-77・87		竪穴	ア・メーバス状	早期		238	104	61		なし	燃焼面3	
125	099	3039	FE-27・28		竪穴	ア・メーバス状	早期		200	92	33		なし	燃焼面1	
126	099	3152	FE-76・76		竪穴	ア・メーバス状	早期		340	136	179		なし	燃焼面2	
127	099	3182	FE-76・76		竪穴？	ア・メーバス状	早期		280	100	123		なし	燃焼面3	
128	099	3181	FE-85・93		竪穴	ア・メーバス状	早期		460	160	105		なし	燃焼面1	
129	099	3180	FE-85・76・85・86		竪穴	ア・メーバス状	早期	187°	345	162	132		なし	燃焼面1	
130	099	3179	FE-86・96		竪穴	ア・メーバス状	早期	185°	200	92	33		なし	燃焼面1	
131	099	3179	FE-87		竪穴	ア・メーバス状	早期		340	136	179		なし	燃焼面1	
132	099	3184	FE-97		竪穴	竪円形	早期		200	120	42		なし	燃焼面1	
133	099	3038	FE-16・17		竪穴	長楕円形	早期		150	120	42		なし	燃焼面1	
134	099	3363	FE-55・56・65		掘し穴	長楕円形	—		280	100	123		なし	燃焼面1	
135	099	3121	GE-40		掘し穴	円形	—		150	146	34		なし	燃焼面1	
136	099	3118	FE-97		土坑	円形	—		460	160	105		なし	燃焼面1	
137	099	3341	NE-34		土坑	長楕円形	—		345	162	132		なし	燃焼面1	
138	099	3342	NE-34		掘し穴	長楕円形	—						なし	燃焼面1	

遺物不明
お米の水女子大学調査・新々付加

表8 つづき

新地	調査区	旧地	グループ	位置	種別	形状	時期	主軸方向	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	覆土	遺物	遺構の増減ほか	備考
139	099	3336	N-16		土坑	長楕円形	一		330	174	26		なし		
140	099	3335	N-27		土坑	円形	前期		178	174	53				
141	099	3331	MH-20 NH-01・11		竈穴	長楕円形	一		314	122	221		なし		
142	099	3330	NH-04		竈穴	長楕円形	一		350	156	220		なし		
143	099	3362	06-A3・44		集石遺構		早期		130	118	—			落ち込み	
144	099	3316A	06-02・03・72・73		集石遺構	不整形	早期		280	176	23				
145	099	3316B	06-73		土坑?	楕円形?	早期		270	72	19				
146	099	3304	06-39・40		竈穴?		一		318	102	87		なし	燃焼面不明	
147	099	3357	06-97・77		竈穴	楕円形	一		504	100	89		なし		
148	099	3303	06-72		竈穴	楕円形	一		292	101	72		なし		
149	099	3303	06-72		竈穴	楕円形	一		296	100	130		なし		
150	099	3324	0H-17		竈穴	楕円形	不明		180	59	74				
151	099	3301	0H-30・40		集石遺構	長楕円形	早期		310	184	—				
152	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	一		195	78	62		なし		
153	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		89	88	42				
154	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		275	178	149				
155	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
156	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
157	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
158	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
159	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
160	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
161	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
162	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
163	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
164	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
165	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
166	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
167	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
168	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
169	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
170	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
171	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
172	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
173	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
174	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
175	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
176	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
177	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
178	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
179	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
180	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
181	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
182	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
183	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
184	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
185	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
186	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
187	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
188	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
189	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
190	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
191	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
192	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
193	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
194	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
195	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
196	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
197	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
198	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
199	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
200	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
201	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
202	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
203	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
204	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
205	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
206	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
207	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
208	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
209	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
210	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
211	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
212	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
213	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
214	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
215	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		
216	099	3302	PH-11		竈穴	長楕円形	早期		102	84	54		なし		

表8 つづき

新地	調査区	旧地	グループ	位置	種別	形状	時期	主軸方向	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	覆土	遺物	遺構の増減ほか	備考
217	セ28	324	②	17-01・02	古穴	アメーバ状	早期		613	387	70			燃焼面9箇所 燃焼面1箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
218	セ28	325	②	17-03・04・07	古穴		早期	125°	318	298	47			燃焼面1箇所 燃焼面1箇所	
219	セ28	430	③	8-15	古穴		早期		189	101	78	山層	人骨	燃焼面1箇所	
220	セ28	420	③	8-12	古穴		早期		210	142	40	山層		燃焼面5箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
221	セ28	422	③	9-09・13	古穴		早期		530	393	88	山層		燃焼面2箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
222	セ28	380	③	9-10	古穴	アメーバ状	早期		411	251	81			燃焼面7箇所	
223	セ28	381	③	9-06・07・10・11	古穴	アメーバ状	早期		533	510	52			燃焼面3箇所	
224	セ28	382	③	9-08	古穴		早期	41°	225	180	50			燃焼面2箇所	
225	セ28	383	④	18-02・06	古穴		早期		224	272	69			燃焼面3箇所	
226	セ28	384	④	18-05・06	古穴		早期	16°	228	272	63		なし	燃焼面3箇所	
227	セ28	370	④	18-05・06	古穴		早期		228	179	43			燃焼面6箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
228	セ28	368	④	18-02・03・06・07	古穴		早期		455	300	47	山層			
229	セ28	367	④	18-06・07	古穴	不整形	早期		250	137	39				
230	セ28	366	④	18-06・10	古穴	縦丸方形	早期		235	154	15		なし		
231	セ28	437	④	18-07・11	古穴	方形	早期		209	160	64				
232	セ28	347	④	18-10	古穴	アメーバ状	早期		143	101	41			底面やや変状	
233	セ28	365	④	18-10	古穴		早期		350	330	57			燃焼面1箇所	
234	セ28	343	④	118-14	古穴		早期		165	106	54			燃焼面2箇所	
235	セ28	342	④	18-14・15	古穴		早期		240	238	95			燃焼面3箇所。構造の一部残存	
236	セ28	372	④	18-03・04・07・08	古穴	アメーバ状	早期	207°	287	158	58	山層		燃焼面1箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
237	セ28	395	④	18-08・19-05	古穴		早期		590	327	83	山層		燃焼面3箇所	
238	セ28	394	④	18-07・08・11・12	古穴		早期		352	245	44			燃焼面2箇所	
239	セ28	419	④	18-04・19-01	古穴	アメーバ状	早期		336	228	33	山層		燃焼面4箇所	
240	セ28	418	④	18-06・06	古穴		早期		254	152	83	山層		燃焼面1箇所。天井部・構造の一部残存	
241	セ28	418	④	19-05・09	古穴		早期?	100°	331	286	43	山層	なし	燃焼面1箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
242	セ28	353	④	19-05・09	古穴		早期?		331	286	43	山層		燃焼面2箇所	
243	セ28	354	④	19-09・13	古穴	アメーバ状	早期		303	167	31				
244	セ28	352	④	19-09・13	古穴		早期		233	165	65			燃焼面2箇所。天井の一部残存?	
245	セ28	351	④	19-09・10	古穴	楕円形	早期		238	187	26				
246	セ28	373	④	19-06・10・11	古穴	アメーバ状	早期		330	184	76	山層			
247	セ28	339	④	18-11・15	古穴	楕円形	早期		129	78	9				
248	セ28	340	④	18-15	古穴	楕円形	早期		160	117	41				
249	セ28	341	④	18-15	古穴	楕円形	早期		160	88	31				
250	セ28	335	④	18-16	古穴	アメーバ状	早期		253	236	92			燃焼面2箇所	
251	セ28	357	④	19-12・13	古穴	アメーバ状	早期		323	265	52			燃焼面4箇所	
252	セ28	336	④	19-13	古穴	楕円形	早期		221	133	16				
253	セ28	338	④	18-16	古穴	楕円形	早期		311	95	16				
254	セ28	339	④	18-15・16・18-03・04	古穴	楕円形	早期	10°	189	116	62			燃焼面2箇所	
255	セ28	337	④	18-04	古穴	アメーバ状	早期		310	190	32			燃焼面2箇所	
256	セ28	334	④	18-03・04	古穴	楕円形	早期		143	100	29				
257	セ28	334	⑤	19-03	古穴		早期		209	183	43			燃焼面不明	
258	セ28	378	⑤	19-02・03・06	古穴		早期		424	286	48	山層		燃焼面6箇所	
259	セ28	375	⑤	19-02・03・06	古穴		早期		189	185	47			燃焼面2箇所	
260	セ28	376	⑤	19-03	古穴		早期		517	384	106			燃焼面2箇所	
261	セ28	377	⑤	19-15・19-03	古穴		早期		290	218	48			燃焼面2箇所	
262	セ28	389	⑤	19-16・10-13・19-04・10-01	古穴	楕円形	早期		253	168	14			燃焼面2箇所	
263	セ28	388	⑤	19-04	古穴	アメーバ状	早期		618	605	24				
264	セ28	386	⑤	19-04・08、H10-01・05	竪穴状遺構		早期		388	177	53			燃焼面3箇所	
265	セ28	387	⑤	19-04・08、H10-01・05	古穴	アメーバ状	早期		336	209	78			燃焼面3箇所	
266	セ28	390	⑤	110-01	古穴	アメーバ状	早期?		104	62	12		なし	燃焼面1箇所	
267	セ28	388	⑤	19-09・14	古穴	楕円形	早期		219	151	11		なし	燃焼面1箇所	
268	セ28	389	⑤	19-12	古穴	楕円形	早期		219	201	88	山層		燃焼面3箇所	
269	セ28	333	⑥	18-03	古穴	楕円形	早期	281°	209	136	39			燃焼面1箇所	
270	セ28	344	⑥	18-07・08	古穴		早期	324°	248	108	41			燃焼面1箇所	
271	セ28	383	⑥	18-05・06	古穴	アメーバ状	早期		443	238	39			燃焼面4箇所	
272	セ28	383	⑥	18-05・06	古穴		早期		236	142	64			燃焼面2箇所	
273	セ28	384	⑥	18-05・06	古穴		早期	60°	304	106	68	山層		燃焼面1箇所	
274	セ28	385	⑥	18-06・10	古穴		早期	174°	318	181	49			燃焼面1箇所	
275	セ28	329	⑥	18-09・13	古穴		早期		234	118	32			燃焼面1箇所	
276	セ28	319	⑥	18-10	古穴	アメーバ状	早期	197°	505	340	40			燃焼面6箇所	
277	セ28	349	⑥	18-07・11	古穴		早期		110	71	12			燃焼面1箇所	
278	セ28	350	⑥	18-08・12	古穴	アメーバ状	早期		218	185	45		なし	燃焼面不明	
279	セ28	348	⑥	18-11・12	古穴		早期		273	138	80			燃焼面2箇所	
280	セ28	3188	⑥	19-08・09	古穴	アメーバ状	早期	53°	218	138	55			燃焼面1箇所	
281	セ28	318	⑥	19-09・13	古穴	アメーバ状	早期		424	234	31			燃焼面1箇所	
282	セ28	296	⑥	18-13・14、18-01・02	竪穴状遺構	不整形	早期		427	124	15			燃焼面1箇所	
283	セ28	320	⑥	18-13・14、18-02・03	竪穴状遺構		早期?	220°	224	108	65		なし	燃焼面1箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
284	セ28	321	⑥	18-15・16	古穴		早期		230	190	84				
285	セ28	325	⑥	18-03・04	古穴		早期	42°	265	99	28				
286	セ28	322	⑥	18-04	古穴?		早期?		135	103	46		なし		
287	セ28	323	⑥	18-04	古穴?		早期?		296	130	37	山層	なし		
288	セ28	277A	⑥	19-01	古穴		早期?		286	112	50		なし		貝層分布図なし
289	セ28	277B	⑥	19-01・05	古穴?		早期?		136	129	35		なし		
290	セ28	275	⑥	19-13・14、19-01・02	古穴		早期	9°	260	160	35				
291	セ28	276	⑥	19-01	古穴		早期		267	175	88	山層		燃焼面1箇所	
292	セ28	312	⑦	19-02・06	古穴	アメーバ状	早期		583	309	88			燃焼面1箇所	
293	セ28	313	⑦	19-02・06	古穴		早期		324	204	84			燃焼面3箇所	
294	セ28	314	⑦	19-06・07	古穴	アメーバ状	早期					84	山層	燃焼面3箇所	

表8 つづき

新地	調査区	旧地	グループ	位置	種別	形状	時期	主軸方向	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	覆土	遺物	遺構の増減ほか	備考
295	セ28	316	(7)	9-07・08・11・12	穴穴		早期		348	276	85			燃焼面4・箇所	
296	セ28	315	(7)	9-10・11	穴穴		早期		415	358	68			燃焼面2箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
297	セ28	391	(8)	10-01・02・06	穴穴	ア・メーバ状	早期		798	285	100			燃焼面8箇所	
298	セ28	392	(8)	10-01・02	穴穴		早期		249	283	69			燃焼面4箇所	
299	セ28	242	(8)	10-05・06・09・10	穴穴	ア・メーバ状	早期		276	276	72	11層		燃焼面4箇所	
300	セ28	396	(8)	10-10	穴穴	ア・メーバ状	早期		277	230	75	11層		燃焼面2箇所	
301	セ28	390	(9)	9-16, 9-04	穴穴		早期		284	207	49	11層		燃焼面1箇所	
302	セ28	273	(9)	9-08	穴穴	ア・メーバ状	早期		259	198	78	11層		燃焼面2箇所	
303	セ28	274	(9)	9-08・10	穴穴		早期		301	204	52			燃焼面3箇所	
304	セ28	278	(9)	9-10・11・14・15	穴穴		早期		313	241	51			燃焼面1箇所	
305	セ28	278	(9)	9-07・08・11・12	穴穴		早期		513	478	73			燃焼面5箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
306	セ28	363	(9)	9-12・11-09	穴穴		早期		201	459	110			燃焼面2箇所。周囲に竪穴状の掘り込み	
308	セ28	258	(9)	9-07・11	穴穴	ア・メーバ状	早期?		369	300	86			燃焼面3箇所	
309	セ28	438	(9)	10-07・11	穴穴	ア・メーバ状	早期?		309	244	76		なし	燃焼面3箇所	
310	セ28	260	(9)	10-09・10・13	穴穴	ア・メーバ状	早期		349	325	60			燃焼面3箇所	
311	セ28	415	(9)	10-14	穴穴	ア・メーバ状	早期		280	220	38			燃焼面3箇所	
312	セ28	251	(9)	10-15・10-03	穴穴	ア・メーバ状	早期		364	267	47			燃焼面4箇所	
313	セ28	253	(9)	9-07・08	穴穴	竪穴状	早期		365	180	222		なし	燃焼面4箇所	
314	セ28	252	(9)	10-02・06	穴穴	竪穴状	早期		227	113	100		なし	燃焼面4箇所	
315	セ28	407	(9)	10-07	穴穴	竪穴状	早期?		330	185	42			燃焼面4箇所	
316	セ28	406	(9)	10-07・08	穴穴	竪穴状	早期		378	286	34			燃焼面1箇所	
317	セ28	413	(9)	10-12	穴穴	竪穴状	早期	94°	281	321	51			燃焼面1箇所	
318	セ28	412	(9)	10-12	穴穴	竪穴状	早期		281	321	51			燃焼面1箇所	
319	セ28	409	(9)	10-02	穴穴	竪穴状	早期		184	348	24			燃焼面1箇所	
320	セ28	433	(9)	10-04・08	穴穴	竪穴状	早期?	132°	250	115	54		なし	燃焼面2箇所	
321	セ28	427	(9)	10-09・10・13・14	穴穴	ア・メーバ状	早期		456	336	65			燃焼面2箇所	
322	セ28	435	(9)	10-12	穴穴	ア・メーバ状	早期		314	136	48			燃焼面4箇所	
323	セ28	434	(9)	10-11・12・13・16	穴穴	ア・メーバ状	早期		569	425	79			燃焼面4箇所	
324	セ28	431	(9)	10-08・12, 10-05・09	穴穴	ア・メーバ状	早期		333	234	101			燃焼面1箇所	
325	セ28	432	(9)	10-12・10-09	穴穴	ア・メーバ状	早期	207°	251	156	55			燃焼面3箇所	
326	セ28	428	(9)	10-14・11-02	穴穴	ア・メーバ状	早期		315	222	98	11層		燃焼面1箇所	
327	セ28	429	(9)	10-03・07	穴穴	ア・メーバ状	早期	163°	229	136	51			燃焼面7箇所	
328	セ28	302	(9)	10-05・09	穴穴	ア・メーバ状	早期		373	285	63			燃焼面2箇所	
329	セ28	301	(9)	10-09・10	穴穴	ア・メーバ状	早期		261	252	80	11層		燃焼面2箇所	
330	セ28	303	(9)	10-09・10	穴穴	ア・メーバ状	早期		276	251	54			燃焼面5箇所	
331	セ28	309	(9)	10-12・16	穴穴	ア・メーバ状	早期		441	227	76	11層		燃焼面3箇所	
332	セ28	293	(9)	10-15・16, 10-04	穴穴	ア・メーバ状	早期		584	293	119			燃焼面7箇所	
333	セ28	284	(9)	10-04・11-01	穴穴	ア・メーバ状	早期		375	152	85	11層		燃焼面2箇所	
334	セ28	285	(9)	10-01・05	穴穴	ア・メーバ状	早期		450	200	65			燃焼面5箇所	
336	セ28	297	(9)	10-06・07	穴穴	ア・メーバ状	早期		460	290	73			燃焼面4箇所	
337	セ28	211	(9)	10-16・11-13	穴穴	ア・メーバ状	早期		300	300	76			燃焼面3箇所	
338	セ28	212	(9)	10-10・13・14	穴穴	ア・メーバ状	早期		765	328	50			燃焼面6箇所	
339	セ28	256	(9)	10-14・10-02	穴穴	ア・メーバ状	早期	67°	388	362	85			燃焼面5箇所	
340	セ28	255	(9)	10-14・10-02	穴穴	ア・メーバ状	早期		265	145	62			燃焼面1箇所	
341	セ28	308	(9)	10-03	穴穴	ア・メーバ状	早期		216	200	111			燃焼面3箇所	
342	セ28	307	(9)	10-03・04	穴穴	ア・メーバ状	早期?	60°	214	97	68		なし	燃焼面1箇所	
343	セ28	306	(9)	10-03・04	穴穴	ア・メーバ状	早期?		229	107	28	11層	なし	燃焼面1箇所	
344	セ28	305	(9)	10-07・08	穴穴	ア・メーバ状	早期		414	227	59			燃焼面2箇所	
345	セ28	214	(9)	10-11・12	穴穴	ア・メーバ状	早期		260	216	75			燃焼面4箇所	
346	セ28	213	(9)	10-11・12	穴穴	ア・メーバ状	早期		348	204	38	11層		燃焼面2箇所	
347	セ28	213	(9)	10-15・16	穴穴	ア・メーバ状	早期	10°	332	160	82			燃焼面2箇所	
348	セ28	217	(9)	10-08・12	穴穴	ア・メーバ状	早期		286	182	89			燃焼面2箇所	
349	セ28	218	(9)	10-12	穴穴	ア・メーバ状	早期		335	108	167		なし	燃焼面2箇所	
350	セ28	215	(9)	10-04・12-01	穴穴	竪穴状	早期		226	115	39			燃焼面1箇所	
351	セ28	281	(9)	10-05	穴穴	竪穴状	早期	69°	295	90	71			燃焼面1箇所	
352	セ28	216	(9)	10-12・12-09	穴穴	ア・メーバ状	早期	57°	205	90	71			燃焼面1箇所	
353	セ28	282	(9)	10-05・09	穴穴	ア・メーバ状	早期	180°	260	105	79	11層		燃焼面3箇所	
354	セ28	200	(9)	10-11・15	穴穴	ア・メーバ状	早期		368	220	96	11層		燃焼面1箇所	
355	セ28	199	(9)	10-16・10-13	穴穴	ア・メーバ状	早期	43°	266	129	59	11層		燃焼面1箇所	
356	セ28	237	(9)	10-16	穴穴	竪穴状	早期		170	124	32			燃焼面8箇所	
357	セ28	238	(9)	10-03・04・07・08	穴穴	竪穴状	早期		630	400	122			燃焼面8箇所	
358	セ28	239	(9)	10-08・10-05	穴穴	竪穴状	早期		178	159	42			燃焼面1箇所	
359	セ28	240	(9)	10-12・10-09	穴穴	竪穴状	早期		338	200	81			燃焼面1箇所	
360	セ28	240	(9)	10-12・10-09	穴穴	竪穴状	早期		338	200	81			燃焼面5箇所	
361	セ28	240	(9)	10-16・10-13	穴穴	竪穴状	早期		250	155	106			不明	
362	セ28	232	(9)	10-04	穴穴	竪穴状	早期		176	142	60			燃焼面7箇所	
364	セ28	198	(9)	10-07・08・11・12	穴穴	ア・メーバ状	早期		550	530	108			燃焼面2箇所	
365	セ28	264	(9)	10-02・05・06	穴穴	ア・メーバ状	早期		305	179	78			燃焼面4箇所	
366	セ28	265	(9)	10-15	穴穴	ア・メーバ状	早期		300	288	82			燃焼面3箇所	
367	セ28	266	(9)	10-15・16	穴穴	ア・メーバ状	早期		356	115	92		横のみ	燃焼面4箇所	
368	セ28	243	(9)	10-03	穴穴	ア・メーバ状	早期		273	172	45			燃焼面4箇所	
369	セ28	262	(9)	10-03	穴穴	ア・メーバ状	早期		320	234	68			燃焼面2箇所	
370	セ28	263	(9)	10-03・04	穴穴	ア・メーバ状	早期		450	309	68			燃焼面7箇所	
371	セ28	267	(9)	10-16・10-13	穴穴	ア・メーバ状	早期	87°	1080	529	87		竪・石器のみ	燃焼面9箇所	
372	セ28	445	(9)	10-06・07	穴穴	ア・メーバ状	早期		388	128	59			燃焼面1箇所	

表8 つづき

新記号	調査区	旧記号	グループ	位置	種別	形状	時期	主軸方向	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	覆土	遺物	遺構の増減ほか	備考
373	せ28	119	05	G15・14・15	土坑	隅丸長方形	—	—	137	93	16	—	なし		せ54で調査
374	せ28	118	05	H15-01	土坑	長楕円形	—	—	234	78	36	—	なし		せ54で調査
375	せ28	161	05	H15-09・10・13・14	竪穴?	長楕円形	早期	134°	236	66	62	—	なし	燃焼面1箇所	せ54で調査
376	せ28	110	05	H16-06	土坑	楕円形	早期?	188°	171	144	54	—	なし	燃焼面1箇所	せ54で調査
377	せ28	106	05	H17-F・G・J・K	土坑	楕円形	早期?	188°	86	63	8	—	なし	燃焼面1箇所	せ54で調査
378	せ54	86		G21-A	土坑	楕円形	—	—	172	87	37	—	なし		
379	せ54	85		G21-B	土坑	楕円形	—	—	166	157	32	—	なし		
380	せ54	84		G21-I・J	土坑	楕円形	—	—	278	120	225	—	なし		
381	せ54	89		G20-N	竪穴	長楕円形	早期	318°	176	80	43	—	なし	燃焼面1箇所	
382	せ54	92		H16-F・J	竪穴	長楕円形	早期?	245°	173	80	21	—	なし	燃焼面1箇所	
383	せ54	93		H16-F・J	竪穴	長楕円形	早期?	180°	175	112	49	—	なし	燃焼面1箇所	
384	せ54	95		H21-I	竪穴	楕円形	早期?	4°	161	158	16	—	なし	燃焼面1箇所	
385	せ54	174		G20-N	竪穴	楕円形	早期?	—	155	139	256	—	なし		
386	せ54	121		H15-H	竪穴?	楕円形?	前期	—	63	60	36	—	なし		
387	せ54	190		H16-P・116-D	土坑	楕円形	—	—	140	75	37	—	なし		
388	せ54	175		H19-H	土坑	楕円形	早期	134°	170	90	39	—	なし	燃焼面1箇所	
389	せ54	176		H19-L	土坑	楕円形	早期?	142°	175	70	26	—	なし	燃焼面1箇所	
390	せ54	173		G20-B・F	土坑	楕円形	早期?	118°	151	86	41	—	なし	燃焼面1箇所	
391	せ54	172		G20-B	土坑	楕円形	早期?	—	109	72	16	—	なし		
392	せ54	138		G20-C・G	土坑	楕円形	—	—	152	97	43	—	なし		
393	せ54	183		G20-C	土坑	楕円形	—	—	110	122	27	—	なし		
394	せ54	184		G20-C	土坑	楕円形	—	—	104	82	35	—	なし		
395	せ54	185		G20-I	土坑	楕円形	—	—	173	91	21	—	なし		
396	せ54	178		G20-I	土坑	楕円形	早期	—	184	105	68	—	なし		
397	せ54	175		K18-C・H	竪穴?	楕円形	早期	—	189	122	46	—	なし		
398	せ54	65A		K18-C・G	土坑	楕円形	不明	—	233	162	55	—	なし		
399	せ54	65B		K18-C	土坑	楕円形	前期	—	299	150	69	—	なし		
400	せ54	64		K18-C・D	土坑	楕円形	前期	—	226	120	63	—	なし		
401	せ54	68a・b		K18-D	土坑	楕円形	—	—	148	143	28	—	なし		
402	せ54	66		K18-G・H	土坑	楕円形	—	—	142	104	32	—	なし		
403	せ54	67		K18-H	土坑	楕円形	—	—	134	120	28	—	なし		
404	せ54	70		K18-H	土坑	楕円形	不明	—	202	106	73	—	なし		
405	せ54	71		K18-K	土坑	楕円形	—	—	207	150	48	—	なし		
406	せ54	186		K19-A	土坑	楕円形	—	—	227	132	58	—	なし		
407	せ54	62b		K19-A・E	土坑	楕円形	—	—	178	101	44	—	なし		
408	せ54	59		K19-A	土坑	楕円形	—	—	204	113	62	—	なし		
409	せ54	187		K19-A・B	土坑	楕円形	—	—	204	113	62	—	なし		
410	せ54	188		K19-B	土坑	楕円形	—	—	204	113	62	—	なし		
411	せ54	180		K19-E・I	土坑	楕円形	—	—	204	113	62	—	なし		
412	せ54	57		G20-E・I	土坑	楕円形	—	—	222	98	38	—	なし		
413	せ54	170		K21-A	土坑	楕円形	—	—	245	205	139	—	なし	2基連続	
414	せ54	136		K22-E	竪穴	楕円形	—	—	135	101	20	—	なし		
415	せ54	194		K22-N	土坑	楕円形	—	—	117	80	57	—	なし		
416	せ54	195		K22-J	土坑	楕円形	—	—	203	200	82	—	なし		
417	せ54	81		K18-A	土坑	楕円形	—	—	244	105	108	—	なし		
418	せ54	80		K18-M・118-A	竪穴	長楕円形	—	—	284	61	79	—	なし		
419	せ54	79B		K18-B	竪穴	長楕円形	—	—	200	97	198	—	なし		
420	せ54	76		L18-C	竪穴	長楕円形	前期	—	90	81	81	—	なし	底面に小ピットあり	
421	せ54	74		L18-H	竪穴	楕円形?	—	—	243	81	104	—	なし		
422	せ54	77		L18-G	土坑	長楕円形	不明	—	173	160	18	—	なし		
423	せ54	5		L18-G・H	土坑	楕円形	—	—	253	92	16	—	なし		
424	せ54	62		L20-I・119-I	竪穴	楕円形	—	—	136	96	127	—	なし	底面に小ピットあり	
425	せ54	126		L19-P	竪穴?	楕円形	—	—	238	137	174	—	なし		
426	せ54	129		L20-A	竪穴	楕円形	—	—	183	133	48	—	なし		
427	せ54	130		L20-N・O	土坑	楕円形	—	—	276	158	251	—	なし		
428	せ54	132		L20-O・P	土坑	楕円形	—	—	166	100	33	—	なし	燃焼面1箇所	
429	せ54	145		L21-H・L	竪穴	楕円形	早期?	348°	277	251	82	—	なし	燃焼面4箇所、天井部・竪道残存	
430	せ54	191		L22-B	土坑	楕円形	早期	—	190	102	43	—	なし	燃焼面1箇所	
431	せ54	192		L22-B	土坑	楕円形	早期	283°	183	136	236	—	なし	燃焼面1箇所	
432	せ54	193		K22-O	土坑	楕円形	—	—	204	96	122	—	なし		
433	せ54	144		L22-M	竪穴	楕円形	—	—	164	140	95	—	なし	2基重複	
434	せ54	162		M21-D・H	土坑	長楕円形	—	—	232	78	106	—	なし		
435	せ54	164		M22-B・F	土坑	長楕円形	—	—	240	170	42	—	なし		
436	せ54	163		M22-F	土坑	長楕円形	—	—	262	102	62	—	なし		
437	せ54	165		M22-F・G	竪穴	隅丸長方形	—	—	262	102	62	—	なし		
438	せ54	166		M22-G	竪穴	隅丸長方形	—	—	262	102	62	—	なし		
439	せ54	157		M22-G	土坑	長楕円形	—	—	205	112	28	—	なし		
440	せ54	167		M22-I	土坑	楕円形?	—	—	205	112	28	—	なし		

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

64号遺構

【検出位置】 064区2B-85・86

【種別】 炉穴か？

【規模ほか】 長軸1.32m・短軸1.08m・深さ23cm。燃焼面不明（第213図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

65号遺構

【検出位置】 064区2B-67・77

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.65m・短軸1.40m・深さ36cm（第213図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

66号遺構

【検出位置】 064区2B-79

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.64m・短軸1.44m・深さ37cm。燃焼面2箇所。平面形アメーバ状（第213図）。

【重複関係】 古墳住居跡（発掘調査次NoSB113）と重複のため、南側部分を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

67号遺構

【検出位置】 064区2C-31

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸1.79m・短軸0.82m・深さ120cm（第213図）。

【重複関係】 弥生住居跡（発掘調査次NoSB062）と東側で重複。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

68号遺構

【検出位置】 064区2C-51・61

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸3.20m・短軸1.65m・深さ71cm（第213図）。

【覆土】 黒褐色土・暗灰褐色土などを主体とする。

【重複関係】 5号住居跡と重複。新旧関係は68号遺構の方が新。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

69号遺構

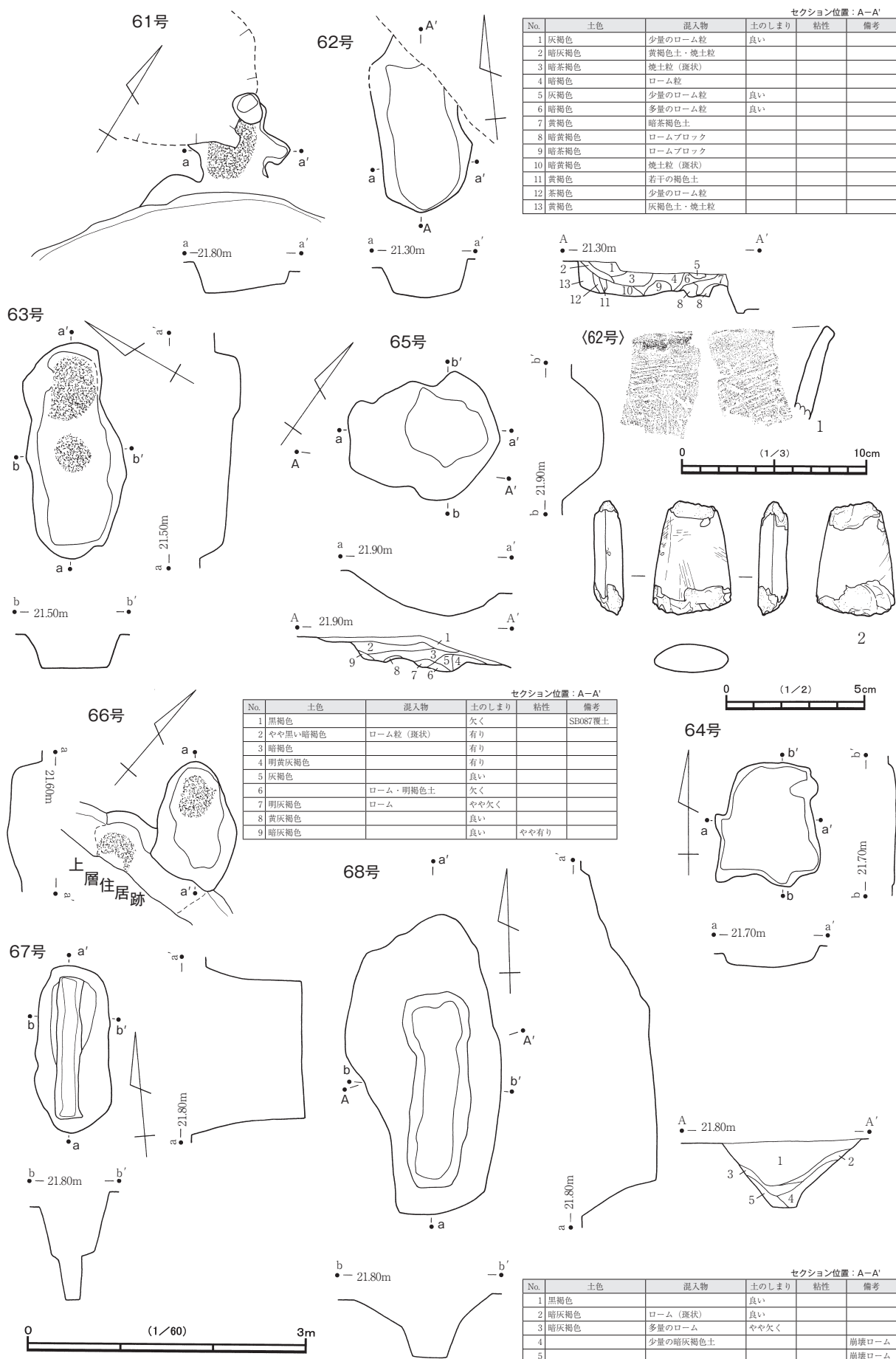
【検出位置】 064区2C-92

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸1.48m・短軸0.66m・深さ109cm（第214図）。

【重複関係】 弥生・古墳住居跡（発掘調査次NoSB004）の下部に位置する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。



第213図 61・62・63・64・65・66・67・68号遺構実測図

70号遺構

【検出位置】 064区2C-62・63・72・73

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.90m・短軸1.22m・深さ48cm。主軸方向 338°。燃焼面 1箇所（第214図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。

【重複関係】 古墳住居跡（発掘調査次NoSB010）と重複のため、北側の一部を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

71号遺構

【検出位置】 064区2C-51

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸1.91m・短軸0.36m・深さ72cm（第214図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

72号遺構

【検出位置】 064区2C-38

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.46m・短軸1.89m・深さ42cm。燃焼面 3箇所（位置不明確）か？。平面形アメーバ状（第214図）。

【重複関係】 古墳住居跡（発掘調査次NoSB014）と重複のため、南側部分を欠失する。北東側は調査区外。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

73号遺構

【検出位置】 064区2C-56

【種別】 炉穴

【規模ほか】 燃焼面 4箇所。図面不在のため詳細不明。

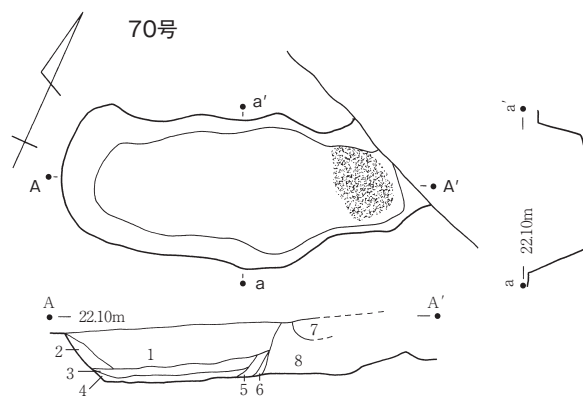
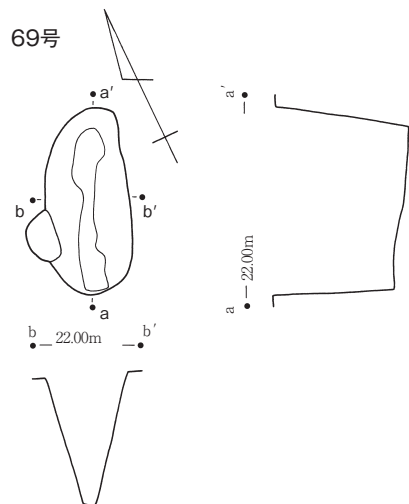
【出土遺物】 22点・1,175 gの礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器はチャートの剥片 1点がある。土器は、41点・1,889 g 出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系のものである。このうち主体を占めるのは、条痕文系の土器で全体のおよそ97%あり、当該時期を73号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第215図 1・2、第216図 3～14に示した。1は推定口径270mm・現存器高255mmを測る平縁の深鉢土器である。口唇部に縦位の刻みがめぐる。口縁部の一部に補修孔がみられる。外面には横・縦・斜方向に、内面には斜・横方向に条痕文が施される。2は推定口径220mm・現存器高133mmを測る平縁の深鉢土器である。外面には横・斜方向に、内面には横・縦・斜方向に条痕文が施される。器形はゆがみ、内面器壁は剥落顕著である。11～14は、羽状縄文系・関山式の胴部破片とみられる。

74号遺構

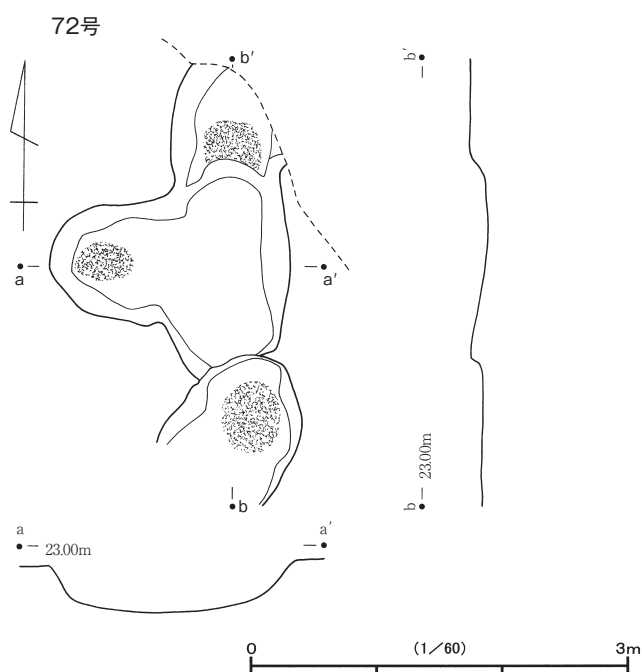
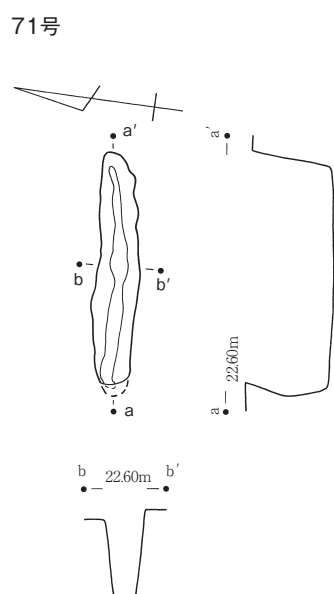
【検出位置】 064区2C-66・76

【種別】 炉穴



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色		良い		
2	暗黄褐色味暗褐色		きめ細かく良い		
3	暗褐色	ローム粒 (斑状)	良い		
4	暗褐色	小石大のロームブロック (斑状)	良い		
5	暗褐色	多量のローム粒	やや欠く		
6	暗褐色	多量のローム粒	やや欠く		
7		くずれローム	良い		
8	暗黄褐色	多量のローム	良くしまり硬い		



第214図 69・70・71・72号遺構実測図



0 (1/3) 10cm

第215図 73号遺構出土遺物実測図(1)

燃烧面 4 箇所。図面不在のため詳細不明。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

75号遺構

【検出位置】 064区2C-75

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.94m・短軸0.94m・深さ78cm。燃烧面 1 箇所か？。床面焼けていないが、床から10cm上で幅50cmの範囲に焼土粒集中する箇所あり（第217図）。

【覆土】 暗褐色土・黒色土などを主体とする。

【重複関係】 古墳住居跡（発掘調査次NoSB011）の下部。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

76号遺構

【検出位置】 064区2C-71

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.37m・短軸1.41m・深さ104cm（第217図）。

【重複関係】 弥生住居跡（発掘調査次No.S B 093）の下。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

77号遺構

【検出位置】 064区3B-50

【種別】 陥し穴

【覆土】 黄褐色土・暗褐色土などを主体とする。

【規模ほか】 長軸1.78m・短軸0.75m・深さ40cm（第218図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

78号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸1.76m・短軸1.35m・深さ30cm。燃烧面不明（第218図）。

【重複関係】 弥生住居跡（発掘調査次No.SB159）と重複のため、東側部分を欠失する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

79号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸1.94m・短軸0.86m・深さ24cm。燃烧面不明（第218図）。

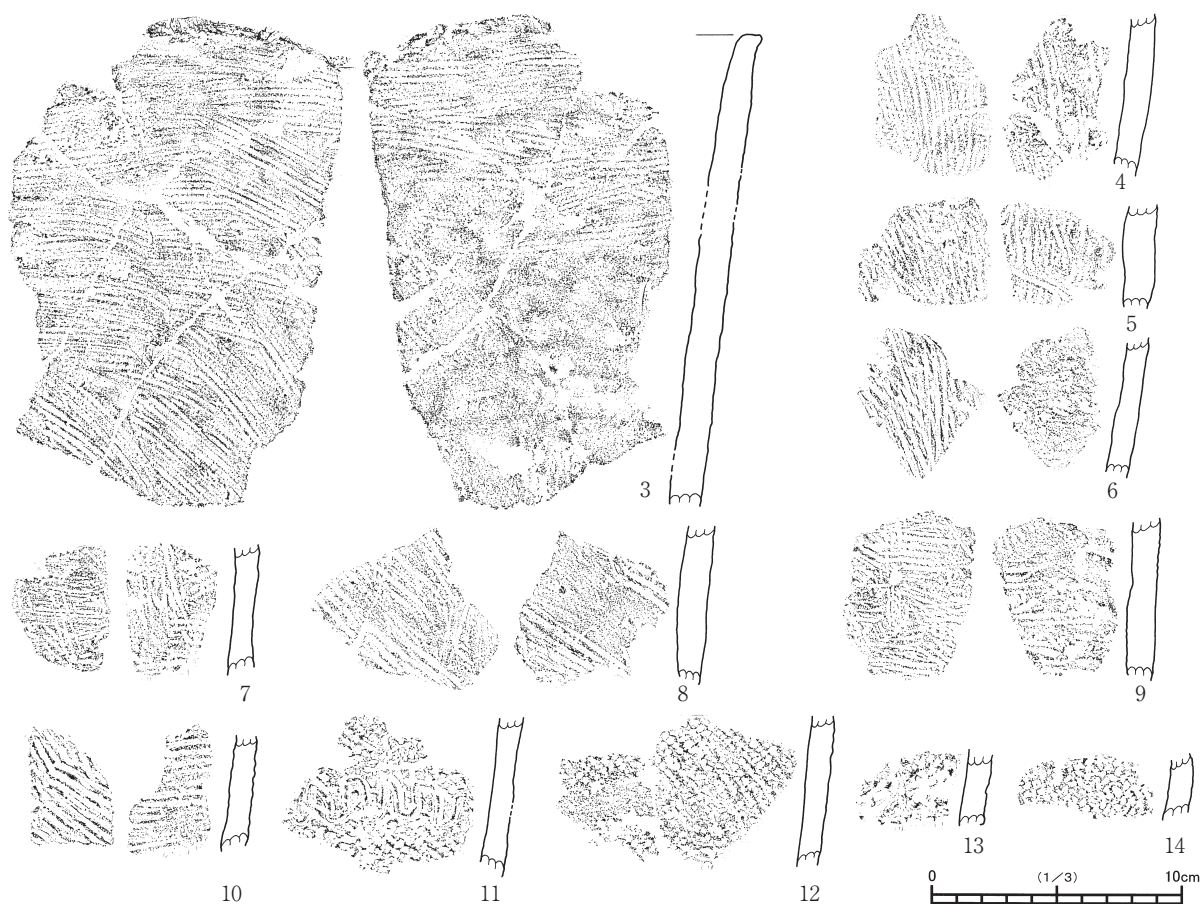
出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

80号遺構

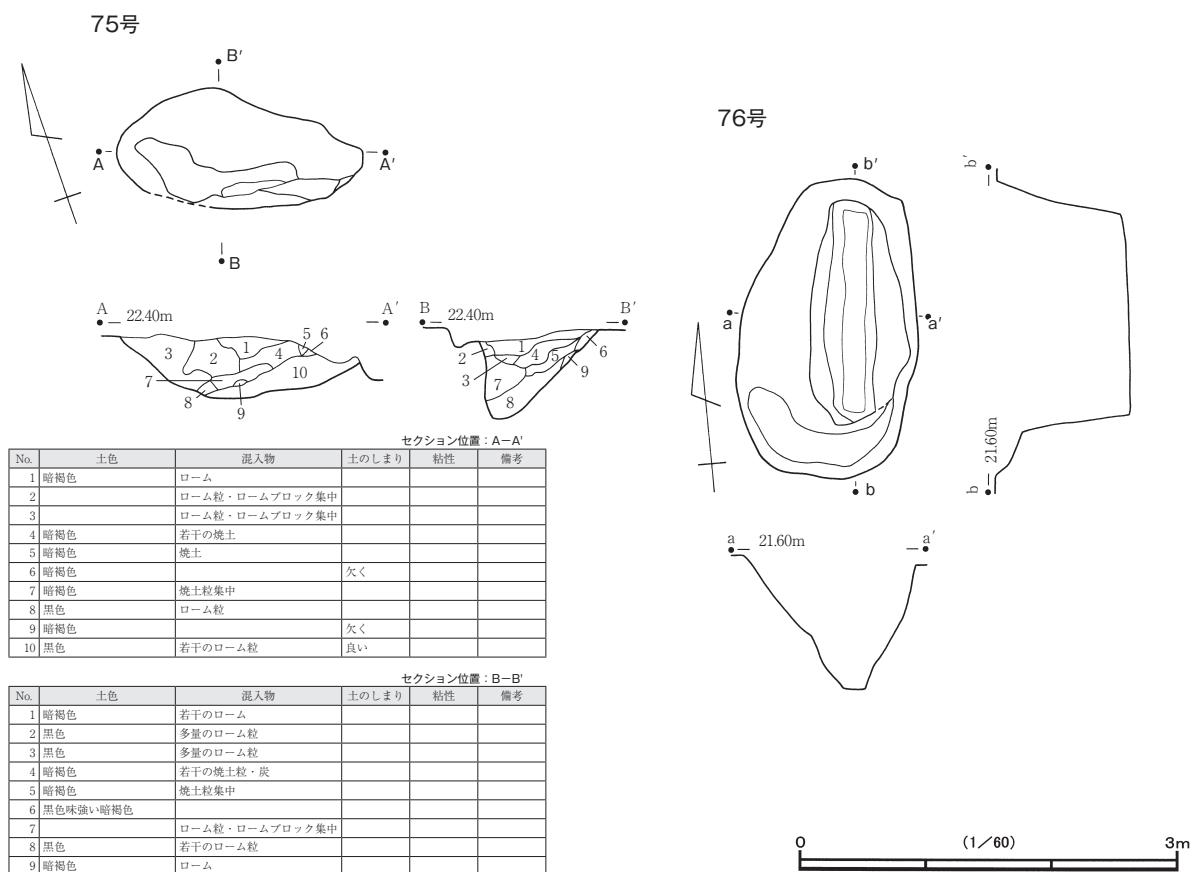
【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸1.77m・短軸1.29m・深さ16cm。燃烧面不明（第218図）。



第216図 73号遺構出土遺物実測図(2)



第217図 75・76号遺構実測図

【出土遺物】 土器は、6点・92g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系土器であるので、当該時期を80号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第218図1～4に示した。条痕文系土器の口縁部および胴部破片で、表裏面ともに条痕文以外の文様はほとんど施されていない。

81号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸3.86m・短軸3.72m・深さ37cm。燃焼面不明。カクランによって南側を大きく欠失する。80号遺構の南側に隣接する（第218図）。

【出土遺物】 土器は、2点・35g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。いずれも条痕文系土器であるので、当該時期を81号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第218図5に示した。条痕文系土器の胴部破片である。

82号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.84m・短軸1.69m・深さ78cm。主軸方向 281°。燃焼面2箇所（第219図）。

【覆土】 黒褐色土を主体とし、焼土・炭をブロック状に含む層がある。焼土は、西側隅に厚さ30cmほどで堆積している。

【出土遺物】 19点・1,789gの礫および礫石器が出土している。このうち57.4%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石・敲石2点出土している。土器は、76点・1,853g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、覆土一括扱いの両方がある。遺物は、基底面から30～50cm浮いた状態で出土している。出土土器のすべてが、条痕文系のものであるので、当該時期を82号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第219図1～9に、覆土一括扱いのものを第220図10～22に示した。1は平縁の深鉢土器の口縁部破片である。口唇部に刺突文をめぐらす。3は平縁の深鉢土器の胴部破片である。斜方向の凹線文上に円形文をもつ。屈曲部に刺突文を施す。10は平縁の深鉢土器の口縁部破片である。浅い沈線による区画内に刺突文を充填し、口唇部に刺突文を施す。第220図23・24は、砂岩製の磨石・敲石である。

83号遺構

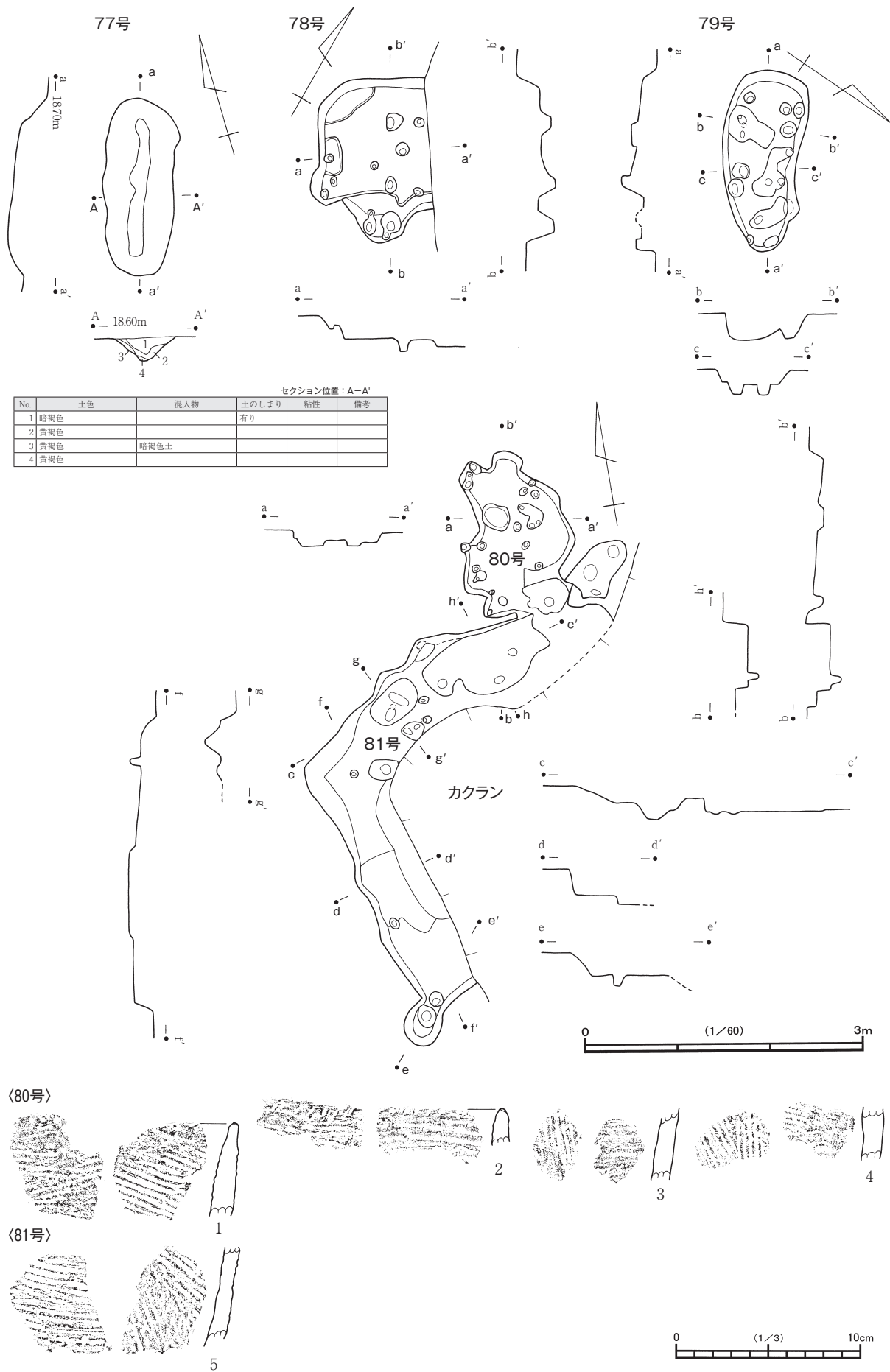
【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴

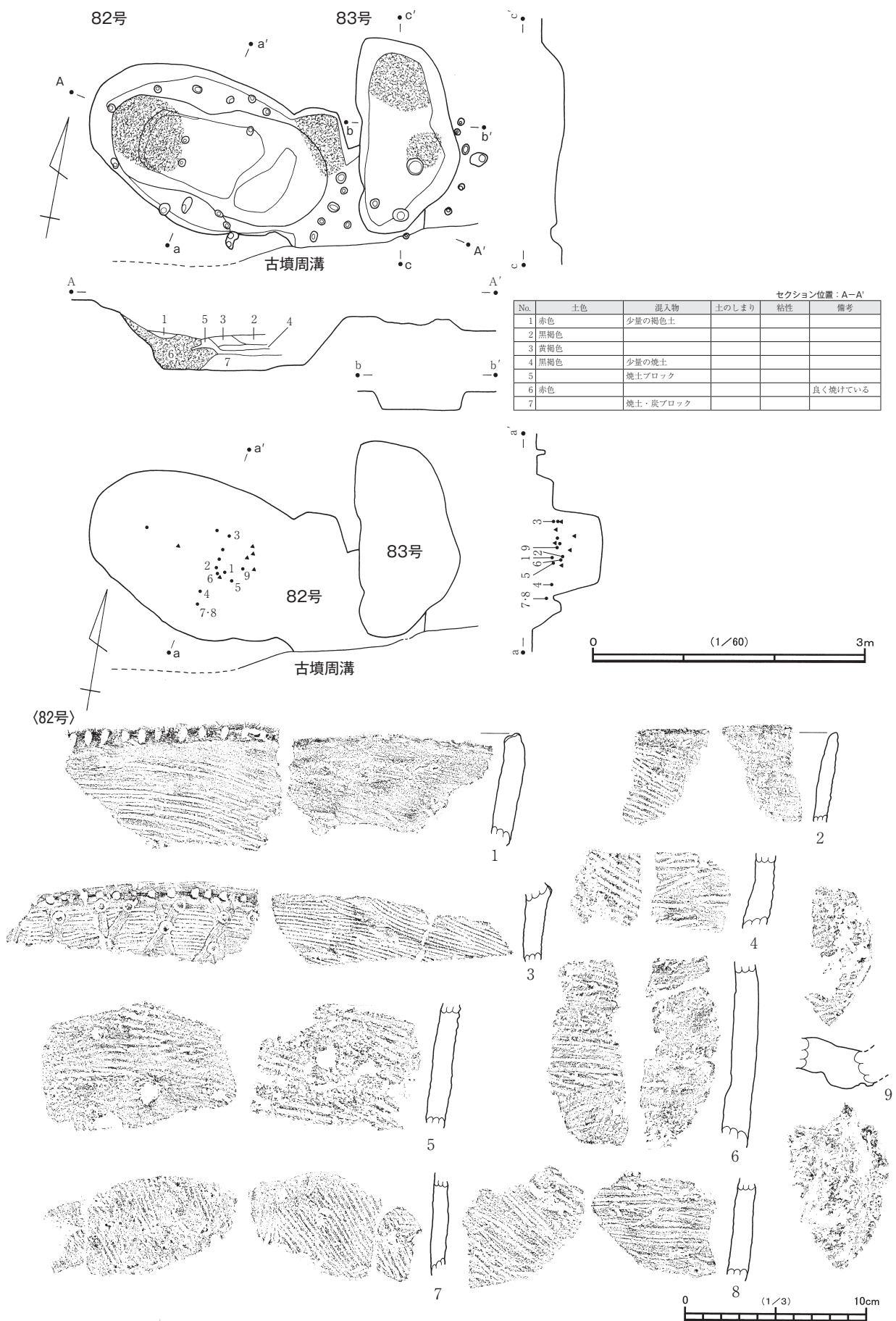
【規模ほか】 長軸2.10m・短軸1.06m・深さ27cm。主軸方向 349°。燃焼面2箇所。82号遺構の東側に隣接する（第219図）。

【出土遺物】 4点・151gの礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、3点・80g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。すべてが条痕文系のものであることから、当該時期を83号遺構の帰属時期とみる。

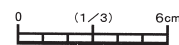
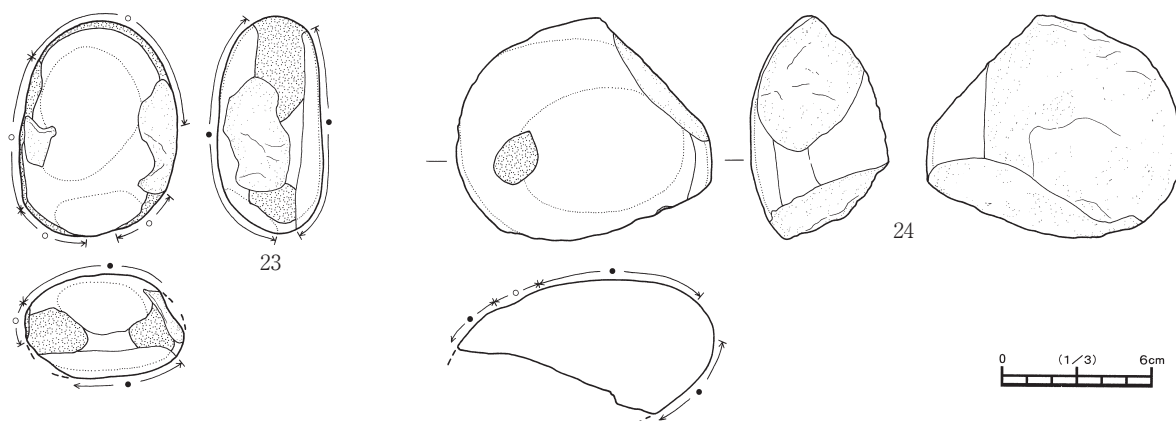
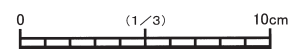
【遺物説明】 出土土器を第220図25～27に示した。1は口縁部破片で、斜位の押し引き沈線と円形文



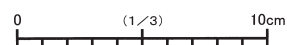
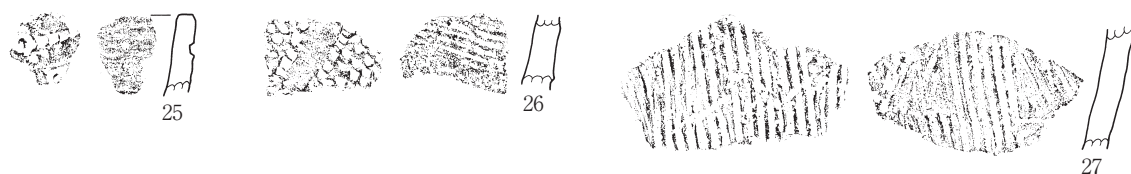
第218図 77・78・79号遺構実測図、80・81号遺構実測図および出土遺物実測図



第219図 82・83号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



〈83号〉



第220図 82・83号遺構出土遺物実測図(2)

がみられる。2は胴部破片で、押し引き沈線による区画内に連続刺突文もしくは押し引き沈線を充填する。3も胴部破片で、表裏ともに縦位もしくは斜位の条痕文が施される。

84号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸1.74m・短軸1.62m・深さ20cm。燃焼面不明（第221図）。

【出土遺物】 土器は、100点・6,305 g 出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を84号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第221図1～6・第222図7・第223図8～18・第224図19～23に示した。6は推定口径373mm・現存器高220mmを測る平縁の深鉢形土器である。浅い沈線による三角形区画内に連続刺突文を充填、要所に浅い円形刺突文を施す。口唇部全面に浅い刺突がめぐる。7は、推定口径246mm・現存器高251mmを測る平縁の深鉢形土器である。浅い沈線区画内に押し引き沈線を充填、沈線の交点に円形文を配す。口唇部に縦位の刻みを施す。22は現存器高107mm・底径90mmを測る深鉢形土器の平底の底部である。外面は縦・横方向に、内面は斜・縦方向に条痕文が施される。23は現存器高222mm・推定底径92mmを測る深鉢形土器の平底の底部である。外面は斜・横方向に、内面は横・斜方向に条痕文が施される。外面は条痕施文後にナデがみられる。

85号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.18m・短軸3.04m・深さ28cm。燃焼面2箇所。平面形竪穴状（第225図）。

【重複関係】 弥生住居跡（発掘調査次No S B 156）と重複のため、南側の一部を欠失する。

【出土遺物】 62点・2,016 g の礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、156点・2,940 g 出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。わけは、条痕文系、一部に縄文を施す条痕・縄文である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を85号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第225図1～7・第226図8～21に示した。1は平縁の深鉢形土器の大型破片である。縦位の押し引き沈線文、屈曲部に刺突文を施す。20は現存器高87mm・底径60mmを測る平底の深鉢形土器の底部である。21は現存器高32mm・推定底径40mmを測る平底の小型深鉢形土器の底部である。22は最大長79.4mm・最大幅55.4mm・最大厚31.7mm・重さ97.4 g を測る土製品である。下端部がやや厚く屈曲し、上部は厚さ15.0mmほどに整えられている。全体形状および用途は不明。

86号遺構

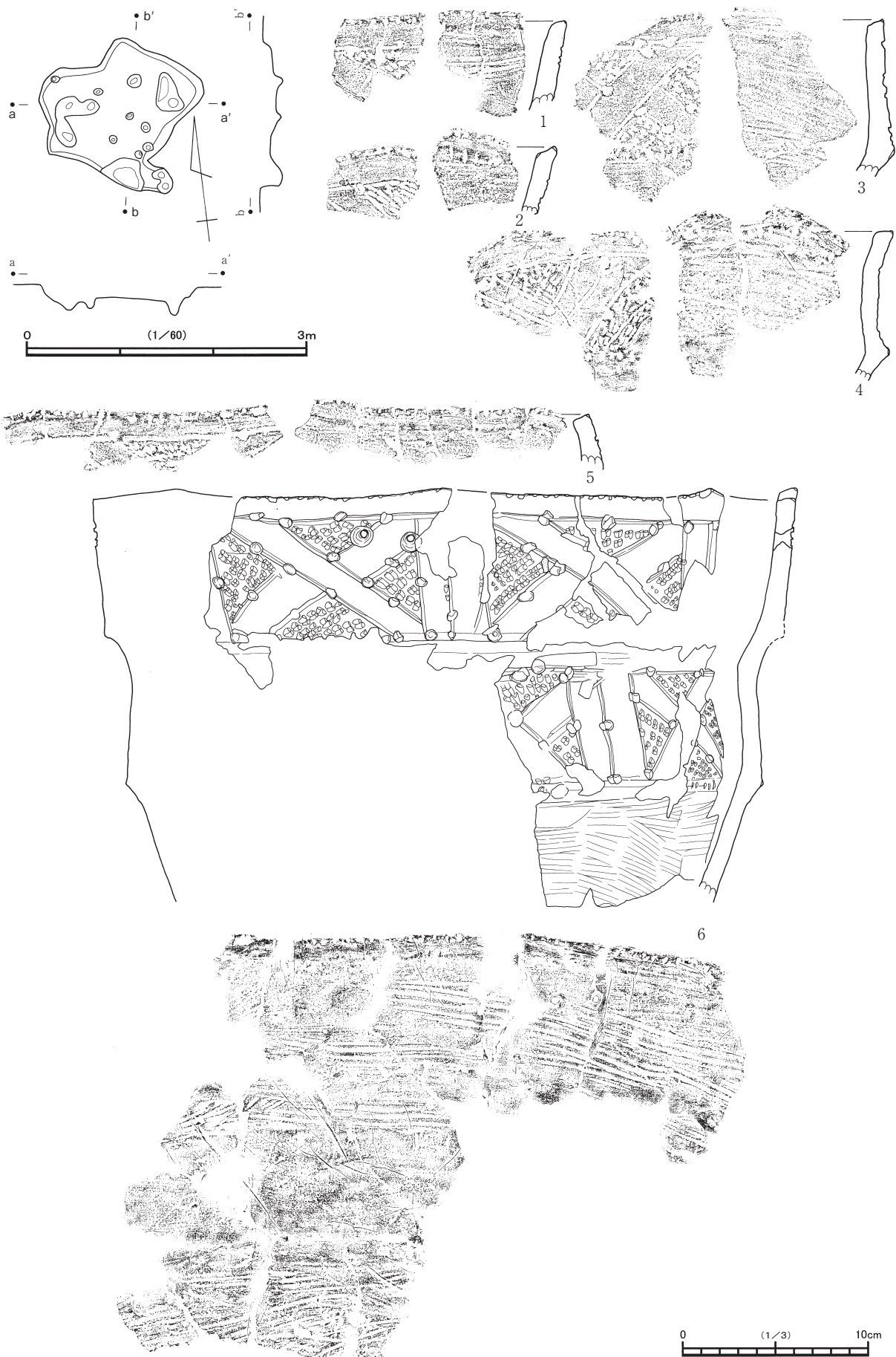
【検出位置】 TJ区西側

【種別】 土坑

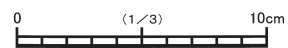
【規模ほか】 長軸2.75m・短軸1.56m・深さ34cm。形状は長楕円形（第227図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

87号遺構



第221図 84号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



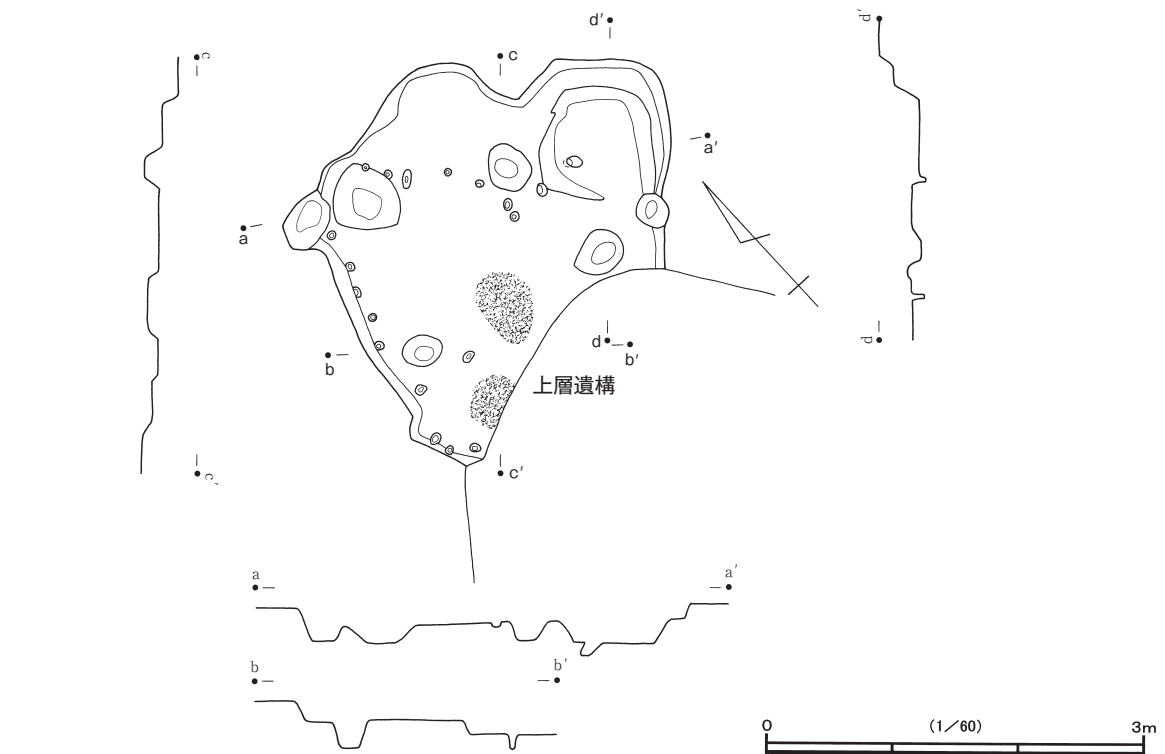
第222図 84号遺構出土遺物実測図(2)



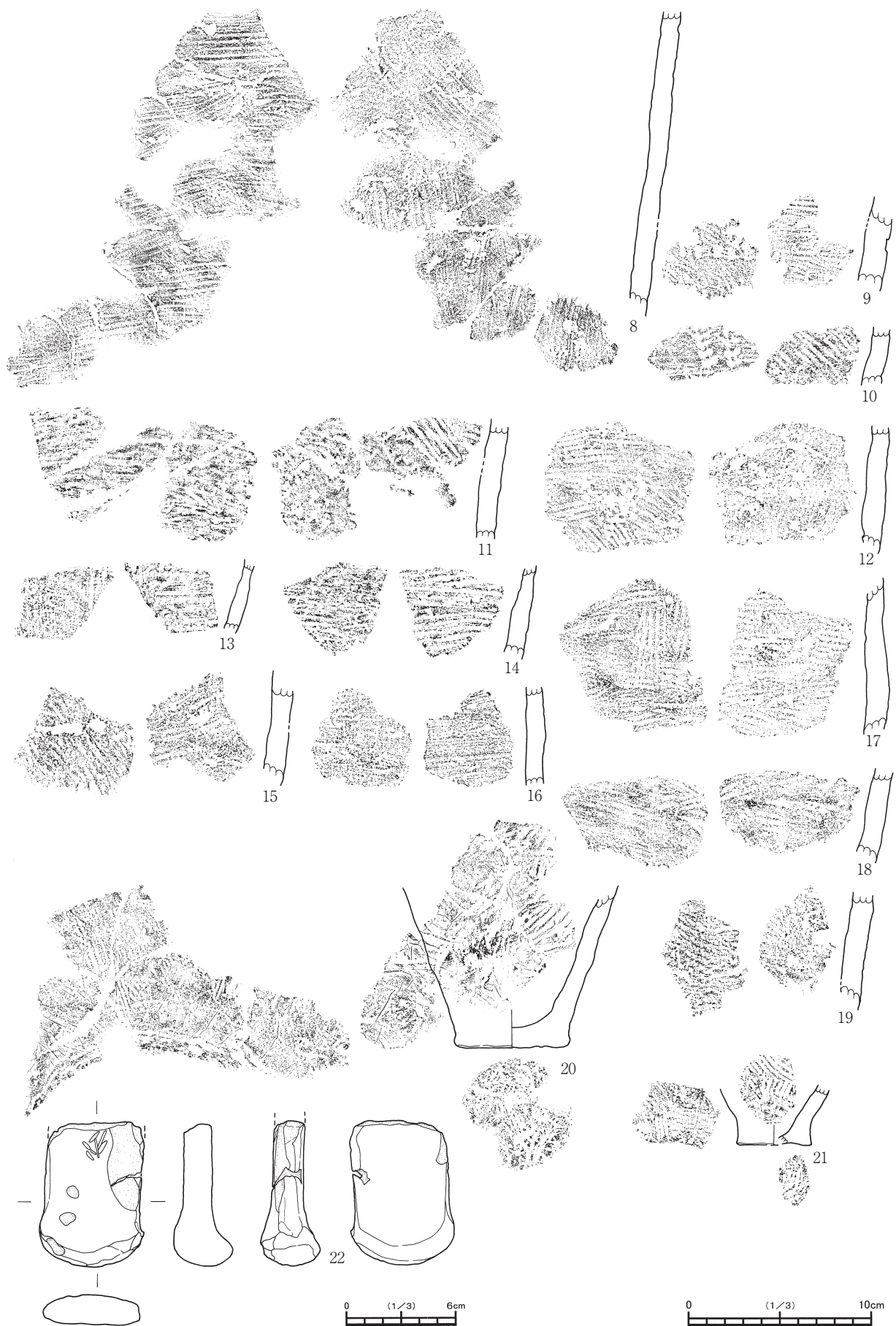
第223図 84号遺構出土遺物実測図(3)



第224図 84号遺構出土遺物実測図(4)



第225図 85号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



第226図 85号遺構出土遺物実測図(2)

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸3.08m・短軸1.50m・深さ48cm。形状は長楕円形（第227図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

88号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.80m・短軸1.24m・深さ56cm。形状は楕円形（第227図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

89号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.33m・短軸3.61m・深さ34cm。燃焼面1箇所（第227図）。

【出土遺物】 39点・1,718gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

90号遺構

【検出位置】 TJ区西側

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.93m・短軸2.16m・深さ38cm。燃焼面4箇所。平面形アメーバ状（第227図）。

【出土遺物】 7点・416gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、129点・2,538g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。遺構中央部より土器がまとまって検出されているが、図面不備のためその垂直位置が不明で、遺物との対照もできなかった。土器のうちわけは、条痕文系・羽状縄文系のものである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を90号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第228図1～8・第229図9～14に示した。1は推定口径370mm・現存器高130mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。外面に横方向の、内面に横・斜方向の条痕文が施される。14は、羽状縄文系土器の胴部破片である。

91号遺構

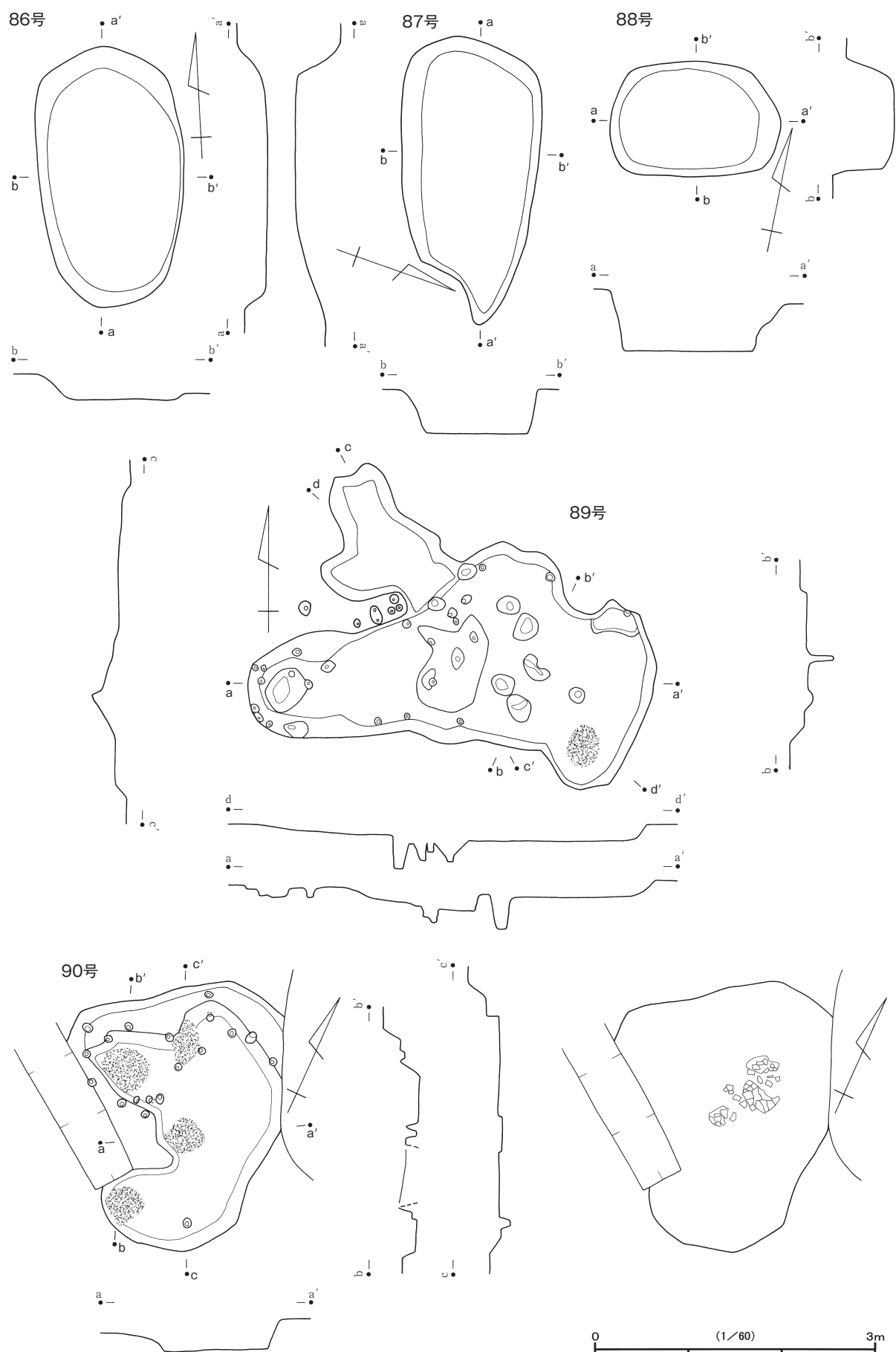
【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

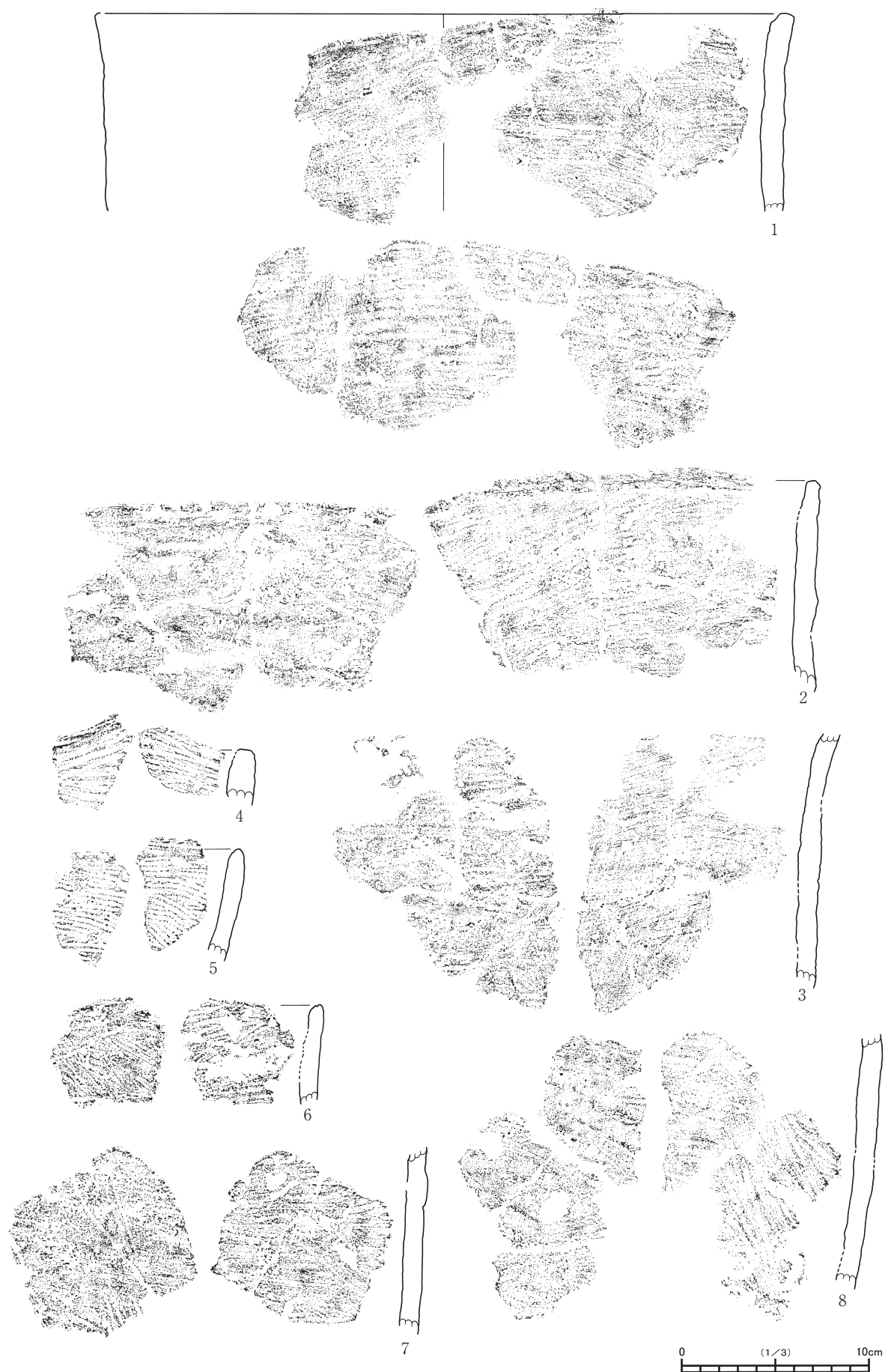
【規模ほか】 長軸4.55m・短軸1.92m・深さ29cm。形状は長楕円形（第230図）。

【出土遺物】 32点・3,626gの礫および礫石器が出土している。このうち63.8%に被熱のあとがみられる。石器は、敲石1点出土している。土器は、15点・340g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ79%あり、当該時期を91号遺構の帰属時期とみる。

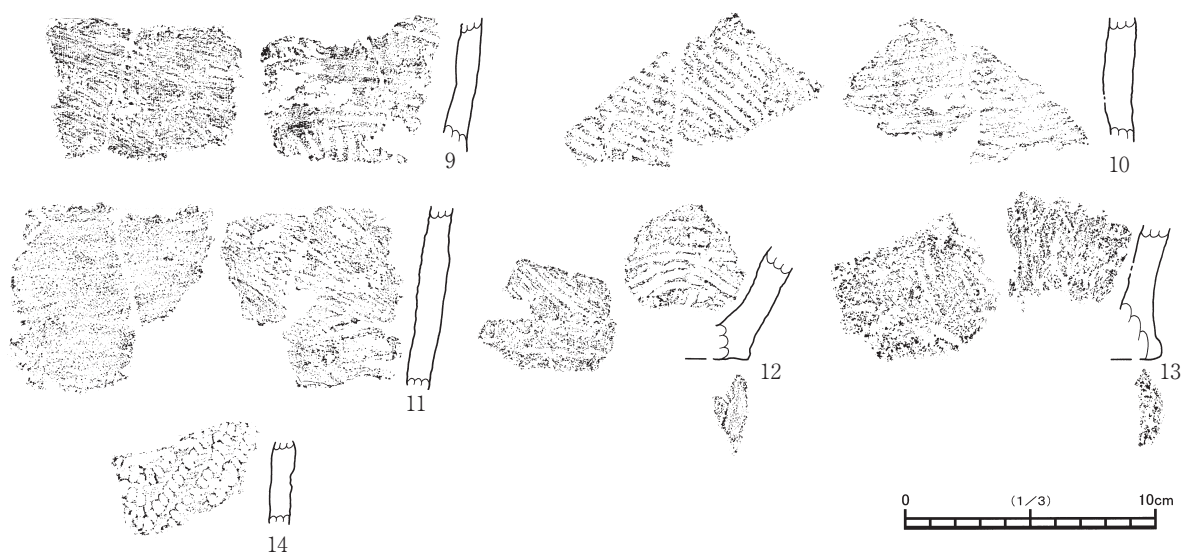
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第230図1～3に示した。1・2は条痕文系の深鉢形土器の胴部破片である。3は羽状縄文系・関山式の胴部破片である。第230図4は、最大長170mmを測る砂



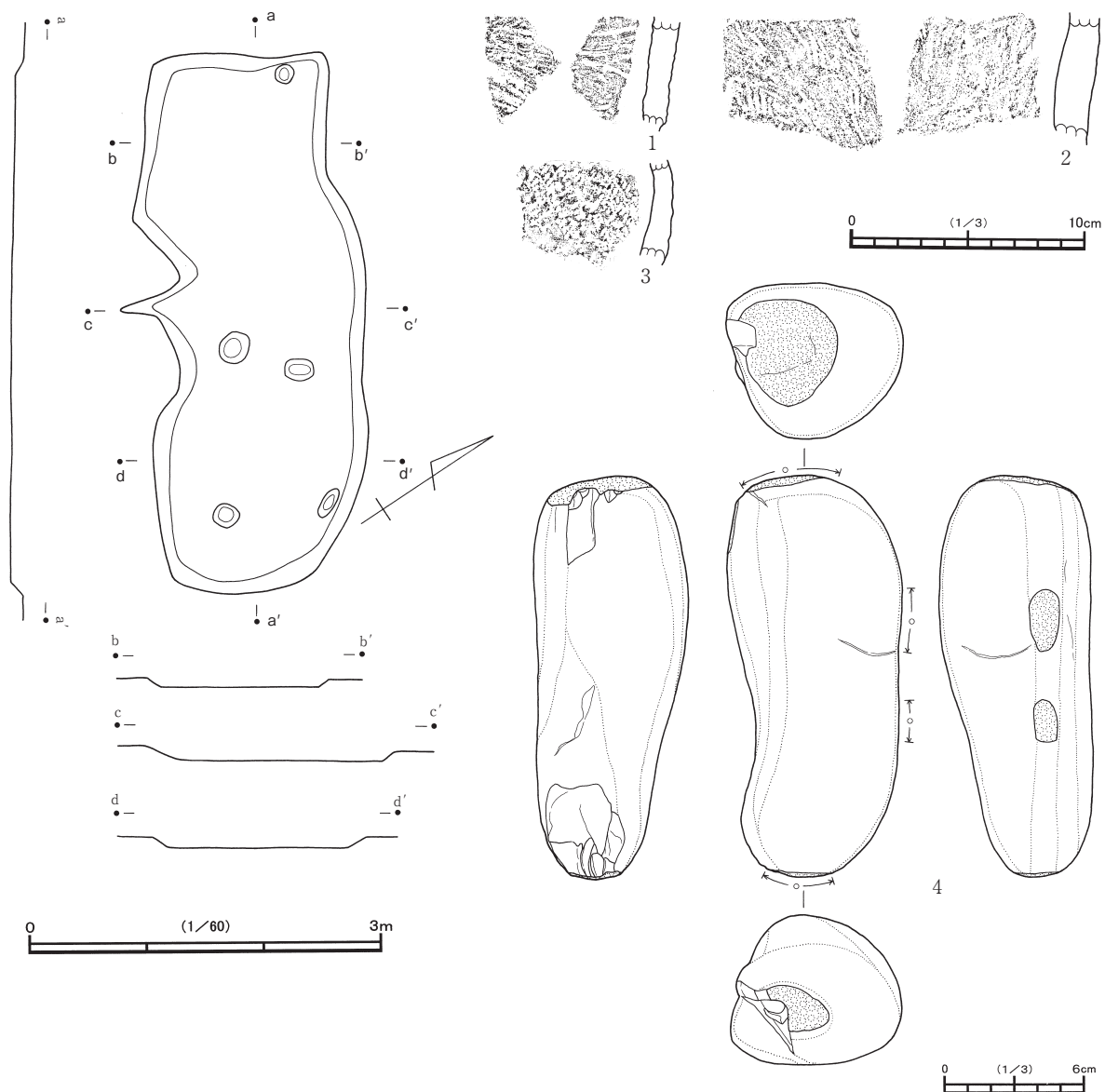
第227図 86・87・88・89号遺構実測図、90号遺構実測図・遺物出土状況図



第228図 90号遺構出土遺物実測図(1)



第229図 90号遺構出土遺物実測図(2)



第230図 91号遺構実測図および出土遺物実測図

岩製の敲石である。上下端部に敲打痕がみられる。

92号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.67m・短軸0.92m・深さ18cm。形状は楕円形（第231図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

93号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.22m・短軸0.72m・深さ11cm。形状は楕円形（第231図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

94号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.60m・短軸1.08m・深さ15cm。形状は楕円形（第231図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

95号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.30m・短軸0.80m・深さ15cm。形状は楕円形（第231図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

96号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸3.30m・短軸3.06m・深さ23cm。形状は不整形（第231図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

97号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.20m・短軸0.84m・深さ19cm。形状は楕円形（第231図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

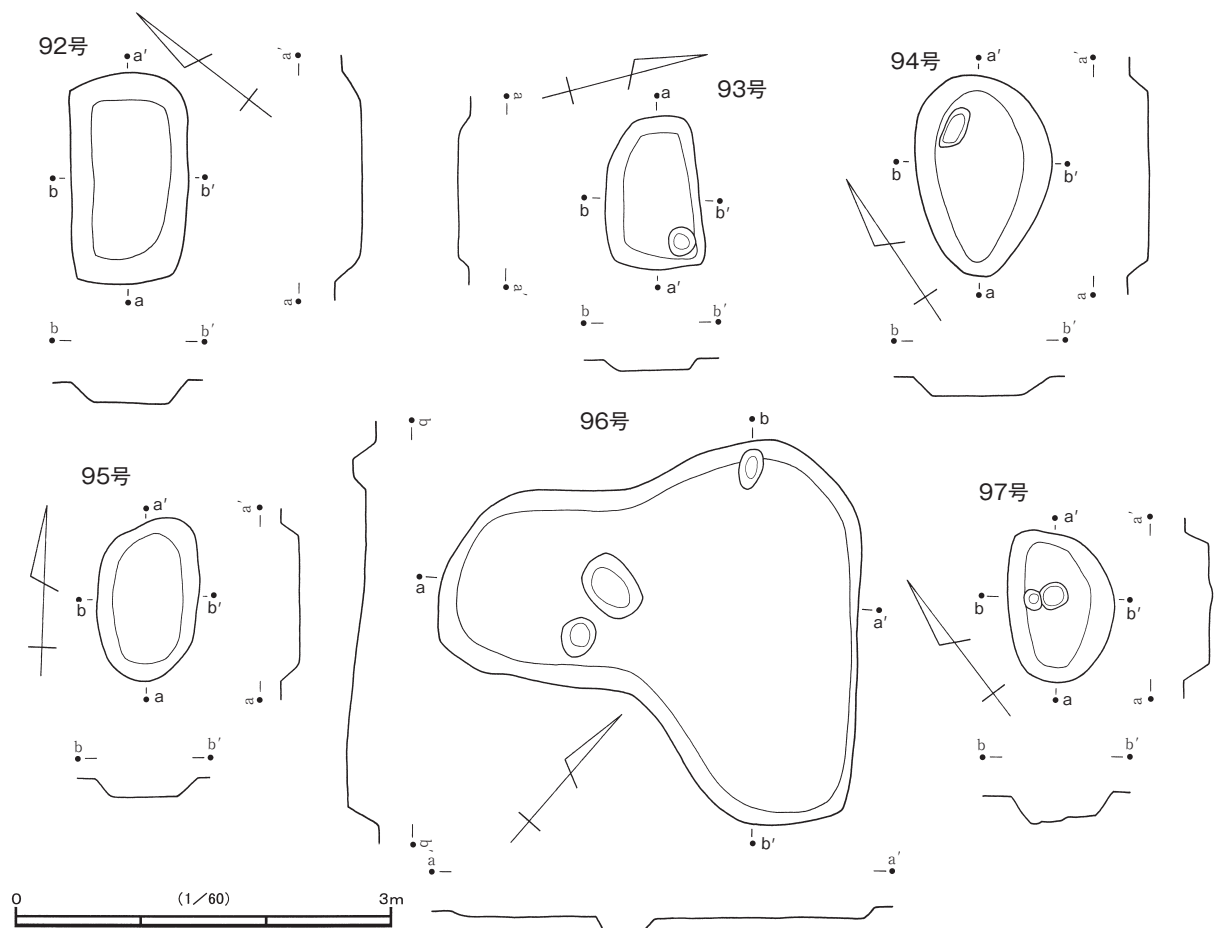
98号遺構

【検出位置】 TJ区東側

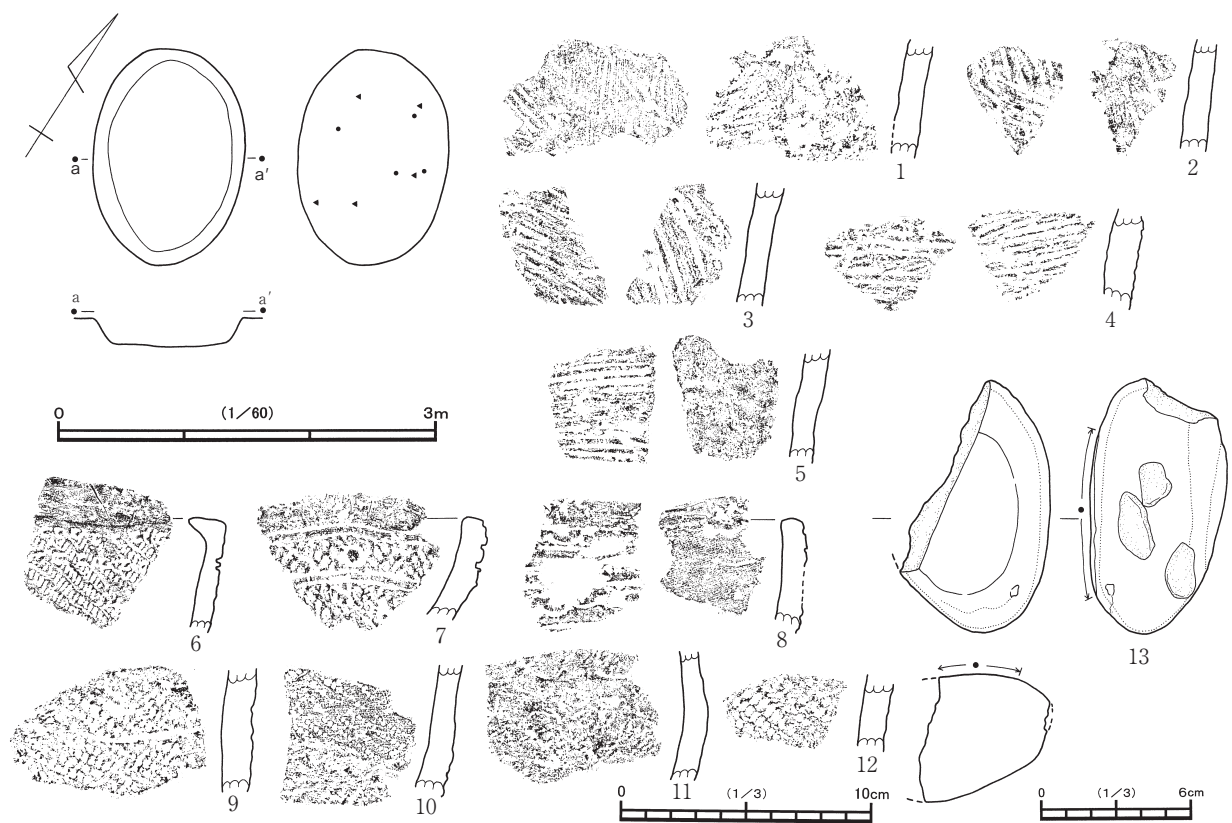
【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.69m・短軸1.19m・深さ25cm。形状は楕円形。概報記載（第232図）。

【出土遺物】 19点・1,281 g の礫および礫石器が出土している。このうち59.4%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点出土している。土器は、58点・803 g 出土している。取り上げ方法は、覆土



第231図 92・93・94・95・96・97号遺構実測図



第232図 98号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図

一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系の土器である。このうち主体となるのは、羽状縄文系のもので全体のおよそ46%あり、当該時期を98号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第232図1～12に示した。1～5は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。7～12は羽状縄文系・関山式の口縁部および胴部破片である。第232図13は、現存最大長100mmを測るデイサイト製の磨石である。表面中部に摩耗痕跡が認められる。

99号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.47m・短軸1.65m・深さ15cm。形状は楕円形（第233図）。

【出土遺物】 1点・129gの被熱のあとがみられる礫が出土している。土器は、9点・353g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系・堀之内式などである。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系で全体のおよそ71%あり、当該時期を99号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第233図1～5に示した。1・2は羽状縄文系・関山式の胴部破片である。3は堀之内1式の口縁部破片とみられるものである。4・5は無文深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

100号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.63m・短軸1.48m・深さ15cm。形状は円形（第233図）。

【出土遺物】 26点・1,094gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、10点・171g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系のものである。このうち主体を占めるのは、条痕文系土器で全体のおよそ92%あり、当該時期を100号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第233図6～9に示した。6～8は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。9は撚糸文系土器の胴部破片である。

101号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.47m・短軸1.23m。発掘時記録不備のため、遺構の深さについては不明。形状は円形（第233図）。

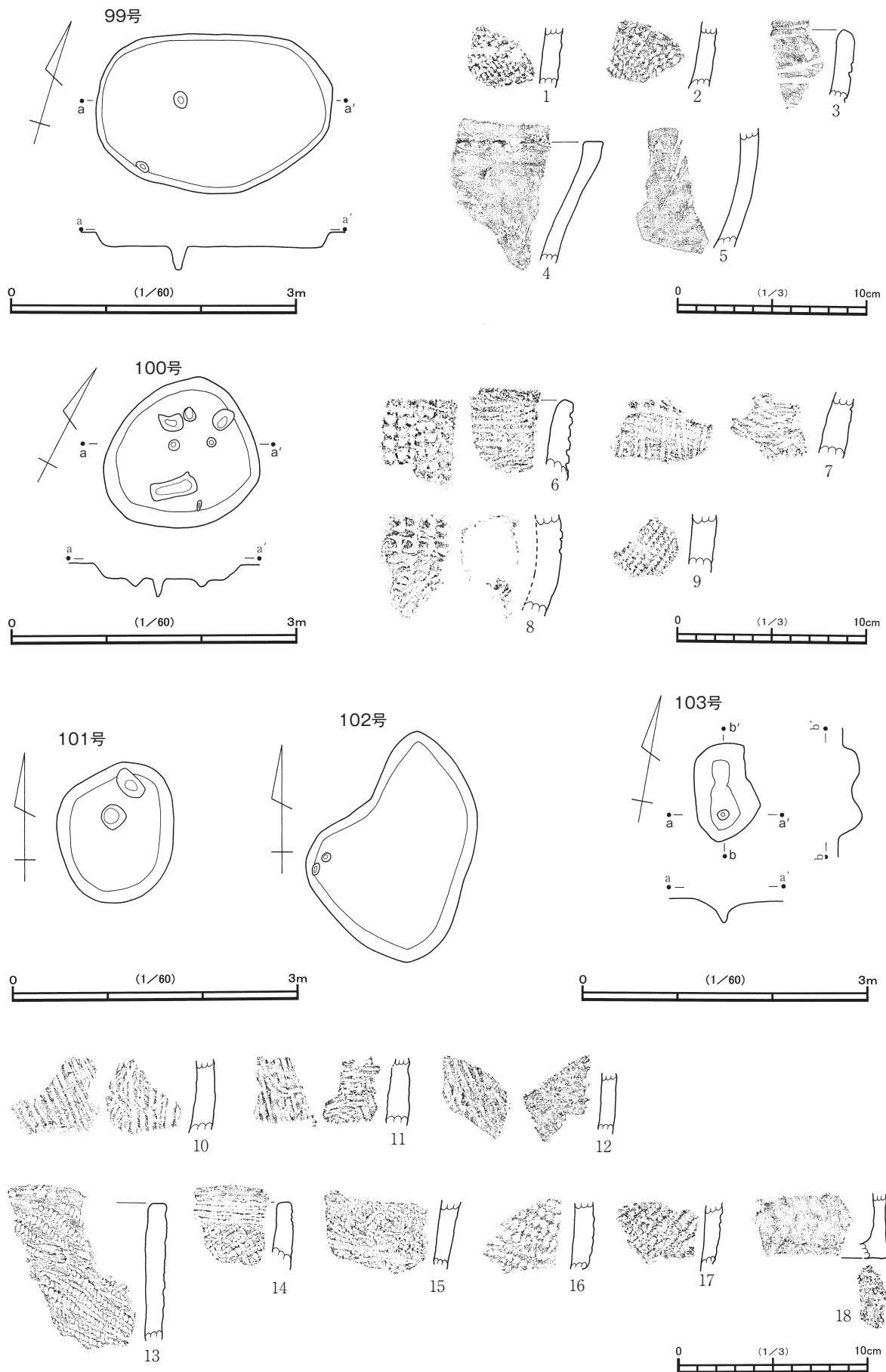
出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

102号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.41m・短軸1.72m。発掘時記録不備のため、遺構の深さについては不明。形状は長楕円形（第233図）。



第233図 99・100・101・102・103号遺構実測図および出土遺物実測図

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

103号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.00m・短軸0.66m・深さ21cm。形状はピット状（第233図）。

【出土遺物】 3点・226gの礫が出土している。すべてに被熱のあとがみられる。土器は、23点・315g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体となるのは、羽状縄文系のもので全体のおよそ36%あり、当該時期を103号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第233図10～18に示した。10～12は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。13～17は羽状縄文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

104号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸0.86m・短軸0.67m・深さ15cm。形状はピット状（第234図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

105号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸0.80m・短軸0.80m・深さ46cm。形状はピット状（第234図）。

【出土遺物】 3点・150gの礫が出土している。すべてに被熱のあとがみられる。土器は、24点・517g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、撚糸文系・条痕文系・羽状縄文系・堀之内式である。このうち主体となるのは、羽状縄文系で全体のおよそ23%あり、当該時期を105号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第234図1～12に示した。1は撚糸文系深鉢形土器の胴部破片である。2～5は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。6～8は羽状縄文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

106号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.57m・短軸1.30m・深さ42cm。形状は長楕円形（第234図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

107号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸3.98m・短軸2.83m・深さ23cm。形状は不整形（第235図）。

【覆土】 茶褐色土・明茶褐色土などを主体とする。すべての層にソフトロームが混入している。

【出土遺物】 1点・39gの被熱のあとがみられる礫が出土している。土器は、8点・153g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系である。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系のもので全体のおよそ69%あり、当該時期を107号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第235図1～5に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。4・5は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。

108号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.46m・短軸1.16m・深さ148cm。形状は円形（第235図）。

【重複関係】 東側で107号遺構と重複。新旧関係は108号遺構の方が新。

【出土遺物】 礫の出土はない。石器は、打製石斧1点出土している。土器は、1点・24g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。唯一の出土土器は、条痕文系のものであることから、当該時期を108号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 第235図6は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。第235図7は、現存最大長64mmを測る粘板岩製打製石斧である。

109号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸4.21m・短軸2.52m・深さ13cm。形状は不整形（第234図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

110号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸4.22m・短軸2.49m・深さ16cm。形状は不整形（第236図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

111号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.33m・短軸1.22m・深さ20cm。形状は楕円形（第236図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

112号遺構

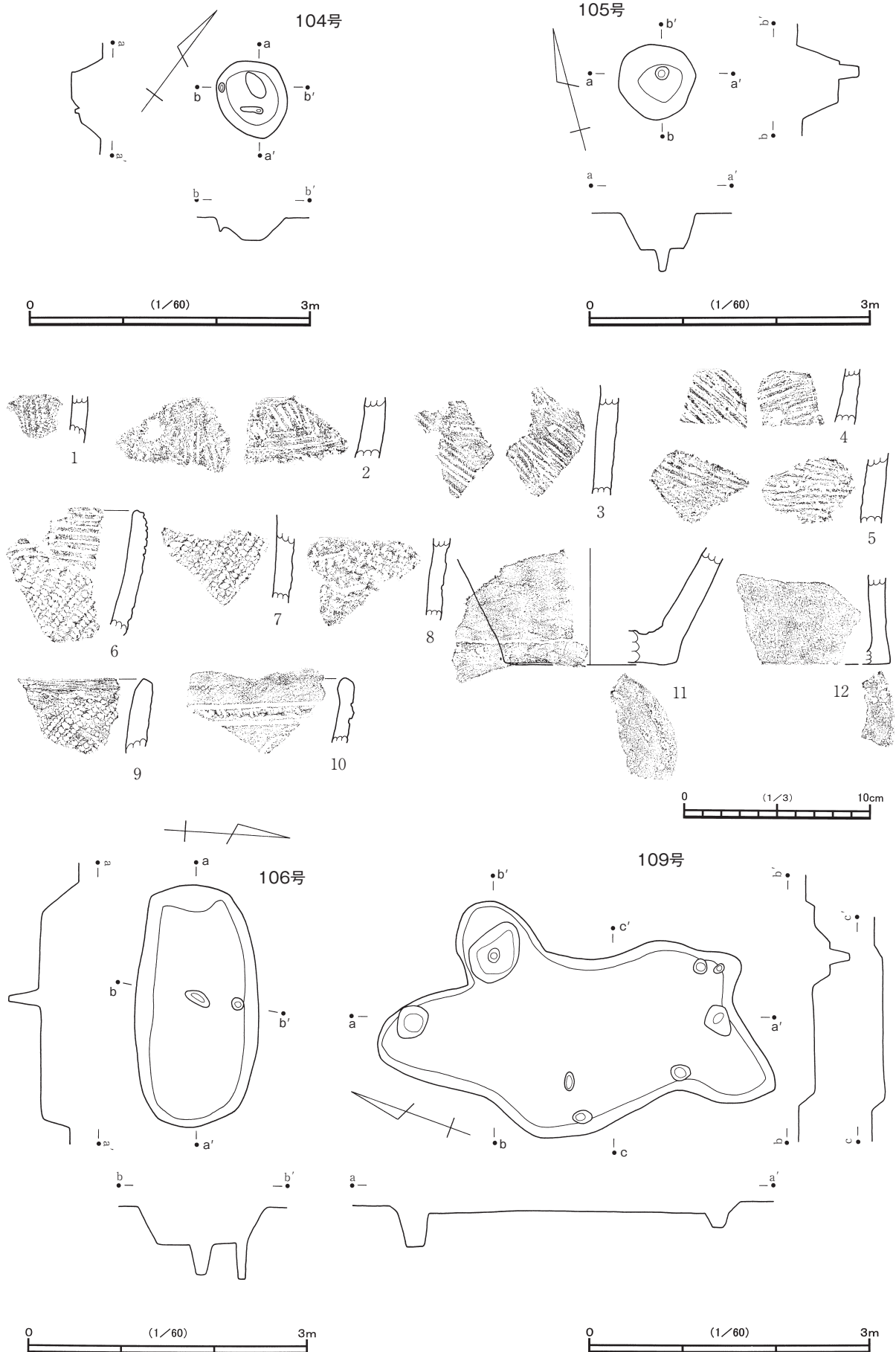
【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

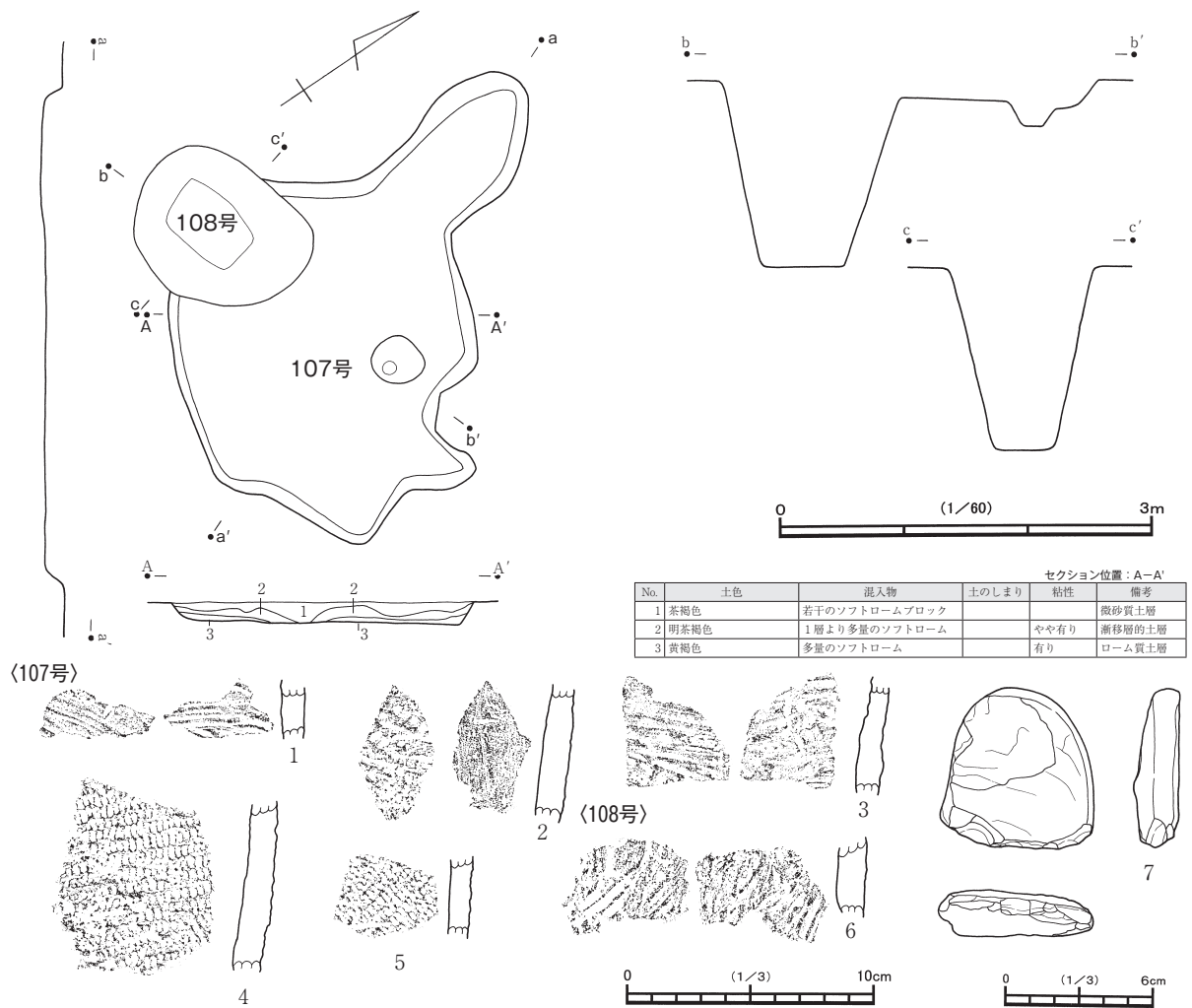
【規模ほか】 長軸0.88m・短軸0.86m・深さ13cm。形状はピット状（第236図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

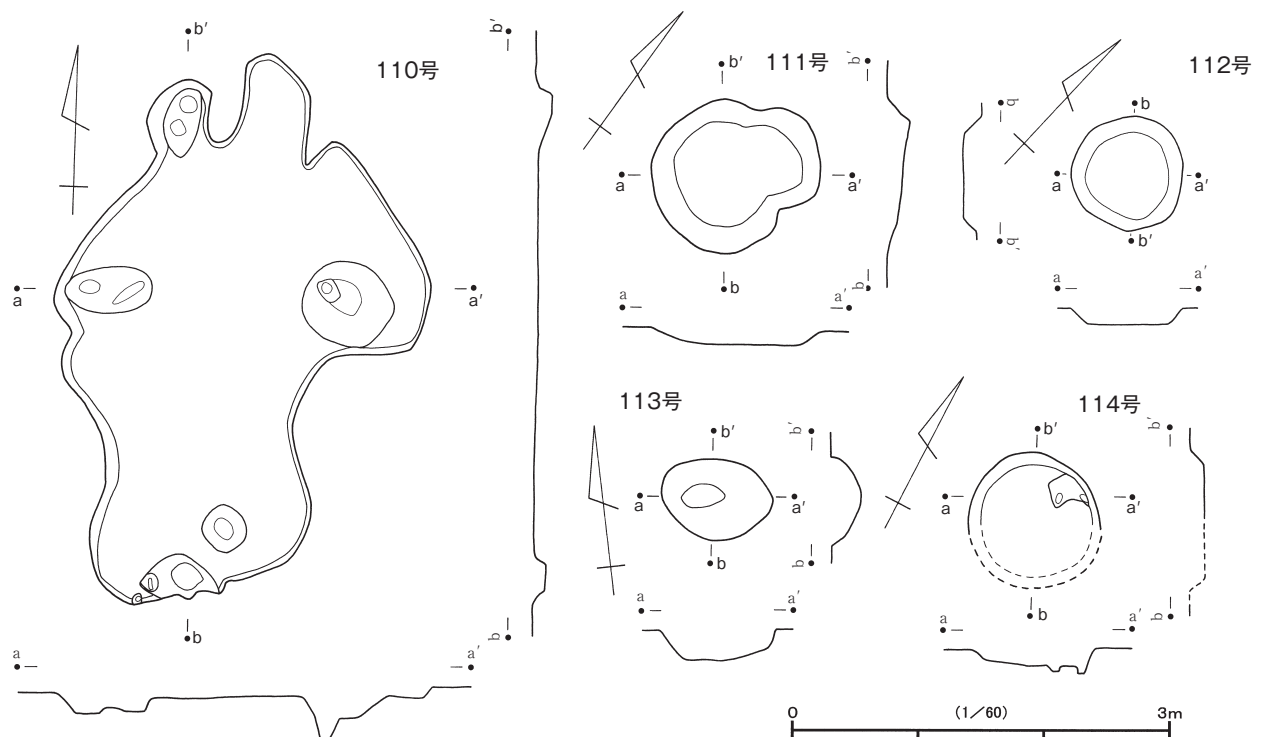
113号遺構



第234図 104・105・106・109号遺構実測図および出土遺物実測図



第235図 107・108号遺構実測図および出土遺物実測図



第236図 110・111・112・113・114号遺構実測図

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸0.88m・短軸0.66m・深さ22cm。形状はピット状（第236図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

114号遺構

【検出位置】 TJ区東側

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.08m・深さ13cm。形状はピット状（第236図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

115号遺構

【検出位置】 099区EE-87・97

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.12m・短軸0.96m・深さ34cm。主軸方向 164°。燃焼面 2箇所（第237図）。

【出土遺物】 8点・291gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、133点・3,049g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系、一部に縄文が施される条痕・縄文、羽状縄文系である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を115号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第237図1～3・第238図4～18に示した。1は、推定口径332mm・現存器高284mmを測る緩やかな波状口縁をもつ条痕文系深鉢形土器である。縦位・横位の浅い沈線文、要所に円形文を施す。文様帯は横位隆帯で区分される。口唇部に浅い刺突がめぐる。内外面ともに横方向の条痕文を施す。2～5は平縁の深鉢形土器で、口唇部に刺突・刻みをめぐらす。表裏面に条痕文を施すほかは特に顕著な文様はない。4には、条痕文とは逆方向に浅い連続沈線文が施文される。14は現存器高130mm・推定胴部最大径230mmを測る深鉢形土器の胴部である。

116号遺構

【検出位置】 099区FE-78・79・88・89

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.36m・短軸1.28m・深さ34cm。主軸方向 128°。燃焼面 1箇所（第239図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。燃焼面は良く焼けている。

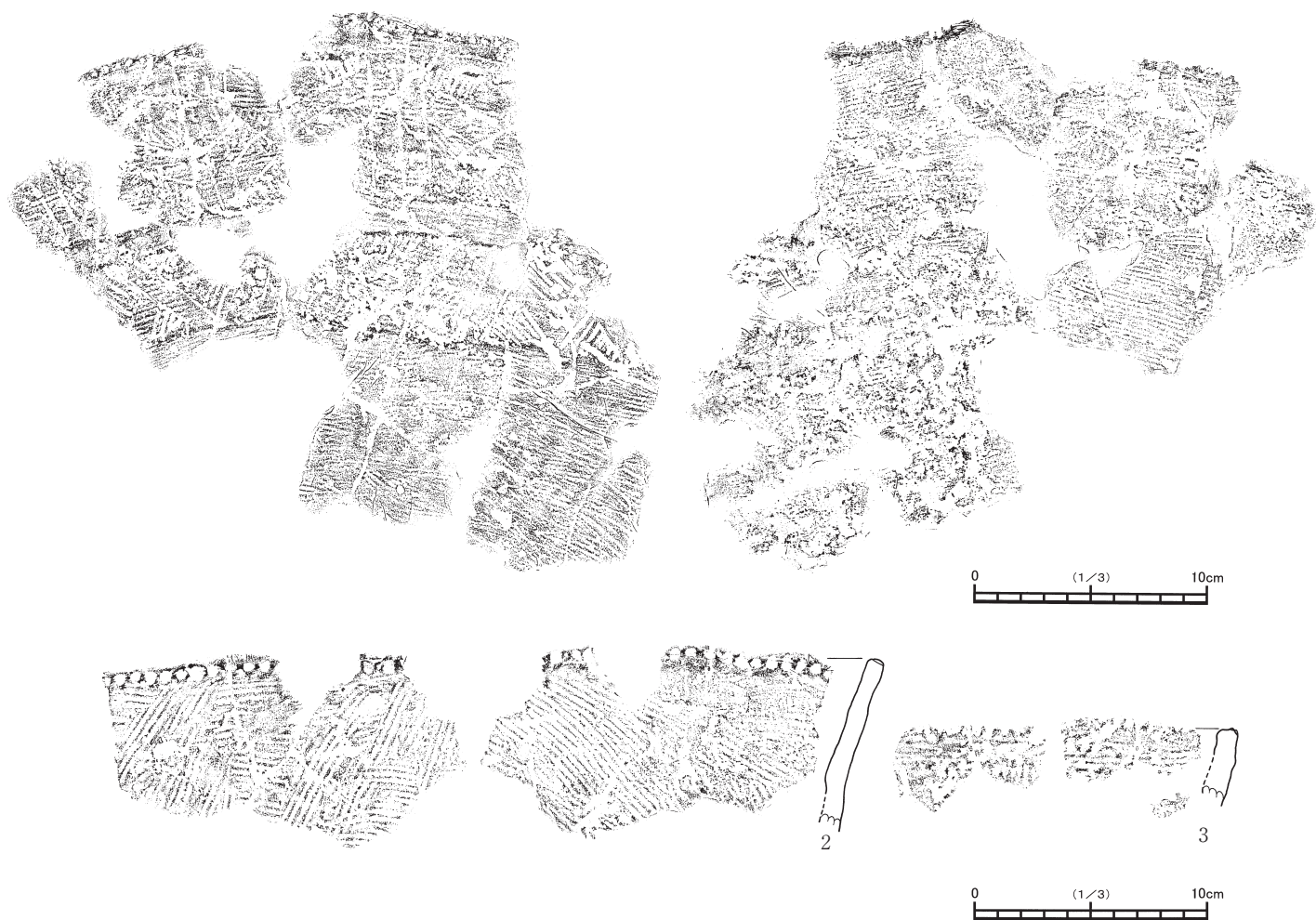
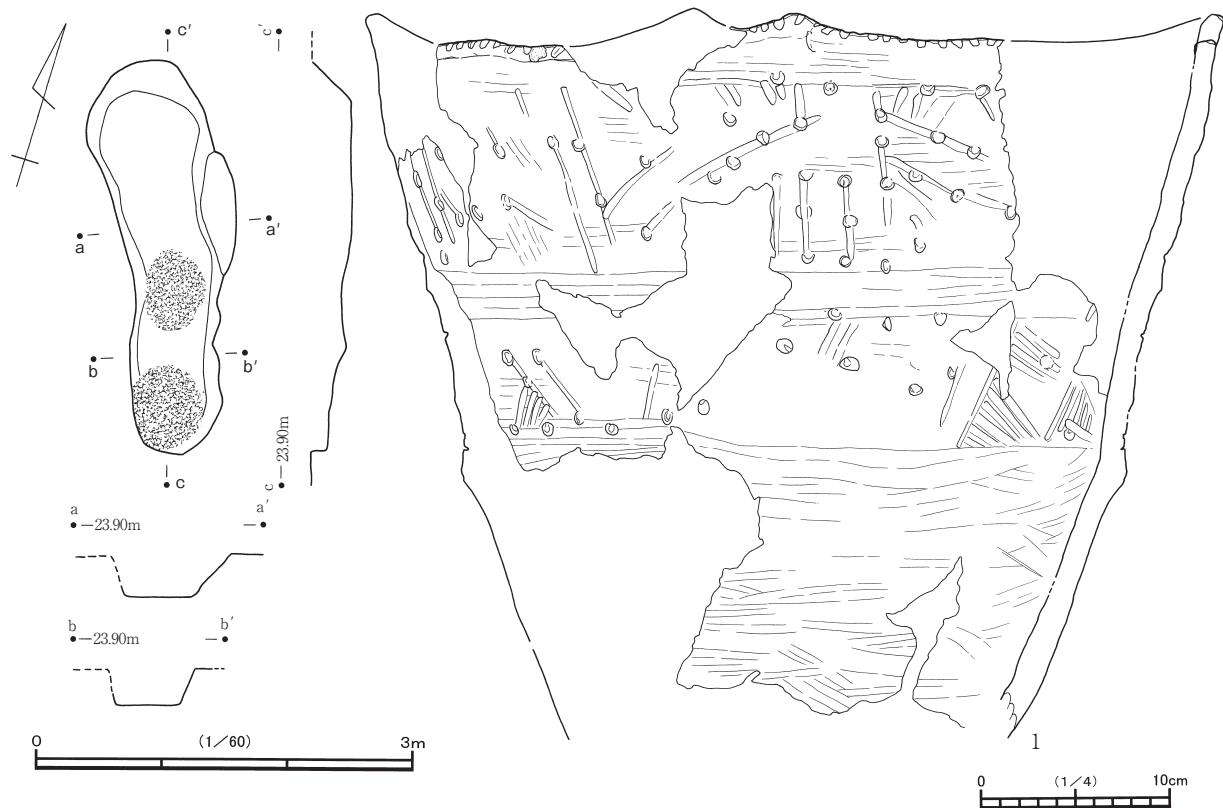
【出土遺物】 21点・1,752gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、78点・1,626g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系土器であることから、当該時期を116号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第239図1～10・第240図11～14に示した。5は推定口径300mm・現存器高92mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。口唇部に楕円刺突をめぐらす。7は、現存器高87mm・推定胴部最大径150mmを測る条痕文系深鉢形土器で、底部付近の資料である。

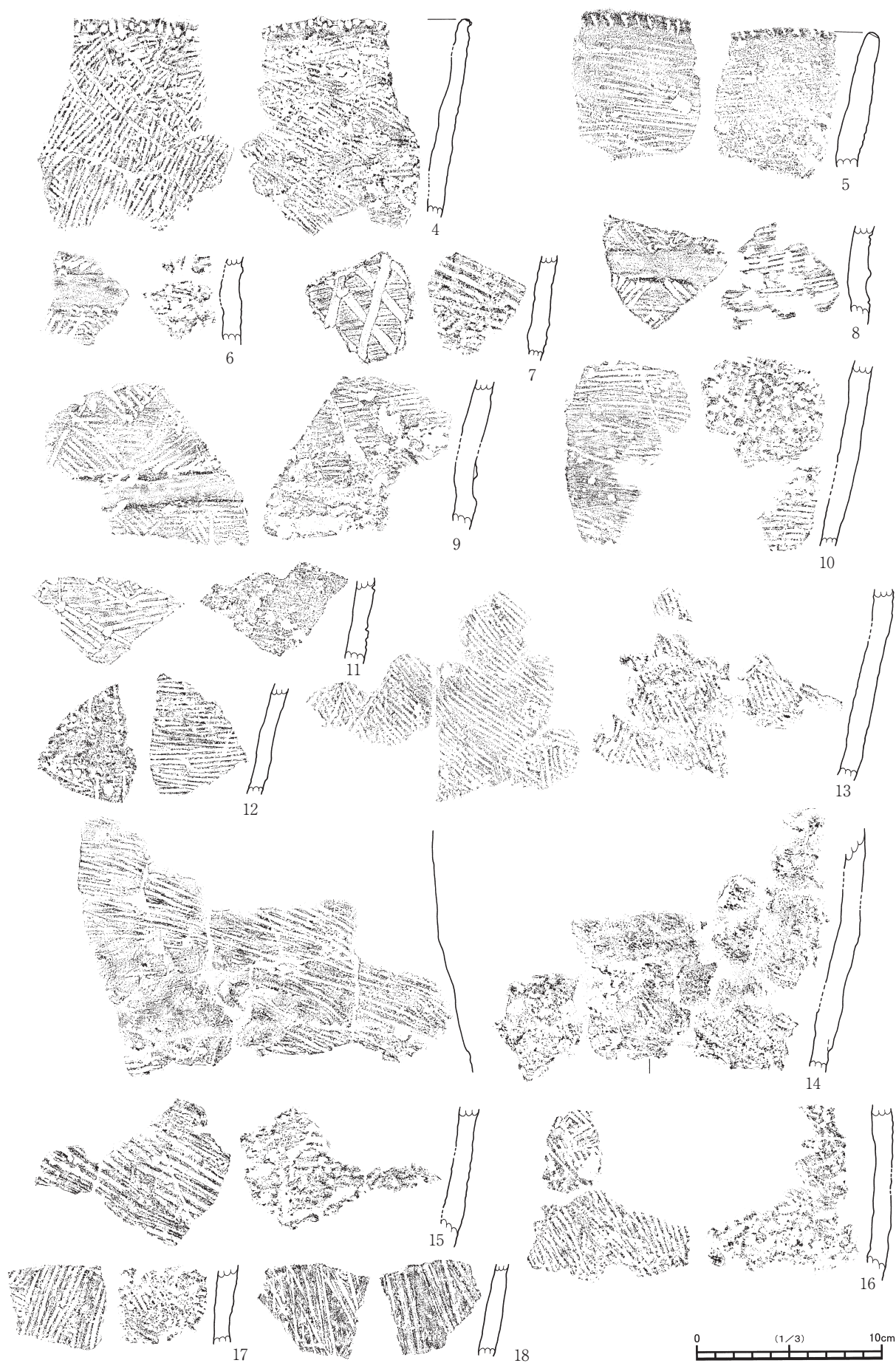
117号遺構

【検出位置】 099区FE-43・44・54

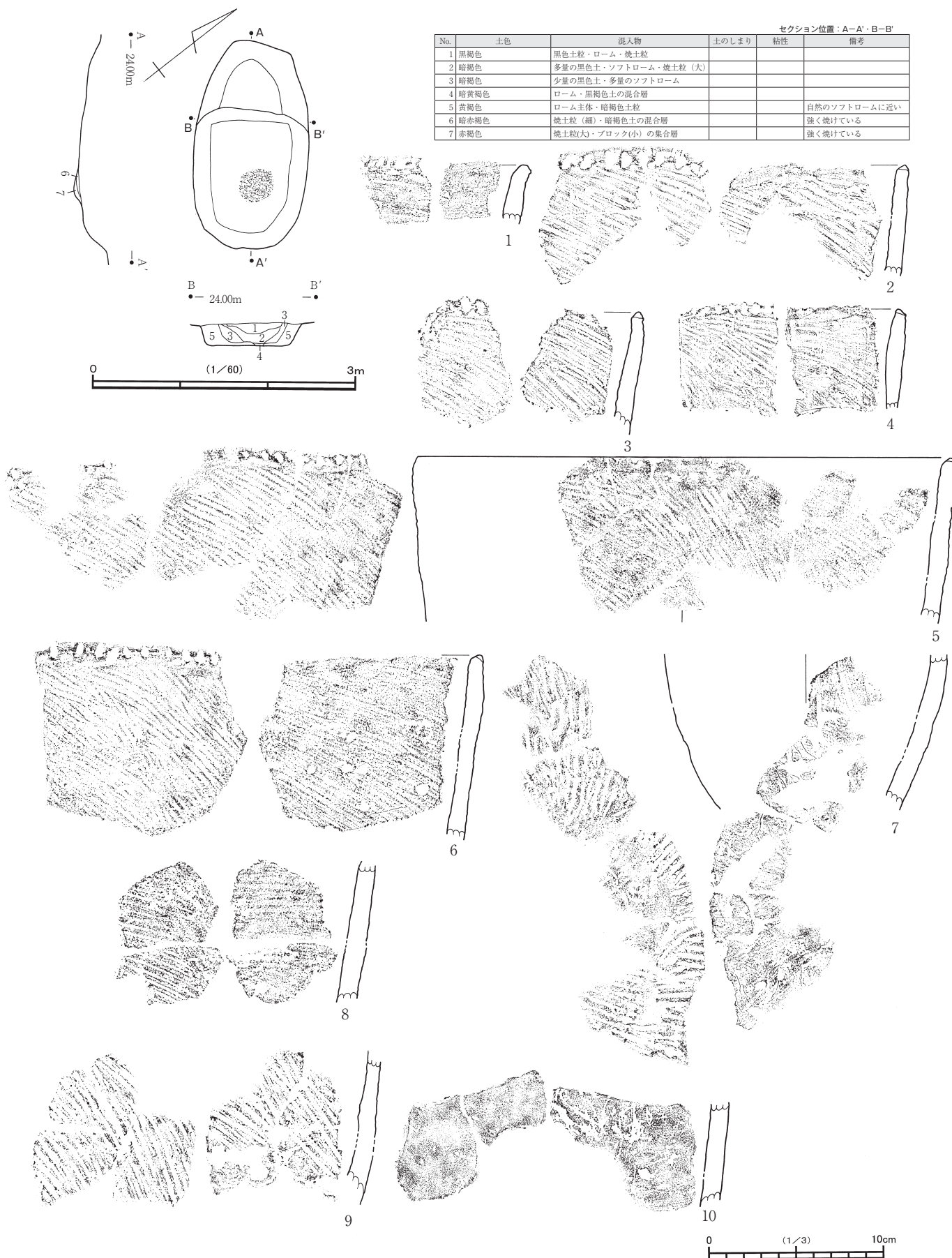
【種別】 炉穴



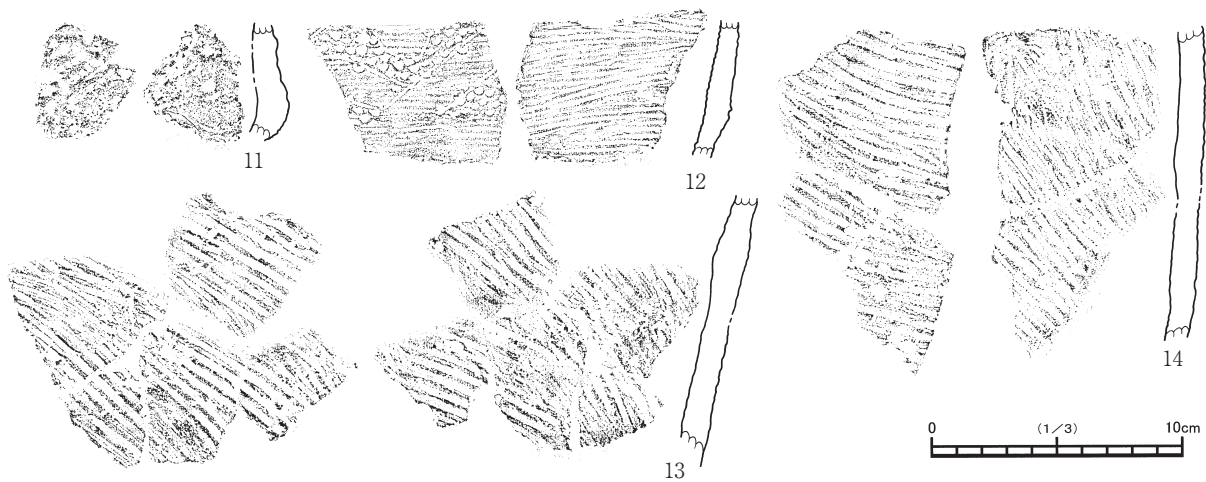
第237図 115号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



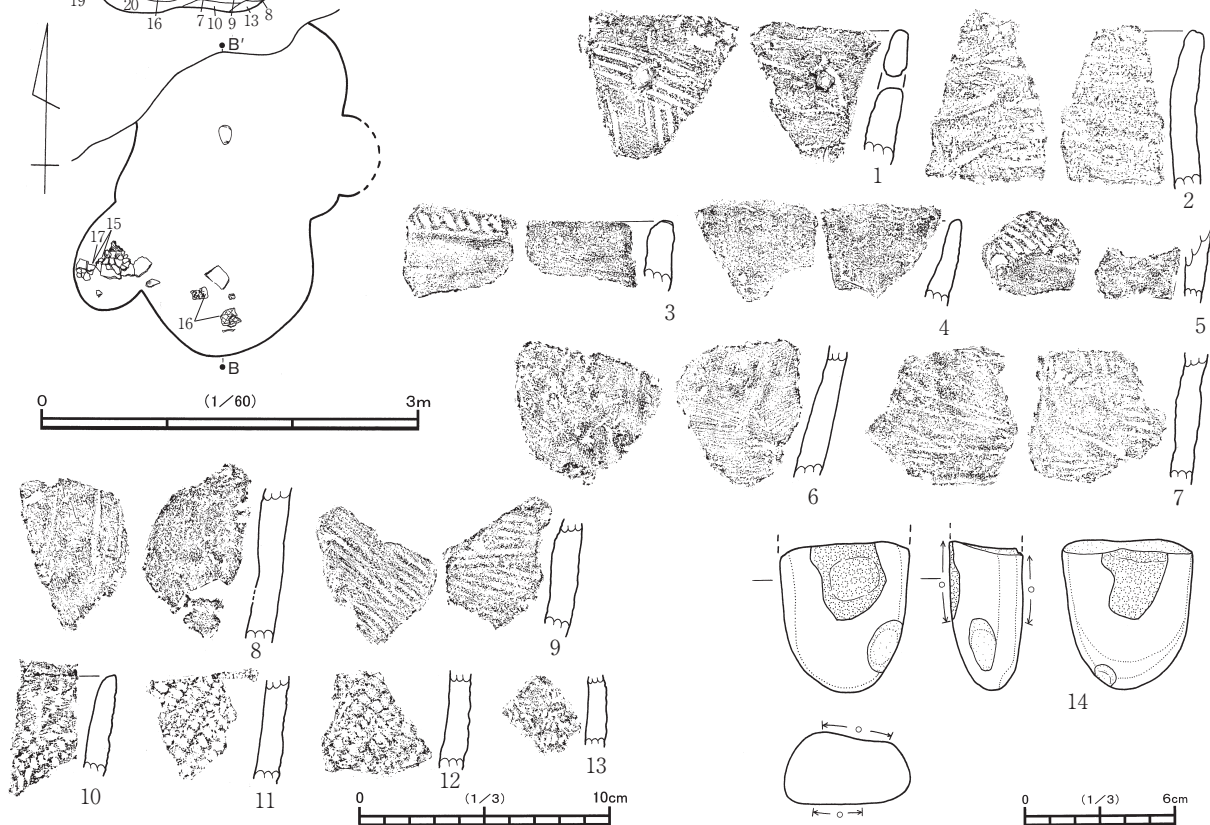
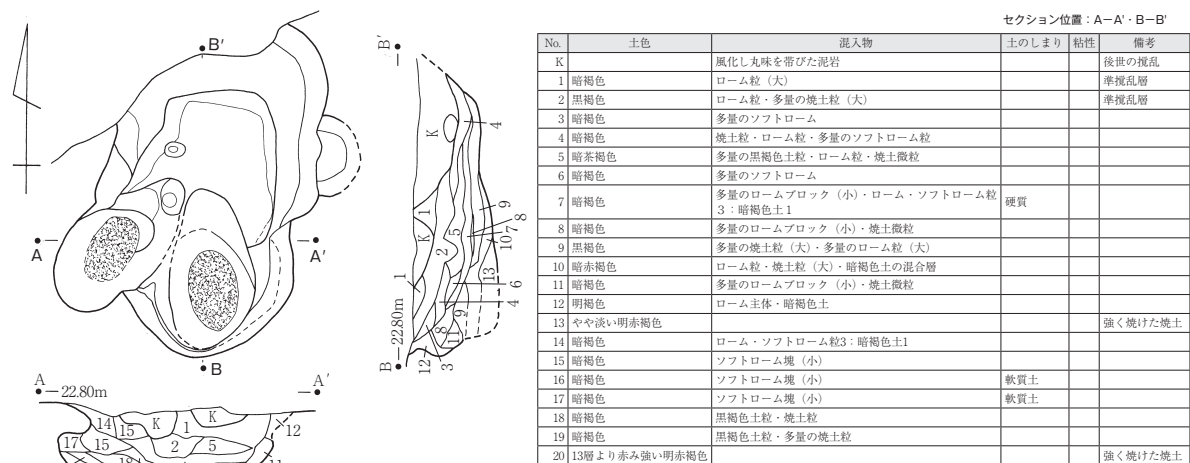
第238图 115号遺構出土遺物実測図(2)



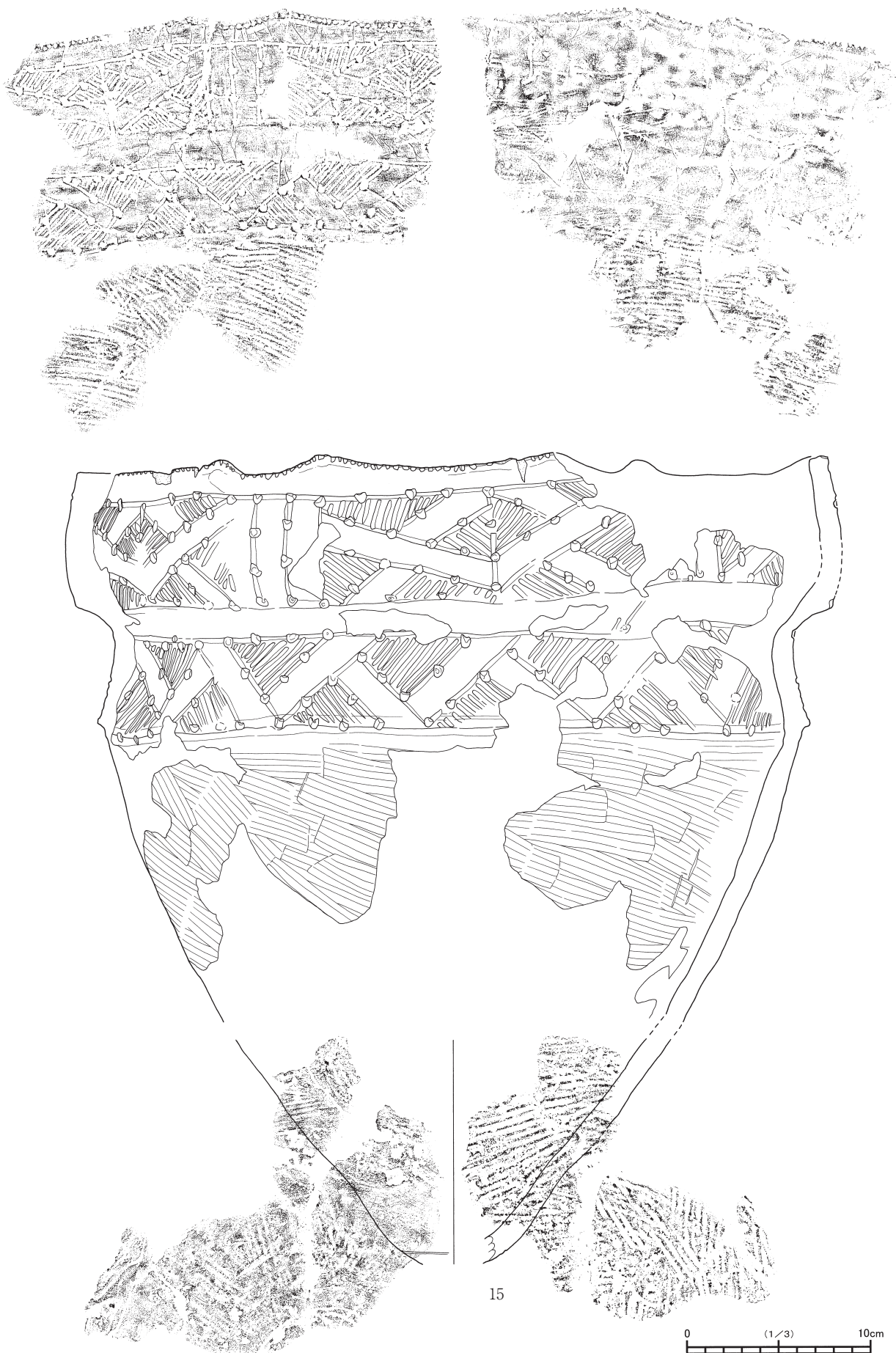
第239図 116号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



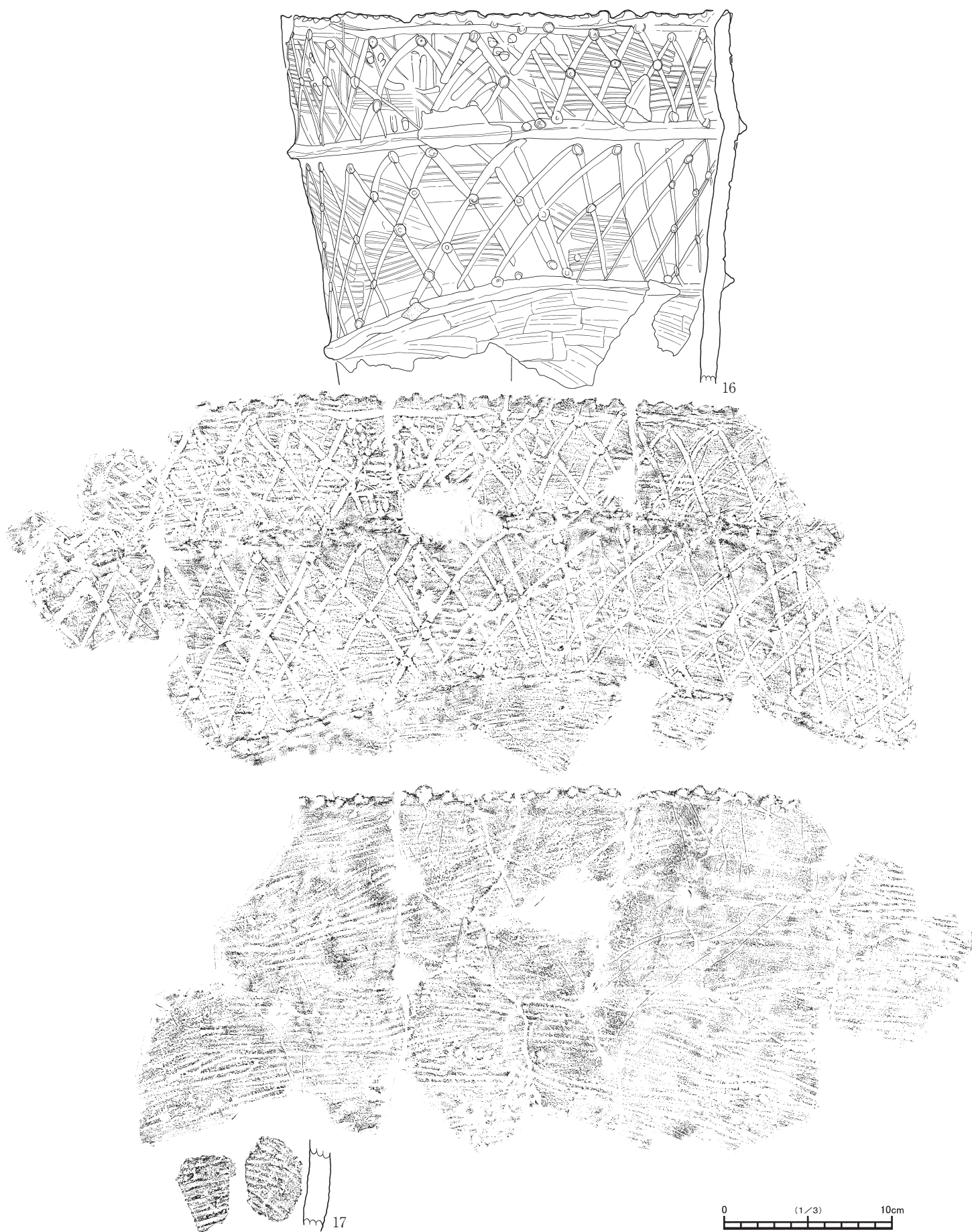
第240図 116号遺構出土遺物実測図(2)



第241図 117号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第242図 117号遺構出土遺物実測図(2)



第243図 117号遺構出土遺物実測図(3)

【規模ほか】 長軸2.84m・短軸1.80m・深さ94cm。燃焼面 2箇所。平面形アメーバ状（第241図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒・ソフトロームを含む層が多い。燃焼面は良く焼けている。

【出土遺物】 18点・2,668 gの礫および礫石器が出土している。このうち39.4%に被熱のあとがみられる。石器は、敲石 1点出土している。土器は、188点・4,746 g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は南側の燃焼面上部からややまとまって出土している。土器のうちわけは、条痕文系・羽状縄文系のものである。このうち主体を占めるのは、条痕文系土器で全体のおよそ99%あり、当該時期を117号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第242図15、第243図16・17に、覆土一括扱いのものを第241図1～13に示した。1～9は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。10～13は羽状縄文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。表裏面中央部に敲打痕が認められる。15は、推定口径397mm・現存器高435mmを測る緩やかな波状口縁をもつ条痕文系深鉢形土器である。沈線による三角形・菱形区画内に斜位の沈線を充填、要所に深い円形文を施す。口唇部前面に刺突をめぐらす。遺構南西隅の燃焼面上部から出土している。16は、推定口径264mm・現存器高219mmを測る寸胴な平縁の条痕文系深鉢形土器である。太い沈線による連続菱形文、要所に円形文を施す。文様帯は、横位二条の隆帯で区分される。口唇部に刺突がめぐる。内外面ともに横・斜方向の条痕文を施す。遺構南東隅の燃焼面上部から出土している。第241図14は残存最大長59mmを測る頁岩製の敲石である。

118号遺構

【検出位置】 099区FE-82・83

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.42m・短軸1.24m・深さ55cm。主軸方向 206°。燃焼面 1箇所（第244図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒・ソフトロームを含む層が多い。

【出土遺物】 7点・391 gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、23点・362 g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系土器であることから、当該時期を118号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第244図1～7に示した。条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

119号遺構

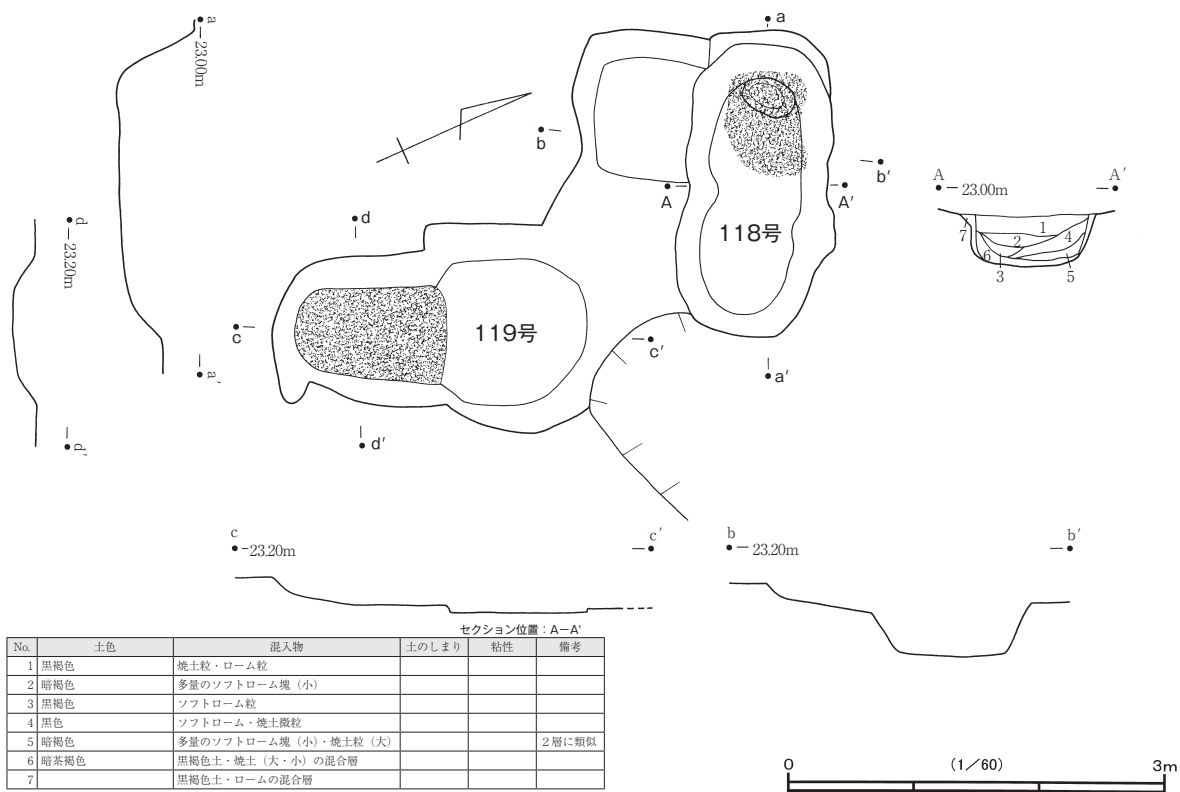
【検出位置】 099区FE-92・93

【種別】 炉穴

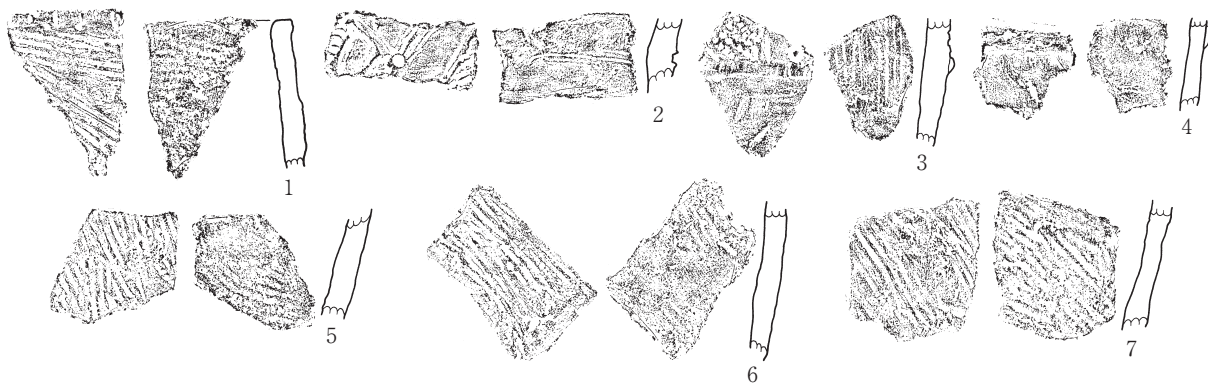
【規模ほか】 長軸2.78m・短軸1.64m・深さ24cm。主軸方向 301°。燃焼面 1箇所。118号遺構の南側に隣接するが、燃焼面・遺構の主軸方向は90°ほど異なる（第244図）。

【出土遺物】 13点・542 gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、37点・563 g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。土器のうちわけは、条痕文系・羽状縄文系のものである。このうち主体を占めるのは、条痕文系土器で全体のおよそ94%あり、当該時期を119号遺構の帰属時期とみる。

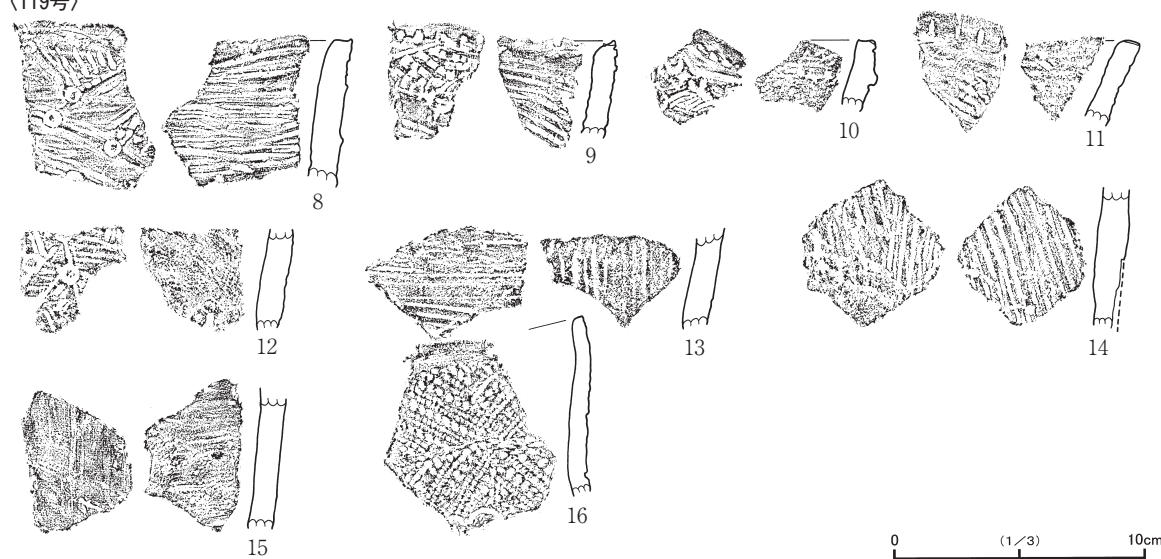
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第244図8～16に示した。8～15は、条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。16は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の口縁部破片である。地文を付



〈118号〉



〈119号〉



第244図 118・119号遺構実測図および出土遺物実測図

加条文としコンパス文を施す。

120号遺構

【検出位置】 099区FE-94、FF-03・04

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.20m・短軸1.10m・深さ51cm。主軸方向 320°。燃焼面 1箇所（第245図）。

【出土遺物】 13点・814gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。礫は遺構の中央部基底面付近から出土している。土器は、4点・22g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのみである。土器のすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を120号遺構の帰属時期とみる。ただし、図示可能な資料ではなかった。

121号遺構

【検出位置】 099区FE-03

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸1.68m・短軸0.94m・深さ不明。形状は楕円形。燃焼面不明（第245図）。

【出土遺物】 土器は、1点・107g出土している。取り上げ方法は、覆土一括である。この土器は条痕文系のものであることから、当該時期を121号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 第245図1は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。横位隆帯を施す。外面は横・斜方向に、内面は横方向に条痕が施される。

122号遺構

【検出位置】 099区FE-04

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸1.72m・短軸0.94m・深さ27cm。形状は楕円形。燃焼面不明（第245図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

123号遺構

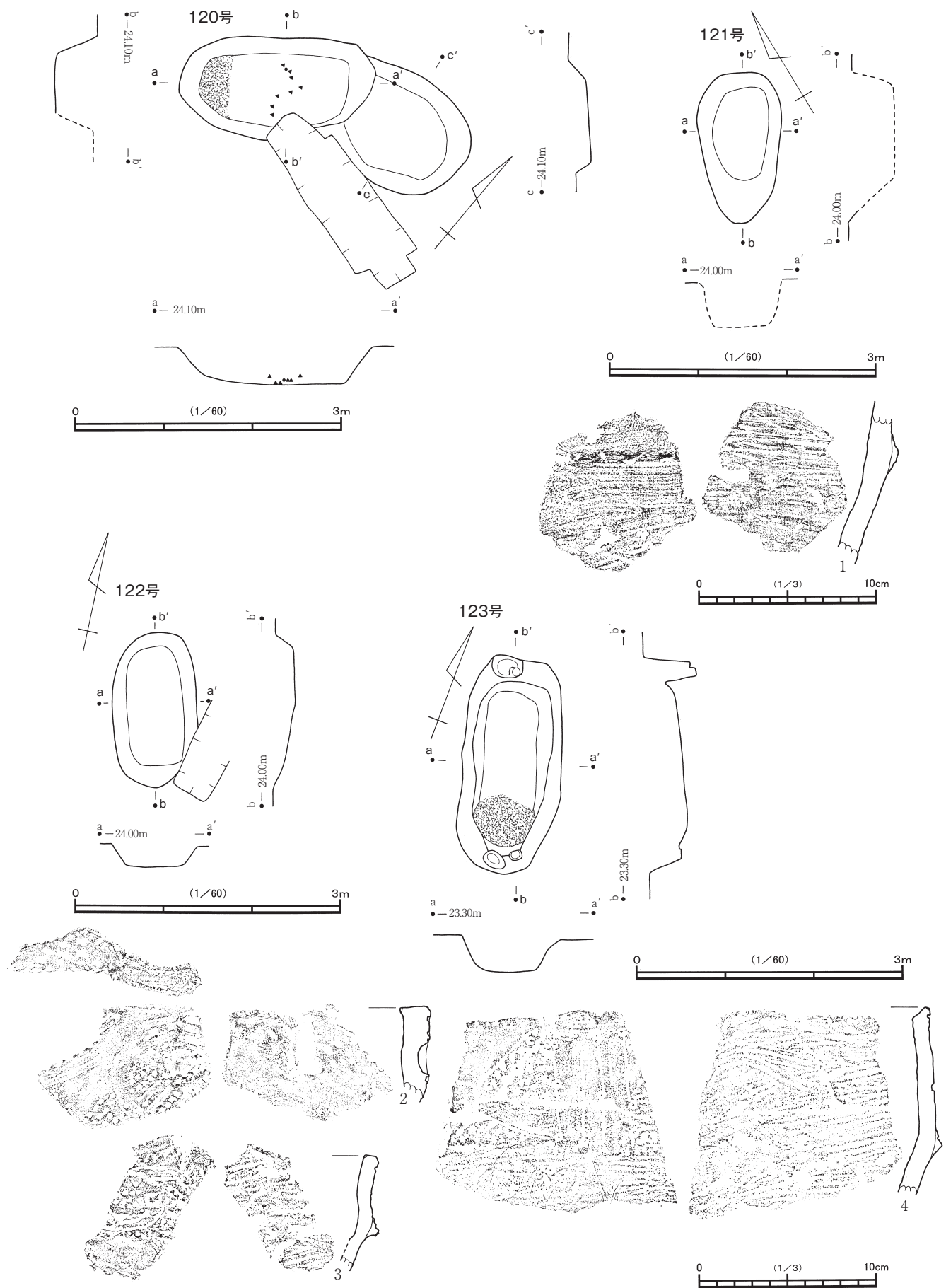
【検出位置】 099区FE-20・30

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.44m・短軸1.14m・深さ49cm。主軸方向 171°。燃焼面 1箇所（第245図）。

【出土遺物】 418点・18,382gの礫および礫石器が出土している。このうち88%に被熱のあとがみられる。石器は、6点出土している。うちわけは、石皿2点・敲石1点・磨石1点・軽石製品1点・石鏃未製品1点、このほか黒曜石・頁岩などの剥片15点がある。土器は、1,371点・22,729g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を123号遺構の帰属時期とみる。

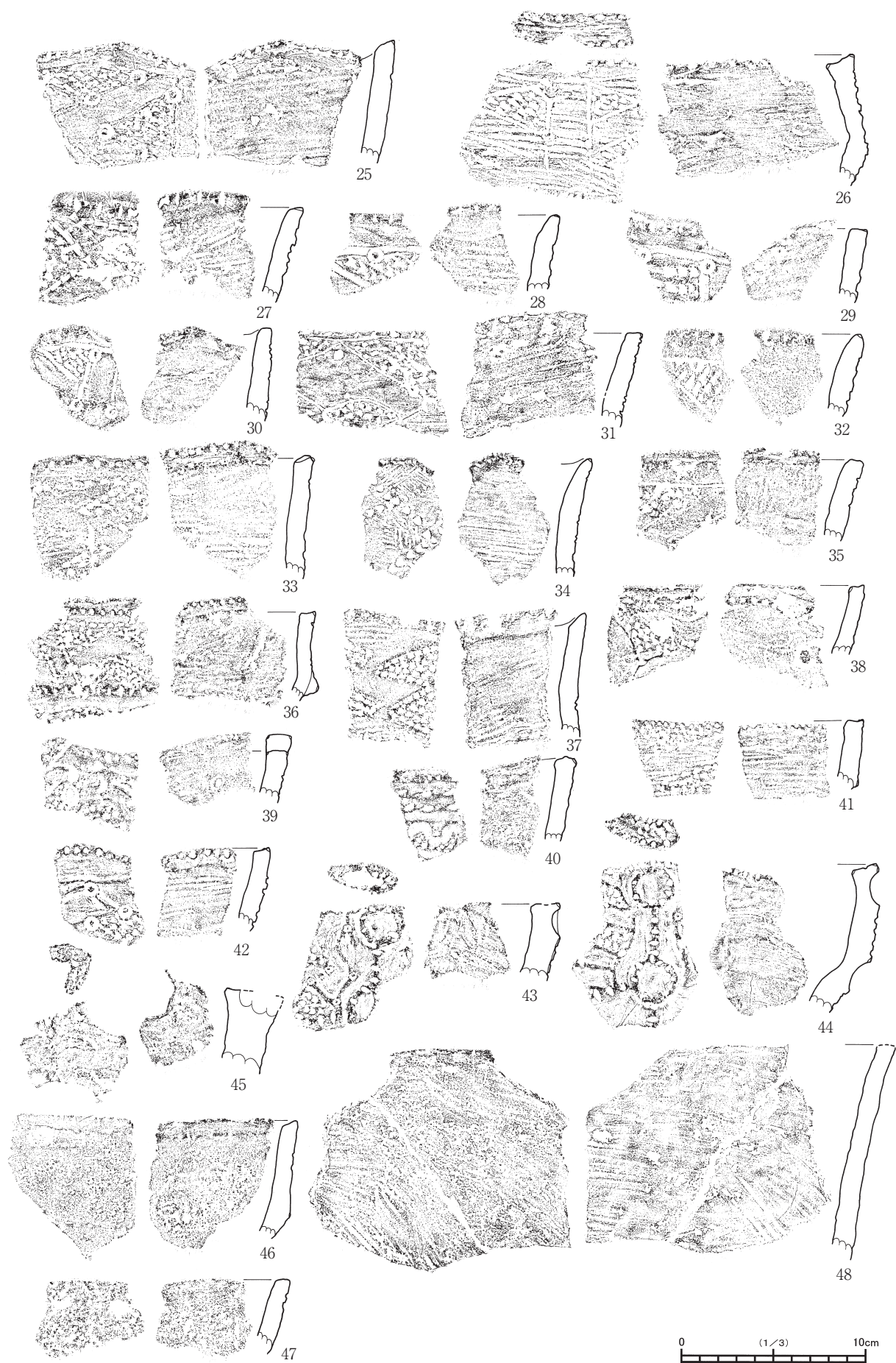
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第245図2～4・第246図5～24・第247図25～48・第248図49～74・第249図75～96・第250図97～105に示した。2～7・25～54は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片で、平縁や緩やかな波状をなすもののほか、2・43～45のように把手状をなすものもある。8～23・55～97は胴部破片、24・98・99は平底の、100は尖底の底部破片である。文様としては、沈線や微隆帯区画内に刺突文を施し、要所に円形文を付すものが多くみられる。101～105は、羽状縄文系



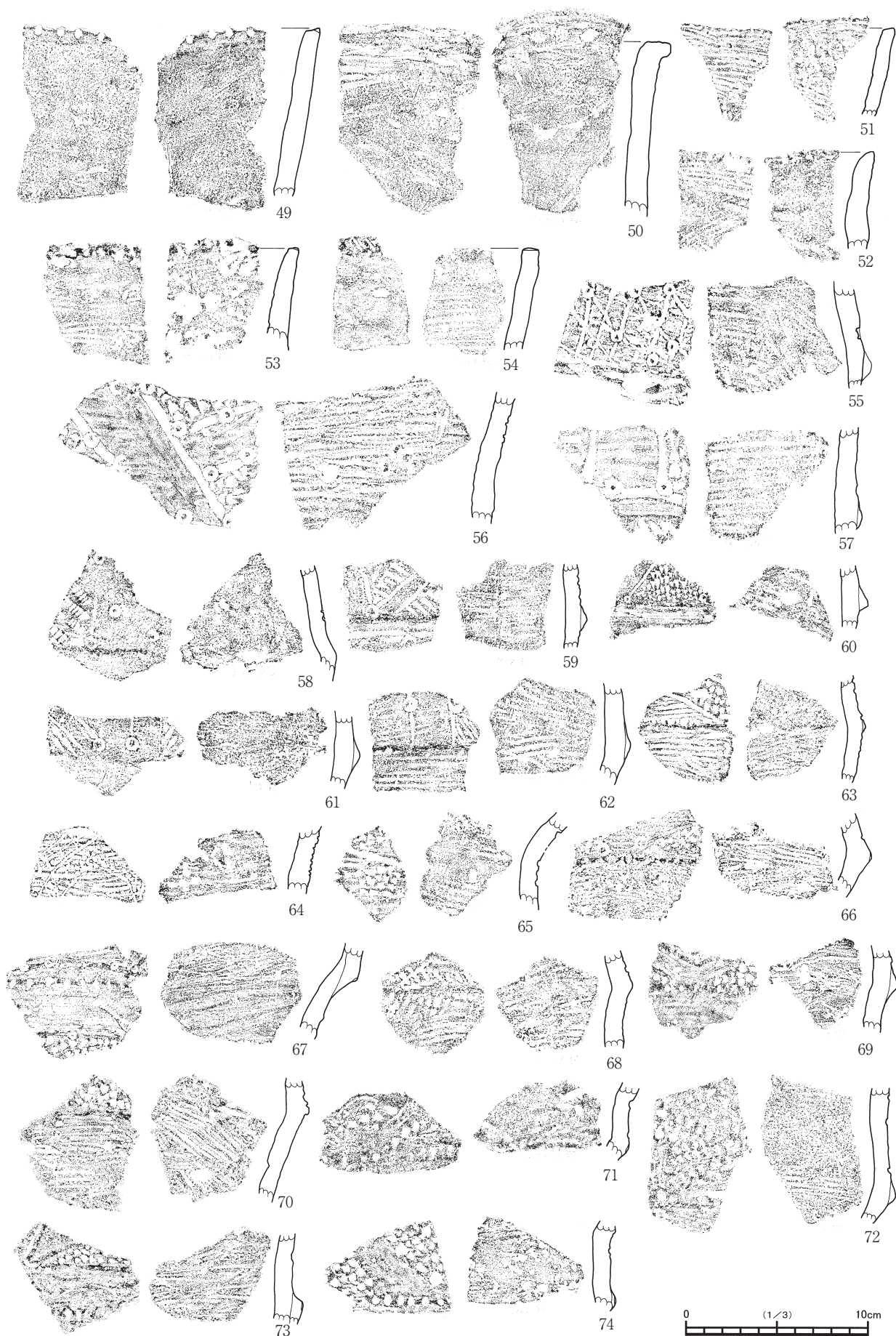
第245図 120・121・122号遺構実測図および出土遺物実測図、123号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



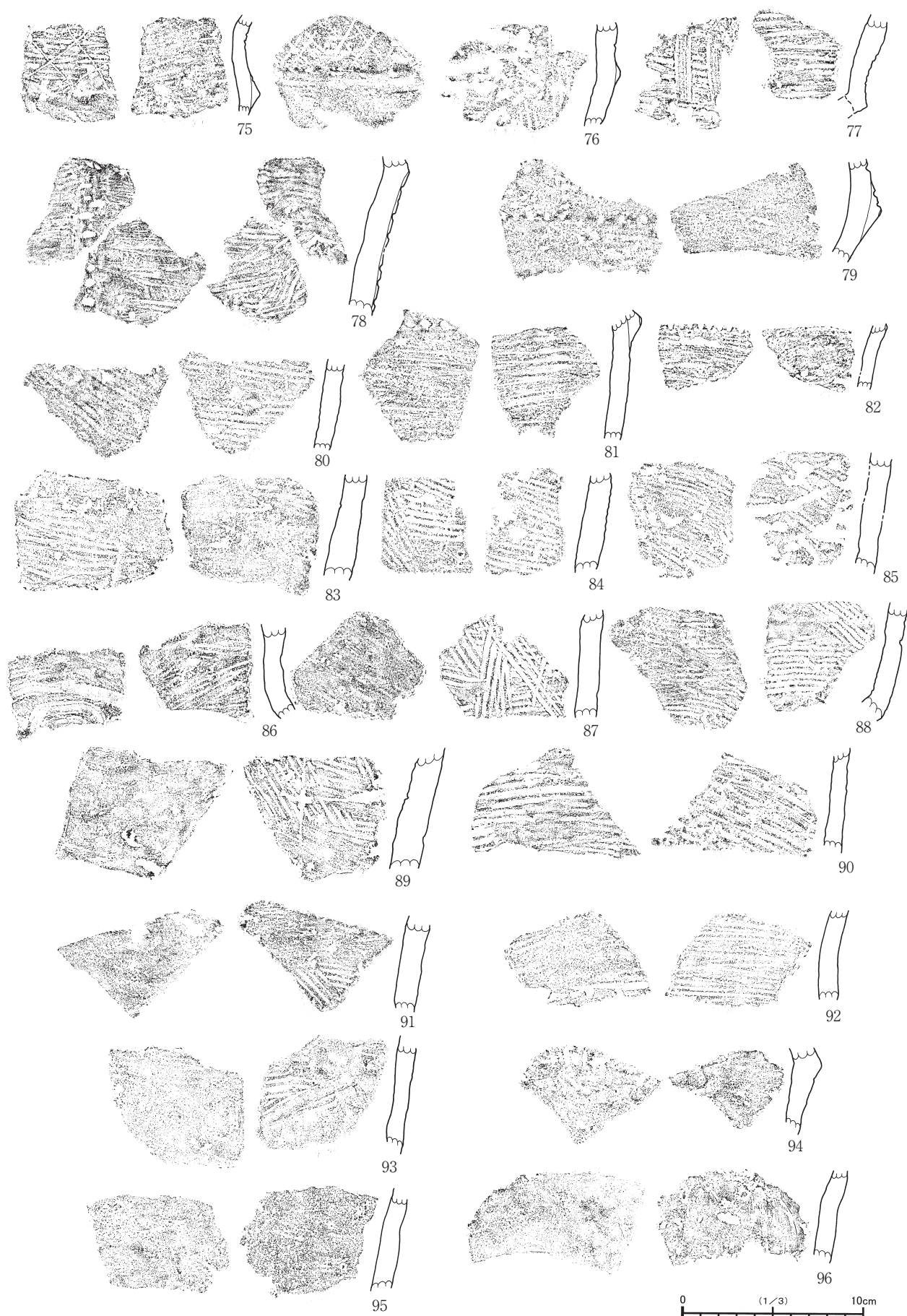
第246图 123号遺構出土遺物実測図(2)



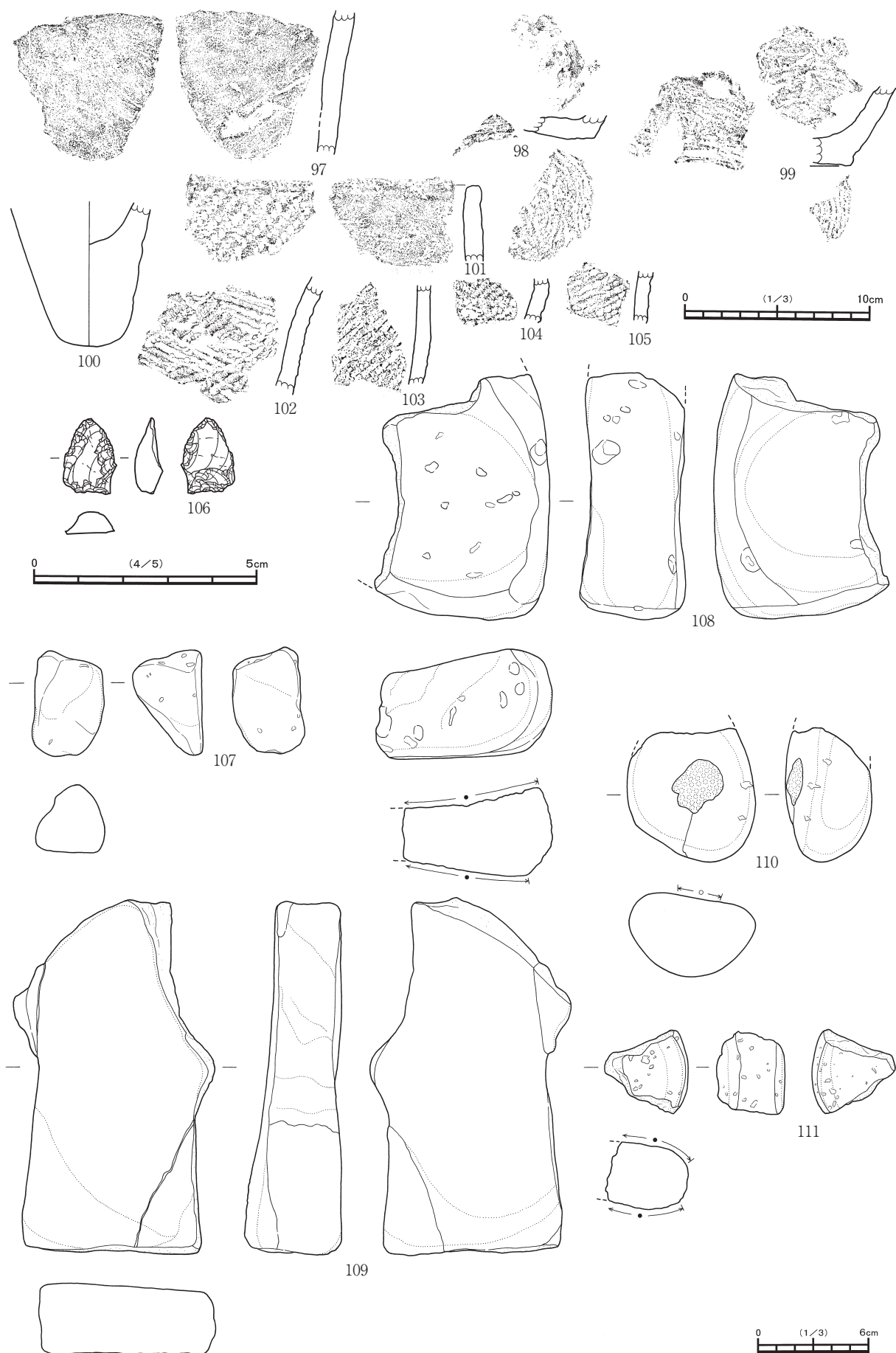
第247图 123号遺構出土遺物実測図(3)



第248図 123号遺構出土遺物実測図(4)



第249图 123号遺構出土遺物実測図(5)



第250図 123号遺構出土遺物実測図(6)

深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

出土石器のうち主なものを、第250図106～111に示した。106は最大長16.2mmを測る黒曜石製石鏃未製品である。107は最大長56mm・重さ12.5gを測る軽石製品である。108・109は多孔質石英安山岩・凝灰質礫岩製の石皿破片である。110は頁岩製の敲石、111は輝石安山岩製の磨石破片である。

124号遺構

【検出位置】 099区GD-77・87

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.15m・短軸2.90m・深さ85cm。燃焼面3箇所。平面形アメーバ状（第251図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒やブロック、焼土粒やブロックが顕著にみられる層が多い。

【重複関係】 陥し穴状の遺構と重複。新旧関係は炉穴の方が新。

【出土遺物】 土器は、32点・1,739g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげのみである。遺物は南隅・南東隅の焼土面上部からややまとまって出土している。土器のすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を124号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第251図1～4・第252図5～8に示した。5は推定口径252mm・現存器高132mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。口唇部前面に浅い刺突をめぐらす。外面は横・斜方向に、内面も横・斜方向に条痕文を施す。7は推定口径240mm・現存器高244mmを測る平縁の条痕文系深鉢形土器である。補修孔がある。外面は斜方向に、内面は横・斜方向に条痕文を施す。

125号遺構

【検出位置】 099区GE-27・28

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.54m・短軸2.06m・深さ77cm。燃焼面3箇所。平面形アメーバ状（第253図）。

【覆土】 一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部基底面上に、長軸68・短軸64・厚さ20cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 256点・3,256gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、34点・496g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を125号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第253図1～8に示した。条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

126号遺構

【検出位置】 099区GE-75・76

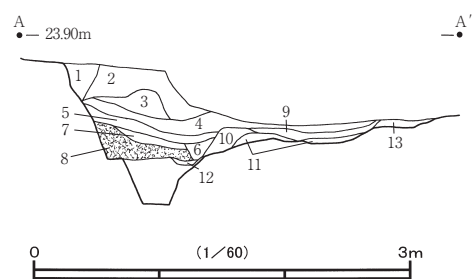
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸3.46m・短軸2.08m・深さ75cm。燃焼面2箇所。平面形アメーバ状（第254図）。

127号遺構

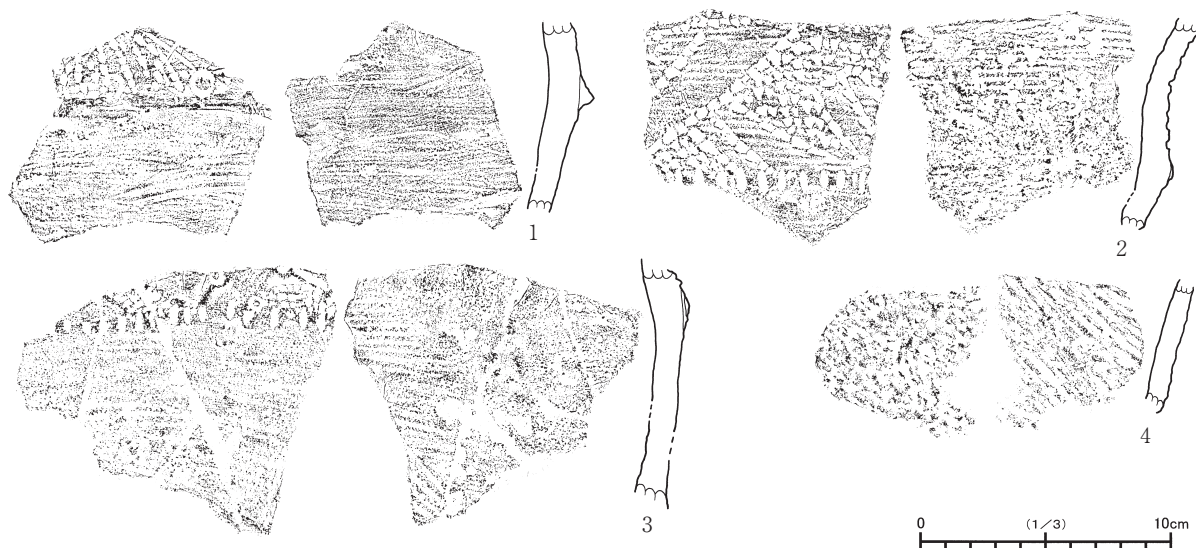
【検出位置】 099区GE-75

【種別】 炉穴？

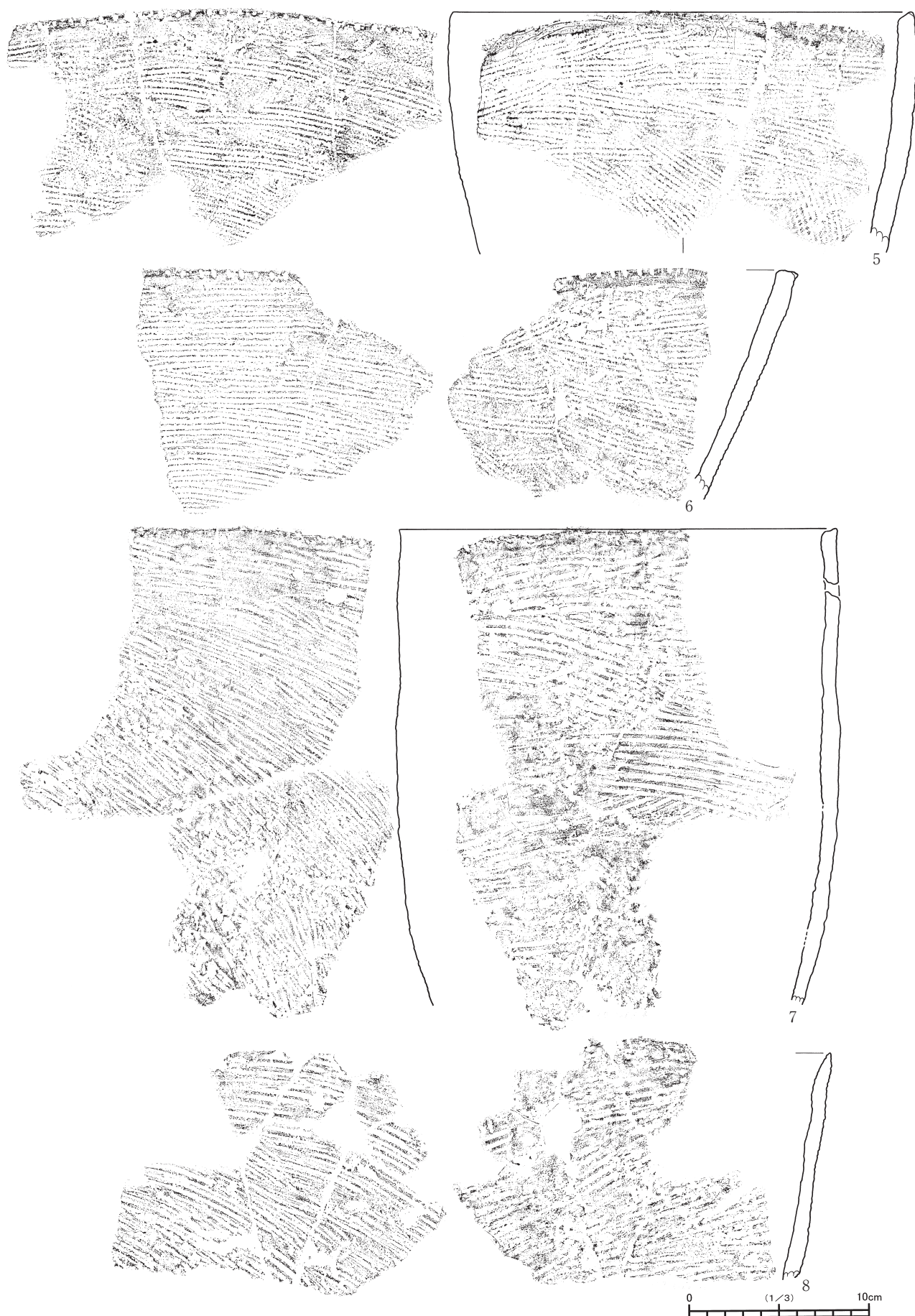


セクション位置：A-A'

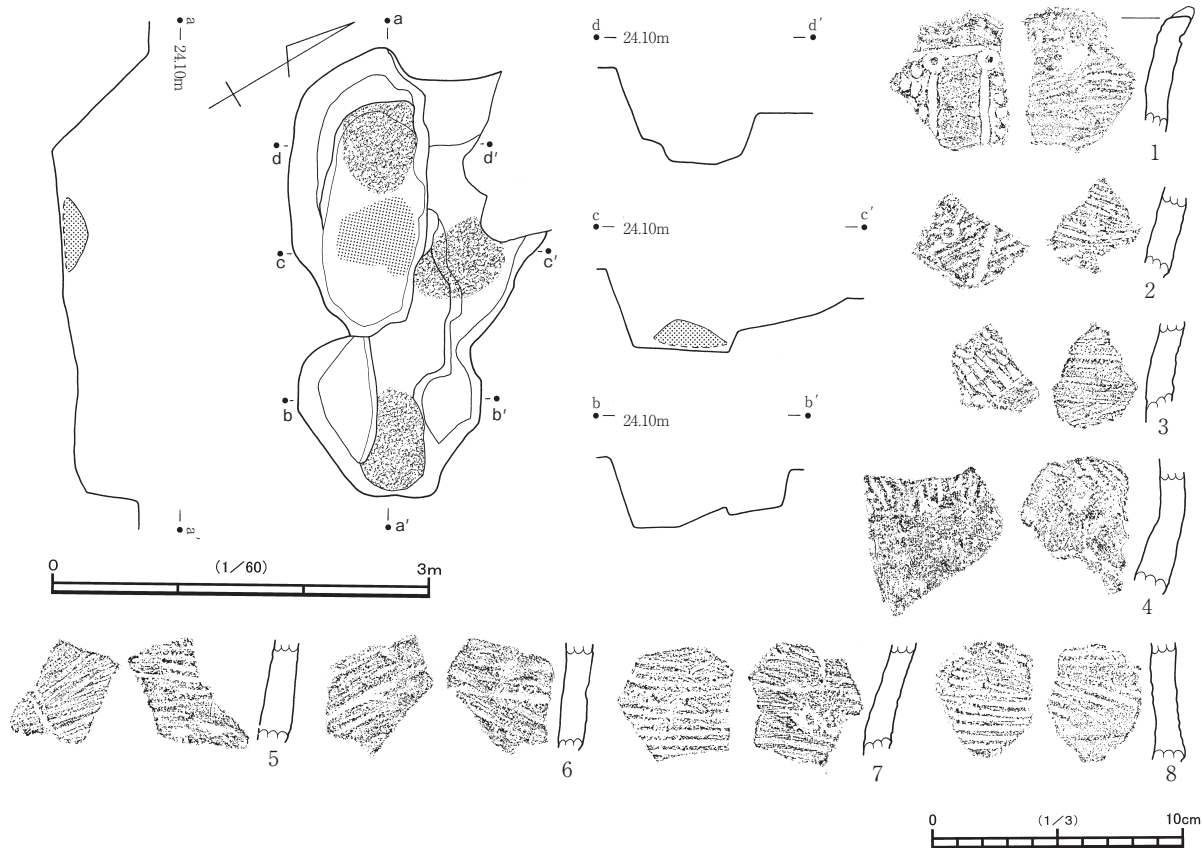
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	褐色	2層より多量のローム			
2	黒褐色	ローム粒			
3	黒褐色	ローム・焼土粒（大）			
4	黒色	ローム微粒・やや多量の焼土粒			
5	暗褐色	多量の焼土微粒			
6	暗褐色	ロームブロック（小）			
7	暗赤色	焼土・土層土			
8	赤褐色	焼土の集合土			
9	黒褐色	焼土ブロック（小）			
10	暗褐色	焼土ブロック			
11	暗黄褐色	ロームブロック・暗褐色土の混合土	良い		
12	黒褐色	ローム・焼土・黒色土の混合層			
13	黄褐色	ローム主体・黒色土粒			



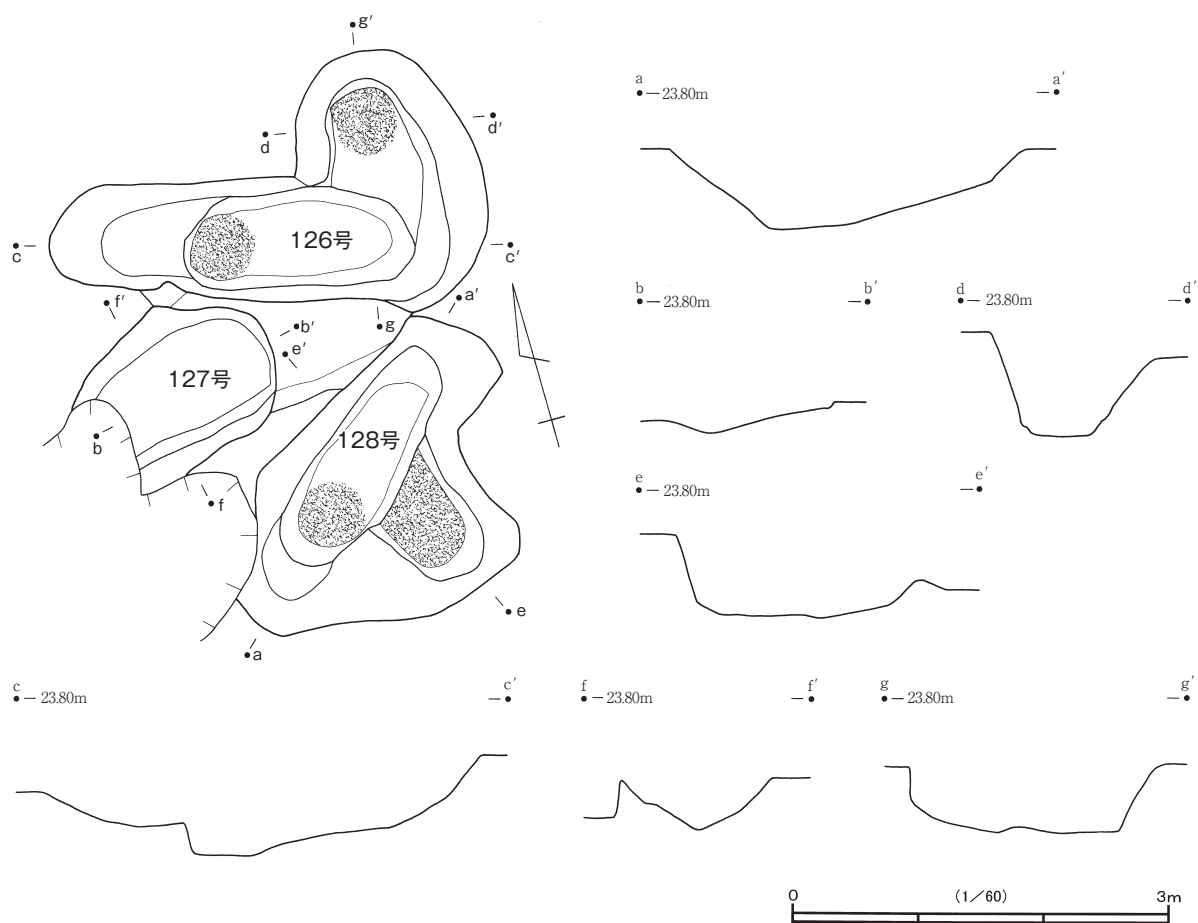
第251図 124号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第252図 124号遺構出土遺物実測図(2)



第253図 125号遺構実測図および出土遺物実測図



第254図 126・127・128号遺構実測図



第255図 126・127・128号遺構出土遺物実測図(1)

【規模ほか】 長軸2.82m・短軸1.26m・深さ44cm。燃焼面不明（第254図）。

128号遺構

【検出位置】 099区GE-75・76・85・86

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.86m・短軸2.00m・深さ83cm。燃焼面2箇所。平面形はアメーバ状（第254図）。

126～128号遺構は、一箇所に連続してつくられた炉穴の集合体である。発掘調査時点では平面図上は3つのNoを付し区別したが、遺物は一括して取り上げられている。したがって、以下の記載は3つの遺構の総計としてみなされたい。

【出土遺物】 125点・7,221gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、黒曜石の剥片1点がある。土器は、246点・4,886g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を126・127・128号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第255図1～21・第256図22～27に示した。1～16は、条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。平縁のものと緩やかな波状を呈するものがある。文様は、沈線区画内に刺突文を充填、要所に円形文を施すものが多い。17～27は、その胴部破片である。27は尖底部破片である。

129号遺構

【検出位置】 099区GE-85・95

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.90m・短軸2.64m・深さ68cm。燃焼面2箇所。平面形はアメーバ状（第257図）。

【出土遺物】 62点・1,766gの礫および礫石器が出土している。このうち93.9%に被熱のあとがみられる。石器は、敲石1点出土している。土器は、129点・4,677g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を129号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第257図1～3・第258図4～25・第259図26～32に示した。1～12は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。平縁のものと1のように緩やかな波状を呈するものがある。文様は、沈線区画内に刺突文を充填、要所に円形文を施すものが多いが、条痕文以外に文様をもたないものも多い。10は、推定口径182mm・現存器高84mmを測る平縁の深鉢形土器で、内外面は条痕文以外は無文、口唇部に深い楕円刺突をめぐらす。13～30はその胴部破片である。31・32は平底の底部破片である。第259図33は、現存最大長59mmを測る珪質頁岩製の敲石である。

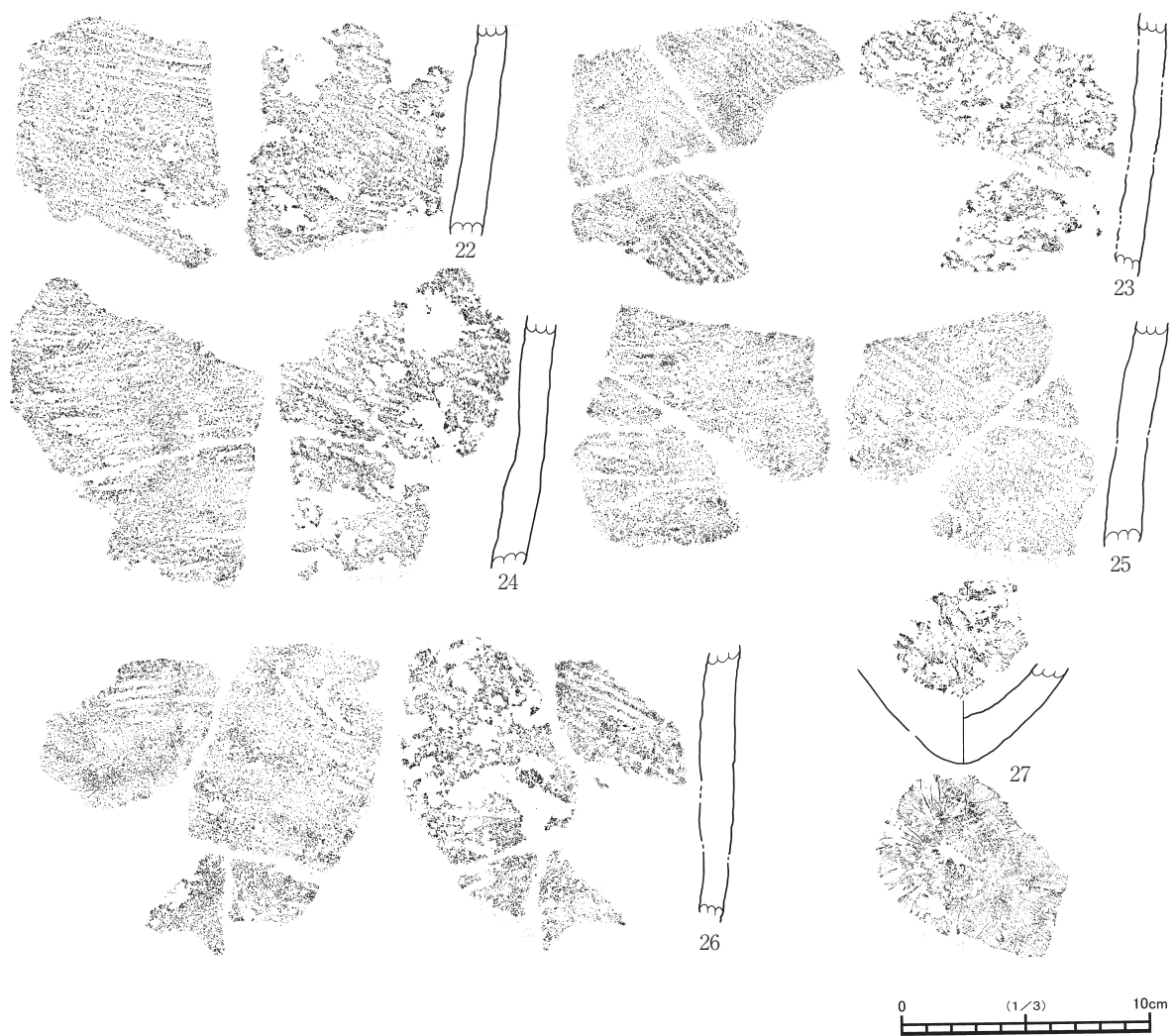
130号遺構

【検出位置】 099区GE-86・96

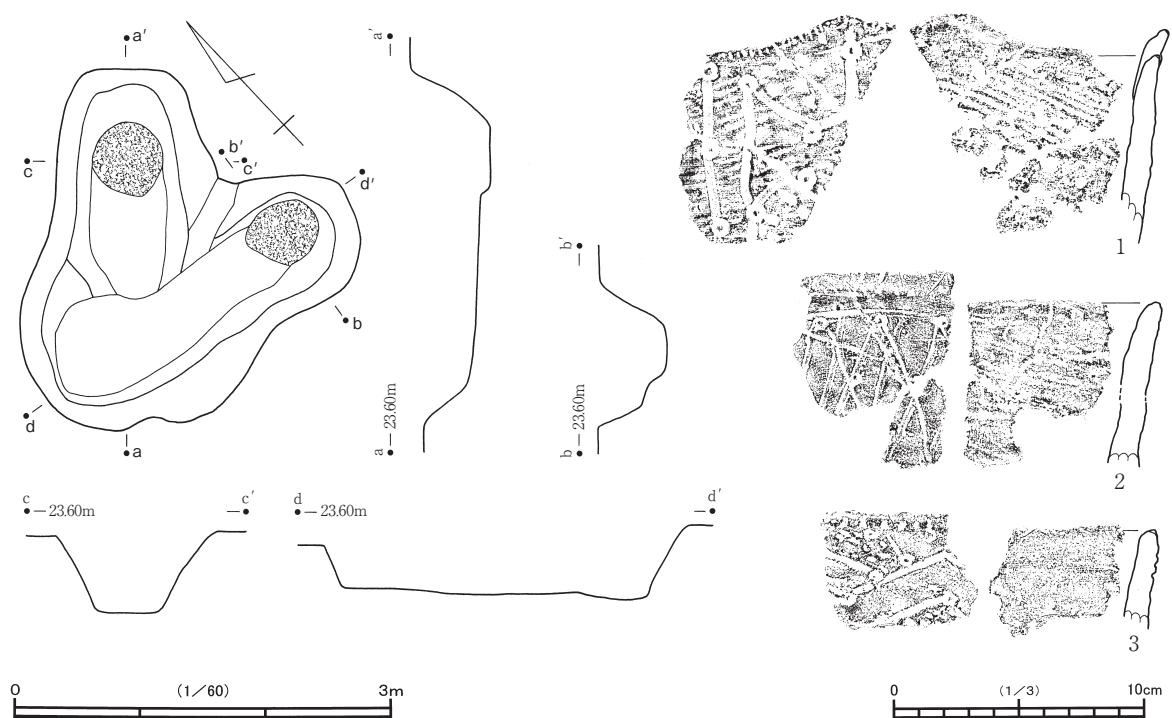
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.98m・短軸1.84m・深さ61cm。燃焼面3箇所。平面形はアメーバ状（第260図）。

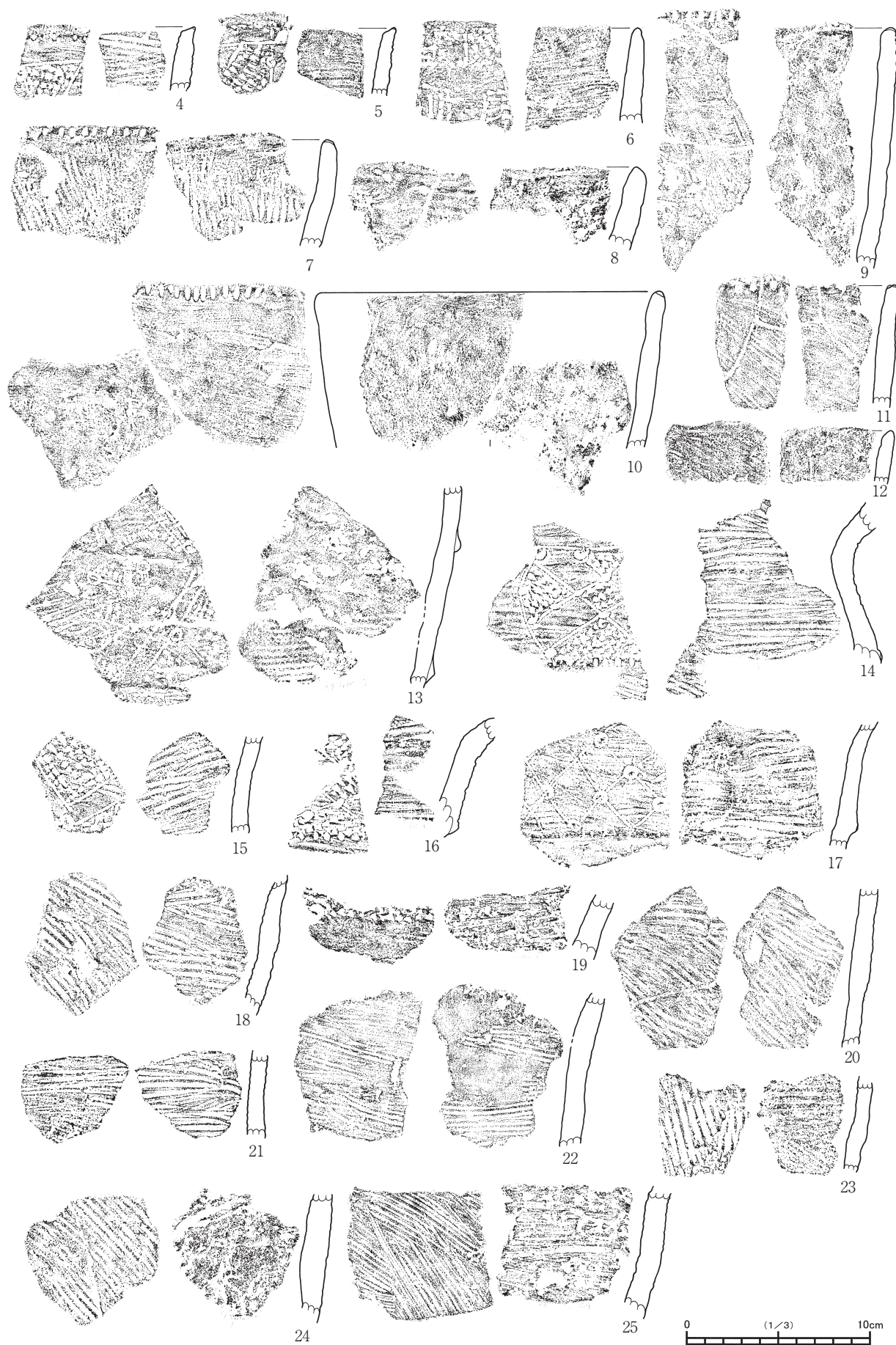
【出土遺物】 110点・4,543gの礫および礫石器が出土している。このうち98.6%に被熱のあとがみられる。石器は、スクレーパー？1点出土している。土器は、157点・3,124g出土している。取り上げ方法は、一括扱いのみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を130号遺



第256図 126・127・128号遺構出土遺物実測図(2)



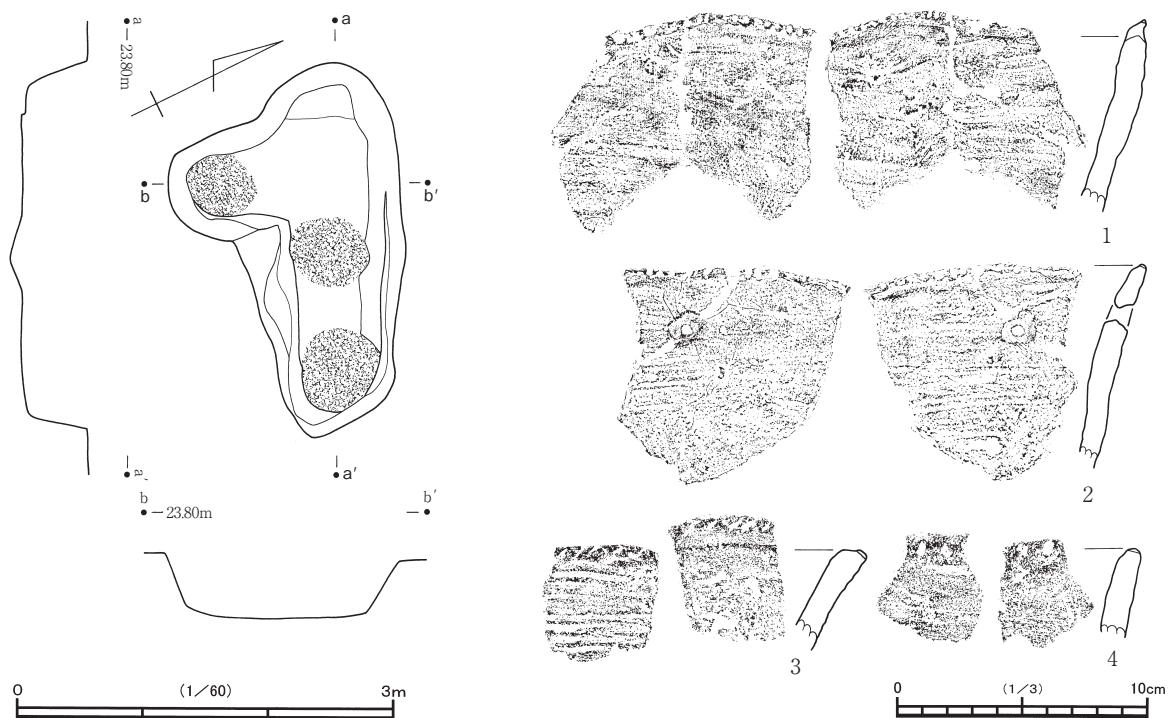
第257図 129号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



第258図 129号遺構出土遺物実測図(2)



第259図 129号遺構出土遺物実測図(3)



第260図 130号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



第261図 130号遺構出土遺物実測図(2)

構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第260図1～4・第261図5～26に示した。1～6は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片である。平縁のものと1のように緩やかな波状を呈するものがある。条痕文以外に文様をもたないが、口唇部に刺突や刻みをめぐらすものが多い。7～26はその胴部破片である。7～14には沈線区画内に刺突文を充填、要所に円形文を施す文様がみられる。第261図27は最大長86mmを測る粘板岩製のスクレーパー？とみられるものである。

131号遺構

【検出位置】 099区GE-87

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.38m・短軸1.04m・深さ61cm。主軸方向 187°。燃焼面1箇所。北側を欠失する（第262図）。

【出土遺物】 14点・785gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、40点・8,173g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を131号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第262図1～16に示した。1～5は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片、6～16はその胴部破片である。

132号遺構

【検出位置】 099区GE-97

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.00m・短軸0.92m・深さ33cm。主軸方向 185°。燃焼面1箇所（第263図）。

【出土遺物】 51点・1,545gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、68点・953g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を132号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第263図1～9に示した。1～6は条痕文系深鉢形土器の口縁部破片、7～9はその胴部破片である。

133号遺構

【検出位置】 099区HD-16・17

【種別】 集石遺構

【規模ほか】 長軸1.50m・短軸1.20m・深さ42cm。形状は楕円形（第264図）。

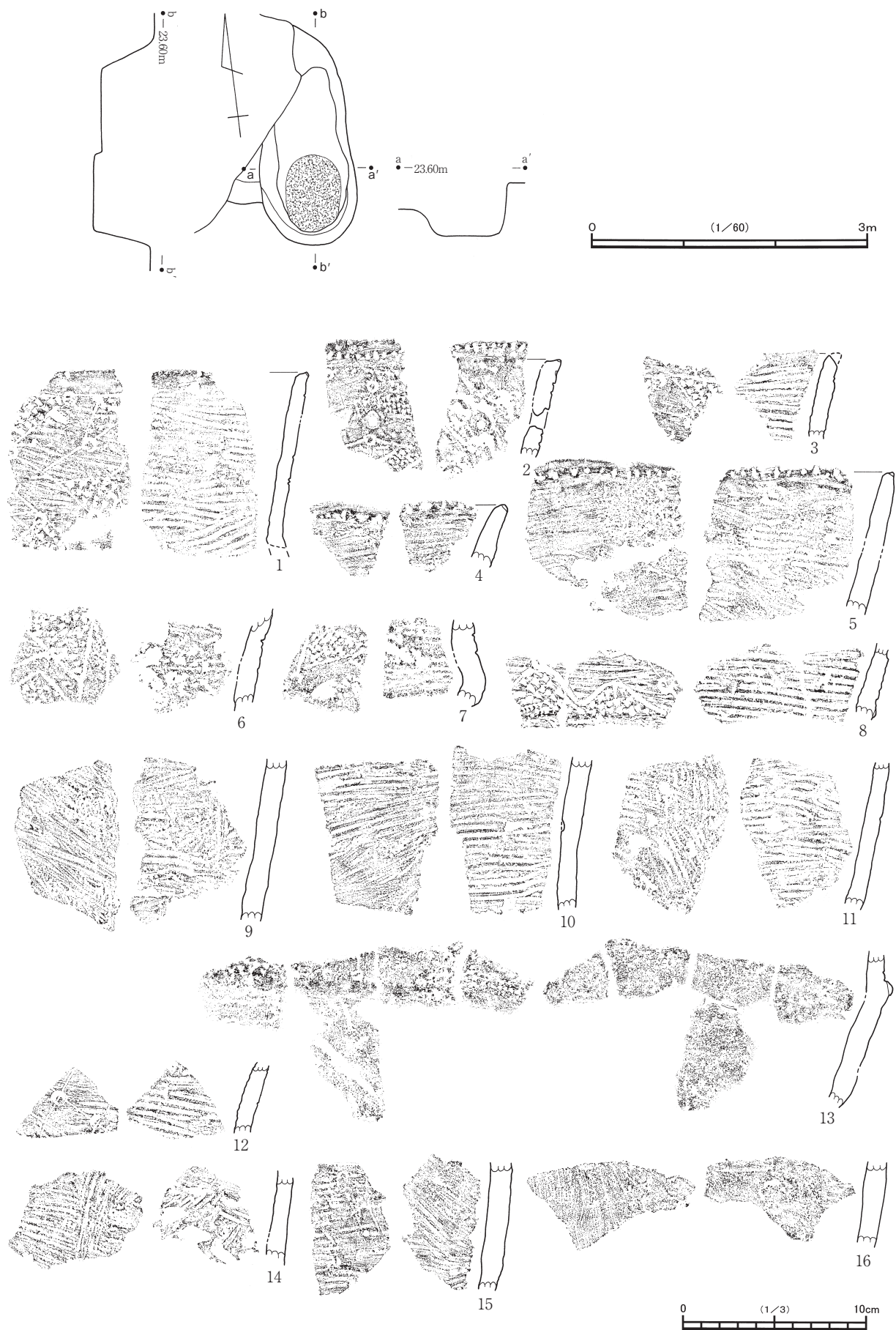
【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒を含む層が多い。上層に礫。

【出土遺物】 1点・32gの土器が出土している。遺構の上層を中心に多量の礫が出土している様子が図面に記録されているが、遺物不明のため詳細は定かでない。唯一出土している土器片が条痕文系のものであることから、当該時期を133号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 第264図1は、条痕文系深鉢形土器の胴部破片で、沈線による区画内に刺突文を充填し、沈線の交点に円形文を配す文様がみられる。

134号遺構

【検出位置】 099区HE-55・56・65



第262図 131号遺構実測図および出土遺物実測図



第263図 132号遺構実測図および出土遺物実測図

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸3.40m・短軸1.36m・深さ179cm。形状は長楕円形（第264図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

135号遺構

【検出位置】 099区GF-40

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.80m・短軸1.00m・深さ123cm。形状は長楕円形（第264図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

136号遺構

【検出位置】 099区JE-97

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.52m・短軸1.46m・深さ34cm。形状は円形（第264図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

137号遺構

【検出位置】 099区NG-34

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸4.60m・短軸1.60m・深さ105cm。形状は長楕円形（第265図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。多量のローム・黒褐色土粒の混入多い。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

138号遺構

【検出位置】 099区NG-34

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸3.45m・短軸1.62m・深さ132cm。形状は長楕円形。西側で137号土坑と重複する（第265図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

139号遺構

【検出位置】 099区NG-16

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸3.30m・短軸1.74m・深さ26cm。形状は長楕円形（第265図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

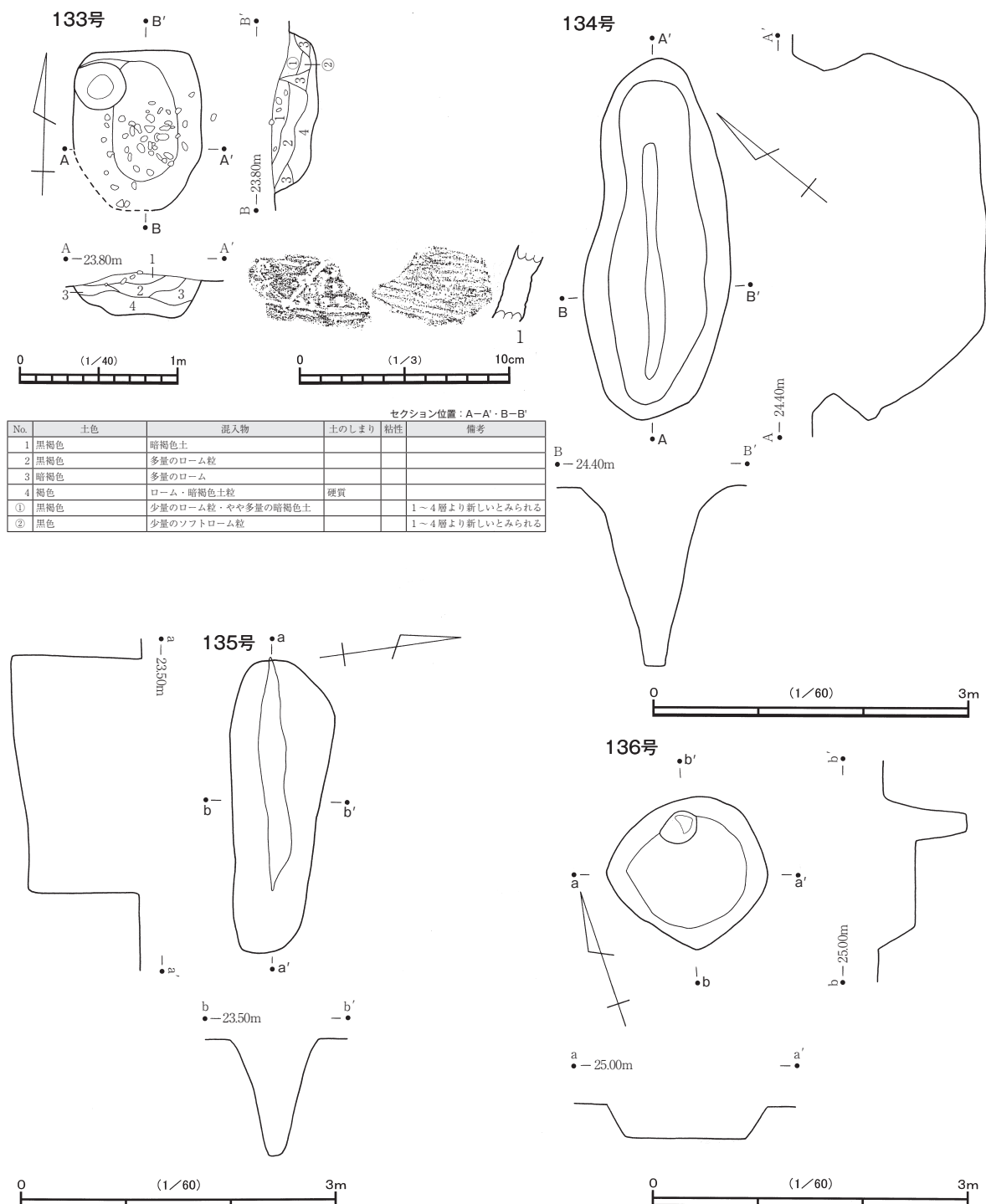
140号遺構

【検出位置】 099区NG-27

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.78m・短軸1.74m・深さ53cm。形状は円形。中央部分を後世のカクランにより欠失する（第266図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。



第264図 133・134・135・136号遺構実測図

【出土遺物】 4点・319gの礫が出土している。このうち44.5%に被熱のあとがみられる。土器は、3点・84g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、羽状縄文系・諸磯式である。このうち主体を占めるのは、羽状縄文系のもので全体のおよそ58%あり、当該時期を40号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器を第266図1～3に示した。1・2は羽状縄文系深鉢形土器の胴部、3は諸磯c式の胴部破片である。

141号遺構

【検出位置】 099区MH-20、NH-01・11

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸3.24m・短軸1.22m・深さ221cm。形状は長楕円形（第266図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロック・ソフトロームを含む層が多い。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

142号遺構

【検出位置】 099区NH-04

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸3.50m・短軸1.56m・深さ220cm。形状は長楕円形（第266図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。ロームブロックを含む層が多い。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

143号遺構

【検出位置】 099区OG-43・44

【種別】 集石遺構

【規模ほか】 長軸1.30m・短軸1.18m。落ち込み状の範囲を中心に多量の礫が検出されている。出土位置は基底面より20cmほど浮いている（第267図）。

【出土遺物】 47点・2,525gの礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、7点・51g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげのみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を143号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第267図1に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

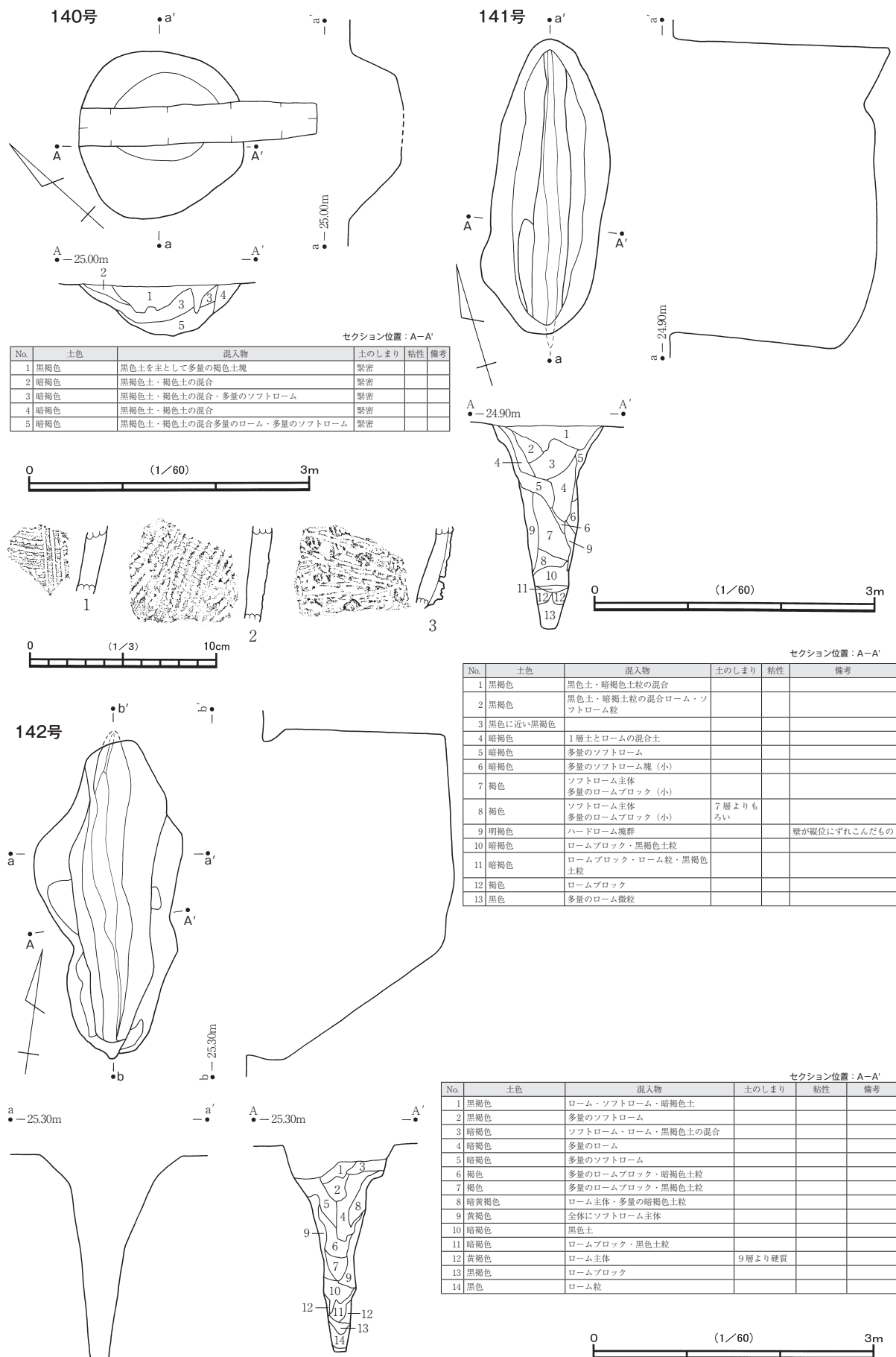
144号遺構

【検出位置】 099区OG-62・63・72・73

【種別】 集石遺構

【規模ほか】 長軸2.82m・短軸1.76m・深さ23cm。形状は不整形。落ち込み状の範囲を中心に多量の礫が検出されている。出土位置は基底面より上に20cmほどの範囲までである（第268図）。

【出土遺物】 100点・5,064gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器としては、砂岩などの剥片2点が出土している。土器は、9点・86g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげのみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系などである。



第266図 140・141・142号実測図および出土遺物実測図

このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ69%あり、当該時期を144号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第268図1～5に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。4・5は羽状縄文系土器の胴部破片である。

145号遺構

【検出位置】 099区0G-73

【種別】 土坑？

【規模ほか】 長軸2.70m・短軸0.72m・深さ19cm。形状は楕円形？（第268図）。

【重複関係】 方形区画遺構との重複によって西側部分を欠失する。

【出土遺物】 30点・1,550gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、25点・268g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系、一部に縄文が施される条痕・縄文、羽状縄文系、浮島式、諸磯式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ46%あり、当該時期を145号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第268図6～18に示した。6～9は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。10～12は羽状縄文系土器の口縁部および胴部破片である。13は浮島式、14・15は諸磯c式の胴部破片である。

146号遺構

【検出位置】 099区0G-39・40

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸3.18m・短軸1.02m・深さ87cm。燃焼面不明（第269図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

147号遺構

【検出位置】 099区0G-67・77

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸1.90m・短軸1.00m・深さ69cm。形状は楕円形（第269図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

148号遺構

【検出位置】 099区0G-77

【種別】 陥し穴

【覆土】 黒色土・黒褐色土などを主体とする。ローム粒を含むものが多い。土のしまりは強い。

【規模ほか】 長軸2.22m・短軸1.00m・深さ72cm。形状は楕円形（第269図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

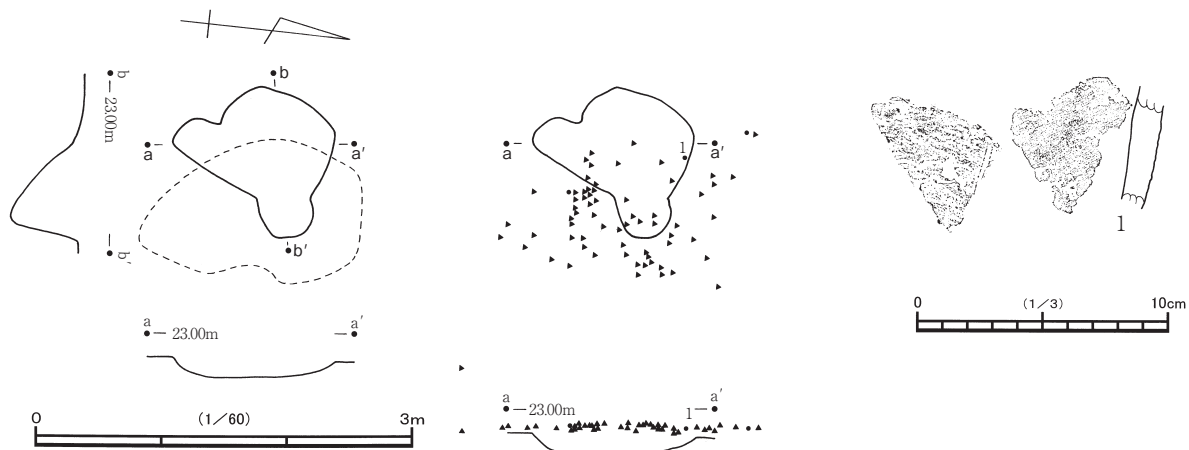
149号遺構

【検出位置】 099区PG-72

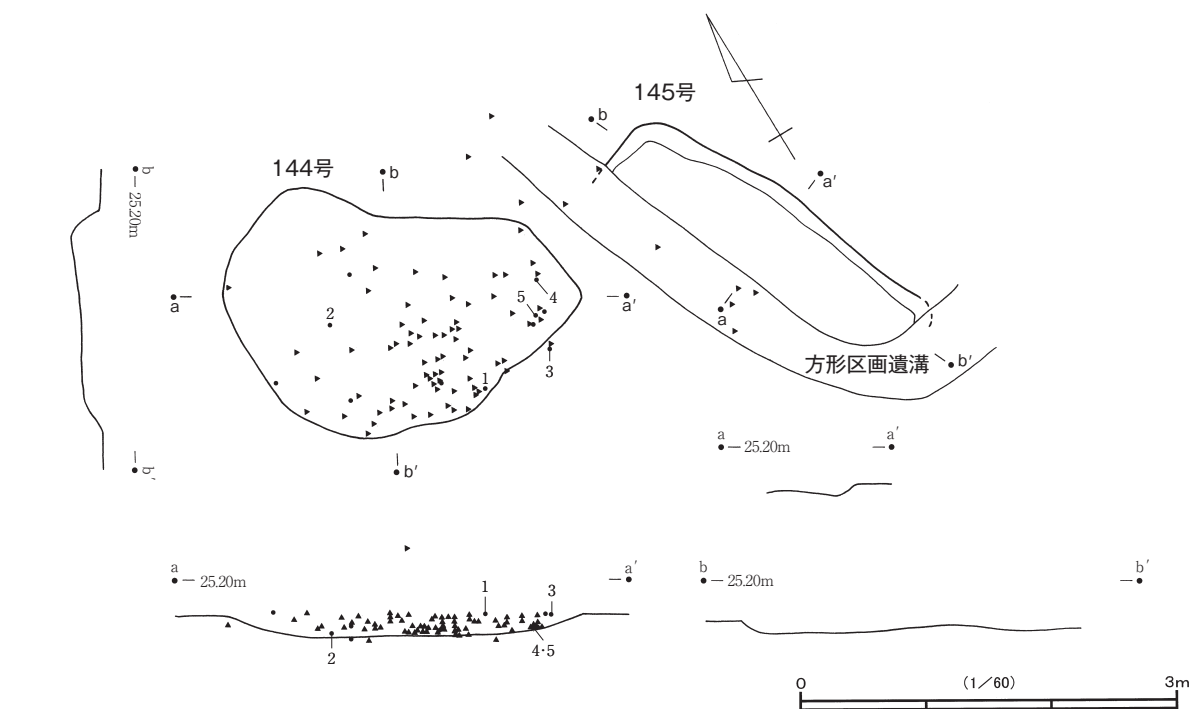
【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸2.96m・短軸1.00m・深さ130cm。形状は長楕円形（第269図）。

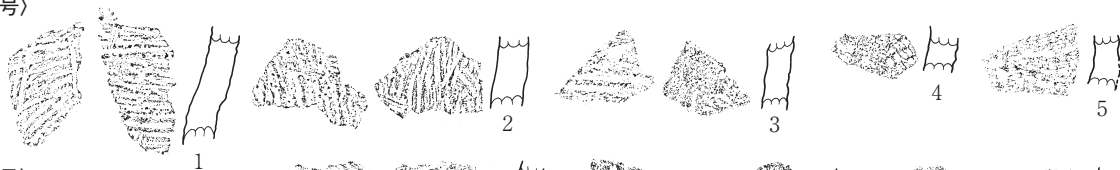
出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。



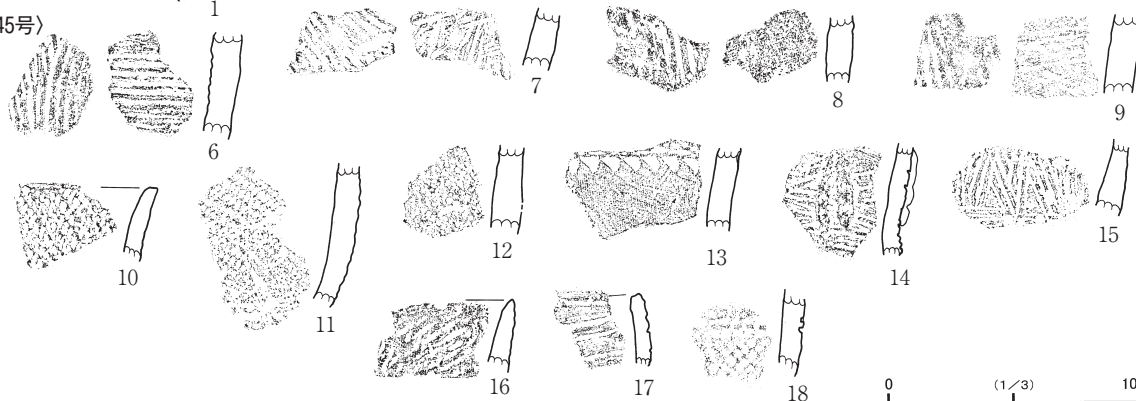
第267図 143号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



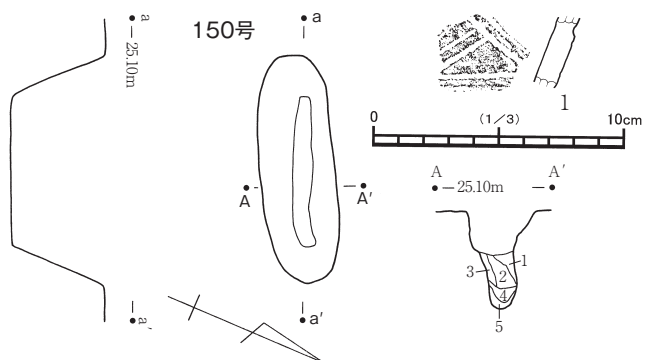
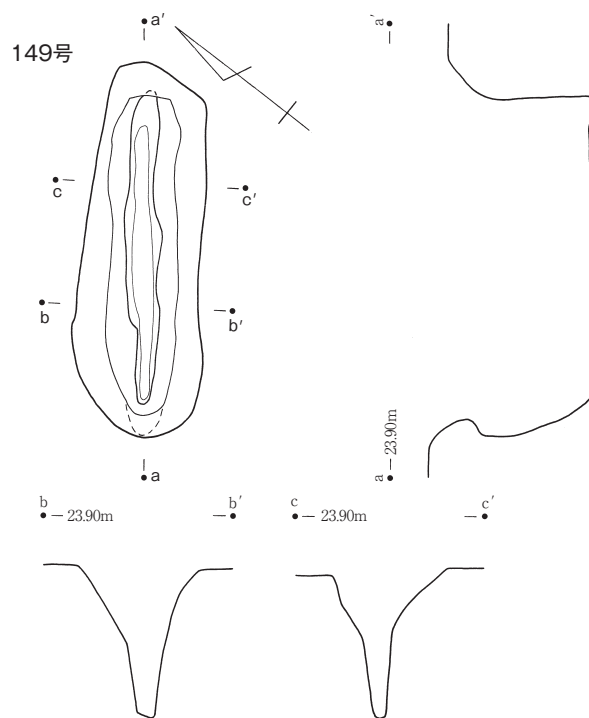
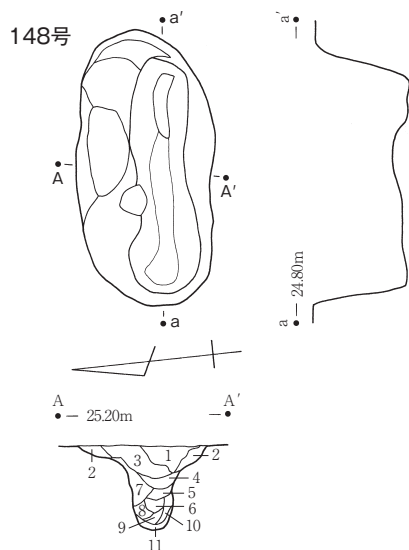
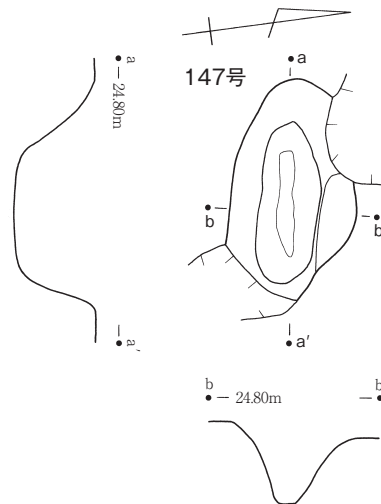
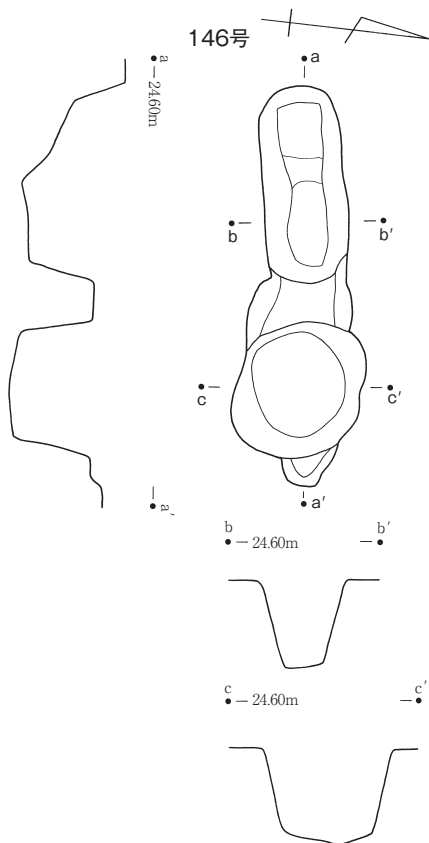
〈144号〉



〈145号〉



第268図 144・145号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	暗褐色土	有り		
2	褐色	多量のソフトローム	有り		
3	黒色	少量のローム（大）	有り		
4	黒色	多量のローム微粒	有り		
5	黒色	少量のローム微粒	有り		
6	黒色	ローム微粒・多量の暗褐色土粒	有り		
7	黒褐色		有り		
8	暗褐色	褐色土塊（小）	有り		
9	暗褐色	ソフトローム塊（小）	有り		
10	黒褐色		有り		
11	褐色	ソフトローム主体			

セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	ソフトロームに小塊	良い		
2	黒色	ソフトロームに微粒	良い		
3	黒褐色	ソフトロームに小塊	良い		1層の軟質化
4	暗褐色	多量のローム粒	良い		
5	4層より明るい暗褐色	多量のローム・多量のソフトローム	良い		

第269図 146・147・148・149・150号遺構実測図

150号遺構

【検出位置】 099区0H-47

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸1.80m・短軸0.59m・深さ74cm。形状は長楕円形（第269図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒を含むものが多い。土のしまりは強い。

【出土遺物】 覆土一括取り上げ資料として1点・11gの土器が出土している。第269図1は諸磯a式とみられる小破片であるが、これのみから本遺構の時期を決めることは難しい。

151号遺構

【検出位置】 099区0H-30・40

【種別】 集石遺構

【規模ほか】 長軸3.10m・短軸1.84m・深さ32cm。形状は不整形。多量の礫（第270図）。

【出土遺物】 335点・15,857gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、小型石鏃1点出土している。土器は、7点・88g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげのみである。遺物は基底面より上、とくに覆土の上層から集中して出土している。すべての土器が条痕文系のものであることから、当該時期を151号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第270図1・2に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。第270図3は、最大長14.7mmを測る黒曜石製の石鏃である。

152号遺構

【検出位置】 099区PH-41

【種別】 陥し穴

【規模ほか】 長軸1.95m・短軸0.78m・深さ62cm。形状は長楕円形（第271図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

153号遺構

【検出位置】 セ72区1B-A1

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸0.89m・短軸0.88m・深さ42cm。形状はピット状（第271図）。

【出土遺物】 2点・88gの礫が出土している。いずれにも被熱のあとがみられる。石器は、砂岩などの剥片2点がある。土器は、4点・41g出土している。取り上げ方法は、一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を153号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち主なものを第271図1～3に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

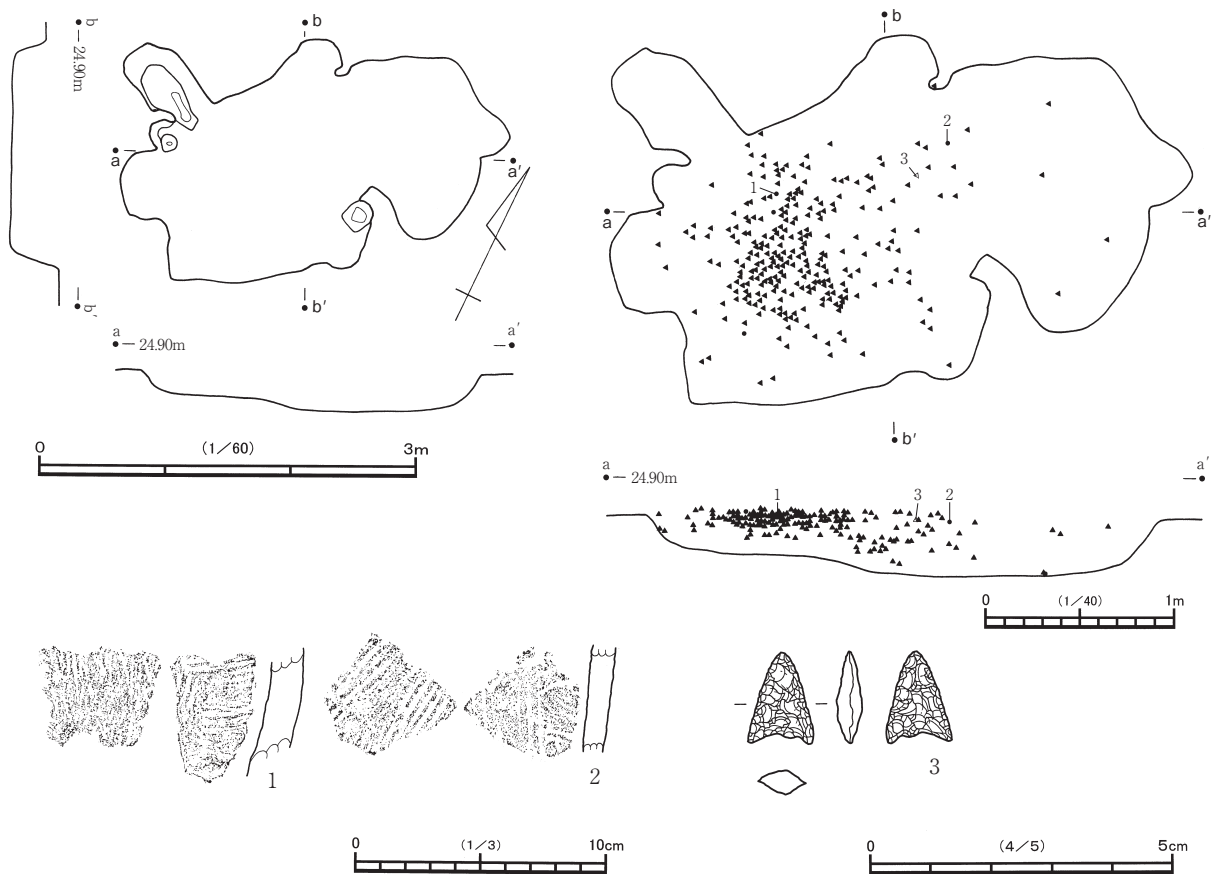
154号遺構

【検出位置】 セ72区1B-A1・A2

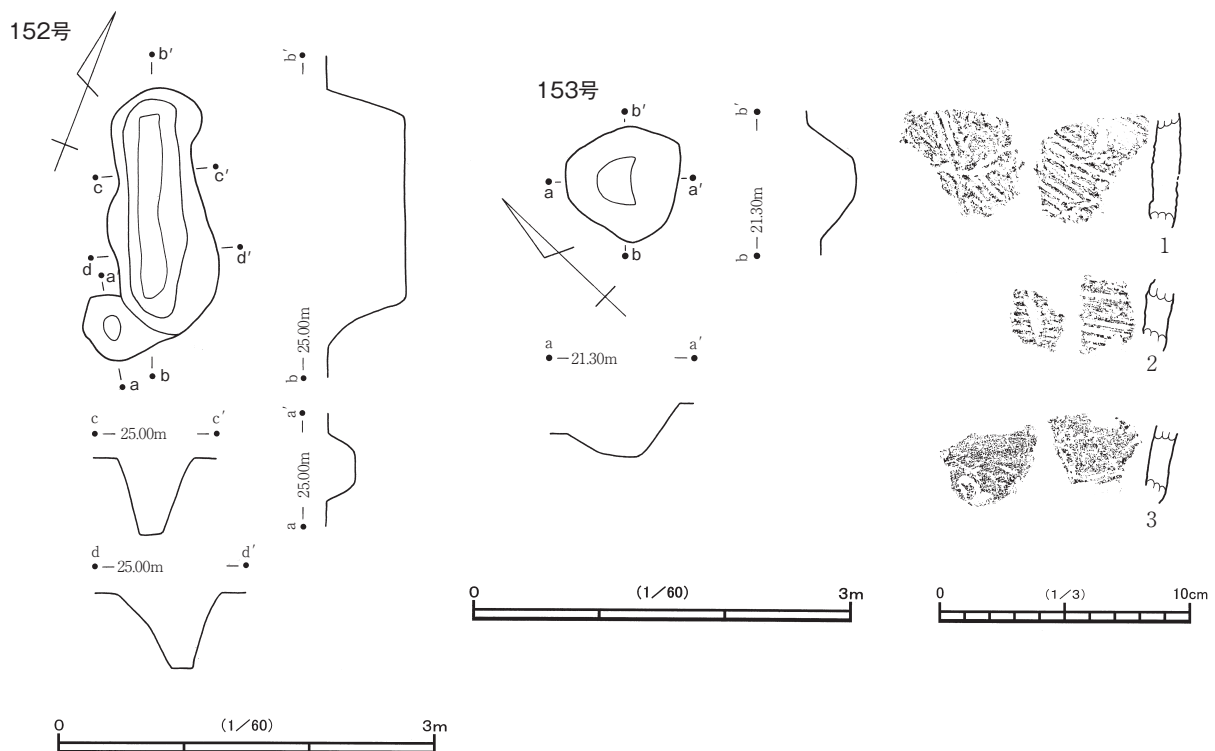
【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.75m・短軸1.78m・深さ149cm。形状は円形（第272図）。

【出土遺物】 77点・3,036gの礫および礫石器が出土している。このうち95.9%に被熱のあとがみられる。石器は、磨石1点出土している。土器は、12点・180g出土している。取り上げ方法は、一括



第270図 151号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図



第271図 152・153号遺構実測図および出土遺物実測図

扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を154号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第272図1～6に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。第272図7は多孔質輝石安山岩製の磨石破片である。

155号遺構

【検出位置】 セ72区1B-2A

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.02m・短軸0.84m・深さ54cm。形状はピット状（第273図）。

【重複関係】 東側で156号遺構と重複する。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

156号遺構

【検出位置】 セ72区1B-A2・A4

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸6.24m・短軸2.86m・深さ133cm。主軸方向 15°。燃焼面1箇所（他に二箇所小規模な焼土ブロックが出土）（第273図）。

【重複関係】 東側で溝状遺構と重複のため、その一部を欠失する。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。多量のローム粒・少量の焼土粒を含む。

【出土遺物】 39点・1,454gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、3点出土している。うちわけは、ナイフ形石器1点・楔形石器1点・石鏃1点である。土器は、74点・1,531g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系のものである。このうち主体を占めるのは、条痕文系で全体のおよそ99%あり、当該時期を156号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第274図1～4に、覆土一括扱いのものを第274図5～11に示した。1～10は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片、11は羽状縄文系深鉢形土器の口縁部破片である。1は環状の把手部破片である。4は現存器高90mm・推定底径80mmを測る土器の底部である。5は平縁の深鉢形土器口縁部の大型破片である。横位隆帯上に楕円刺突文を施し、口唇部前面には楕円刺突をめぐらす。口縁部には横位に細い条線を引いたあとやや斜めに幅広の工具による条痕文を施す。

出土石器を第274図12～14に示した。12は最大長34.0mmを測る黒曜石製のナイフ形石器である。13は最大長30.4mmを測る黒曜石製の楔形石器である。14は最大長15.9mmを測る黒曜石製の石鏃である。片側の脚部を欠失する。

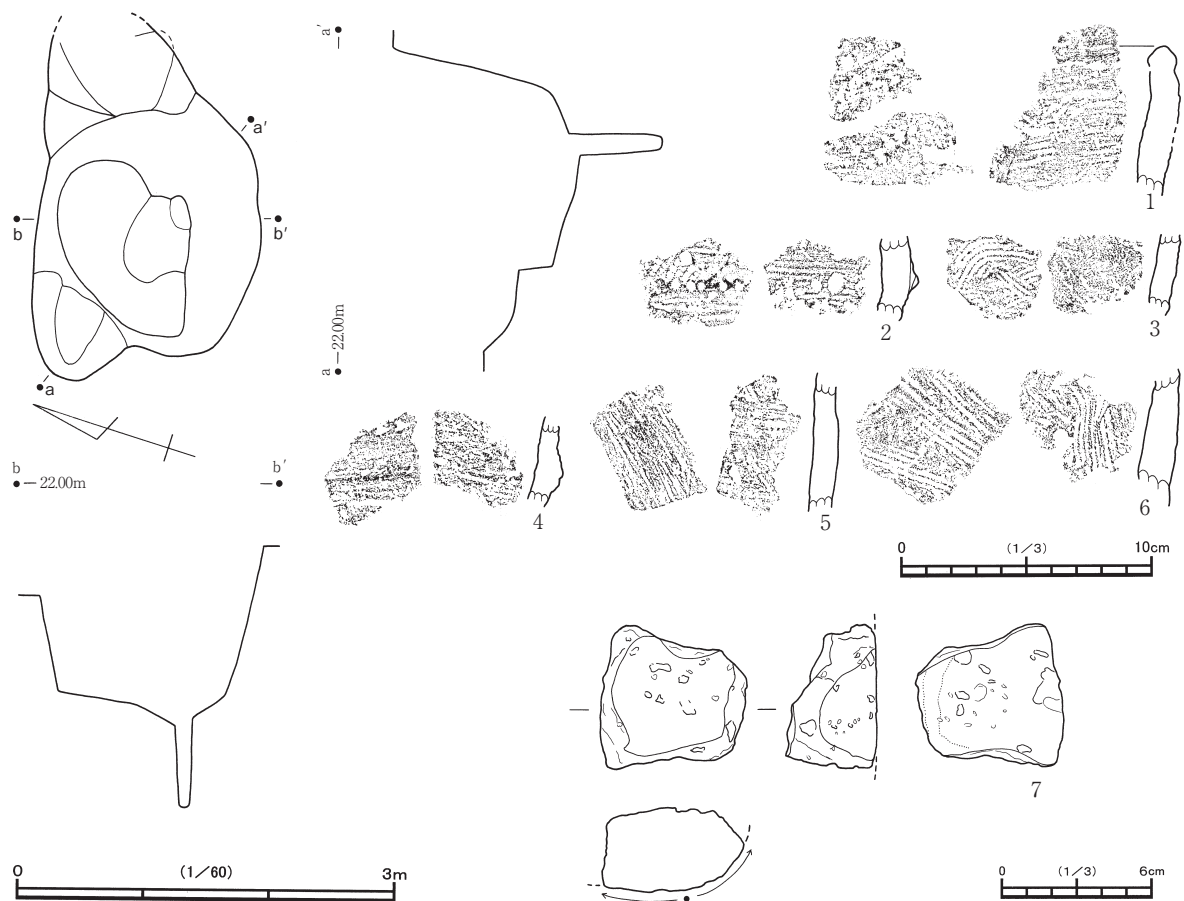
157号遺構

【検出位置】 セ72区1B-A3

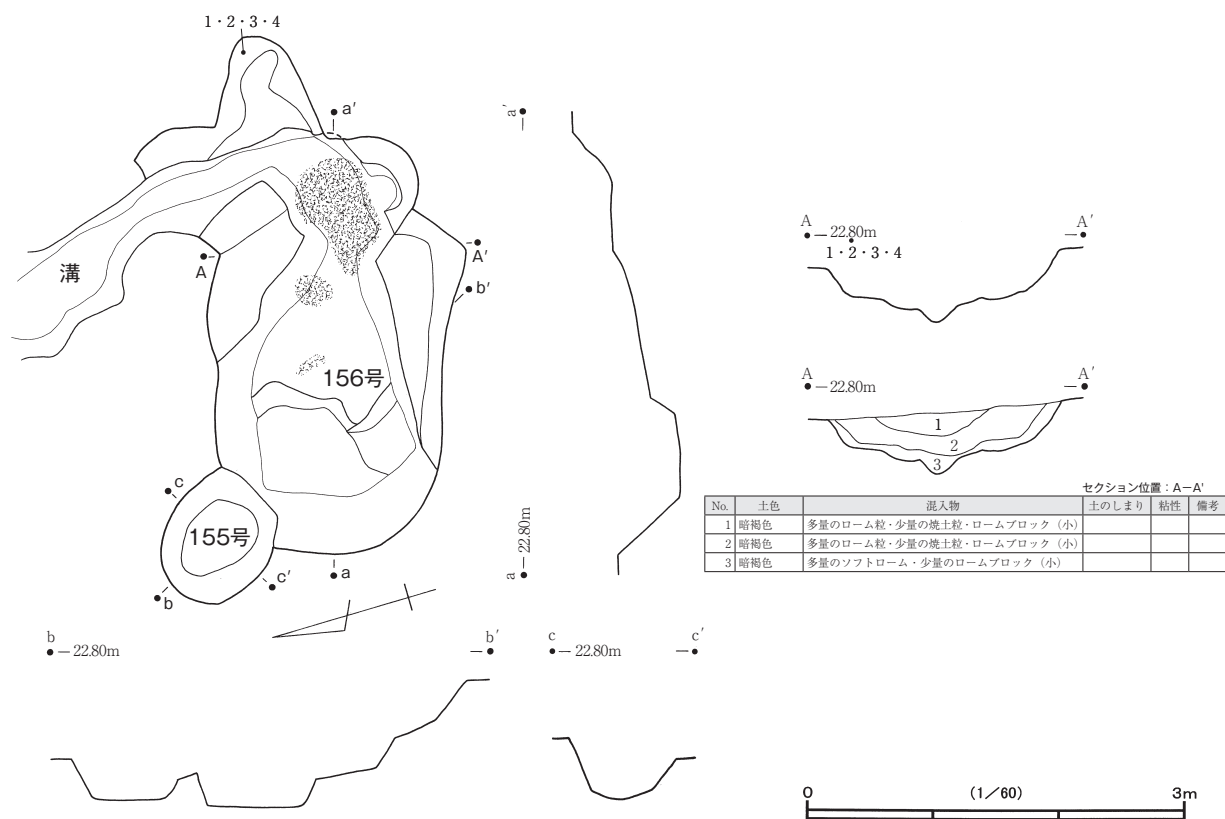
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.78m・短軸1.30m・深さ40cm。燃焼面2箇所。北側部分を欠失する（第275図）。

【出土遺物】 土器は、15点・351g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を157号遺構の帰属時期とみる。



第272図 154号遺構実測図および出土遺物実測図



第273図 155・156号遺構実測図・遺物出土状況図

〈156号〉



第274图 156号遺構出土遺物実測図

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第275図1～5に示した。1～4は条痕文系深鉢形土器の胴部、5は底部の破片である。

158号遺構

【検出位置】 セ72区1B-A3

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸1.87m・短軸1.75m・深さ60cm。燃烧面1箇所。北側部分を欠失する（第275図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。ローム粒・ロームブロック、焼土粒などを含む。

【出土遺物】 18点・532gの礫および礫石器が出土している。このうち80.3%に被熱のあとがみられる。石器は、打製石斧1点出土している。土器は、9点・115g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を158号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第275図6・7に示した。条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。第275図8は、最大長96mmを測る粘板岩製の打製石斧である。

159号遺構

【検出位置】 セ72区1B-A3・C1

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.26m・短軸0.93m・深さ78cm。形状は楕円形（第275図）。

【出土遺物】 9点・448gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、1点・10g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。唯一の出土土器が条痕文系のものであることから、当該時期を159号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 第275図9は条痕文系深鉢形土器の底部破片である。

160号遺構

【検出位置】 セ72区1B-C1

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸0.94m・短軸0.67m・深さ15cm。形状はピット状。北側に161遺構が隣接する。出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明（第275図）。

161号遺構

【検出位置】 セ72区1B-A3・C1

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸0.90m・短軸0.58m・深さ23cm。形状はピット状（第275図）。

【出土遺物】 15点・189gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器はチャートの剥片1点がある。覆土一括扱いで取り上げた土器1点・10gが出土している。唯一の出土土器が条痕文系のものであることから、当該時期を161号遺構の帰属時期とみる。

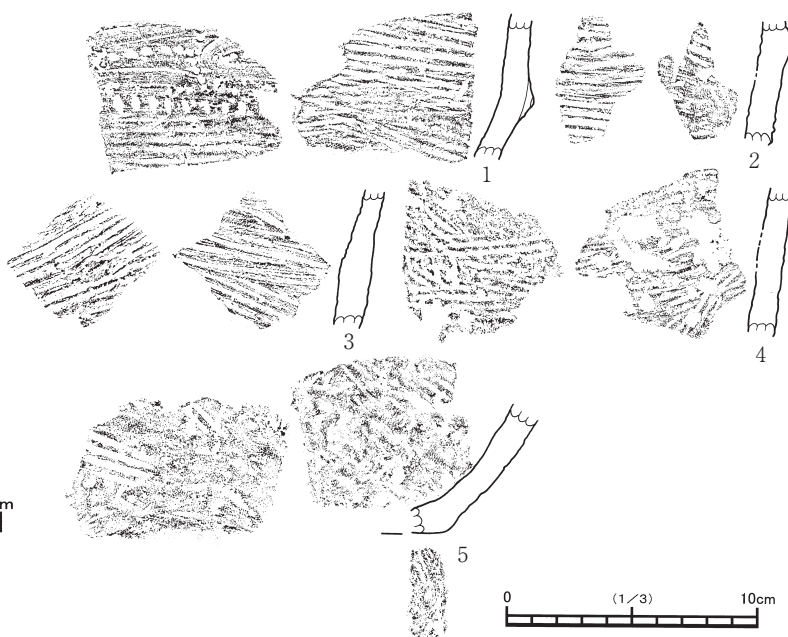
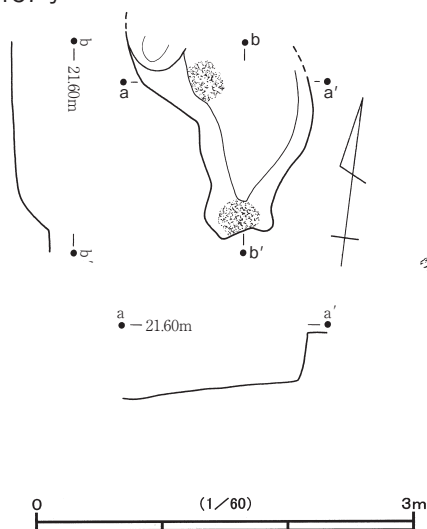
【遺物説明】 第275図10は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

162号遺構

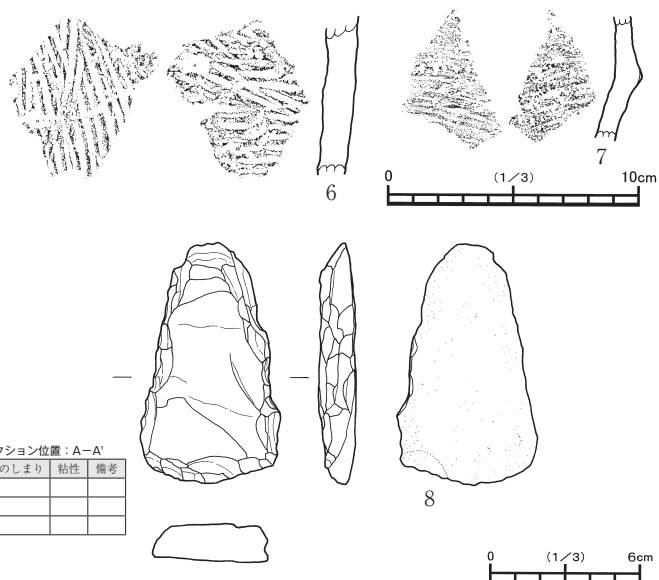
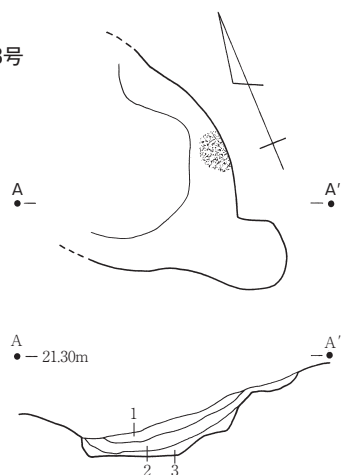
【検出位置】 セ72区1B-C2

【種別】 土坑

157号

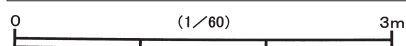


158号

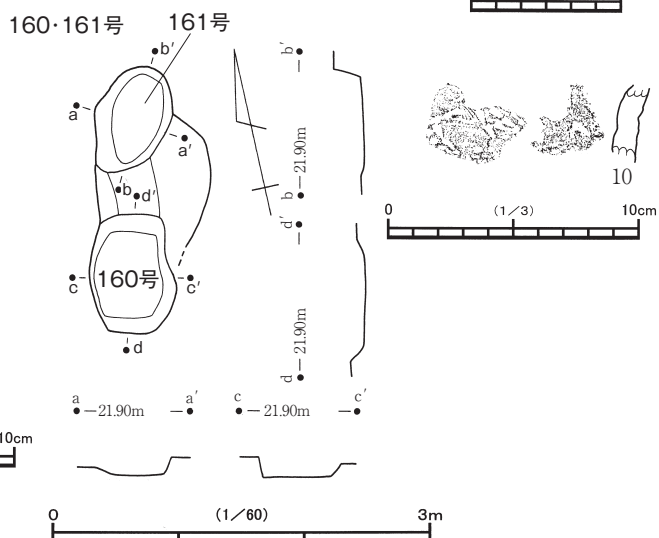
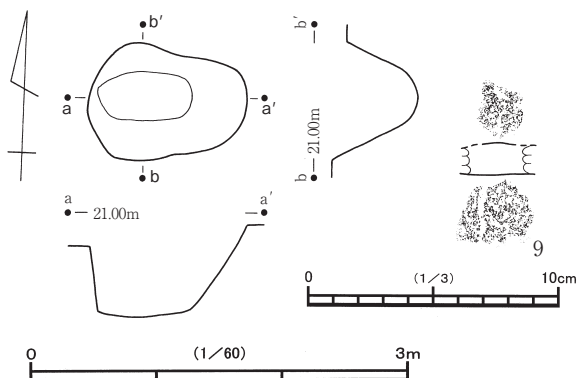


セクション位置: A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	多量のソフトローム・ローム粒・少量の焼土粒			
2	暗褐色	多量のソフトローム・ロームブロック(小)・少量の焼土粒			
3	暗褐色	多量のソフトローム・少量のローム粒			



159号



第275図 157・158・159・160・161号遺構実測図および出土遺物実測図

【規模ほか】 長軸0.95m・短軸0.71m・深さ65cm。形状はピット状（第276図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

163号遺構

【検出位置】 セ72区1B-C1・C3

【種別】 炉穴？

【規模ほか】 長軸3.52m・短軸1.13m・深さ43cm。燃焼面不明。西側は調査区外（第276図）。

【出土遺物】 69点・2,707 g の礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は16点・270 g 出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を163号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第276図1～6に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

164号遺構

【検出位置】 セ72区1B-C3・C4

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸3.06m・短軸2.02m・深さ135cm。形状は不整形（第276図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

165号遺構

【検出位置】 セ72区1B-C3、1C-A1

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸0.81m・短軸0.53m・深さ48cm。形状はピット状（第276図）。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

166号遺構

【検出位置】 セ72区1C-A1

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸2.42m・短軸2.02m・深さ87cm。形状は楕円形。西側は調査区外（第276図）。

【重複関係】 東側で167号遺構が重複する。

【出土遺物】 17点・692 g の礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、チャートの剥片1点がある。土器は、2点・20 g 出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。いずれも条痕文系のものであることから、当該時期を166号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第276図7・8に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

167号遺構

【検出位置】 セ72区1C-A1

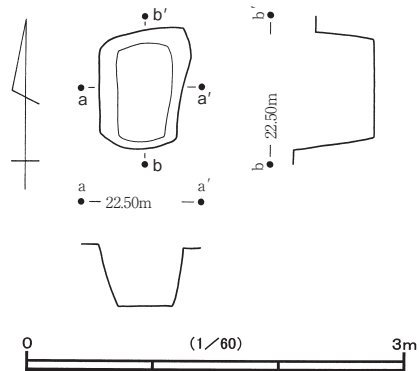
【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.70m・短軸1.35m・深さ164cm。形状は楕円形（第276図）。

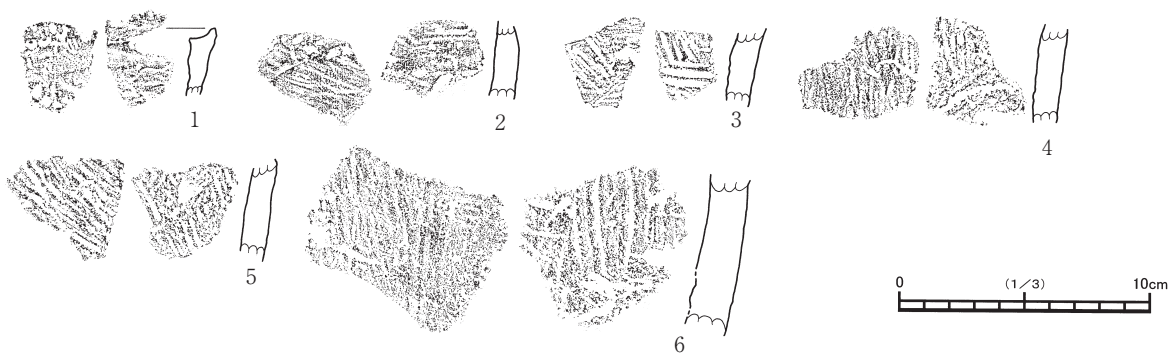
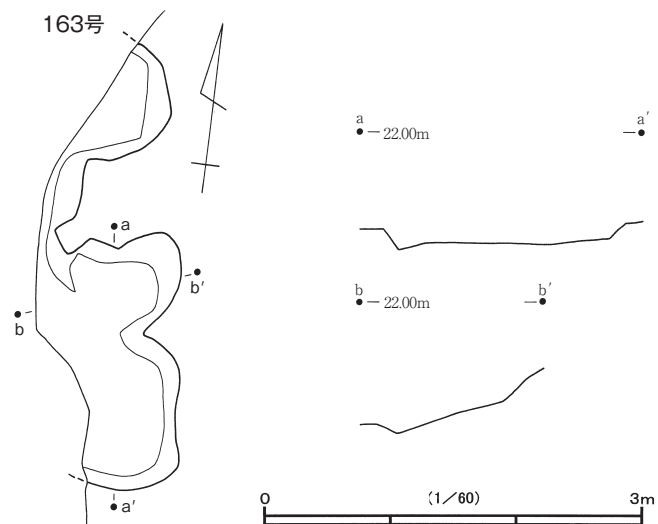
出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

168号遺構

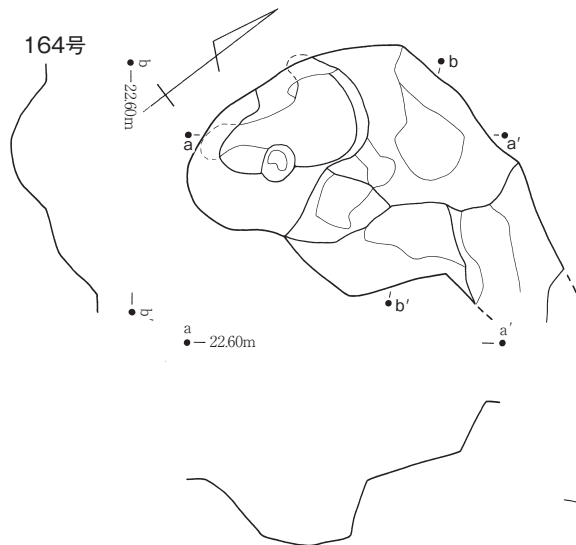
162号



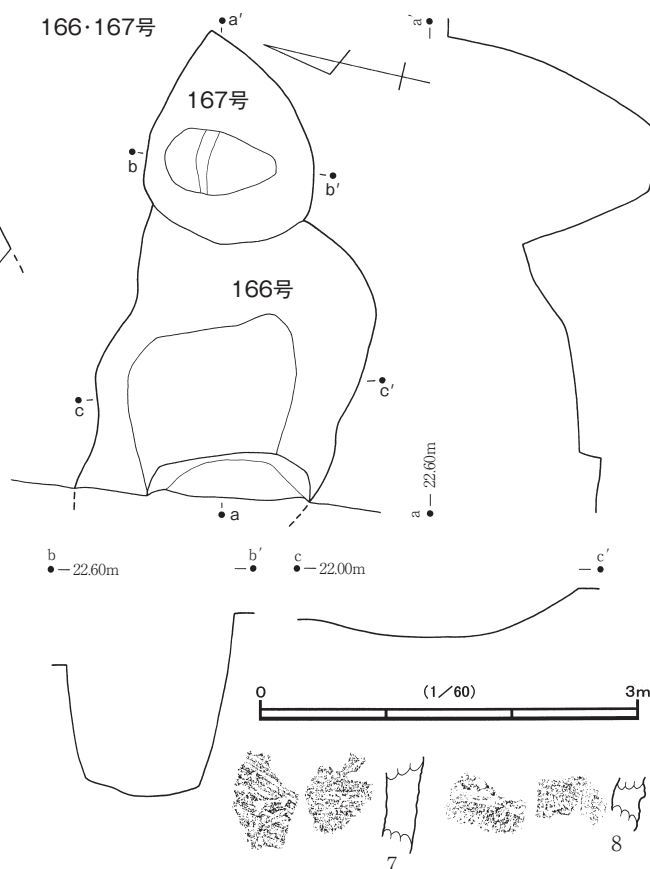
163号



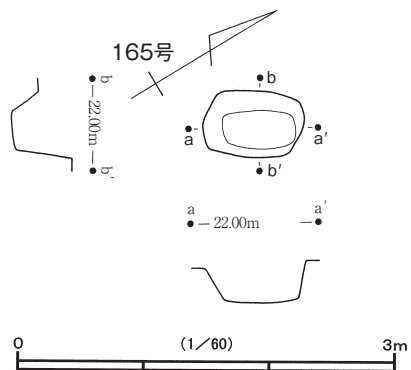
164号



166・167号



165号



第276図 162・163・164・165・166・167号遺構実測図および出土遺物実測図

【検出位置】 セ72区1C-A2

【種別】 土坑

【規模ほか】 長軸1.32m・短軸1.26m・深さ76cm。遺構の西側と南側部分は未調査のため未検出である。したがって全体形状は不明（第277図）。

【覆土】 暗褐色土を主体とする。多量のローム粒・ロームブロックの混入がある。

出土遺物がないため遺構の詳細時期は不明。

169号遺構

【検出位置】 セ72区1C-B1・B2

【種別】 竪穴状遺構

【規模ほか】 長軸7.87m・短軸2.77m・深さ20cm。形状は不整形。南側は調査区外（第278図）。

【重複関係】 北側は古墳周溝と西側は土壙墓と重複のためこの部分を欠失する。

【覆土】 暗褐色土・明褐色土を主体とする。少量のローム粒・焼土粒を含む。

【出土遺物】 405点・17,655gの礫および礫石器が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、磨石1点・石核1点である。土器は、183点・2,789g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系・加曽利B式などである。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ88%あり、当該時期を169号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第278図1～5・第279図6～19に示した。1～10は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。11～15は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部、16・17は底部破片である。18・19は加曽利B式の粗製深鉢形土器の胴部破片とみられる。第279図20はデイスイト製の磨石の破片である。

170号遺構

【検出位置】 セ72区1B-B1・B2・B3・B4

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸5.79m・短軸2.86m・深さ71cm。燃焼面4箇所（第280図）。

【重複関係】 北側と南側で古墳周溝と重複するためこの部分を欠失する。

【その他】 周囲に竪穴状の掘り込みがある。

【出土遺物】 65点・2,508gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、16点・291g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・不明である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ97%あり、当該時期を170号遺構の帰属時期とみる。

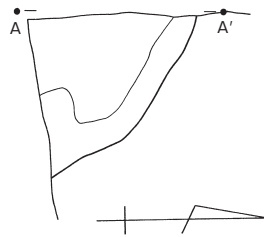
【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第280図1～4に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。

171号遺構

【検出位置】 セ72区2B-A3

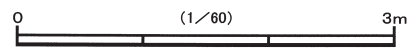
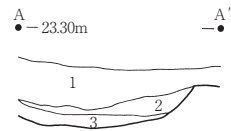
【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.26m・短軸1.78m・深さ82cm。燃焼面2箇所（第281図）。

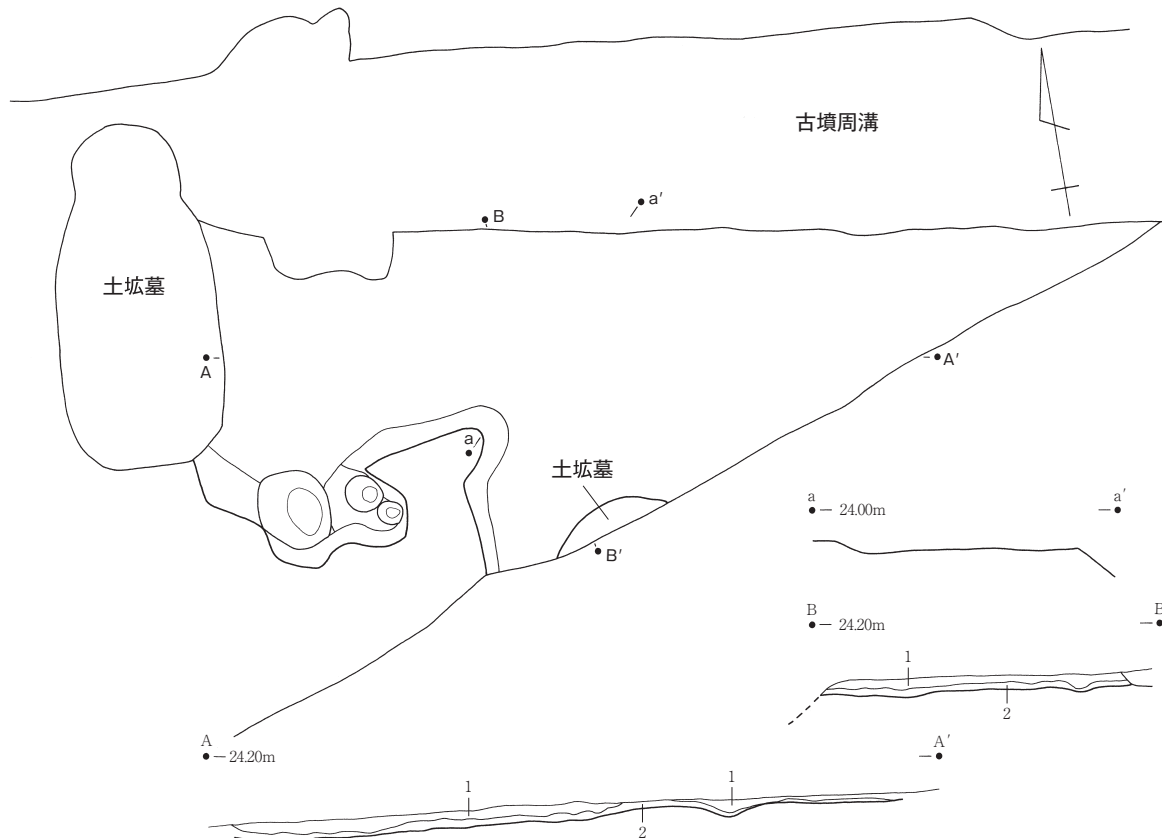


セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	やや多量のローム粒			
2	暗褐色	多量のロームブロック (小)			
3	明褐色	かなり多量のロームブロック (小)・ローム粒			

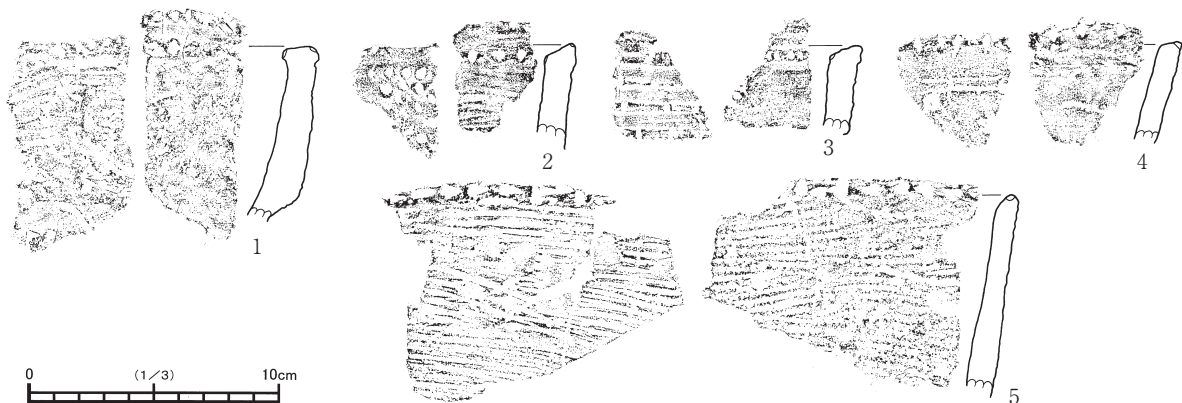
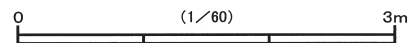


第277図 168号遺構実測図

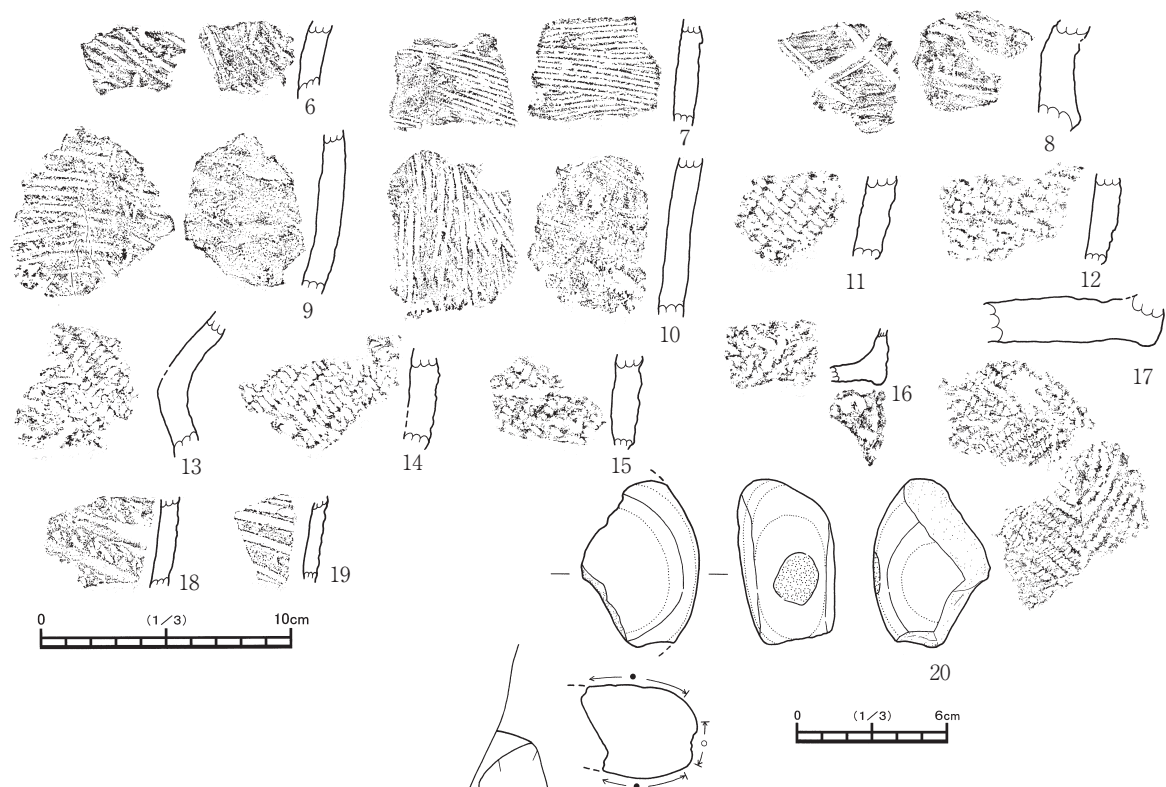


セクション位置：A-A'・B-B'

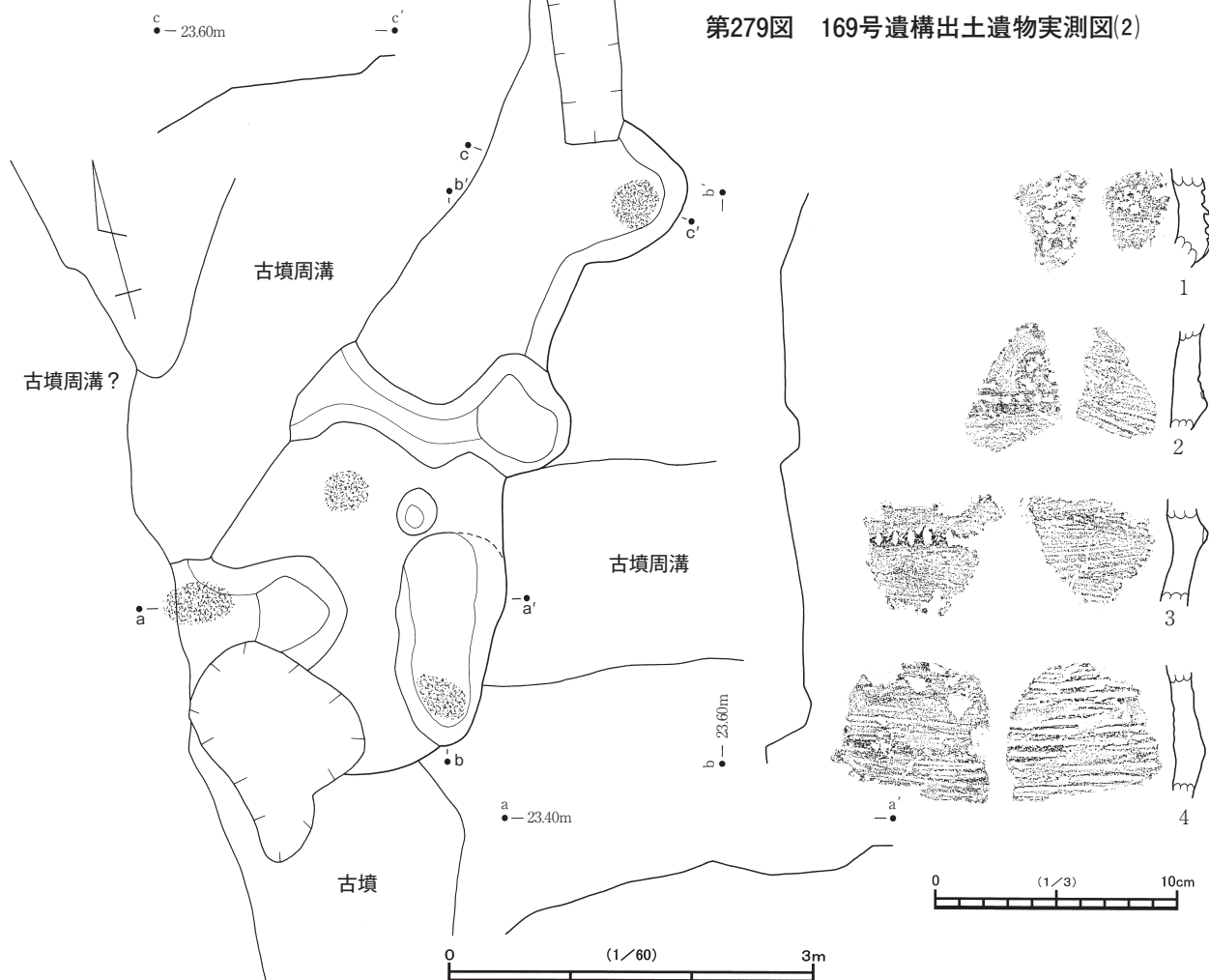
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	多量のソフトローム・極く少量の焼土粒			
2	明褐色	ソフトローム主体・少量のロームブロック (小)			



第278図 169号遺構実測図および出土遺物実測図(1)



第279図 169号遺構出土遺物実測図(2)



第280図 170号遺構実測図および出土遺物実測図

【重複関係】 古墳周溝との重複により遺構中央部を欠失する。

【出土遺物】 11点・189gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。土器は、16点・326g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系、一部に縄文を施す条痕・縄文である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を171号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第281図1～5に示した。1～3は条痕文系深鉢形土器の胴部破片である。3は外面に縄文の施文がある。4・5は底部破片で、4は推定底径130mmを測る。

172号遺構

【検出位置】 セ72区1B-D4

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸2.74m・短軸2.65m・深さ36cm。燃焼面2箇所。形状はアメーバ状（第281図）。

【重複関係】 古墳周溝との重複により北側の一部を欠失する。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒を含む層が多い。

【出土遺物】 16点・1,016gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、剥片1点・石刃様剥片1点である。土器は、22点・366g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を172号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第281図6～9に示した。いずれも条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。出土石器を第281図10・11に示した。10は最大長34.8mmを測る黒曜石製の剥片である。11は最大長27.1mmを測る黒曜石製の石刃様の剥片である。

173号遺構

【検出位置】 セ72区1B-D2・D4、2C-C1・C3

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.76m・短軸4.10m・深さ92cm。燃焼面7箇所。形状はアメーバ状（第282図）。

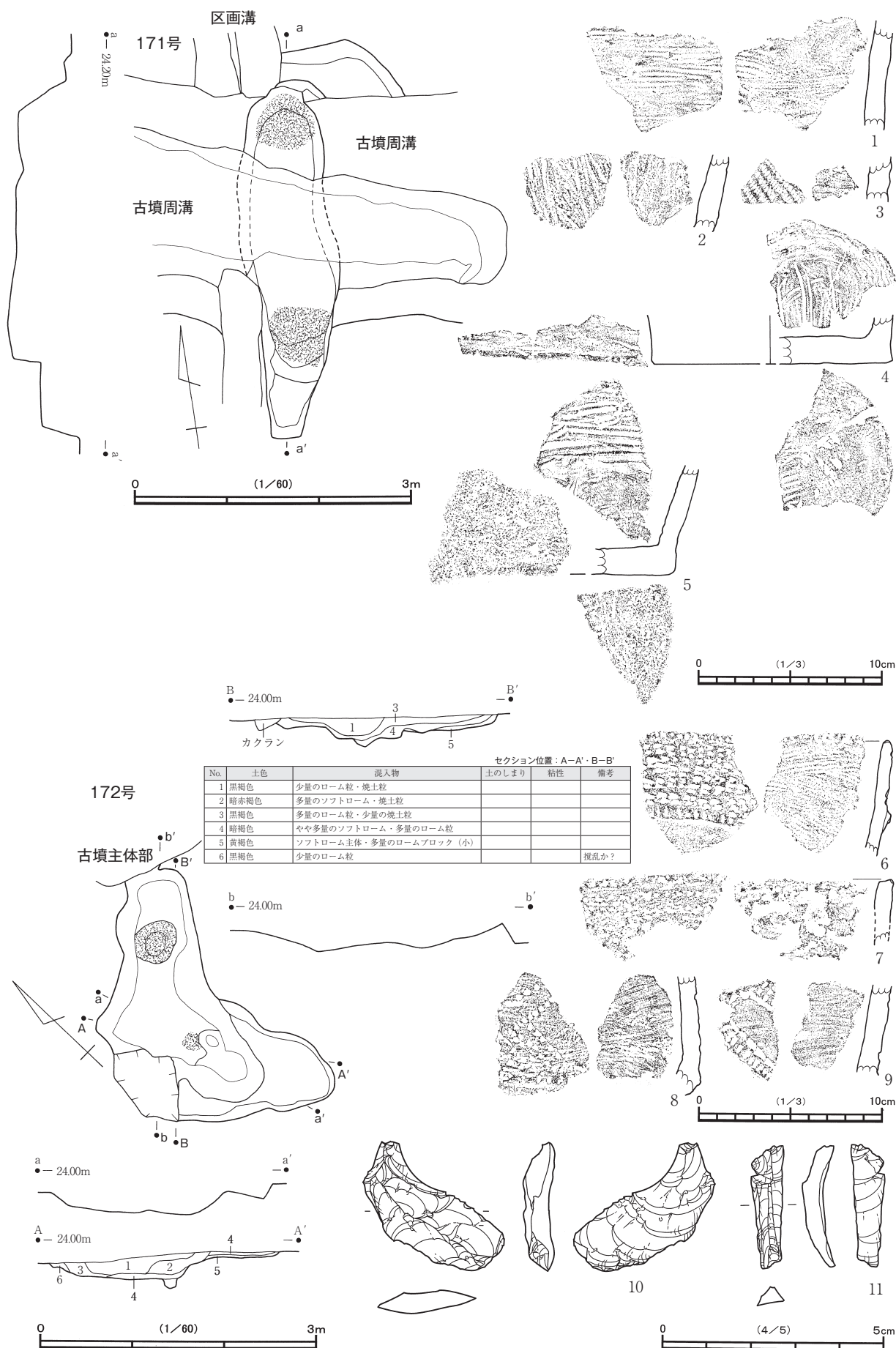
【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。ローム粒・ロームブロック、焼土粒・焼土ブロックを含む層が多い。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の北西部2箇所に、長軸190・短軸36・厚さ10cmほどの規模で形成されていた。

【出土遺物】 170点・8,063gの礫および礫石器が出土している。このうち91.7%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、石核1点・磨石1点、このほか黒曜石の剥片1点がある。土器は、214点・3,705g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は主として覆土の上層から出土している。そのすべてが条痕文系のものであることから、当該時期を173号遺構の帰属時期とみる。

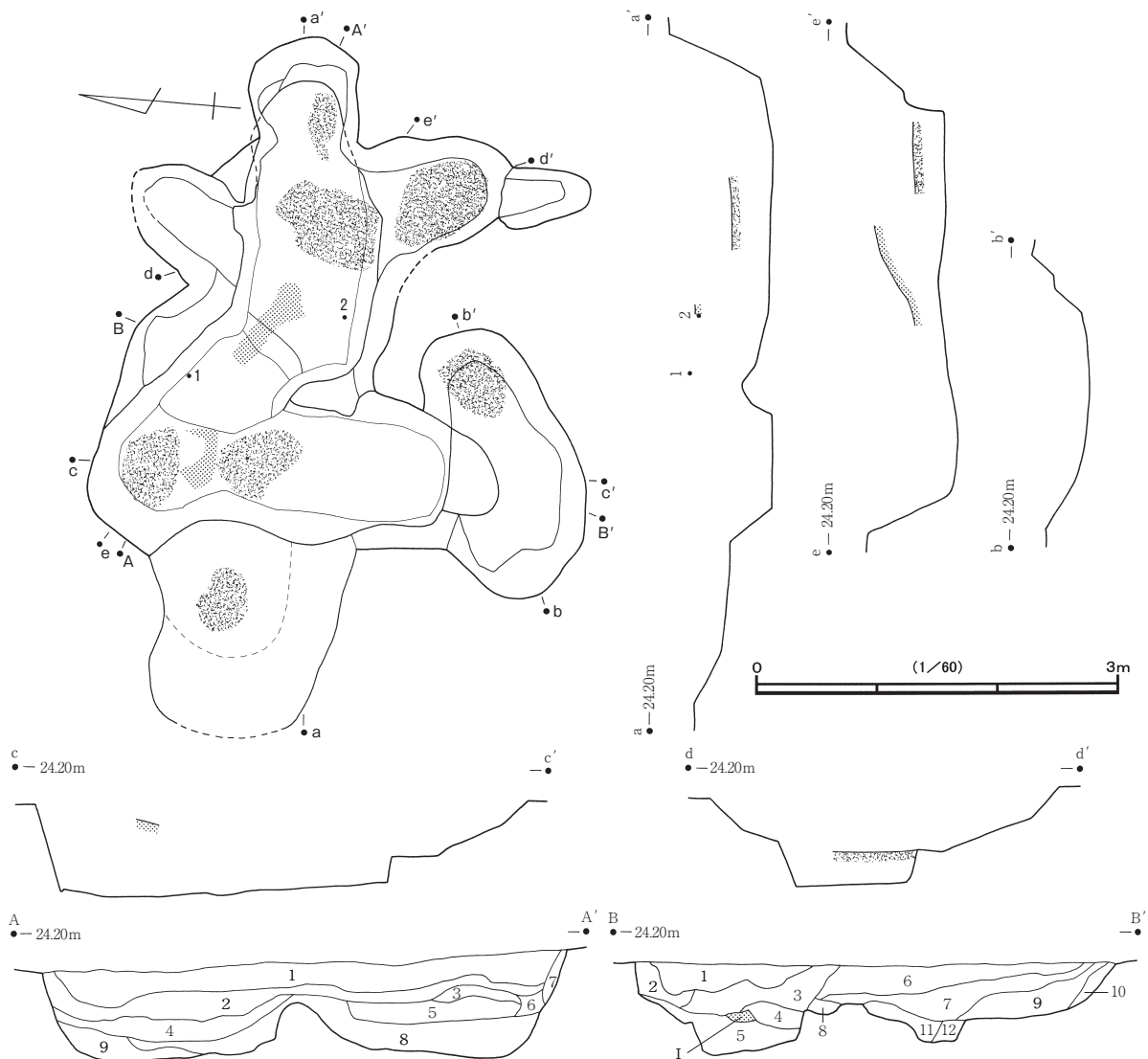
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第282図1・2に、覆土一括扱いのものを第283図3～30に示した。1～14は条痕文系深鉢形土器の口縁部、15～29は胴部破片、30は推定底径87mmを測る底部破片である。

174号遺構

【検出位置】 セ72区2A-A4・B3・C2・D1・C4・D3



第281図 171・172号遺構実測図および出土遺物実測図



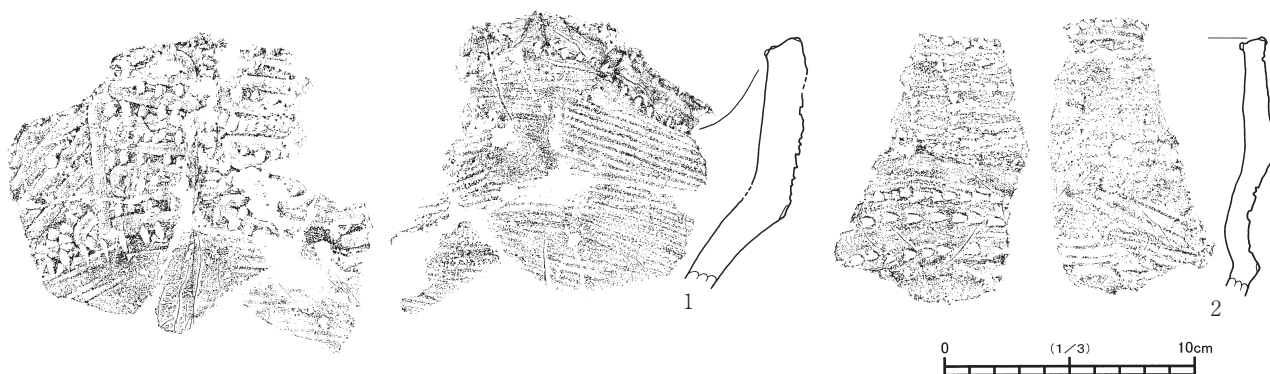
セクション位置：A-A'

No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	多量のロームブロック（小）・ローム粒・少量の焼土粒			
2	暗褐色	多量のロームブロック（小）・ローム粒・少量の焼土粒			
3	暗赤褐色	多量の焼土粒・ロームブロック			
4	明褐色	ロームブロック主体・多量のローム粒・焼土粒			
5	明褐色	ロームブロック			
6	暗褐色	やや多量のローム粒・焼土粒			
7	明褐色	ロームブロック			地山
8	暗褐色	やや多量のロームブロック（小）			
9	暗赤褐色	多量の焼土ブロック・焼土粒			

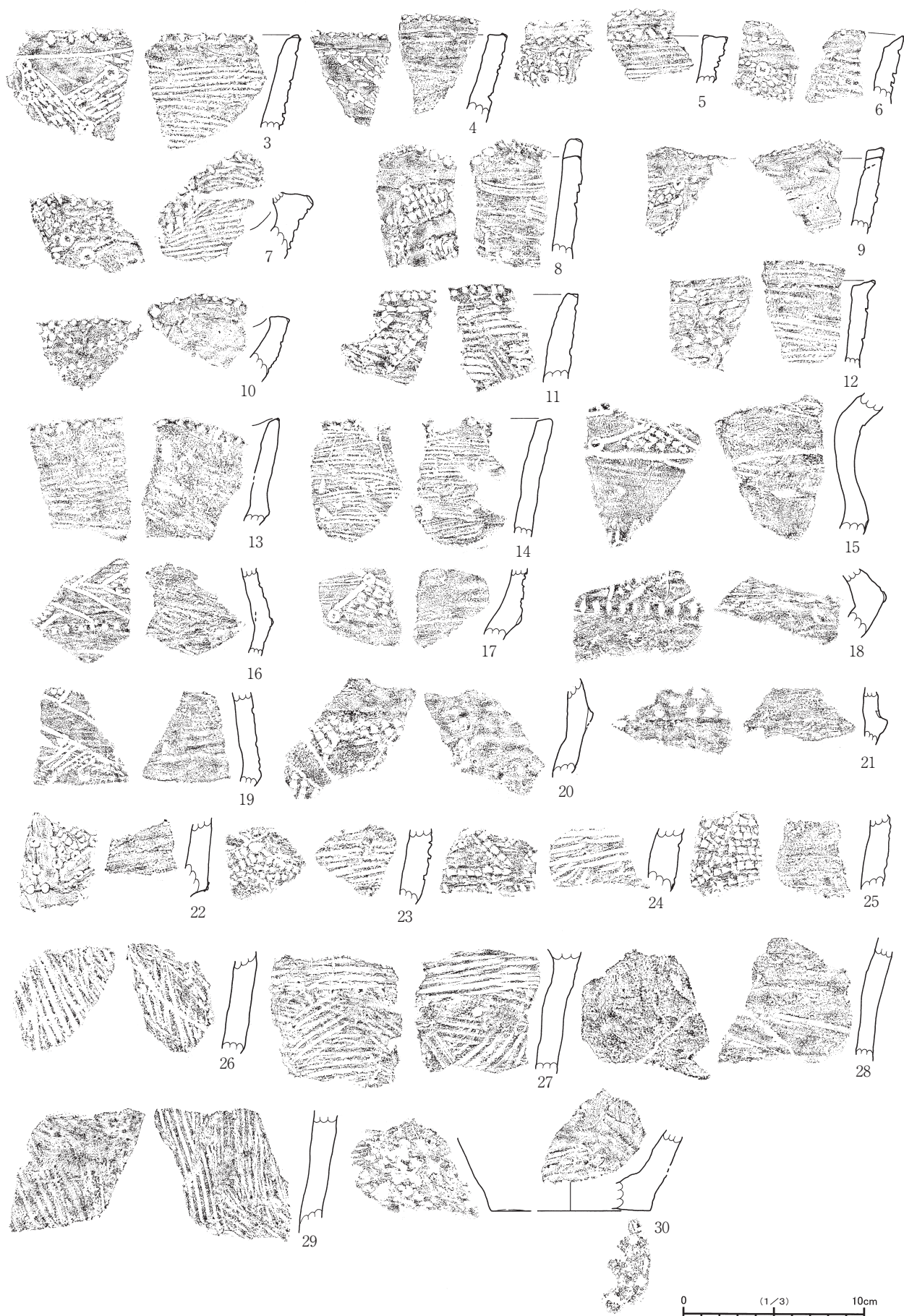
セクション位置：B-B'

No.	種別（土の混じり具合）	主体貝	その他の貝	備考
I	混土貝層			

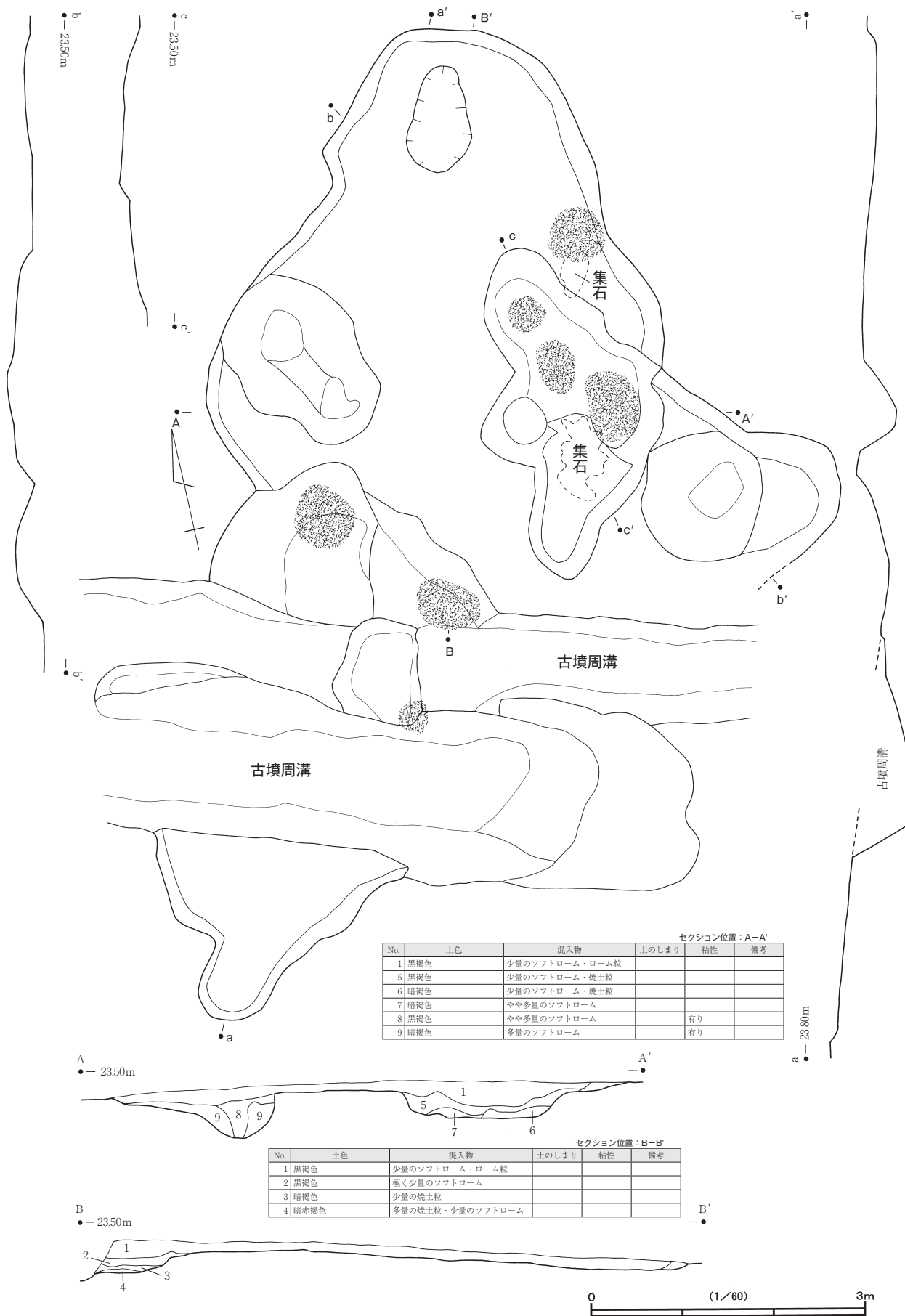
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	少量のローム粒			
2	暗褐色	多量のソフトローム			
3	暗褐色	多量のローム粒・少量の焼土粒			
4	黒褐色	多量のローム粒・少量の焼土粒			
5	暗褐色	多量のロームブロック（小）・ローム粒・少量の焼土粒			
6	黒褐色	多量のソフトローム・ローム粒・少量の焼土粒			
7	暗褐色	多量のローム粒・少量の焼土粒			
8	暗褐色	多量のロームブロック			
9	黒褐色	少量のローム粒・極く少量の焼土粒			
10		ソフトローム主体			
11	明褐色	ロームブロック主体・少量の焼土粒・黒色土			
12		ハードロームブロック	粗い		



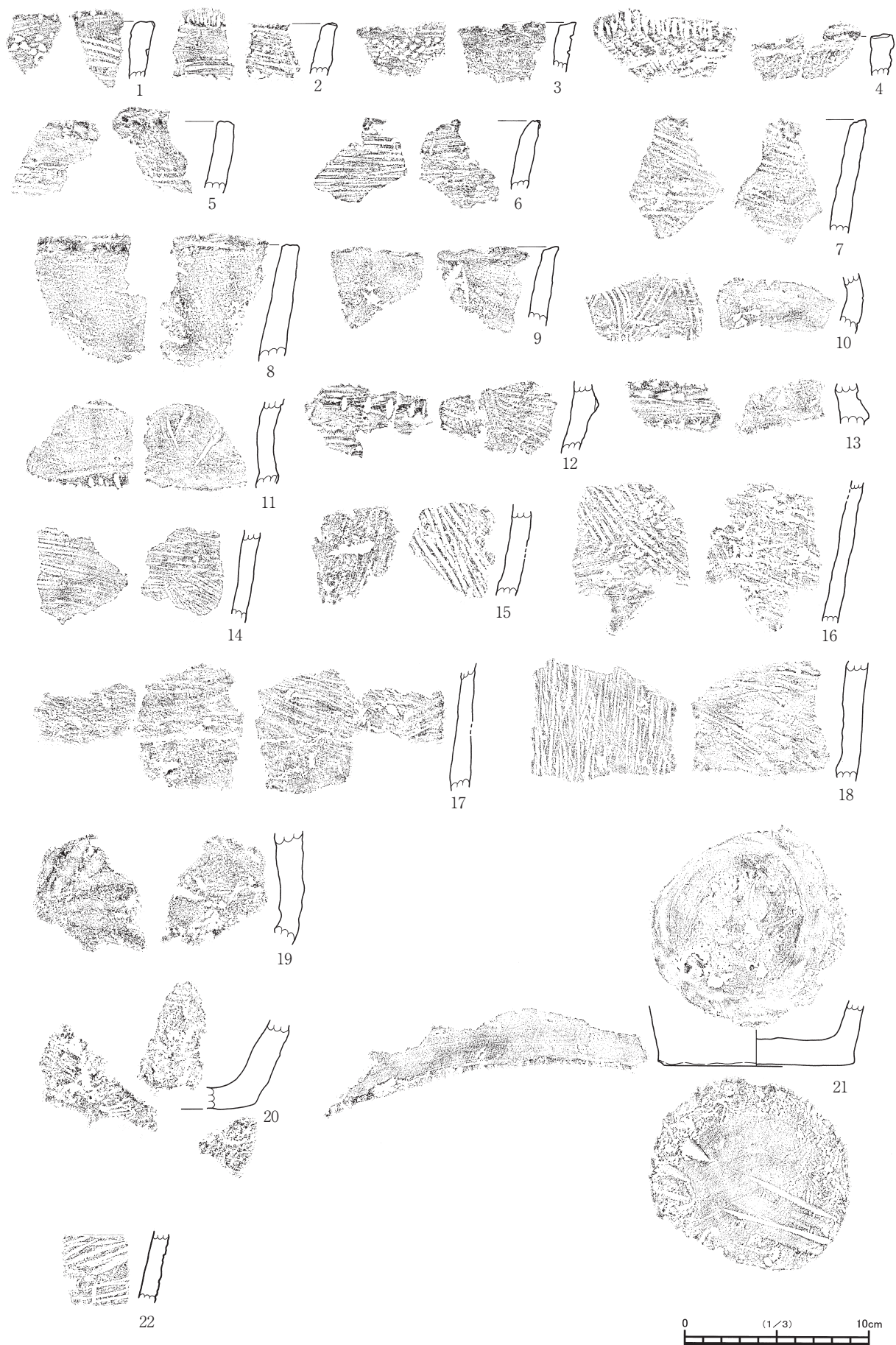
第282図 173号遺構実測図・遺物出土状況図および出土遺物実測図(1)



第283図 173号遺構出土遺物実測図実測図(2)



第284図 174号遺構実測図



第285図 174号遺構出土遺物実測図

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸11.04m・短軸7.00m・深さ68cm。燃焼面 7箇所（第284図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ローム粒や焼土粒を含むものが多い。

【重複関係】 古墳周溝との重複により南側の一部を欠失する。

【その他】 周囲に竪穴状の掘り込みがある。覆土内に集石 2箇所が検出された。

【出土遺物】 332点・15,525 gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、黒曜石の剥片 1点がある。土器は、208点・2,919 g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系・前期後葉である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ98%あり、当該時期を174号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第285図1～22に示した。1～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、10～19は胴部破片、20・21は底部破片であり、21は底径106mmを測る。22は前期後葉の深鉢形土器胴部破片とみられるもので、斜位の沈線文・竹管文がある。

175号遺構

【検出位置】 セ72区2B-A2・B1・A4・B3

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸5.31m・短軸4.21m・深さ87cm。燃焼面 3箇所（第286図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒を含む層が多い。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部よりの東南部分に、長軸238・短軸122・厚さ52cmほどの規模で形成されていた。

【その他】 周囲に竪穴状の掘り込みがある。

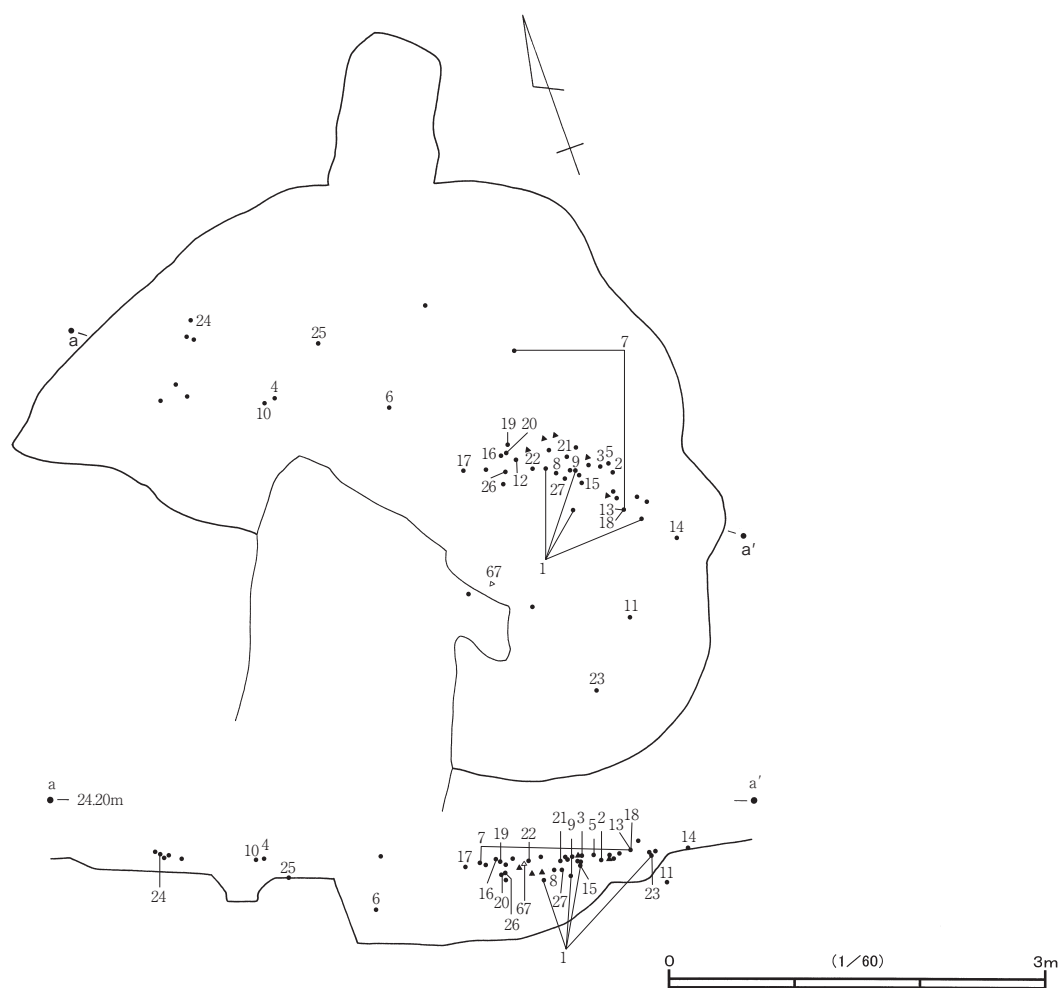
【重複関係】 古墳周溝との重複により遺構中央の一部を欠失する。

【出土遺物】 268点・8,198 gの礫および礫石器が出土している。このうち67.4%に被熱のあとがみられる。石器は、2点出土している。うちわけは、石皿 1点・磨石 1点、このほか黒曜石の剥片 2点がある。土器は、550点・10,233 g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は覆土の上層を中心に出土している。土器のうちわけは、条痕文系・羽状縄文系である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の99.8%あり、当該時期を175号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第288図1・第289図2～15・第290図16～27に、覆土一括扱いのものを第291図28～55・第292図56～66に示した。1は推定口径262・182mm、現存器高164mmを測る口縁部が緩やかな波状をなす深鉢形土器である。その上面観は、長軸・短軸の口径差がおおよそ100mmある舟形状をなす。文様は、細い沈線による三角形および菱形区画内に連続刺突文を充填、要所に円形文をもつ。口唇部前面に刻みをめぐらせる。口縁部文様帯は刻みを有す横位隆帯で区分される。2～7・28～37は条痕文系深鉢形土器の口縁部、8～25・38～62は胴部、26・27・63～65は底部の破片である。66は羽状縄文系深鉢形土器の胴部破片である。出土石器のうち主なものを、第292図67に示した。残存最大長250mm、重さ2,119 gを測る多孔質輝石安山岩製の石皿である。

176号遺構

【検出位置】 セ72区2B-C2



第287図 175号遺構遺物出土状況図

【種別】 竪穴状遺構

【規模ほか】 長軸2.49m・短軸1.20m・深さ28cm。形状は楕円形（第293図）。

【覆土】 暗褐色土・黒褐色土などを主体とする。ローム粒を含むものが多い。

【重複関係】 古墳周溝との重複により東側の部分を欠失する。

【出土遺物】 22点・1,084gの礫が出土している。このうちすべてに被熱のあとがみられる。石器は、無斑晶ガラス質安山岩の剥片1点がある。土器は、62点・1,079g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は覆土の上部からみつかった。土器のうちわけは、条痕文系・不明である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の99.8%あり、当該時期を176号遺構の帰属時期とみる。

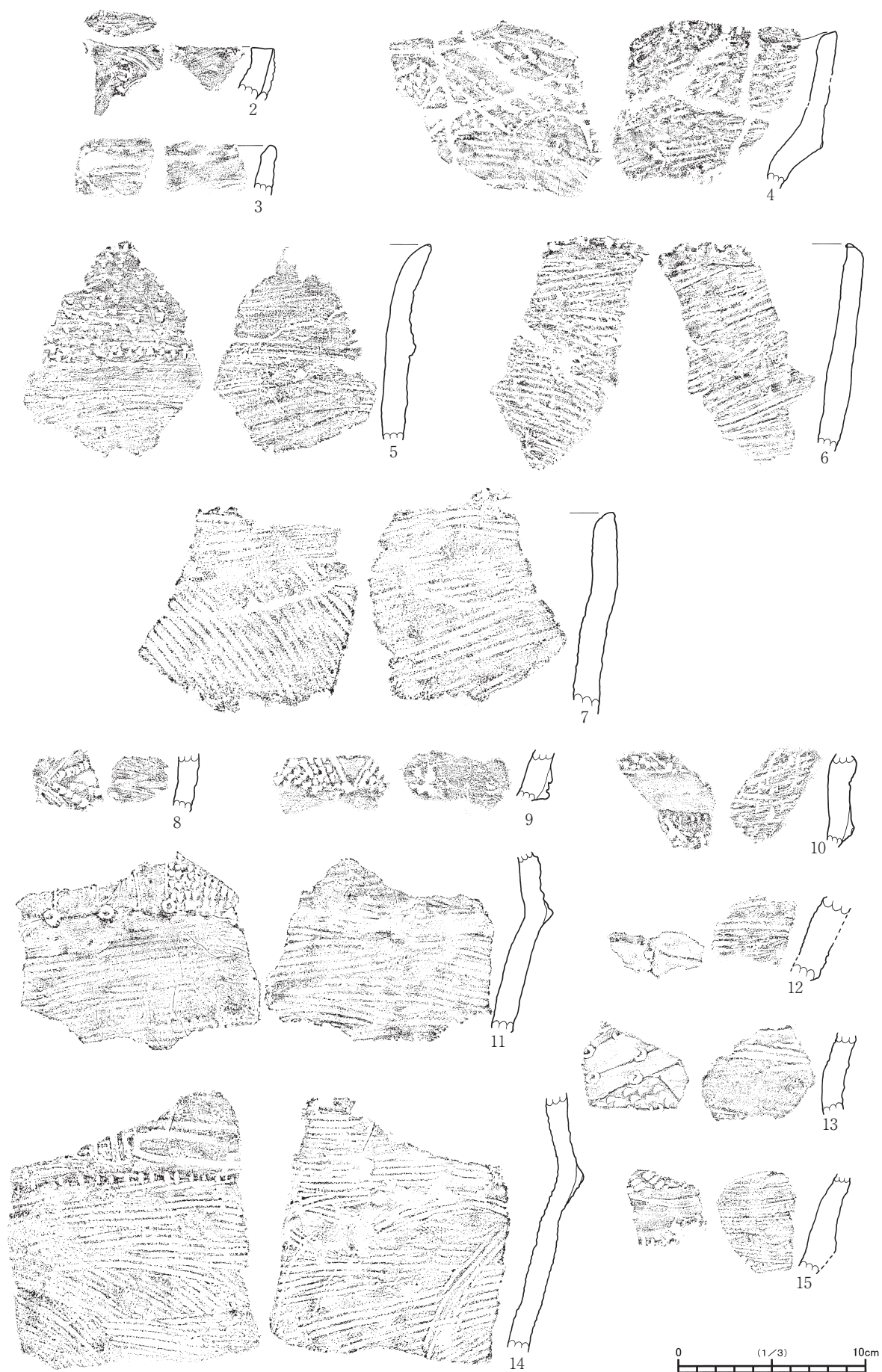
【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第293図1に、覆土一括扱いのものを第293図2～8に示した。1は条痕文系深鉢形土器の胴部破片で、細い沈線区画内を深い押し引き沈線で充填する文様がみられる。2～8は条痕文系深鉢形土器の口縁部および胴部破片である。

177号遺構

【検出位置】 セ72区2B-C1・C2・C3・C4



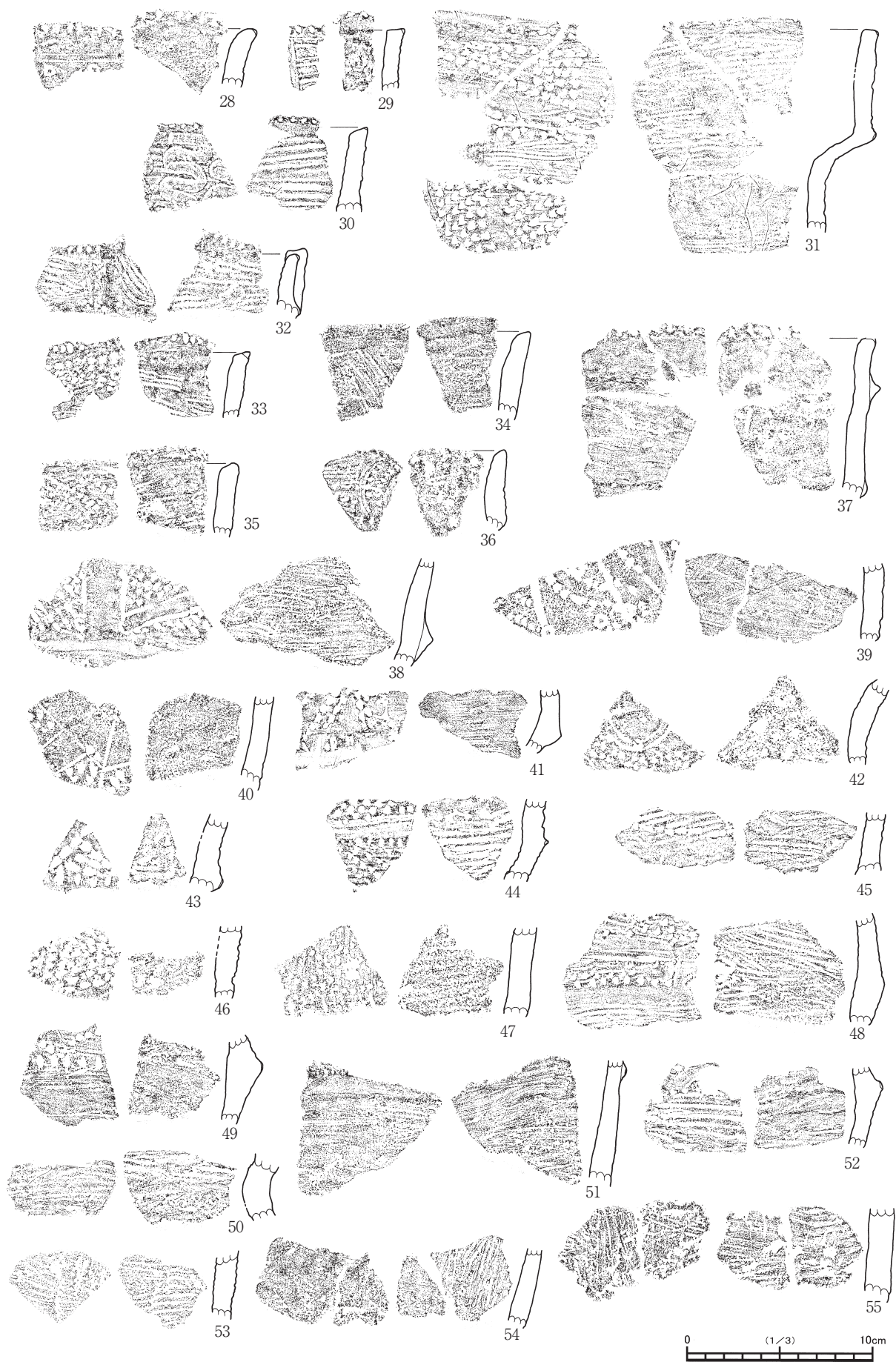
第288図 175号遺構出土遺物実測図(1)



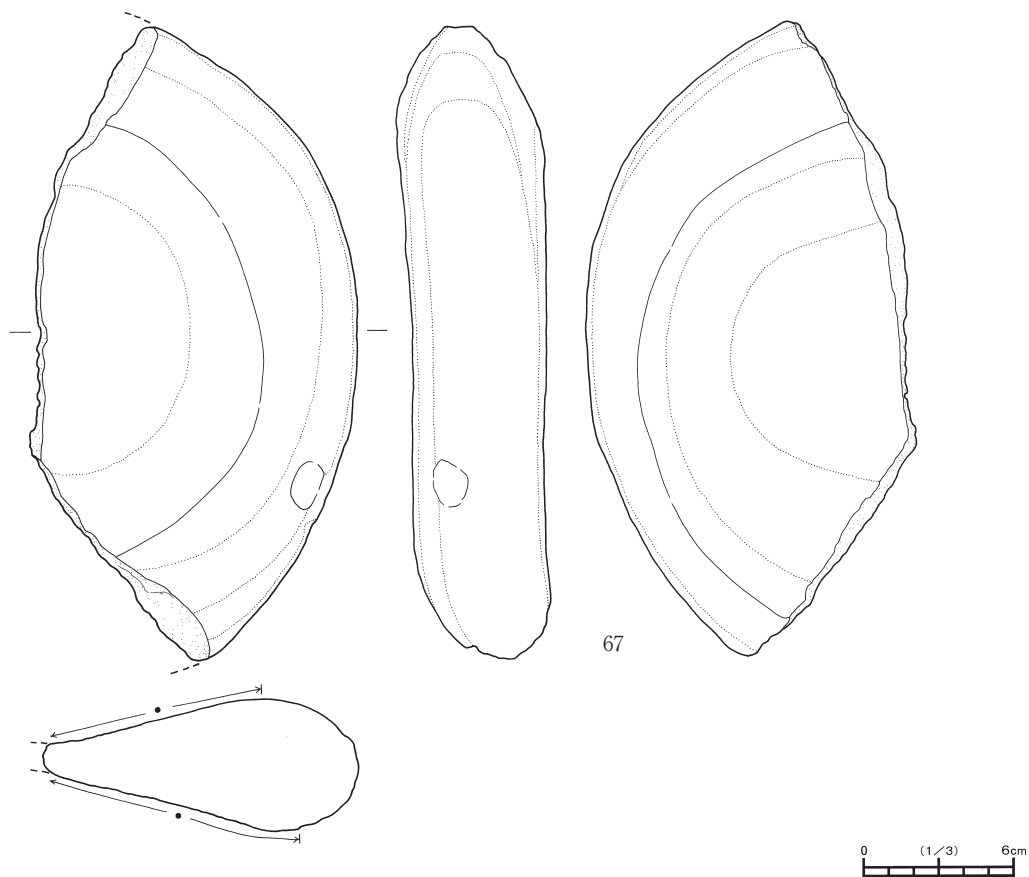
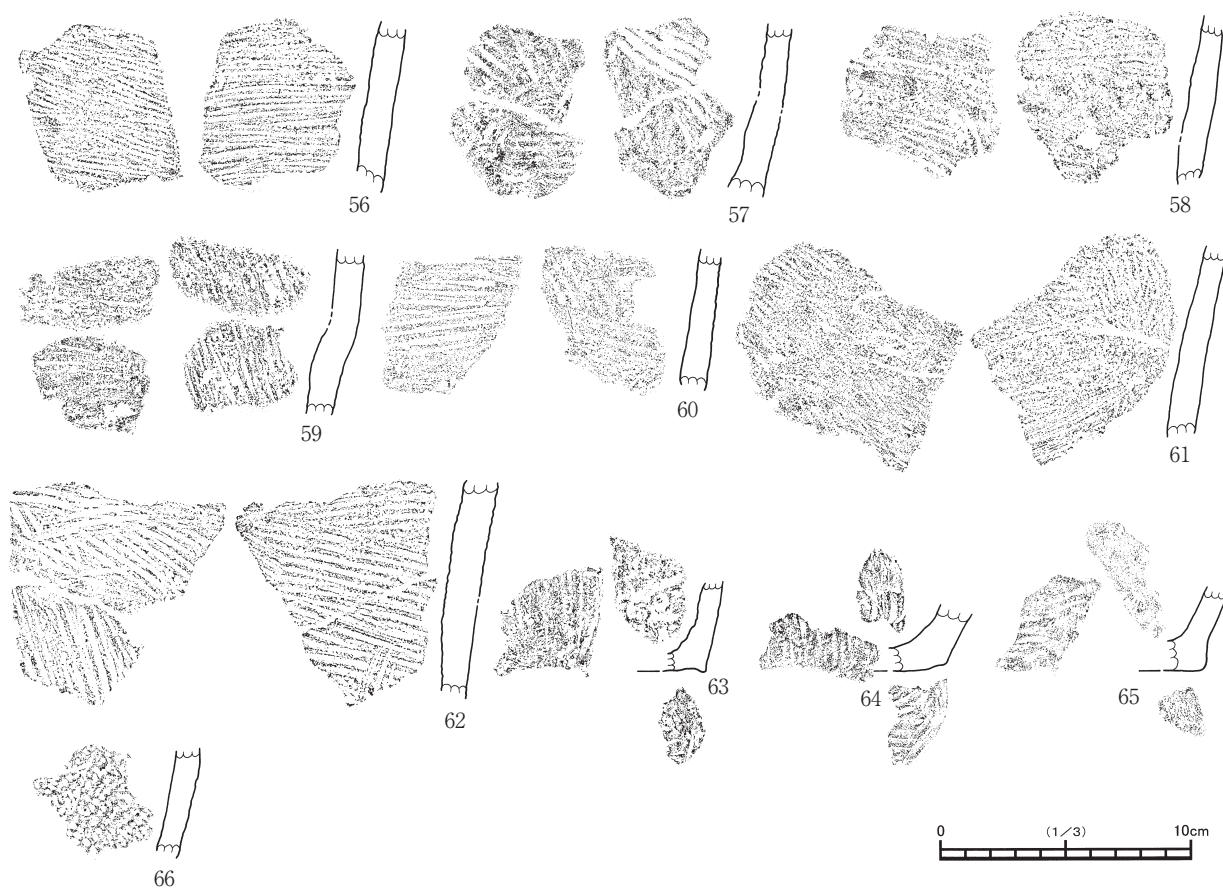
第289図 175号遺構出土遺物実測図(2)



第290図 175号遺構出土遺物実測図(3)



第291図 175号遺構出土遺物実測図(4)



第292図 175号遺構出土遺物実測図(5)

【種別】 炉穴

【規模ほか】 長軸4.42m・短軸2.82m・深さ83cm。燃焼面3箇所（第294図）。

【覆土】 黒褐色土・暗褐色土などを主体とする。ロームブロック・ローム粒、焼土粒を含む層が多い。一部に貝層がみられる。貝層は遺構覆土の中心部よりやや北部に、長軸218・短軸190・厚さ45cmほどの規模で形成されていた。

【その他】 周囲に竪穴状の掘り込みがある。

【重複関係】 古墳周溝との重複により東側の部分を欠失する。

【出土遺物】 322点・12,601gの礫および礫石器が出土している。このうち98.2%に被熱のあとがみられる。石器は、4点出土している。うちわけは、彫器1点・石鏃1点・石核2点、このほか黒曜石・チャートなどの剥片4点がある。土器は、451点・12,957g出土している。取り上げ方法は、平面・垂直位置を記録した点あげ、一括扱いの両方がある。遺物は遺構の中心部基底面からみつっている。土器のうちわけは、条痕文系・羽状縄文系である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体の99.5%あり、当該時期を177号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、点あげしたものを第295図1～14・第296図15～18に、覆土一括扱いのものを第296図19～32・第297図33～56・第298図57～76・第299図77～90に示した。1～4・19～43は条痕文系深鉢形土器の口縁部、5～18・44～80は胴部、81～86は底部の破片である。7は現存器高123mm・推定胴部最大径284mmを測り、刺突文を連続して菱形状に配す文様をもつ。また、屈曲部にも楕円刺突文をめぐらす。22は微隆帯による区画内に刺突文を充填し、要所に円形文を施すもので、口唇部前後面に刺突文をめぐらせる。33・34は凹線による曲線文をもつものである。85は現存器高61mm・推定底径54mmを測る小型の深鉢形土器である。87～90は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。出土石器を第299図91～94に示した。91は最大長26.3mmを測る黒曜石製の彫器である。92は最大長14.8mmを測る黒曜石製の石鏃である。93は最大長59mmを測る無斑晶質安山岩製の石核である。94は最大長48mmを測る堇青石ホルンフェルス製の石核である。

178号遺構

【検出位置】 セ72区2B-C4・D3

【種別】 炉穴

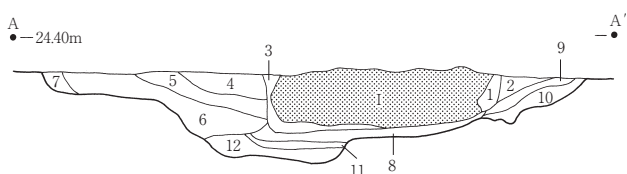
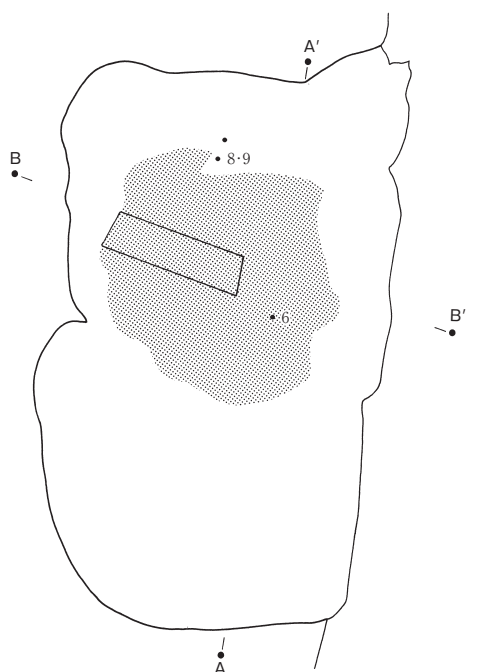
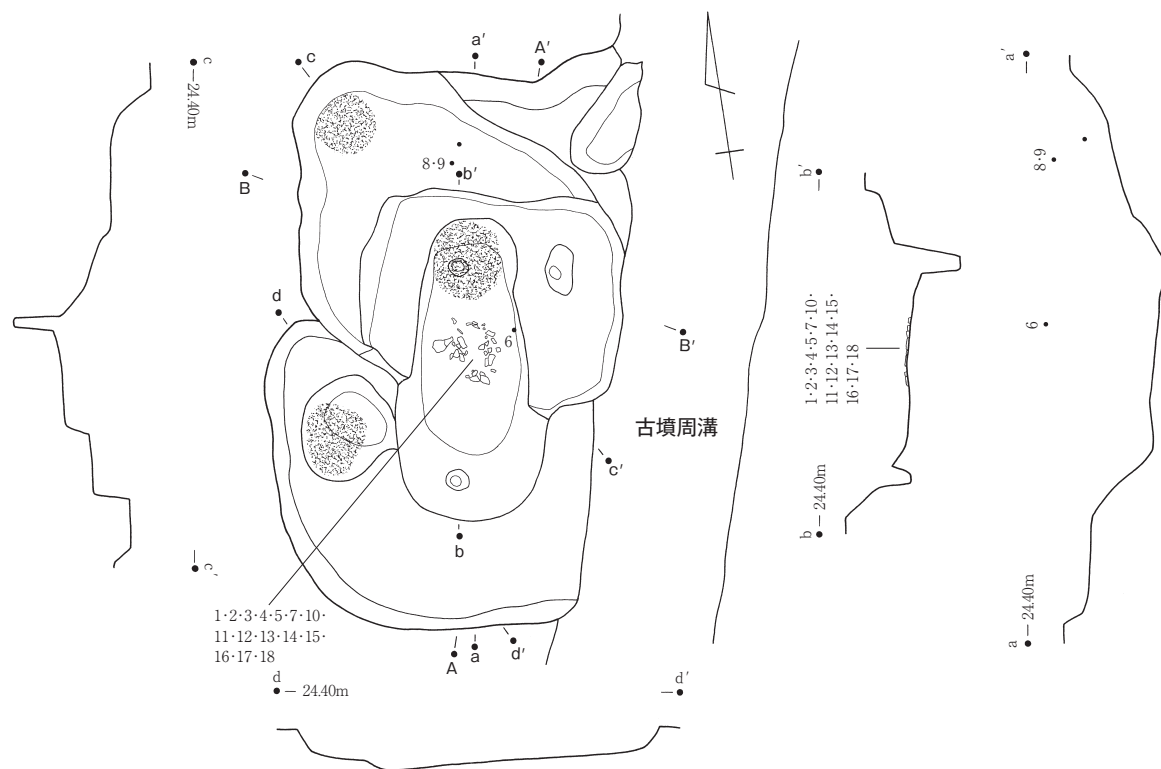
【規模ほか】 長軸4.27m・短軸2.53m・深さ60cm。燃焼面2箇所。南側は調査区外（第300図）。

【覆土】 暗褐色土・黒色土などを主体とする。ローム粒・焼土粒を多く含む。

【その他】 周囲に竪穴状の掘り込みがある。覆土内に集石2箇所が検出された。

【出土遺物】 284点・18,785gの礫および礫石器が出土している。このうち99.9%に被熱のあとがみられる。石器は、石核1点、このほか頁岩の剥片1点がある。土器は、152点・2,574g出土している。取り上げ方法は、覆土一括扱いのもののみである。うちわけは、条痕文系・羽状縄文系である。このうち主体を占めるのは、条痕文系のもので全体のおよそ99%あり、当該時期を178号遺構の帰属時期とみる。

【遺物説明】 出土土器のうち、主なものを第300図1～16・第301図17～25に示した。1～9は条痕文系深鉢形土器の口縁部、10～22は胴部、23は底部の破片である。24・25は羽状縄文系・関山式深鉢形土器の胴部破片である。



セクション位置：A-A'				
No.	種別（土の混じり具合）	主体貝	その他の貝	備考
1	純貝層	ハマグリ	マテガイ・マガキ	

セクション位置：A-A'					
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	暗褐色	少量のソフトローム・焼土粒			
2	暗褐色	少量のローム粒			
3	暗褐色	やや多量のロームブロック（小）・ローム粒			
4	黒褐色	少量のソフトローム			
5	暗褐色	少量のソフトローム・ローム粒			
6	黒褐色	少量のソフトローム・ローム粒・焼土粒			
7	明褐色	多量のソフトローム			
8	暗褐色	かなり多量のローム粒・少量の焼土粒			
9	暗褐色	やや多量のソフトローム			
10	明褐色	ソフトローム主体			
11	暗褐色	多量のローム粒・少量のロームブロック（小）			
12	黒褐色	多量のロームブロック（小）・やや多量のローム粒・焼土粒			

セクション位置：B-B'

No.	種別（土の混じり具合）	主体貝	その他の貝	備考
I	純貝層	ハマグリ	マテガイ・マガキ	

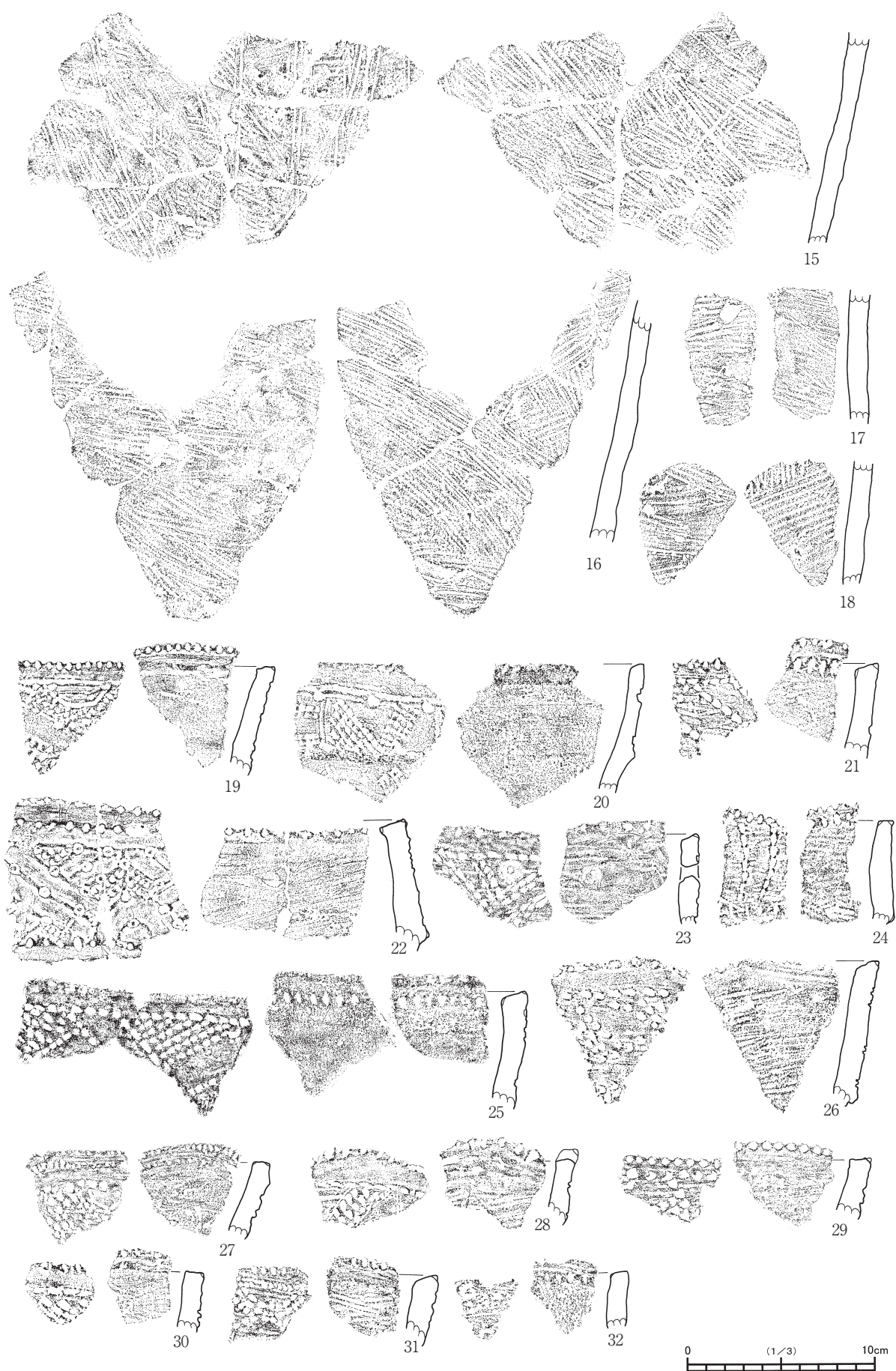
セクション位置：B-B'					
No.	土色	混入物	土のしまり	粘性	備考
1	黒褐色	少量のローム粒			
2	黒褐色	少量のソフトローム			
3	黒褐色	少量のソフトローム			
4	黒褐色	少量のロームブロック（小）・焼土粒			
5	暗褐色	多量のソフトローム			
6	明褐色	ソフトローム主体			
7					焼土

0 (1/60) 3m

第294図 177号遺構実測図・遺物出土状況図



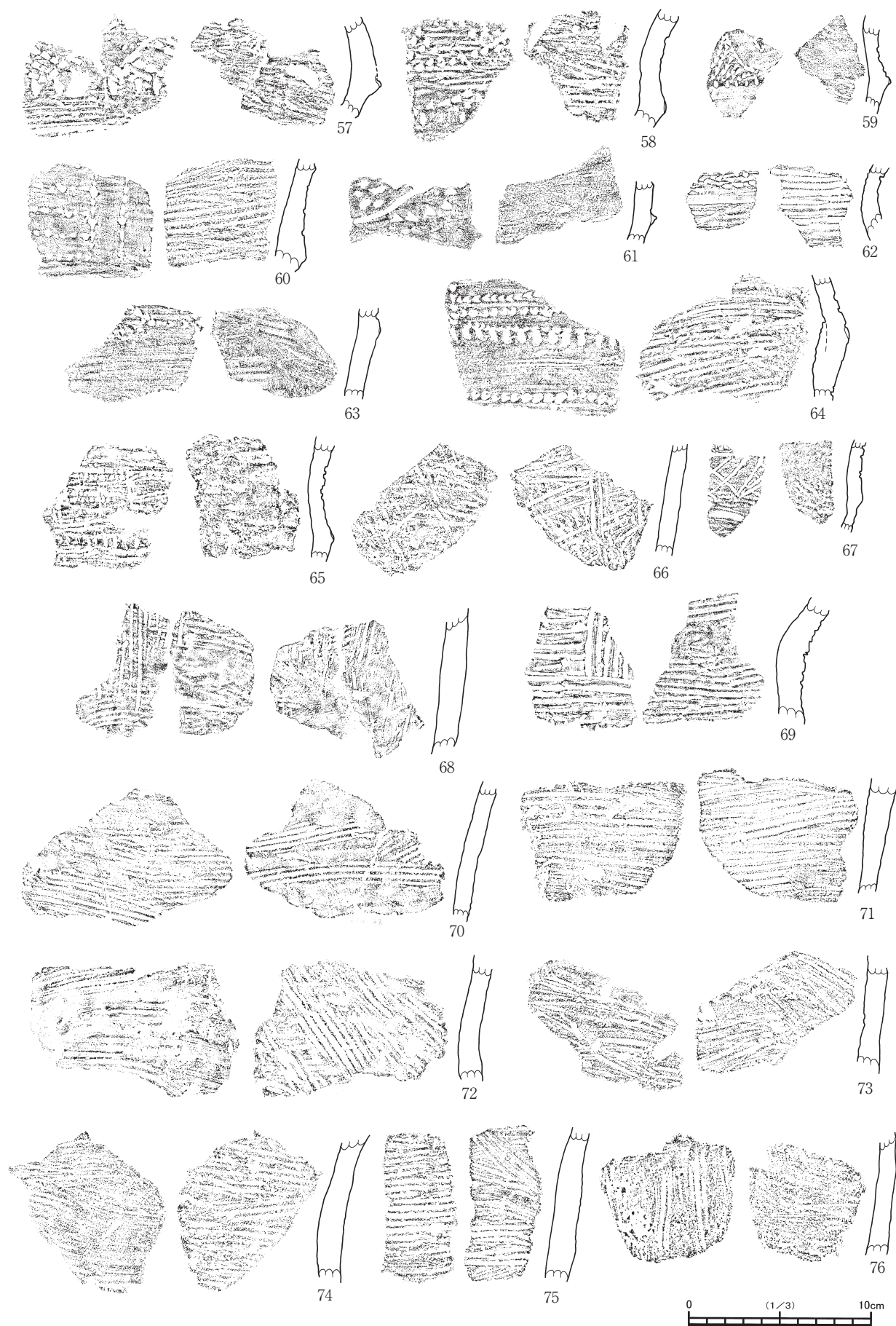
第295図 177号遺構出土遺物実測図(1)



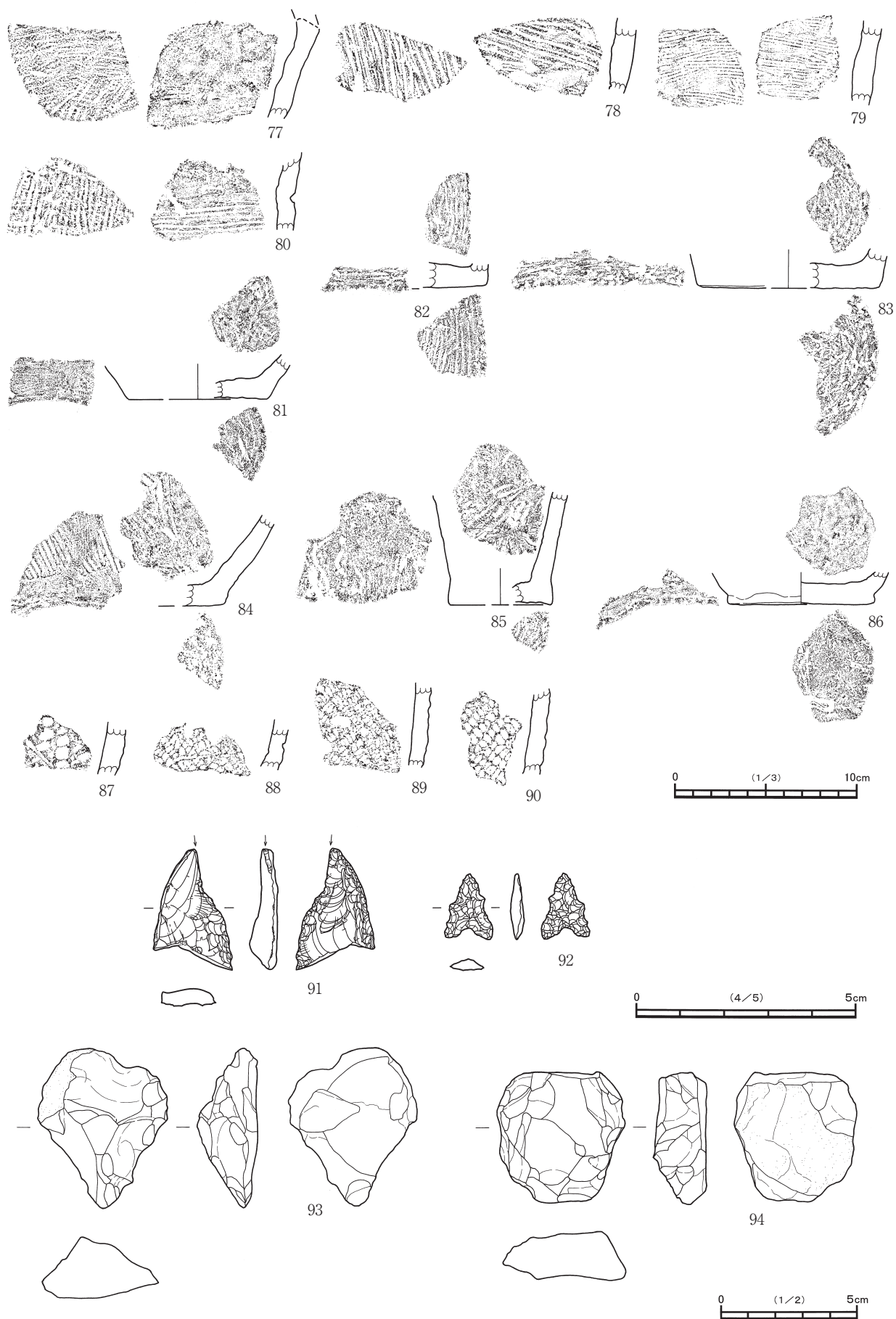
第296図 177号遺構出土遺物実測図(2)



第297图 177号遺構出土遺物実測図(3)



第298図 177号遺構出土遺物実測図(4)



第299図 177号遺構出土遺物実測図(5)